

# 現場説明事項

工事名称 市立みずほ学園大規模改修工事

担当部署 総合政策部 管財課

## 「説明事項」

### 1. 工事目的

本工事は、市立みずほ学園において会議室を指導室・面談室・倉庫に区分をおこなう。

また、老朽化に伴う改修・設備機器の更新・照明のLED化をおこなう。

### 2. 工事概要

特記仕様書、設計図書による。

### 3. 工事範囲

本工事は目的上必要と思われる、仮設材、安全措置（ガードフェンス・バリケード等）も本工事に含む。

### 4. 特記事項

1) 契約後速やかに、工事図面 A4 (A3 二つ折) を 3 部製本してください。

2) 使用する県産木材は、十分に乾燥させること。

3) 使用する塗料は、長寿命化を考慮した自然塗料とすること。

4) 工事は、7/16 から可能です。

教職員は工事期間中は、職員室又はホールにて執務を行っておりますので、執務並行施工をお願いします。

・ 玄関ホールより北側部分を先行工事とし、部分使用検査（室内濃度測定を含む）をおこない先行引渡しとする。

5) 9/13(金)までに現場検査(室内濃度測定を含む)を終了し、9/27（金）までに引渡しを完了させること。

6) 例年同様の降雨日数での工期延長は認めません。

ただし、発注者が認めた場合はこの限りではない。

7) 仮設については、周辺施設、住民等に十分注意し、安全を確保すること。

また、現場事務所については、関係者と協議し設置すること。

8) 工事中の騒音・振動等の防止に努めるとともに、近隣道路に違法駐車しないこと。

9) 工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。

10) 工事の工程について市と十分協議し、周辺道路環境及び近隣施設利用者等の安全面などを十分に考慮し、工事を進めること。

11) 工事期間中、土・日を含めて4日以上連続で現場を休む場合、巡回警備をすること。

12) 提出書類については、富士見市様式にて遅滞なく提出すること。

13) 竣工図は、監督員と協議の上、CAD データを作成すること。

## 引越し対象物品リスト

(単位m)

No.	名称	個数	仕様
事務室①	スチール事務机	3個	両袖
②	〃	5個	片袖
③	スチール長机	1個	(L1.4m×W0.8×H0.9)
④	キャビネット	10個	木製
⑤	〃	2個	スチール
⑥	天板	2枚	(L1.8×W1.5)
⑦	本棚	2個	(木製L1.6×W0.4×H0.9)
⑧	〃	1個	(〃 L2.3×W0.4×H0.9)
⑨	冷蔵庫	1個	
⑩	ひじ掛け椅子等	9脚	
⑪	木製イス	13脚	
⑬	キャスター付き長机	9個	
会議室①	スチール書庫	2個	(H1.85×W0.8×奥行0.4)
②	木製棚	2個	(H1.8×W0.6×奥行0.3)
③	〃	1個	(H2.0×W0.9×奥行0.3)
④	本棚	1個	(H0.9×W0.9×奥行0.3)
⑤	楽器棚	1個	(H1.8×W1.0×奥行0.45)
⑥	木製テーブル	1個	(L1.5×W0.6×H0.6)
⑦	木製イス	4脚	
⑧	衝立	1個	(H1.8×W2.4)
⑨	パイプイス	25脚	
面談室①	スチールロッカー	5個	(H1.8×W0.9×奥行0.5)
②	薬剤庫	2個	(H0.8×W1.2×奥行0.4)
③	収納ベッド	1個	(H1.7×W0.9×奥行0.4)
④	木製テーブル	1個	(L1.2×W0.6×H0.6)
⑤	木製イス	4脚	
その他①	段ボール箱	100個	(ファイル、書籍等)
			※契約後早急に用意お願いします。



事務室現況状況



会議室現況状況



面談室現況状況

参考資料

# 設 計 仕 様 書

工事名称 市立みずほ学園大規模改修工事

---

工事場所 富士見市 みどり野南2丁目 地内

---

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

工事名称		市立みずほ学園大規模改修工事				
請負工事費						
工事概要		外壁改修工事、建具改修工事、内装改修工事 塗装改修工事、環境配慮改修工事、その他 照明設備のLED化		分電盤更新・空調設備更新		
総括表						上段 下段 備
名称	摘要	数量	単位	金額	設計変更 原設計 考	
直接工事費						
建築工事		1	式			
電気設備工事		1	式			
機械設備工事		1	式			
計		1	式			
共通仮設費		1	式			
純工事費						
現場経費		1	式			
工事原価						
一般管理費		1	式			
工事価格	スクラップ控除後				スクラップ控除前 スクラップ控除	
改め						
消費税相当額		1	式		8%	
請負工事費						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
工事共通仮設費						
準備費	予備調査、敷地整理、その他					
	に要する費用	1.0	式			
仮設建物費	倉庫、下小屋、現場事務所					
	作業員施設等の費用	1.0	式			
工事施設費	場内通信設備等の工事用施設					
	要する費用	1.0	式			
環境安全費	安全標識、消火設備等の施設の設置					
	隣接物の養生等に要する費用	1.0	式			
動力用水光熱費	工事用電気設備及び工事用給排水設備とその料金に要する費用	支給				(共通仮設費率)+ (積上げ)
	屋外跡片付け、屋外発生材の処分等の整理清掃に要する費用	1.0	式			
機械器具費	測量機器及び雑機械器具に要する費用	1.0	式			
	材料試験等に要する費用	1.0	式			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設						
(積み上げ)						
室内濃度測定	4室 工事前、3+3室 工事後	1.0	式			
交通誘導員	40人	1.0	式			
計						

( P. 共通- 積 - )

(—————)

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	直接工事費					
A	建築工事	1.0	式			
B	電気設備工事	1.0	式			
C	機械設備工事	1.0	式			
	計					

( P. - 総 - )

(—————)



# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
A	建築工事					
1	直接仮設	1.0	式			
2	外壁改修	1.0	式			
3	建具改修	1.0	式			
4	内装改修	1.0	式			
5	外構改修	1.0	式			
6	処分費	1.0	式			
	計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1 直接仮設						
墨出し(内部改修)	複合改修	488.0	m <sup>2</sup>			
養生(内部改修)	複合改修	488.0	m <sup>2</sup>			
養生(外壁改修)		317.0	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	488.0	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け (外壁改修)		317.0	m <sup>2</sup>			
内部仕上足場	脚立足場	345.0	m <sup>2</sup>			
内部仕上足場	枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満	144.0	m <sup>2</sup>			
外部枠組本足場 (手すり先行据置型)	W900枠 12m未満 供用60日 運搬共	565.0	m <sup>2</sup>			
ネット状養生シート		565.0	m <sup>2</sup>			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
安全手すり	枠組用	159.0	m			
	扉含む					
内部仮設間仕切	B種 木下地+PBt9.5	9.0	m <sup>2</sup>			
備品の移動		1.0	式			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
2 外壁改修						
外壁						
下地調整+珪藻土塗替	高压洗浄、シーラー処理共	219.0	m <sup>2</sup>			
軒天						
下地調整RB種+OS塗替	木部	191.0	m <sup>2</sup>			
柱・梁・方杖						
下地調整RB種+OS塗替	木部	48.1	m <sup>2</sup>			
外部木製フレーム	付柱、付梁、付土台、鼻隠し等					
下地調整RB種+OS塗替	木部	642.0	m			
屋根目隠しルーバー-1,2						
下地調整+DP塗替	鉄部 9.74m <sup>2</sup>	2.0	か所			
屋根目隠しルーバー-3						
下地調整+DP塗替	鉄部 7.02m <sup>2</sup>	1.0	か所			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
3 建具改修						
(外部)						
AW1 SUS網戸張替	W1700×H2380	21.0	か所			
AW2 SUS網戸張替	W1580×H2380	2.0	か所			
WD12 FIX窓付引き戸 新設	すぎ W3170×H2100	1.0	か所			
WD13 ガラリ付両開き戸 新設	屋外用耐候性フィルム フラッシュ W1700×H2300	2.0	か所			
引違扉のみ 撤去	集積共	6.7	m <sup>2</sup>			
両開き扉のみ 撤去	集積共	7.1	m <sup>2</sup>			
サッシ廻りシーリング 打替え	MS-2 15×10程度 撤去共	594.0	m			
UVカットフィルム貼		162.0	m <sup>2</sup>			
非透明フィルム貼		5.4	m <sup>2</sup>			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
新設扉 学校用強化ガラス	t4 2.00㎡以下 シーリングC種	6.7	㎡			
新設扉 下地ごしらえOSCL塗	木部	10.0	㎡			
額縁 下地調整RB種+OSCL塗替	木部	373.0	m			
木製フレーム 下地調整RB種+OSCL塗替	木部	273.0	m			
ロールスクリーン 一時撤去・再取付	W1700×H2380	21.0	か所			
ロールスクリーン 一時撤去・再取付	W1580×H2380	2.0	か所			
ロールスクリーン 一時撤去・再取付	W700×H2380	2.0	か所			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(内部)						
WD1 額入引違い扉のみ 新設	しな合板フラッシュ 付属品一式 W2220×H2000	5.0	か所			
WD2 額入引込み扉のみ 新設	しな合板フラッシュ 付属品一式 W2580×H2000	2.0	か所			
WD3 額入片引扉のみ 新設	しな合板フラッシュ 付属品一式 W800×H2000	1.0	か所			
WD4 額入片引扉のみ 新設	しな合板フラッシュ 付属品一式 W900×H2000	1.0	か所			
WD5 額入片開き扉のみ 新設	しな合板フラッシュ 付属品一式 W800×H2000	1.0	か所			
WD8 ガリ付引違い扉のみ 新設	しな合板フラッシュ 付属品一式 W1680×H2000	4.0	か所			
WD9 ガリ付引違い扉のみ 新設	しな合板フラッシュ 付属品一式 W1850×H2000	1.0	か所			
WD14 ガリ付引違い扉のみ 新設	しな合板フラッシュ 付属品一式 W1655×H2000	1.0	か所			
WD15 ガリ付片開き扉のみ 新設	しな合板フラッシュ 付属品一式 W800×H2000	1.0	か所			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
引違扉のみ 撤去	集積共	53.4	m <sup>2</sup>			
片引扉のみ 撤去	集積共	3.4	m <sup>2</sup>			
片開扉のみ 撤去	集積共	1.6	m <sup>2</sup>			
新設扉 学校用強化ガラス	t4 2.00m <sup>2</sup> 以下 シーリングC種	2.9	m <sup>2</sup>			
熱線反射フィルム貼		0.3	m <sup>2</sup>			
新設扉 下地ごしらえOSCL塗	木部	149.0	m <sup>2</sup>			
既存扉 下地調整RB種+OSCL塗替	木部	79.5	m <sup>2</sup>			
木製フレーム・枠 下地調整RB種+OSCL塗替	木部	185.0	m			
木製枠 新設	米母同等	10.5	m			
AC1,2 アコーデーションカーテン 一時撤去・再取付	W5000×H2000	2.0	か所			



積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
4 内装改修						
	(撤去)					
床 縁甲板のみ撤去	t15 集積共	137.0	m <sup>2</sup>			
床 縁甲板のみ撤去	t18 集積共	180.0	m <sup>2</sup>			
床 縁甲板のみ撤去	t36 集積共	121.0	m <sup>2</sup>			
床 二重床+複合フローリング撤去	t12 集積共	1.7	m <sup>2</sup>			
床 二重床+捨張合板撤去	t12 集積共	14.8	m <sup>2</sup>			
床 二重床+床暖下地撤去	t12+木床組 集積共	137.0	m <sup>2</sup>			
床 二重床撤去	集積共	36.7	m <sup>2</sup>			
木製巾木撤去	H100 集積共	3.5	m			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
腰壁						
杉板撤去	t12 下地軸組共	1.0	㎡			
腰壁						
木製見切撤去		1.2	m			
壁						
PB撤去	t12.5 一重 一般 集積共	6.0	㎡			
壁						
木軸組撤去	集積共	5.0	㎡			
壁						
しっくい塗撤去	ラスボード共	1.5	㎡			
モルタルカッター入れ		3.8	m			
天井						
化粧PBのみ撤去	t9.5 一重 一般 集積共	66.4	㎡			
床下点検口撤去	集積共	4.0	か所			
木製棚 一部撤去		1.0	か所			
カーテン一時撤去・再取付		1.0	か所			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(改修)						
床 縁甲板(すぎ)張替	上小節 県産木材 耐水合板t21捨張共 t15	121.0	m <sup>2</sup>			
床 縁甲板(すぎ)張替	上小節 県産木材 床暖房有 t15	175.0	m <sup>2</sup>			
床 縁甲板(すぎ)張替	上小節 県産木材 t18	147.0	m <sup>2</sup>			
床 乾式二重床+耐水合板t12二枚張		98.8	m <sup>2</sup>			
床 乾式二重床+耐水合板t12		76.2	m <sup>2</sup>			
木製(すぎ)巾木 新設	上小節 県産木材 H100	11.3	m			
腰壁 杉板t12張り 新設	上小節 県産木材 下地軸組共	0.2	m <sup>2</sup>			
腰壁 木製見切 新設	県産木材	0.2	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
壁 石膏ボード張り 新設	t12.5 継目処理	35.1	m <sup>2</sup>			
壁 木軸組 新設	杉1等 大壁 高2800	31.7	m <sup>2</sup>			
壁 しっくい塗 新設	ラスボード共	0.4	m <sup>2</sup>			
壁 しっくい塗替	プライマー共	40.5	m <sup>2</sup>			
天井 化粧石膏ボード張替	t9.5	66.4	m <sup>2</sup>			
床下点検口 新設	アルミ目地 600角	5.0	か所			
天井点検口 新設	アルミ製 450角 額縁タイプ	9.0	か所			
土台 新設	105角 接着系アンカー M16@900共	5.3	m			代価2
倉庫D 木製棚 新設	W1655xD300 ラワン合板t5.5	1.0	か所			代価3

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
第二面談室 杉柱120角 新設		1.0	か所			代価4
廊下(1) B1梁 スギ 120x150 撤去・新設	L=2022 2-M12共	1.0	か所			代価5
廊下(1) 照明用木製台座 撤去・新設	すぎ	23.0	か所			代価6
会議室 カーテン 新設	W710xH1200	1.0	か所			代価7
会議室 カーテン 新設	W2400xH1200	1.0	か所			代価7
(塗装)						
床 OSCL塗	縁甲板面	443.0	m <sup>2</sup>			
巾木 OSCL塗	H100 木部	3.1	m			
巾木 OSCL塗替	木部	240.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
腰壁 OSCL塗替	木部	216.0	m <sup>2</sup>			
腰壁見切 OSCL塗替	木部	233.0	m			
木製カーテンボックス OSCL塗替	木部	49.9	m			
柱 OS塗替	木部	35.1	m <sup>2</sup>			
腰壁 OSCL塗	木部	0.2	m <sup>2</sup>			
腰壁見切り OSCL塗	木部	0.2	m			
壁 EP塗	ボート面	35.1	m <sup>2</sup>			
第二面談室柱120角 OSCL塗	木部	1.0	か所			
梁 OS塗替	木部	265.0	m <sup>2</sup>			
職員用下駄箱 OSCL塗替	W1895xD300xH1000	1.0	か所			代価8
子供用下駄箱 OSCL塗替	W1880xD300xH980	1.0	か所			代価9

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
父兄用下駄箱 OSCL塗替	W1450xD300xH980	1.0	か所			代価10
木製ベンチ OSCL塗替	φ 1100	1.0	か所			代価11
手洗い流し OSCL塗替	W1815xD490xH700	2.0	か所			代価12
特別指導室 収納棚 OSCL塗替	木部 W3120xD1000xH1300	1.0	か所			代価13
特別指導室 おもちゃ入棚 OSCL塗替	木部 W1800xD400xH1860	1.0	か所			代価14
指導室 木製収納棚 OSCL塗替	木部 W5050+2280xD300~715xH1850	3.0	か所			代価15
計						



積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
5 外構改修						
既存アスファルト撤去		38.9	m <sup>3</sup>			
車椅子用駐車場 樹脂系すべり止め舗装工	RPN-301	17.5	m <sup>2</sup>			
駐車場 ライン引き	熔融式 実線15cm	110.0	m			
スチール外灯 下地調整+DP塗替	鉄部 150角×H5000	3.0	か所			
外部倉庫 撤去	W6220×D5200×H2800	1.0	か所			別紙明細1
フェンス一部補修		1.0	式			
袖壁下地処理の上EP塗装		25.5	m <sup>2</sup>			
浸透性アスファルト舗装	不陸調整後プライムコート散布	778.0	m <sup>2</sup>			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
6 処分費						
発生材積込	ボート・木材類 人力	30.2	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積 アスファルト 人力 DID区間有 14.5km以下	38.9	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積 木材類 人力 DID区間有 14.5km以下	22.6	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積 石膏ボード類 人力 DID区間有 14.5km以下	7.6	m3			
処分費	木くず(再生)	22.6	m3			
処分費	石膏ボード(再生)	0.7	m3			
処分費	金属くず	3.1	m3			
処分費	混合廃棄物	3.8	m3			
処分費	アスファルト塊 (40cm以下)	38.9	m3			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
別紙明細1						
外部倉庫 撤去	W6220×D5200×H2800	1.0	式			
屋根						
ホ°リカ波板撤去	下地単管ハ°イ°共	32.3	m <sup>2</sup>			
壁						
ホ°リカ波板撤去	下地単管ハ°イ°共	47.1	m <sup>2</sup>			
床						
合板t12撤去	集積共	25.1	m <sup>2</sup>			
床						
CB基礎+土台	集積共	22.8	m			
アルミ建具撤去	親子開き 枠共	2.9	m <sup>2</sup>			
スチール物置撤去	2650x1850xH2000	1.0	か所			代価16
スチール棚撤去	2550x400xH1500	1.0	か所			代価19
木製棚撤去	1550x300xH1150	1.0	か所			代価20

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
木製棚撤去	2930x900xH1200	1.0	か所			代価21
木製棚撤去	1350x300xH1600	1.0	か所			代価22
計						

# 単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

			当たり	
土台 新設	105角 接着系アンカー M16@900共	1	m	代価-2

当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土台	105角 1等	0.012	m3			
構造材施工費	大工4人工	0.012	m3			
接着系アンカー	M16 下向き	1.11	本			
計						
改め 計						

(—————) 富士見市総合政策部管財課

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

倉庫D 木製棚 新設			1 か所	あたり	代価-3
	W1655xD300 7mm合板t5.5				

あたり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7mm合板	t5.5 材工	0.500	m <sup>2</sup>			
造作材	杉 特1等程度	0.018	m <sup>3</sup>			
造作材施工費	大工15人工	0.018	m <sup>3</sup>			
計						
改め 計						

( ) 富士見市総合政策部管財課

### 単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

第二面談室 杉柱120角 新設	1 か所	当たり	代価-4
--------------------	------	-----	------

当たり							
名	称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	造作材	杉 特1等程度	0.043	m3			
	造作材施工費	大工15人工	0.043	m3			
	計						
	改め 計						

(—————) 富士見市総合政策部管財課

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

廊下(1)		当たり	
B1梁 スキ <sup>レ</sup> 120x150 撤去・新L=2022 2-M12共	1 箇所		代価-5

当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造材	杉 特1等程度	0.054	m3			
構造材施工費	大工6人工	0.054	m3			
ボルト	M12	4.00	本			
ナット	M12	4.00	個			
計						
改め 計						

(—————) 富士見市総合政策部管財課



単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

廊下(1)		当たり	
照明用木製台座 撤去・新設 すぎ 105×400×300(0.013m3)	1 か所		代価-6

当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
造作材	杉 特1等程度	0.013	m3			
造作材施工費	大工15人工	0.013	m3			
計						
改め 計						

(—————) 富士見市総合政策部管財課

# 単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

会議室 カーテン 新設	1 m <sup>2</sup>	当たり	代価-7
----------------	------------------	-----	------

当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
カーテン(ドレープ)		2.24	m <sup>2</sup>			
内装工		0.133	人			
その他	(材+労)*19%	1.00	式			
計						
改め 計						

(—————) 富士見市総合政策部管財課

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

職員用下駄箱		当たり	
OSCL塗替え	W1895xD300xH1000	1 か所	代価-8

当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
OSCL塗替え	木部	12.74	m <sup>2</sup>			
計						
改め 計						

(—————) 富士見市総合政策部管財課

# 単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

子供用下駄箱		当たり	
OSCL塗替え	W1880xD300xH980	1 か所	代価-9

当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
OSCL塗替え	木部	7.55	㎡			
計						
改め 計						

(—————) 富士見市総合政策部管財課

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

父兄用下駄箱			当たり		
OSCL塗替え	W1450xD300xH980	1	か所	代価-10	

当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
OSCL塗替え	木部	5.5	m <sup>2</sup>			
計						
改め 計						

( ) 富士見市総合政策部管財課

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

木製ベンチ OSCL塗替え		1 か所	あたり	代価-11
	φ 1100			

あたり						
-----	--	--	--	--	--	--

名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
OSCL塗替え	木部	1.9	m <sup>2</sup>			
計						
改め 計						

(—————) 富士見市総合政策部管財課

### 単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

手洗い流し OSCL塗替え	W1815xD490xH700	1 箇所	当たり	代価-12
------------------	-----------------	------	-----	-------

当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
OSCL塗替え	木部	5.69	㎡			
計						
改め 計						

(-----) 富士見市総合政策部管財課

# 単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

特別指導室		当たり	
収納棚 OSCL塗替え	木部 W3120xD1000xH1300	1 か所	代価-13

当たり							
名	称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	OSCL塗替え	木部	18.67	m <sup>2</sup>			
	計						
	改め 計						

(—————) 富士見市総合政策部管財課



# 単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

特別指導室		当たり	
おもちゃ入棚 OSCL塗替え 木部 W1800xD400xH1860	1 か所		代価-14

当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
OSCL塗替え	木部	4.5	㎡			
計						
改め 計						

(—————) 富士見市総合政策部管財課

# 単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

指導室		当たり	
木製収納棚 OSCL塗替え	木部 W5050+2280xD300~715xH 1 か所		代価-15

当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
OSCL塗替え	木部	33.96	㎡			
計						
改め 計						

(—————) 富士見市総合政策部管財課



単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

スチール棚撤去	2550x400xH1500	1 か所	当たり	代価-19

当たり

名称	摘要・規格	数量	単位	単価	金額	備考
スチール物置撤去		10.9	m <sup>2</sup>			
計						
改め 計						

### 単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

木製棚撤去	1550x300xH1150	1 か所	当たり	代価-20	

当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
木製棚撤去		4.7	㎡			
計						
改め 計						

(—————) 富士見市総合政策部管財課

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

木製棚撤去	2930x900xH1200	1 か所	当たり	代価-21

当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
木製棚撤去		10	m <sup>2</sup>			
計						
改め 計						

(—————) 富士見市総合政策部管財課

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

木製棚撤去	1350x300xH1600	1 か所	当たり	代価-22
-------	----------------	------	-----	-------

当たり

名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
木製棚撤去		2.2	m <sup>2</sup>			
計						
改め 計						

(—————) 富士見市総合政策部管財課

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
B	電気設備												
1	照明設備工事			1.0		式							
2	コンセント設備工事			1.0		式							
3	弱電設備工事			1.0		式							
4	自動火災報知設備工事			1.0		式							
5	幹線設備工事			1.0		式							
6	発生材処分			1.0		式							
	計												
7	スクラップ			1.0		式							



積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	照明設備工事						
	LED 照明器具A1	スクエアベースライト 6500lm、41.5W	3.0	個			
	LED 照明器具A2	スクエアベースライト 4530lm、33.0W	32.0	個			
	LED 照明器具B1	LRS6-3100LM-LN	2.0	個			
	LED 照明器具B2	LRS3-6300LM-LN	3.0	個			
	LED 照明器具C	LSS6-6600LM-LN	25.0	個			
	LED 照明器具D	LRS1-400LM-1-LN	10.0	個			
	LED 照明器具E1	LSS9-3200LM	3.0	個			
	LED 照明器具E2	LSS9-1550LM-2	3.0	個			
	LED 照明器具F	シーリングライト 3600lm 28.0W	2.0	個			
	LED 照明器具G1	LSS9MP/RP-6450LM	2.0	個			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
LED 照明器具G 2							
		LSS9MP/RP-1400LM-2	1.0	個			
LED 照明器具H		シーリングライト					
		FCL30W相当 防湿・防雨型	2.0	個			
LED 照明器具I		シーリングライト					
		IL40W×2相当 防湿・防雨型	1.0	個			
LED 照明器具J		スクエアベースライト					
		30201m、21.0W	1.0	個			
LED 照明器具K		ブラケットライト					
		IL100W相当	18.0	個			
LED 照明器具L		ブラケットライト (スポット)					
		IL60×2相当	9.0	個			
LED 照明器具M		ブラケットライト					
		IL10×1相当 防雨型	10.0	個			
LED 照明器具N		ブラケットライト					
		FL20W相当 棚下灯	2.0	個			
LED 照明器具S		非常照明					
		K1-LSS11-3	6.0	個			
LED 照明器具P		街路灯					
		HID250W相当	3.0	個			
電線ケーブル							
		EM-EEF1.6-3C コロガシ	7.5	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電線ケーブル	EM-CE3.5-3C 管内	15.0	m			
1種金属線ぴ(MM1)	A型	5.0	m			
コンセント	壁換気扇用 2 P15A×1	11.0	個			
タンブラースイッチ	1 P15A×1	1.0	個			
タンブラースイッチ	1 P15A×1、PL×1	12.0	個			
タンブラースイッチ	1 P15A×2、PL×1	5.0	個			
タンブラースイッチ	1 P15A×3、PL×1	7.0	個			
タンブラースイッチ	1 P15A×5、PL×1	1.0	個			
LED 誘導灯(避難口)	取外し・再設置	3.0	個			
LED 誘導灯(避難表示)	取外し・再設置	4.0	個			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
撤去工事						
照明器具A 1	撤去					
	FHP36×4相当 直付	18.0	個			
照明器具A 2	撤去					
	FHP36×3相当 直付	17.0	個			
照明器具B 1	撤去					
	FHF32×2 埋込	2.0	個			
照明器具B 2	撤去					
	FHF32×1 埋込	3.0	個			
照明器具B 3	撤去					
	FPL28×2 埋込	1.0	個			
照明器具C	撤去					
	FHF32×2 直付	15.0	個			
照明器具D 1	撤去					
	FDL27W相当 ダウンライト	4.0	個			
照明器具D 2	撤去					
	FDL18W相当 ダウンライト	6.0	個			
照明器具E 1	撤去					
	FL40×1 逆富士型	3.0	個			
照明器具E 2	撤去					
	FL20×1 逆富士型	2.0	個			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
照明器具F	撤去					
	FCL32+30W シーリングライト	2.0	個			
照明器具G 1	撤去					
	FHL32×2 (防湿)逆富士型	2.0	個			
照明器具G 2	撤去					
	FL20×2 (防湿)逆富士型	1.0	個			
照明器具H	撤去					
	FCL30W(防湿)シーリングライト	2.0	個			
照明器具I	撤去					
	IL60W (防湿)シーリングライト	1.0	個			
照明器具J	撤去					
	FHT42W×3 ペンダントライト	8.0	個			
照明器具K	撤去					
	FHF42W×1 ブラケットライト	18.0	個			
照明器具L	撤去					
	KR60W×2 スポットライト	9.0	個			
照明器具M	撤去					
	FDL27W相当(防雨)ブラケットライト	10.0	個			
照明器具N	撤去					
	FL20W×1 棚下灯	2.0	個			
照明器具S	撤去					
	K1-ISS4-J30	6.0	個			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
照明器具P	撤去					
	HID250w 街路灯	3.0	個			
コンセント	撤去					
	2 P15A×1	11.0	個			
タンブラースイッチ	撤去					
	1 P15A×1	1.0	個			
タンブラースイッチ	撤去					
	1 P15A×1、PL×1	12.0	個			
タンブラースイッチ	撤去					
	1 P15A×2、PL×1	5.0	個			
タンブラースイッチ	撤去					
	1 P15A×3、PL×1	6.0	個			
タンブラースイッチ	撤去					
	1 P15A×5、PL×1	1.0	個			
電線ケーブル	撤去					
	CV3.5-3C	15.0	m			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	コンセント工事					
	コンセント	壁付け 2P15A×1	4.0	個		
	コンセント	壁付け 2P15A×2	31.0	個		
	コンセント	壁付け 2P15A×2 接地極付	17.0	個		
	コンセント	壁付け 2P15A×1 接地極付 防水型	10.0	個		
	コンセント	壁付け 3P15A×1	2.0	個		
	コンセント	床付け 2P15A×1	6.0	個		
	コンセント	壁付け 3P20A×1 引掛形 金属プレート	1.0	個		
	1種金属線ぴ(MM1)	取外し・再設置 A型	48.0	m		
	1種金属線ぴ(MM1)付属品	取外し・再設置 コーナーボックス	6.0	個		
	1種金属線ぴ(MM1)付属品	取外し・再設置 2個用スイッチボックス	7.0	個		

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去工事						
コンセント	撤去 壁付け 2P15A×1	4.0	個			
コンセント	撤去 壁付け 2P15A×2	31.0	個			
コンセント	撤去 壁付け 2P15A×2 接地付	17.0	個			
コンセント	撤去 壁付け 2P15A×1 接地付 防水型	10.0	個			
コンセント	撤去 壁付け 3P15A×1	2.0	個			
コンセント	撤去 床付け 2P15A×1	6.0	個			
コンセント	撤去 壁付け 3P20A×1 引掛形	1.0	個			
計						



積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3 弱電設備						
スピーカー	SW2Hi-3V3					
	アッテネーター付 壁付	8.0	個			
スピーカー	SW2Hi-3V0					
	片面 壁付	1.0	個			
スピーカー						
	両面 壁付 木製	2.0	個			
スピーカー	SC4Hi-3V3					
	アッテネーター付 天井付 3W	3.0	個			
スピーカー	SC4Hi-3V0					
	天井付 3W	3.0	個			
スピーカー	SH-10					
	ホーン型 10W	3.0	個			
アッテネーター						
	金属製 3W	3.0	個			
直列ユニット (金属プレート)						
	CS-77F-RW	4.0	個			
インターホン						
	12極 相互式	10.0	個			
カラーテレビドアホン						
	玄関子機1台、親機1台セット	1.0	セット			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
電話用アウトレット (金属製)						
	モジュラージャンクション×2 壁付	2.0	個			
電話用アウトレット (金属製)						
	モジュラージャンクション×2 床付	3.0	個			
撤去工事						
スピーカー	撤去					
	アッテネーター付 壁付	8.0	個			
スピーカー	撤去					
	片面 壁付	1.0	個			
スピーカー	撤去					
	両面 壁付	2.0	個			
スピーカー	撤去					
	アッテネーター付 天井付	3.0	個			
スピーカー	撤去					
	天井付	3.0	個			
スピーカー	撤去					
	ホーン型	3.0	個			
アッテネーター(金属製)	撤去					
		3.0	個			
直列ユニット (金属プレート)	撤去					
	CS-77F-RW	4.0	個			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
インターホン	撤去						
	12極	相互式	10.0	個			
電話用アウトレット (金属製)	撤去						
	モジュラー	ジャンクション×2 壁付	2.0	個			
電話用アウトレット (金属製)	撤去						
	モジュラー	ジャンクション×2 床付	3.0	個			
ドアホン	撤去						
	屋内機・屋外機共		1.0	セット			
計							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4 自動火災報知器設備						
差動式スポット型感知器	2種 露出	33.0	個			
定温式スポット感知器	1種 防水	6.0	個			
光電式煙感知器	非蓄積型 2種 露出	4.0	個			
受信機	P型1級10回線	1.0	個			
発信機	埋込型 P型1級 表示灯 ベル	2.0	個			
配線工事	HP1.2-4C (管内)	2.0	m			
配管工事	いんぺい ねじなし電線管 E19	2.0	m			
火災報知器立会検査		1.0	式			
撤去工事						
差動式スポット型感知器	撤去 2種	32.0	個			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
定温式スポット感知器	撤去					
	1種 防水	6.0	個			
光電式煙感知器	撤去					
	非蓄積型 2種	4.0	個			
受信機	撤去					
	P型1級10回線	1.0	個			
発信機	撤去					
	P型1級 表示灯 ベル	2.0	個			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
5 幹線工事						
L-M盤	新設	1.0	台			
P-1A盤	盤内 新設	1.0	台			
P-1B盤	盤内 新設	1.0	台			
P-1C盤	盤内 新設	1.0	台			
PH-1盤	新設	1.0	台			
L-1A盤	盤内 新設	1.0	台			
L-1B盤	盤内 新設	1.0	台			
配線工事	EM-EEF2.0-3C MMA	24.0	m			
配線工事	CET8.0 ラック	35.0	m			
配線工事	CET22 管内	17.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配線工事	CET38 ラック	110.0	m			
	CET38 管内	11.0	m			
配線工事	CET60 ラック	70.0	m			
	EM-IE5.5 ラック	90.0	m			
配線工事	EM-IE5.5 管内	17.0	m			
	EM-IE8.0 ラック	55.0	m			
配線工事	EM-IE8.0 管内	6.0	m			
	EM-IE14 ラック	180.0	m			
配線工事	EM-IE14 管内	11.0	m			
	PF-D-22 いんぺい					
配管工事	合成樹脂可とう電線管 PF22	35.0	m			
	1種金属線ぴ(MM1)	24.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1種金属線ぴ(MM1)付属品	ジャンクションボックス	15.0	個			
プルボックス	SS 隠蔽型 300×300×150	1.0	個			
空調機接続		2.0	箇所			
ケーブルラック	取外し・再設置 W400	65.0	m			
撤去工事						
L-M盤	撤去	1.0	台			
P-1A盤	盤内 撤去	1.0	台			
P-1B盤	盤内 撤去	1.0	台			
P-1C盤	盤内 撤去	1.0	台			
HP-1盤	撤去	1.0	台			
L-1A盤	盤内 撤去	1.0	台			



積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
L-1 B盤	盤内 撤去	1.0	台			
配線撤去工事	VVF2.0-3C MMA	28.0	m			
配線撤去工事	CV8.0-4C ラック	35.0	m			
配線撤去工事	CV5.5-3C 管内	27.0	m			
配線撤去工事	CVT22 管内	16.0	m			
配線撤去工事	CVT38 ラック	180.0	m			
配線撤去工事	CVT38 管内	17.0	m			
配線撤去工事	IV5.5 管内	10.0	m			
配線撤去工事	IV5.5 ラック	96.0	m			
配線撤去工事	IV8.0 管内	17.0	m			
配線撤去工事	IV8.0 ラック	55.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配線撤去工事	IV14 ラック	180.0	m			
1種金属線ぴ(MM1)	A型 撤去	28.0	m			
1種金属線ぴ(MM1)付属品	ジャンクションボックス 撤去	15.0	個			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
6	発生材処分					
	廃棄物処理	解体系混合廃棄物	1.73	m3		
	廃棄物処理	蛍光管	0.22	kg		
	収集運搬	混合廃棄物	1.0	回		
	収集運搬	蛍光管	1.0	回		
	計					

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	スクラップ					
	胴くず	1.00	式			
計						

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名	称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
C	機械設備						
1	衛生器具設備工事		1.0	式			
2	給水設備工事		1.0	式			
3	給湯設備工事		1.0	式			
4	厨房機器設備工事		1.0	式			
5	空気調和設備工事		1.0	式			
6	換気設備工事		1.0	式			
7	廃棄処分費		1.0	式			
	計						

( P. M - 1 - )

( \_\_\_\_\_ )

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	衛生器具設備工事												
	電気湯沸器	EWR12BNN207B0	同等	1.0		台							
	電気湯沸器用混合水栓	MZ-3N3	同等	1.0		台							
	大便器	CFS497BMC	同等	1.0		台							
	ウォシュレット	TCF5840AUP	同等	1.0		台							
	洗浄水栓付背もたれ	EWCS802AR	固定金具含む 同等	1.0		台							
	電気温水器撤去			1.0		台							
	混合水栓撤去			1.0		台							
	大便器撤去	ウォシュレット含む		1.0		台							
	計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
2	給水設備工事		屋内給水設備工事										
	一般配管用ステンレス鋼管		屋内一般 SUS 20SU	1.0		m							
	給水管 保温		ポリスチレン 20A	1.0		m							
	配管接続・切断		20A	1.0		箇所							
	一般配管用ステンレス鋼管撤去		屋内一般 20A	1.0		m							
	給水管 保温撤去		屋内露出 20A	1.0		m							
	計												

( P. M - 3 - ) ( )

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給湯設備工事						
	保温付被覆銅管	屋内一般 20A	1.0	m			
	配管接続・切断	20A	1.0	箇所			
	ステンレス鋼管 撤去		1.0	m			
	給湯管 保温撤去	屋内露出 20A	1.0	m			
	計						



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4	厨房機器設備工事												
	消毒保管機	取外し再取付		1.0		台							
	冷凍冷蔵庫	取外し再取付		1.0		台							
	電気冷蔵庫	取外し再取付		1.0		台							
	ガスレンジ	取外し再取付		1.0		台							
	計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
5	空気調和設備工事												
	EHP1	ワイヤードリモコン											
	ヒートポンプエアコン(室外機)	床置型	冷67.0KW 新設	1.0		台							
	EHP1-1	ワイヤードリモコン											
	ヒートポンプエアコン(室内機)	天吊型	冷11.2KW 新設	1.0		台							
	EHP1-2	ワイヤードリモコン											
	ヒートポンプエアコン(室内機)	天吊型	冷9.0KW 新設	2.0		台							
	EHP1-3	ワイヤードリモコン											
	ヒートポンプエアコン(室内機)	天吊型	冷8.0KW 新設	2.0		台							
	EHP1-4	ワイヤードリモコン											
	ヒートポンプエアコン(室内機)	天吊型	冷7.1KW 新設	2.0		台							
	EHP1-5	ワイヤードリモコン											
	ヒートポンプエアコン(室内機)	天吊型	冷5.6KW 新設	1.0		台							
	EHP2	ワイヤードリモコン											
	ヒートポンプエアコン(室外機)	天吊型	冷40KW 新設	1.0		台							
	EHP2-1	ワイヤードリモコン											
	ヒートポンプエアコン(室内機)	天吊型	冷8.0KW 新設	2.0		台							
	EHP2-2	ワイヤードリモコン											
	ヒートポンプエアコン(室内機)	天吊型	冷4.5KW 新設	1.0		台							
	EHP2-3	ワイヤードリモコン											
	ヒートポンプエアコン(室内機)	天吊型	冷4.5KW 新設	1.0		台							

( P. M - 6 - )

( \_\_\_\_\_ )

富士見市総合政策部管財課

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
EHP2-4 ヒートポンプエアコン(室内機)	ワイートリモコン					
	天吊型 冷3.6KW 新設	3.0	台			
集中管理コントローラー						
	タッチパネル式、室温設定	1.0	台			
搬入・搬出費						
	揚重機含む	1.0	式			
冷媒用保温付被覆銅管						
	6.4Φ×12.7Φ	2.0	m			
冷媒用保温付被覆銅管						
	6.4Φ×15.9Φ	1.0	m			
冷媒用保温付被覆銅管						
	9.5Φ×15.9Φ	5.0	m			
冷媒用保温付被覆銅管						
	9.5Φ×19.1Φ	1.0	m			
冷媒用保温付被覆銅管						
	15.9Φ×31.8Φ	1.0	m			
硬質塩化ビニール管						
	屋内一般 VP 20A	8.0	m			
保温化粧ケース(樹脂製)						
		8.0	m			
保温化粧ケース(金属製)						
	ステンレス鋼板製	1.0	m			

( P. M - 7 - )

( \_\_\_\_\_ )

富士見市総合政策部管財課

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	EM-CEES1.25-2C	管内	67.0	m			
	メタルモールA型	1種金属線ぴ A型	67.0	m			
	コーナーボックス	1種金属線ぴ付属品 A型	15.0	個			
	2個用スイッチボックス	1種金属線ぴ付属品 A型	15.0	個			
	既AC0-1 マルチエアコン(室外機)撤去	床置型 冷56.0KW 撤去	1.0	台			
	既AC0-1 マルチエアコン(室外機)撤去	熱交換ユニット 撤去	1.0	台			
	既AC0-1 マルチエアコン(室外機)撤去	氷蓄熱ユニット 撤去	1.0	台			
	AC1-既1 マルチエアコン(室内機)撤去	天吊型 冷11.2KW 撤去	1.0	台			
	AC1-既2 マルチエアコン(室内機)撤去	天吊型 冷9.0KW 撤去	2.0	台			
	AC1-既3 マルチエアコン(室内機)撤去	天吊型 冷8.0KW 撤去	2.0	台			
	AC1-既4 マルチエアコン(室内機)撤去	天吊型 冷7.1KW 撤去	2.0	台			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AC1-既5 マルチエアコン(室内機)撤去	天吊型 冷4.5KW 撤去	1.0	台			
既AC0-2 マルチエアコン(室外機)撤去	床置型 冷35.5KW 撤去	1.0	台			
既AC0-2 マルチエアコン(室外機)撤去	熱交換ユニット 撤去	1.0	台			
既AC0-2 マルチエアコン(室外機)撤去	氷蓄熱ユニット 撤去	1.0	台			
AC2-既1 マルチエアコン(室内機)撤去	天吊型 冷8.0KW 撤去	2.0	台			
AC2-既2 マルチエアコン(室内機)撤去	天吊型 冷5.6KW 撤去	1.0	台			
AC2-既3 マルチエアコン(室内機)撤去	天吊型 冷4.5KW 撤去	1.0	台			
AC2-既4 マルチエアコン(室内機)撤去	天吊型 冷3.6KW 撤去	3.0	台			
集中管理コントローラー 撤去		1.0	台			
冷媒用保温付被覆銅管 撤去	6.4Φ×12.7Φ	6.0	m			
冷媒用保温付被覆銅管 撤去	6.4Φ×15.9Φ	1.0	m			

( P. M - 9 - )

( \_\_\_\_\_ )

富士見市総合政策部管財課

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	冷媒用保温付被覆銅管 撤去	9.5Φ×15.9Φ	5.0	m			
	冷媒用保温付被覆銅管 撤去	9.5Φ×19.1Φ	1.0	m			
	冷媒用保温付被覆銅管 撤去	15.9Φ×31.8Φ	12.0	m			
	硬質塩化ビニール管 撤去	屋内一般 VP 20A	9.0	m			
	樹脂ラッキング 撤去		12.0	m			
	SUSラッキング 撤去		12.0	m			
	CVV1.25-2C 撤去	管内	67.0	m			
	配管切断・接続	鋼管類 15A	17.0	箇所			
	配管切断・接続	鋼管類 20A	14.0	箇所			
	配管切断・接続	鋼管類 32A	1.0	箇所			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	床暖房 新設		試運転調整含む	1.0			式						
	床暖房 撤去			50.0			枚						
	スパイラルダクト		200Φ	5.0			m						
	スパイラルダクト 保温		屋内隠蔽	4.0			m						
	計												

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	換気設備工事						
	FE-1 換気扇	300Φ×1000m3/h FE1	2.0	台			
	FE-2 換気扇	250Φ×600m3/h FE2	6.0	台			
	FE-3 換気扇	200Φ×300m3/h FE3	3.0	台			
	FE-4 換気扇	150Φ×410m3/h×100Pa FE4	2.0	台			
	FE-5 換気扇	150Φ×150m3/h×100Pa FE5	2.0	台			
	FE-6 換気扇	150Φ×130m3/h×100Pa FE6	2.0	台			
	FE-7 換気扇	100Φ×50m3/h×100Pa FE8	5.0	台			
	PD-1 給排気グリル	フィルター付き給気グリル	4.0	台			
	スパイラルダクト	250Φ	4.0	m			
	スパイラルダクト	150Φ	5.0	m			



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	スパイラルダクト	100Φ		3.0		m							
	スパイラルダクト 保温	屋内隠蔽		4.0		m							

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
V-既1 換気扇 撤去	300Φ×1000m <sup>3</sup> /h	2.0	台			
V-既2 換気扇 撤去	250Φ×600m <sup>3</sup> /h	6.0	台			
V-既3 換気扇 撤去	200Φ×300m <sup>3</sup> /h	3.0	台			
V-既4 換気扇 撤去	150Φ×410m <sup>3</sup> /h×100Pa	2.0	台			
V-既5 換気扇 撤去	150Φ×150m <sup>3</sup> /h×100Pa	2.0	台			
V-既6 換気扇 撤去	150Φ×130m <sup>3</sup> /h×100Pa	2.0	台			
V-既8 換気扇 撤去	100Φ×50m <sup>3</sup> /h×100Pa	5.0	台			
スパイラルダクト 撤去	150Φ	3.0	m			
スパイラルダクト 撤去	100Φ	3.0	m			
サイル扇 取外し再取付		7.0	台			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
7	廃棄処分費												
	廃棄物処理	金属くず		17.0		m <sup>3</sup>							
	廃棄物処理	解体系混合廃棄物		1.0		m <sup>3</sup>							
	廃棄物処理	廃プラ		1.0		m <sup>3</sup>							
	冷媒フロン回収	56KW		1.0		式							
	冷媒フロン回収	35.5KW		1.0		式							
	収集運搬			9.0		往復							
	計												

# 市立みずほ学園大規模改修工事 設計図

図面リスト

図番	図名(意匠図)	縮尺	図番	図名(電気設備・機械設備)	縮尺
A-01	図面リスト	——	E-01	電気設備工事特記仕様書	——
A-02	特記仕様書1	——	E-02	盤結線図	——
A-03	特記仕様書2	——	E-03	電灯結線図	——
A-04	特記仕様書3	——	E-04	電灯設備姿図	——
A-05	特記仕様書4	——	E-05	(改修後)電灯設備平面図	1/100
A-06	特記仕様書5	——	E-06	(改修前)電灯設備平面図	1/100
A-07	特記仕様書6	——	E-07	(改修後)コンセント設備平面図	1/100
A-08	案内図・配置図	1/100 ——	E-08	(改修前)コンセント設備平面図	1/100
A-09	仕上表1	——	E-09	(改修後)弱電設備平面図	1/100
A-10	仕上表2	——	E-10	(改修前)弱電設備平面図	1/100
A-11	(改修前)平面図	1/100	E-11	(改修後)自動火災報知設備平面図	1/100
A-12	(改修後)平面図	1/100	E-12	(改修前)自動火災報知設備平面図	1/100
A-13	(改修前後)立面図・断面図	1/100	E-13	(改修後)幹線設備平面図	1/100
A-14	(改修前後)矩形図	1/20	E-14	(改修前)幹線設備1階平面図	1/100
A-15	(改修前)会議室・面談室詳細図	1/50	E-15	(改修後)床暖房設備平面図	1/100
A-16	(改修後)指導室・面談室詳細図	1/50			
A-17	(改修前後)玄関詳細図	1/50			
A-18	(改修前後)厨房・指導室詳細図	1/50	M-01	機械設備工事特記仕様書1	——
A-19	(改修前後)特別指導室詳細図	1/50	M-02	機械設備工事特記仕様書2	——
A-20	(改修前後)ホール詳細図	1/50	M-03	(改修後)新設機器表	——
A-21	(改修前後)職員室詳細図	1/50	M-04	(改修前)撤去機器表	——
A-22	(改修前後)多目的トイレ、更衣静養室 詳細図	1/50	M-05	(改修後)空調設備平面図	1/100
A-23	(改修前後)廊下(1)展開図	1/50	M-06	(改修前)空調設備平面図	1/100
A-24	外部倉庫、木製物置詳細図	1/50	M-07	(改修後)換気設備平面図	1/100、50
A-25	(改修前後)天井伏図	1/100	M-08	(改修前)換気・床暖房設備平面図	1/100
A-26	(改修前後)建具キープラン	1/100	M-09	床暖房仕様書	——
A-27	建具表1	1/50	M-10	(改修後)床暖房設備平面図	1/100
A-28	建具表2	1/50			
A-29	(仮)仮設計画図、外構図	1/100			







7	造作用単板積層材	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材	[6.5.2]
	施工箇所	厚さ(mm) 表面の化粧加工 防虫処理 間伐材等の適用	
8	床張り用合板等	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・普通合板	[6.5.2]
	施工箇所	厚さ(mm) 表面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用	
9	接着剤	接着剤は可塑性(難揮発性の可塑性を除く)が添付されていないものとする。 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 図示	[6.5.3][6.8.2][6.9.3][6.11.4.5]
	防虫・防蟻処理	・防蟻、防蟻処理が必要な樹種による製材及び集成材 適用部位：( ) ・薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 適用部位	[6.5.5]
11	軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 屋外(※25形) 19形) 屋内(※19形) 25形) 屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 ・適用しない 野縁受、吊りボルト及びビーンサートの間隔 図示 周辺部の端からの間隔 図示 野縁の間隔 図示 既存の埋込メインサート 使用する 使用しない あと施工アンカーの引抜き試験 行う(屋外の試験荷重： ) ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 図示 ・天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※改修標準仕様書6.6.4(h)(1)(2)による ・天井のふとところが3.0mを超える場合 補強方法 図示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 図示 補強方法 図示	[6.6.2~4]
	軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 ※改修標準仕様書6.7.3によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 スタッドの高さが5mを超える場合 図示	[6.7.3][6.7.1]
15	ビニル床シート	種類 JIS 記号 施工箇所 色柄 特殊機能 厚さ(mm) 備考	[6.8.2.3]
	発泡層のないもの	※FS(複層ビニル床シート) 厨房	
16	発泡層のあるもの	無地 帯電防止 ※2.0 ・マフパ柄 ※耐動荷重性 無地 防汚性 柄物 ※耐薬品性	
	工法	※熱溶接工法 突付け(施工箇所： ) 特殊機能 帯電防止 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は滞積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 <sup>10</sup> ~1×10 <sup>12</sup> Ω程度	

14	ビニル床タイル	JIS 記号 施工箇所 色柄 寸法 特殊機能 厚さ(mm) 備考	[6.8.2]
	・F T (複層ビニル床タイル)	無地 300×300 帯電防止 ※2.0 柄物 450×450 防汚性 2.5 3.0	
15	ビニル幅木	材質 軟質 硬質 高さ(mm) ※60・75 厚さ(mm) ※1.5以上	[6.8.2]
	ゴム床タイル	色柄 ( ) 厚さ(mm) 3.0 4.5 6.0 9.0 寸法(mm) ( )	[6.8.2]
17	カーベットの敷き	・織じゅうたん 種別 バイル形状 織り方 色柄等 帯電性 備考	[6.9.3~4][6.9.1]
	下敷き材	※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・タフテッドカーベットの バイル形状 バイル長さ(mm) 工法 帯電性 備考	
18	合成樹脂塗床	種別 施工箇所 寸法 総厚さ(mm) 備考	[6.10.2~3]
	・厚膜型塗床材 弾性ウレタン系塗床 ・厚膜型塗床材 1#ウレタン系塗床 ・薄膜型塗床材 (1#ウレタン系塗床) ・77ウレタン系塗床 (JIS K 5970) (1#ウレタン系塗床)	平場 ※市松敷き 模様流し 階段部分 ※模様流し 市松敷き 見切り、押え金物 適用する(材質、形状等 図示 ) 適用しない	
19	フローリング張り	種別 工法 樹種 厚さ(mm) 大きさ 仕上げ塗装 間伐材等の適用	[6.11.2~7]
	・フローリングボード1等	釘留め工法(根太張り) ※なら 15 板幅75 板長さ500以上 釘留め工法(直張り) ※なら 12以上 板幅75 板長さ300以上 接着工法 ※なら 12以上 板幅75 板長さ300以上	
20	畳敷き	種別 A種 B種 C種 D種(畳床：-KT-I -KT-II -KT-III -KT-K -KT-N) 下地の種類 標準仕様書 表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフワ) G) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスチレンを発生しないか、 発散が極めて少ない材料を使用したものとする。	[6.12.2]
	せっこうボード その他のボード張り	種類 JIS 記号 厚さ(mm)、規格等	[6.13.2~3]
21	天然木化粧複合フローリング	種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防湿処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用	[6.13.2~3]
	・天然木化粧複合フローリング	釘留め工法(根太張り) ※なら A種 適用する 塗装製品 釘留め工法(直張り) ※なら B種 適用しない 無塗装品 接着工法 ※なら 厚板 8以上 板幅 75以上 板長さ 900以上	
22	壁紙張り	壁紙の種類 紙 繊維 プラスチック 無機質 その他 防火種別 備考	[6.14.2~3]
	モルタル・プラスター面の下地調整 コンクリート・ALC面の下地調整 せっこうボード面の下地調整	※RB種 ※RB種 ※RB種	

23	モルタル塗り	吸水調整材は、改修工事標準仕様書表4.2.2.1による。 既製目地材 設ける 施工箇所 ( ) 形状(※図示 ) 床目地 設ける(工法 ※押し目地 ) 設けない	[6.15.3, 6]	
	タイル張り	伸縮調整目地の位置 床タイル (※縦、横とも4m以内ごと 図示 ) 床タイル以外 ( 図示 ) ・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの形状、寸法等	[6.16.2~4]	
24	タイル張り	標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り 行う 行わない 見本焼き 行う 行わない ・既製調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、 細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 ・接着剤による陶磁器質タイル張り タイルの形状、寸法等	[6.16.2~4]	
	セルフレベリング材 塗り	種類 せっこう系 セメント系 塗厚(mm) ( )	[6.17.2~3]	
25	フリーアクセス フロア	施工箇所 構法 寸法 高さ(mm) 耐震性能 所定荷重(N) 表面仕上げ材 備考	(20.2.2)	
	・床板式 ・支柱 調整式	500×500 1.0G・3,000 0.6G・5,000	・帯電防止床タイル ・タイル床タイル	
26	フリーアクセス フロア	・床板式 ・支柱 調整式	500×500 1.0G・3,000 0.6G・5,000	・帯電防止床タイル ・タイル床タイル
	・床板式 ・支柱 調整式	500×500 1.0G・3,000 0.6G・5,000	・帯電防止床タイル ・タイル床タイル	
27	可動間仕切	構造形式 構成基材の種類 総厚さ(mm) 表面仕上げ材 遮音性 防火性能	(20.2.3)	
	・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・パネル式 ・スタッドパネル式	鋼板 0.6 0.8 77%樹脂 壁紙張り	0 12 20 28 36	不燃
28	移動間仕切	構造形式 操作方法 圧接装置の操作方法 総厚さ(mm) 表面仕上げ材 遮音性	(20.2.4)	
	・平行方向移動式 ・二方向移動式	手動式 電動式 部分電動式	鋼板 焼付塗装 ・ハンドル式 ・壁紙張り	36未満 36以上
29	トイレブース	表面材の種類 脚部形状 ドアエッジ	(20.2.5)	
	・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・標準 ・R	アルミニウム製 ステンレス製 表面材と同材	



④ 仕上げ塗材仕上げ
※珪藻土(シルタッチティエラ(フジワラ化学)同等品)
※木部(ウッドコード2回塗(プラネットジャパン)同等品)
新規仕上塗材の種類
種類 呼び名 防火材料 仕上げの形状及び工法等

5 マステック塗材塗り
種別 ・ A種 ・ B種 [4.1.5][4.7.2][表4.7.1]

⑤ 1 改修工法
[5.1.3]
建具の種類 かぶせ工法 撤去工法 適用箇所
・アルミニウム製建具
・樹脂製建具
・鋼製建具
・鋼製軽量建具
・ステンレス製建具

2 防火戸
・適用する 適用箇所(・建具表による)
・適用しない

3 見本の製作等
[5.1.5]
建具見本の製作 ・行う(建具符号: ・行わない)
建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
・納まり等がわかる程度のもの
特殊な建具の仮組 ・行う(建具符号: ・行わない)

4 防犯建物部品
[5.1.7]
・適用する( ) 適用箇所(・建具表による)
・適用しない

⑥ アルミニウム製建具
[5.2.2, 4, 5][表5.2.2]
性能等級
外部に面する建具 ・A種(建具符号:・建具表による)
・B種(建具符号:・建具表による)
・C種(建具符号:・建具表による)
防音ドアセット,防音サッシ
断熱ドアセット,断熱サッシ
耐震ドアセット

枠の見込み寸法 ・建具表による
表面処理
外部に面する建具 ・B-1種 ・B-2種
被膜等の種類(※改修標準仕様書表5.2.2による)
着色(・アンバー ・ブロンズ系 ・ブラック系 ・ｽﾗﾝｸﾞｸﾗｰ)
・C-1種 ・C-2種
被膜等の種類(※改修標準仕様書表5.2.2による)
着色(・アンバー ・ブロンズ系 ・ブラック系 ・ｽﾗﾝｸﾞｸﾗｰ)

結露水の処理方法 ・図示
水切り板,せん板 ・図示

⑦ 網戸等
[5.2.3]
種類 材質 線径 網目
○防虫網 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製
○ステンレス(SUS316)製
・防鳥網 ステンレス(SUS304)線材 1.5mm 網目寸法15mm

6 樹脂製建具
[5.2.2][5.3.2~5]
性能等級
外部に面する建具 ・A種(建具符号:・建具表による)
・B種(建具符号:・建具表による)
・C種(建具符号:・建具表による)
防音ドアセット,防音サッシ
断熱ドアセット,断熱サッシ
耐震ドアセット

枠の見込み寸法 ・建具表による
表面色 ※標準色 ・特注色
水切り板,せん板 ・図示
ガラス ※複層ガラス

⑦ 鋼製建具
[5.2.2][5.4.2~4][表5.4.2]
性能等級
簡易気密型ドアセット
外部に面する建具の耐風圧性

8 鋼製軽量建具
[5.2.2][5.5.2~4]
性能等級
簡易気密型ドアセット
防音ドアセット,防音サッシ
断熱ドアセット,断熱サッシ
耐震ドアセット

9 ステンレス製建具
[5.2.2][5.4.2][5.6.2~4]
性能等級
簡易気密型ドアセット
外部に面する建具の耐風圧性

⑩ 木製建具
[16.7.2~4]
建具材の加工,組立時の含水率 ※B種
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外

⑪ 建具用金物
[5.7.2, 3]
金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5.7.1による
樹脂製建具に使用する丁番 ※改修標準仕様書表5.7.3による
握り玉,レバーハンドル,押板類,クレセントの取付位置 ・建具表による

⑫ 鍵
[5.7.4]
マスターキー ・製作する ・製作しない ・既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵 ※各室3本1組
錠箱 ・無 ・有

13 自動ドア開閉装置
[5.8.2, 3]
自動ドア 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止
・SSLD-1 ※改修標準仕様書表5.8.1による
・SSLD-2
・DSL-1
・DSL-2
・SMD-1 ※改修標準仕様書表5.8.2による
・SMD-2
・図示

14 自閉式上吊り引戸装置
[5.9.3]
性能 ※改修標準仕様書表5.9.1による

15 重量シャッター
[5.10.2, 3]
シャッターの種類 耐風圧強度
・一般重量シャッター 耐風圧強度( )N/m<sup>2</sup>
・外壁用防火シャッター 耐風圧強度( )N/m<sup>2</sup>
・屋内用防火シャッター
・屋内用防煙シャッター

16 軽量シャッター
[5.11.2~4]
開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用)
耐風圧強度( )N/m<sup>2</sup>
スラットの材質
・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)
めっき付着量(※Z06又はF06)
・JIS G 3322(塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板)
めっき付着量(※Z30)

17 オーバーヘッドドア
[5.12.2, 3]
セクション材料による区分 耐風圧区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・125 ※パラソク式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛
・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 めっき鋼板
・ファイバーグラスタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形 ・ステンレス鋼板
・50 ・パーテカル形

⑬ ガラス
[3.7][5.13.2~4][表5.13.1]
適用は以下によるほか,ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。
・合わせガラス
種類 構成種類 性能
・フロート合わせガラス ・フロート板合わせガラス ・I類
・熱線吸収,フロート板合わせガラス
・網入磨き合わせガラス ・網入磨き,フロート板合わせガラス ・II-1類・II-2類
・網入磨き,熱線吸収板合わせガラス

強化ガラス
材料板ガラスによる種類 種類 性能
○フロートガラス ○フロート強化ガラス ・I類○III類
○熱線吸収強化ガラス

熱線吸収板ガラス
品名 性能 色調
・熱線吸収フロート板ガラス ・1種・2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ
・熱線吸収網入磨き板ガラス

複層ガラス
品名 断熱性 日射熱遮へい性
・断熱複層ガラス ・1種 U1
・2種 U2
・3種 U-3-1 ・U-3-2
・日射熱遮へい複層ガラス ・4種 E4
・5種 E5

熱線反射ガラス
品名 日射熱遮へい性 耐久性
・熱線反射ガラス ・1種 A種
色調(・ブルー ・グレー) ・2種 A種・B種
・高性能熱線反射ガラス ・3種 B種
色調(・ブロンズ ・シルバー)

倍強度ガラス
材料板ガラスによる種類の名称 色調
・フロート倍強度ガラス
・熱線吸収倍強度ガラス ・ブルー ・グレー ・ブロンズ

ガラスの留め材及び溝の大きさ
建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製 ・シーリング材 ※改修標準仕様書表5.13.1による
・ガスケット ・図示
・グレイジングチャンネル形

鋼製及び鋼製軽量
・シーリング材 ※改修標準仕様書表5.13.1による
・図示

ステンレス製
・シーリング材 ※改修標準仕様書表5.13.1による
・図示

19 ガラスブロック
[5.13.5]
表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅(mm) 伸縮調整目地(mm) 防火性能
・正方形 ・125×125 80 ・ ・ ※8~15 外側 ※15以下 10~25 ・図示 ※無し・有り
・正方形 ・200×200 95 ・ ・ 内側 ※6以上
・長方形 ・320×320 95 ・ ・
・長方形 ・250×125 80 ・ ・
・長方形 ・320×160 95 ・ ・

曲面積みの曲率半径は,ガラスブロックの幅寸法の1.0倍以上とする。
壁用金属枠及び補強材 ・設ける(形状 ※図示)
力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)
寸法 ※径5.5mm
形状 ※はし二形状複筋及び単筋
化粧目地モルタルの色( )
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
形状 ・図示
形状 ・図示

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法
目地部の力骨の補強方法
※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示

⑭ ガラス用フィルム
※施工箇所は建具表による
名称 種類 日射遮断性能
○日射調整フィルム ◎ SC-1 ○SC-2 ・A ・B ・C
・ガラス飛散防止フィルム ・G1-1 ・G1-2
・GD-1 ・GD-2
品質 JIS A 5759 :2016 による

⑯ 内装改修工事
[6.1.3]
既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井,壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし,既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし,既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま ・図示

[6.2.2]
ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも)
・下地モルタルとも(・図示の範囲 ・除去範囲全て)
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは,4章外装改修工事による。
改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内

[6.3.2]
間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の補修 ・行う ・行わない)
・図示

[6.5.1]
表面仕上げの種類 適用箇所
・A種
○B種 会議室 新設壁
・C種

[6.5.2]
「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用
※2級
※A種・B種
※2級
※A種・B種

「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用
見え掛り面 ※上小節 ※A種・B種
見え掛り面以外 ※小節以上 ※A種・B種

「製材の日本農林規格」による広葉樹製材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用
※1等
※10%以下
※A種・B種
※1等
※10%以下
※A種・B種

⑰ 製材
[6.5.2]
「製材の日本農林規格」以外の製材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 間伐材等の適用
図示 Ⅱ-1級・Ⅱ-2級 造作材の場合(※A種・B種) ※A種・B種

「製材の日本農林規格」による代用樹種を使用できない箇所( )

[6.5.2]
ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
「集材材の日本農林規格」による造作用集材材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面の品質 間伐材等の適用
※1等・2等
※1等・2等
※1等・2等

「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材
施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用
※1等・2等
※1等・2等
※1等・2等

「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集材材
施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用
※15%以下

「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集材材
施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用
※15%以下

「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集材材
施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用
※15%以下

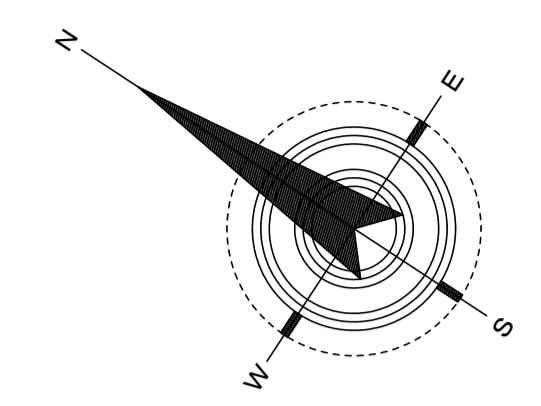
30	視覚障害者用床タイル	(11.2.2)(19.2.2)			
	施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	
31	階段滑り止め	(20.2.6)			
	材種	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド	
32	手すり				
	材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所備考	
33	黒板及びホワイトボード	(20.2.8)			
	種類	寸法(mm)	色彩	形式	
34	表示	(20.2.10)			
	区分	材質	寸法(mm)	厚さ(mm)	取付高さ(mm)
35	ブラインド	(20.2.12)			
	形式	操作方法	種類の材質	スラットの幅(mm)	寸法・取付箇所
36	ロールスクリーン	(20.2.13)			
	材種	操作方法	遮光性	寸法(mm)	取付箇所
④	カーテン	(20.2.14)			
	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所
38	カーテンレール	(20.2.14)			
	材種	※アルミニウム製及びアルミニウム合金の押し出し成形材			
39	ブラインドボックス及びカーテンボックス				
	薄型×深さ(mm)	・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示			
40	天井点検口				
	材種	寸法	形式	外枠	内枠

④	床点検口				
	材種	寸法	形式	備考	
42	くつふきマット				
	材種	受け枠	備考		
43	流しユニット				
	材種	寸法(mm)	備考		
44	鋼製書架及び物品棚				
	種類	規格等	JISによる種類		
45	屋内掲示板				
	枠の材質	※アルミニウム製			
46	洗面カウンター				
	材種	メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) ・人工大理石奥行き(mm) ・約450 ・約600			
47	防煙垂れ壁				
	固定式	材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
48	収納家具				
	材質、形状、寸法	※図示			
⑦	塗装改修工事				
	① 材料	[7.1.3]			
⑦	② 下地調整	[7.2.2～7]			
	③ 錆止め塗料塗り	[7.3.2～3]			

④	塗装				
	塗装の種類	塗装面	工程		
8	耐震改修工事	特記仕様書(改修その7～)による			
	⑨	環境配慮改修工事			
5	7ｽﾍﾞｽﾄ含有保温材等の除去(レベル2)	[9.1.1]			
	1	アスベスト含有建材の事前調査	アスベスト含有建材の事前調査		
11	ガラス改修工事	[9.4.2]			
	12	断熱・防露改修工事	[9.5.2～3]		
13	屋上緑化改修工事	[9.6.1.2.3]			

5	7ｽﾍﾞｽﾄ含有保温材等の除去(レベル2)	[9.1.4]		
	除去工法	※9.1.4(c)による(原形のまま、手ばらしが可能な場合)		
6	7ｽﾍﾞｽﾄ含有成形板の除去(レベル3)	[9.1.5]		
	除去対象範囲	※図示		
7	7ｽﾍﾞｽﾄ含有建築用仕上塗材等の除去	[9.1.3][9.1.4][9.1.5]		
	除去工法	( )		
8	リラクタントリーセラミックファイバーの処理	[9.2.1～3]		
	改修特記仕様書3章による			
10	外断熱改修工事	[9.3.2～4]		
	断熱材の種類	※図示		
11	ガラス改修工事	[9.4.2]		
	断熱・防露改修工事	[9.5.2～3]		
13	屋上緑化改修工事	[9.6.1.2.3]		
	植栽基盤及び材料	※図示		

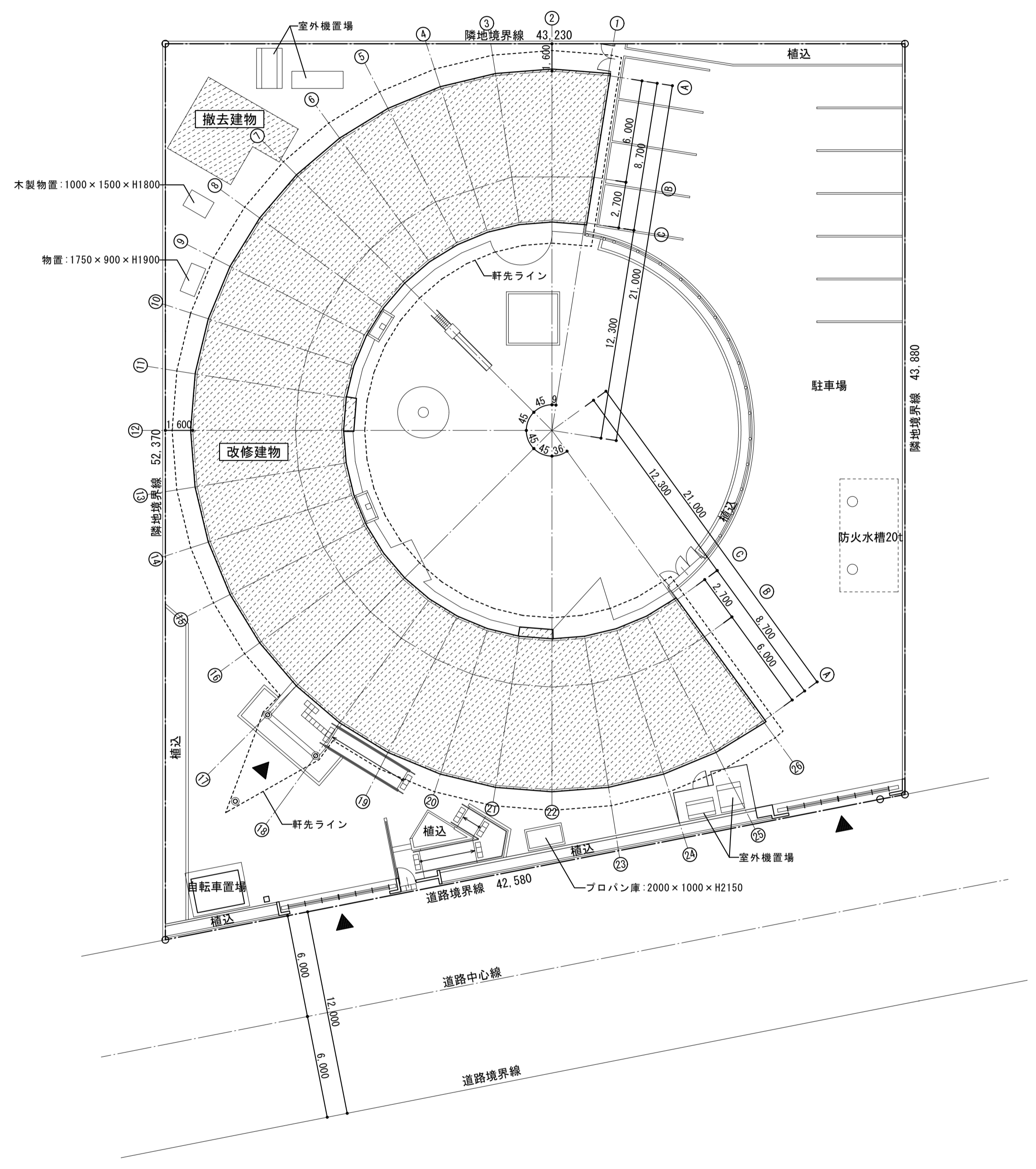
<p>14 透水性舗装改修工事 [9.7.2~7、9.7.9]</p> <p>適用範囲：歩道 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 路床</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)</td> <td>・図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>路床安定処理 ※添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 (・特号 ・1号) ・消石灰 (・特号 ・1号) ・固化材 (・セメント系 ・石灰系) 添加量 kg/m<sup>3</sup> (目標CBR ・3以上)</p> <p>・路床置換処理 ※図示 置換厚さ 置換材料の種類、品質※図示</p> <p>・不織布 (ジオテキスタイル) 単位面積質量 ・60g/㎡以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・9.8N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5 × 1<sup>-9</sup> cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行う (箇所) ・行わない 現場CBR試験 ・行う (箇所) ・行わない 安定土のCBR試験 ・行う ・行わない 路床締固度の試験 ・行う ・行わない 六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない</p> <p>路盤 路盤の構成及び厚さ ・図示 路盤材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・砕石</td> <td>・クラッシュラン ・粒度調整砕石</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・再生材</td> <td>・クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>透水性舗装構成及び厚さ ※図示 路盤材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表層</td> <td>・改質アスファルトI型</td> <td>・車路、駐車場</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・透水性用開粒度アスファルト</td> <td>・歩行者用通路</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・透水性コンクリート</td> <td></td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・透水性インターロッキングブロック</td> <td>・車路、駐車場 ・歩行者用通路</td> <td>80 60</td> </tr> <tr> <td></td> <td>敷砂層</td> <td>・砂 ・車路、駐車場 ・歩行者用通路</td> <td>・20 30</td> </tr> <tr> <td>フィルター層</td> <td>・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過率6%以下)</td> <td></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>アスファルト乳剤 (プライムコート) の施工は行わない。</p> <p>・透水性アスファルト舗装 ・ポーラスアスファルト混合物(13) ・開粒度アスファルト混合物(13) [表9.7.6]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ふるいの呼び名</th> <th colspan="2">ふるいの通過質量百分率 (%)</th> </tr> <tr> <th>車路、駐車場</th> <th>歩行者用通路</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19mm</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>13.2mm</td> <td>90~100</td> <td>95~100</td> </tr> <tr> <td>4.75mm</td> <td>11~35</td> <td>20~36</td> </tr> <tr> <td>2.36mm</td> <td>10~20</td> <td>12~25</td> </tr> <tr> <td>300μm</td> <td>-</td> <td>5~13</td> </tr> <tr> <td>75μm</td> <td>3~7</td> <td>3~6</td> </tr> <tr> <td>アスファルト量 (%)</td> <td>4~6</td> <td>3.5~5.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>基準値 [表9.7.7]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">基準値</th> </tr> <tr> <th>車路、駐車場</th> <th>歩行者用通路</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大粒径 (mm)</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安定度 (kN)</td> <td>3.43以上</td> <td>3.0以上</td> </tr> <tr> <td>フロー値 (1/100cm)</td> <td>-</td> <td>20~40</td> </tr> <tr> <td>空隙率 (%)</td> <td>20以上</td> <td>12以上</td> </tr> <tr> <td>動的安定度 (回/mm)</td> <td>3,000以上</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>透水係数 (cm/s)</td> <td></td> <td>1 × 10<sup>-9</sup>以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない</p> <p>・不織布 (ジオテキスタイル) 敷設位置 ※フィルター層と路床の間に敷設 ・図示</p> <p>舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの</p>	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]	・図示	・凍上抑制層	・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・図示	・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・図示	種別			・砕石	・クラッシュラン ・粒度調整砕石		・再生材	・クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石		・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]			・粒度調整鉄鋼スラグ [G]			・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]			区分	種類	部位	厚さ(mm)	表層	・改質アスファルトI型	・車路、駐車場	50		・透水性用開粒度アスファルト	・歩行者用通路	30		・透水性コンクリート		70		・透水性インターロッキングブロック	・車路、駐車場 ・歩行者用通路	80 60		敷砂層	・砂 ・車路、駐車場 ・歩行者用通路	・20 30	フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過率6%以下)		100	ふるいの呼び名	ふるいの通過質量百分率 (%)		車路、駐車場	歩行者用通路	19mm	100	100	13.2mm	90~100	95~100	4.75mm	11~35	20~36	2.36mm	10~20	12~25	300μm	-	5~13	75μm	3~7	3~6	アスファルト量 (%)	4~6	3.5~5.5	項目	基準値		車路、駐車場	歩行者用通路	最大粒径 (mm)	13		安定度 (kN)	3.43以上	3.0以上	フロー値 (1/100cm)	-	20~40	空隙率 (%)	20以上	12以上	動的安定度 (回/mm)	3,000以上	-	透水係数 (cm/s)		1 × 10 <sup>-9</sup> 以上		<p>(共通事項) 1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥 (油分を含む汚泥) として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2) 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。</p> <p>(提出書類等) 1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。</p> <p>(その他) 1) 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2) 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 3) 疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p> <p>※測定する ・測定しない</p> <p>測定する場合は以下による 測定室 ・監督員の指定する室 (3室：会議室、厨房、指導室) ・図示 測定時期 ※工事着手前及び完了後 検査項目、検査方法及び判定基準 1) 検査項目 以下ア)~カ) の6品目とする。 ア) ホルムアルデヒド イ) トルエン ウ) キシレン エ) エチルベンゼン オ) スチレン カ) パラジクロロベンゼン 2) 検査方法 ①標体の採取方法は吸引方式 (アクティブ法) または拡散方式 (パッシブ法) による。 ②ホルムアルデヒドについては以下のいずれかの方法による。 ・ジニトロフェニルヒドラジン誘導体面相吸着/溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法 (以下HPLC) により行うものとする。 ・パッシブ採取機器により採取し、HPLCまたはガスクロマトグラフ法 (以下GC) あるいはAHLT-吸光度法 (以下AHLT-Ab) のうち採取機器に適合した分析法による。 ③トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンについては、以下のいずれかの方法による。 ・固相吸着/溶媒抽出法、面相吸着/加熱脱着法、容器採取法の3種のいずれかを採用して採取し、ガスクロマトグラフ/質量分析法 (以下GC/MS) により行うものとする。 ・パッシブ採取機器により採取しGCまたはGC/MSのうち採取機器に適合した分析法による。 3) 判定基準 厚生労働省が定める指針値以下とする。(単量体の換算は25℃) ア) ホルムアルデヒドは、100μg/m<sup>3</sup> (0.08ppm) 以下であること。 イ) トルエンは、260μg/m<sup>3</sup> (0.07ppm) 以下であること。 ウ) キシレンは、870μg/m<sup>3</sup> (0.20ppm) 以下であること。 エ) エチルベンゼンは、3,800μg/m<sup>3</sup> (0.88ppm) 以下であること。 オ) スチレンは、220μg/m<sup>3</sup> (0.05ppm) 以下であること。 カ) パラジクロロベンゼンは、240μg/m<sup>3</sup> (0.04ppm) 以下であること。</p> <p>採取及び分析 採取及び分析する者は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者と する。 報告書 報告書は、監督員に2部提出するものとする。</p>	<p>5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)</p> <p>最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) ・図示による ( ) ・ 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ・無し ・有り 適用箇所 ( ) 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・無し ・有り 適用箇所 ( ) ・最小かぶり厚さに加える厚さ ( ) mm ・図示による ( )</p> <p>鉄筋相互のあき (機械式継手及び溶接継手を除く) (5.3.5)</p> <p>6 機械式継手 (5.3.5)</p> <p>使用箇所 ・図示による ( ) HI2建告第1463号に適合する性能 ・A級 (5.5.2) 機械式継手の種類及び工法 ( ) (5.5.2) 鉄筋相互のあき ・図示による ( ) (5.3.5) 品質の確認方法 ・図示による ( ) (5.5.2) 不良となった継手の修正方法等 ・図示による ( ) (5.5.2)</p> <p>7 溶接継手 (5.5.3)</p> <p>使用箇所 ・図示による ( ) HI2建告第1463号に適合する性能 ・A級 (5.5.3) 鉄筋相互のあき ・図示による ( ) (5.3.5) 継手の工法 ・図示による ( ) (5.5.3) 品質の確認方法 ・図示による ( ) ・標準仕様書1.2.2(b) 施工計画書の品質計画による (5.5.3) 不良となった継手の修正方法等 ・図示による ( ) ・標準仕様書1.2.2(b) 施工計画書の品質計画による (5.5.3)</p> <p>溶接技術者 ・標準仕様書5.5.3(f) による ・JIS Z 3882 (鉄筋の安全溶接技術規定) における試験方法及び判定基準) による技量を有する者</p> <p>8 各部配筋 (5.3.7)</p> <p>各部配筋 ・図示による ( ) 帯筋 ・図示による ( ) 壁開口部の補強 一般壁 ・図示による ( ) 耐力壁 ・図示による ( ) 梁貫通孔の補強 補強形式 ・図示による ( ) 梁貫通孔径 (各部記号含む) 及び配筋識別リスト ・図示による ( ) 柱主筋の柱頭部定着 ・図示による ( )</p> <p>9 圧接完了後の試験 (5.4.9)</p> <p>外観試験 ※行う (全数) (5.4.9) (5.4.10) 採取試験 超音波探傷試験 試験ロット : 1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。 試験の箇所数: 1ロットに対して30箇所とし、ロットから無作為に抜き取る。</p> <p>引抜試験 試験ロット : 1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を越えるときは200箇所ごととする。 試験の箇所数: 1ロットに対して (※3本・5本) とする。</p>	<p>4 骨材 (6.3.1)</p> <p>5 混和材料 (6.3.1)</p> <p>6 無鉄コンクリート (6.14.1)</p> <p>設計基準強度 ※18 (N/mm<sup>2</sup>) スランプ ※15cm又は18cm (6.14.1) セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(e) による箇所 ・図示による ( ) (6.2.1) (6.14.1) 7 ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.3) (6.8.2) (9.7.3) 目地寸法 ・標準仕様書9.7.3による ( ) (6.8.2) 間隔・位置・形状 ・図示による ( ) ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打ち増し厚さ部で処理する 8 コンクリートの仕上り (6.2.5) (6.8.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>9 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.2)</p> <p>打増し厚さ ・打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外壁タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による ( ) 10 型枠 (6.8.3) せき板の材料及び厚さ [G] (但し、グリーン購入法基本方針における「合板型枠」の備考3の表示のある合板型枠を用いる場合に限り) (6.8.3) ※コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 (6.8.3) ・MCR工法用シートの使用 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による ( ) (6.8.3) スリーブの材質 ※標準仕様書6.8.3(i) (2) (i) から (iv) による (6.8.3) 貯置期間及び取外し ※標準仕様書6.8.5による (6.3.2) 11 コンクリート強度の構造体強度補正 S=3 (月 日 ~ 月 日、月 日 ~ 月 日) S=6 (月 日 ~ 月 日) 12 コンクリートの単位水量測定 ・行わない ・行う 実施要領 (1) 単位水量の測定は、150㎡に1回以上及び指下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限值は、標準仕様書6.3.2(2) による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値 (以下、「設計値」という。) ±15kg/m<sup>3</sup> の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を越え±20kg/m<sup>3</sup> の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m<sup>3</sup> 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m<sup>3</sup> を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m<sup>3</sup> 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3) の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温・コンクリート温度等と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法 (電子レンジ法)、エアメータ法又は静電測定法による。また、静電容試験機は該当コンクリート製造所以外の機関とする。 13 軽量コンクリート (6.10.1) (表6.10.1) 種類 ・1種 ・2種</p>	種別	適用箇所	・A種	※図示による ( )	・B種	※図示による ( )	・C種	※図示による ( )	<p>11 コンクリートの種類及び強度 (6.2.1~6.2.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">気乾単位容積 質量 (t/m<sup>3</sup>)</th> <th colspan="2">スランプ</th> <th rowspan="2">適用箇所</th> </tr> <tr> <th>2.3程度</th> <th>・15又は18 ・18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・24</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 コンクリートの種別 (6.2.1)</p> <p>種別 ※Ⅰ類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) Ⅱ類 (JIS A 5308に適合したコンクリート) 3 セメント (6.3.1)</p> <p>種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 使用部位 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水加熱が7日目で352 J/g 以下、かつ28日目で402 J/g 以下のものとする ・高炉セメントB種 [G] 使用部位 (・1Fより下部 (立ち上がり部含む) ) ・フライアッシュセメントB種 [G] 使用部位 ( )</p>	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積 質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランプ		適用箇所	2.3程度	・15又は18 ・18	・24																									<p>12 その他</p> <p>① 条件明示</p> <p>※工事中は、図内は別建物の移動し、職員は居ながらの施工とする。 職員室の工事期間中はホールに機能を移すこととする。</p> <p>※参考仕様一覧 ※以下、各仕様品等は全て同等品以上とする。 外壁用遮土 フジワ化学/シルタッチェア 外部用OS Planet Japan/ウッドコート (1回塗) 内部床用OS Planet Japan/ウッドコート+クリアオイル (1回塗) 内部壁用OS Planet Japan/ウッドコート (1回塗) 内部壁用漆 Planet Japan/クイック&amp;イーザー-骨材無し (2回ローラー)</p>
種別	材料	厚さ(mm)																																																																																																																																																							
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]	・図示																																																																																																																																																							
・凍上抑制層	・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・図示																																																																																																																																																							
・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・図示																																																																																																																																																							
種別																																																																																																																																																									
・砕石	・クラッシュラン ・粒度調整砕石																																																																																																																																																								
・再生材	・クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石																																																																																																																																																								
・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]																																																																																																																																																									
・粒度調整鉄鋼スラグ [G]																																																																																																																																																									
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]																																																																																																																																																									
区分	種類	部位	厚さ(mm)																																																																																																																																																						
表層	・改質アスファルトI型	・車路、駐車場	50																																																																																																																																																						
	・透水性用開粒度アスファルト	・歩行者用通路	30																																																																																																																																																						
	・透水性コンクリート		70																																																																																																																																																						
	・透水性インターロッキングブロック	・車路、駐車場 ・歩行者用通路	80 60																																																																																																																																																						
	敷砂層	・砂 ・車路、駐車場 ・歩行者用通路	・20 30																																																																																																																																																						
フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過率6%以下)		100																																																																																																																																																						
ふるいの呼び名	ふるいの通過質量百分率 (%)																																																																																																																																																								
	車路、駐車場	歩行者用通路																																																																																																																																																							
19mm	100	100																																																																																																																																																							
13.2mm	90~100	95~100																																																																																																																																																							
4.75mm	11~35	20~36																																																																																																																																																							
2.36mm	10~20	12~25																																																																																																																																																							
300μm	-	5~13																																																																																																																																																							
75μm	3~7	3~6																																																																																																																																																							
アスファルト量 (%)	4~6	3.5~5.5																																																																																																																																																							
項目	基準値																																																																																																																																																								
	車路、駐車場	歩行者用通路																																																																																																																																																							
最大粒径 (mm)	13																																																																																																																																																								
安定度 (kN)	3.43以上	3.0以上																																																																																																																																																							
フロー値 (1/100cm)	-	20~40																																																																																																																																																							
空隙率 (%)	20以上	12以上																																																																																																																																																							
動的安定度 (回/mm)	3,000以上	-																																																																																																																																																							
透水係数 (cm/s)		1 × 10 <sup>-9</sup> 以上																																																																																																																																																							
種別	適用箇所																																																																																																																																																								
・A種	※図示による ( )																																																																																																																																																								
・B種	※図示による ( )																																																																																																																																																								
・C種	※図示による ( )																																																																																																																																																								
設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積 質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランプ		適用箇所																																																																																																																																																					
		2.3程度	・15又は18 ・18																																																																																																																																																						
・24																																																																																																																																																									
<p>株式会社片測設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(8)第631号</p>	<p>一級建築士 No.107472 片測重幸</p>			<p>工事名 市立みずほ学園大規模改修工事 No A-07 図面名 特記仕様書6 縮尺 A1:1/一 日付 A3:1/一 2018.11.30</p>																																																																																																																																																					



計画敷地：富士見市みどり野南2-1



案内図 S=1/10000



配置図 S=1/200

外部仕上表

棟	部 位		仕 上
本 体	大屋根	改修前	構造用合板張りt12張下地、ステンレスシーム溶接工t0.4 SUS304露出
		改修後	既存のまま
	外壁（外回り）	改修前	構造用合板張りt12張下地、モルタル塗りt25+珪藻土仕上げ 一部：木製フレーム+強化FIXガラス
		改修後	珪藻土塗替 木製フレーム：OS塗替
	外壁（園庭側）	改修前	木製フレーム+強化FIXガラス （木製建具及びアルミ建具）
		改修後	木製フレーム：OS塗替
	巾木（根回り）	改修前	コンクリート打放し補修仕上げ 付土台：スギ120×40 キシラデコール
		改修後	コンクリート打放し補修仕上げ：既存のまま 付土台：OS塗替
	庇	改修前	鼻先：木製 OF 軒天：天井用スギ板t12 OF
		改修後	OS塗替
	軒種	改修前	硬質塩ビ製w120
		改修後	既存のまま
	クテ種	改修前	硬質塩ビ製80φ（支持金物#1200）
		改修後	既存のまま
	玄関車寄庇	改修前	柱：スギ面き丸太 屋根：屋根用ステンレス t0.4 軒天：スギ板t12張 OF
改修後		柱：OS塗替 軒天：OS塗替	
ポーチ	改修前	床：磁器質タイル100角貼 天井：スギ板強t12 OF	
	改修後	床：既存のまま 天井：OS塗替	
木製テラス	改修前	ヒノキ板t18 WP	
	改修後	既存のまま	
別棟	外部倉庫	改修前	別紙参照
		改修後	全撤去・解体

特記事項（共通事項）

- 特記なき限り使用材料は、全てF☆☆☆☆品とする。
- 特記なき既存家具等は、一時移動再設置とする。
- モルタル塗は、特記なき限り金ゴテ仕上げとする。
- SUS部材は、SUS304とし、仕上は特記仕様による。（特記なき限りH1L仕上）
- ビニル床シートは、溶接工法とし、立上り部は全てシールを施す。
- ボード類はテーパーボードによるジョイントレス工法とする。また、出隅部はコーナートリートメントパテ仕上げとする。
- 軽鉄下地のボード壁は、仕上ボードと捨張ボードのジョイント位置をずらす。
- 便所、湯沸室等の水廻りに使用する石膏ボードは耐水ボードとする。
- 天井点検口は目地タイプとし設置される室の天井仕上材と同材仕上とする。
- 設備図に記載のない既存設備配管及び盤類は、他の鉄部と同様に下地処理の上、鎮止め、SOP塗替（見え掛り部分）とする。
- 鉄部について下地処理はR目種とする。
- 木製額縁、枠等は米ツガ同等品とする。
- 内装仕上は準不燃材料以上とする。
- 水廻りに使用する長尺塩ビシートはノンスリップ型とする。
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 

凡 例

記 号	名 称
P B	石膏ボード
F B	フレキシブルボード
S O P	合成樹脂適合ペイント
E P-G	つや有り合成樹脂エマルションペイント（3～5分ツヤ）
(A) E P	水性特殊特殊アクリル塗料
V E	塩化ビニル樹脂エナメル
C L	クリアラッカー
O S	オイルステン
O S C L	オイルステンクリアラッカー
O S V (W)	オイルステインワニス
P U	ポリウレタン樹脂塗装（2液性）
F E	フタル酸ペイント
W P	木材保護塗料
D P	耐光性塗料
O F	オイルフィニッシュ
S S	スチール製シャッター
S D	スチール製ドア
A D	アルミ製ドア
A W	アルミ製窓
A G	アルミ製ガリ
W D	木製ドア
W G	木製ガリ
S P	スチールパーティション
A P	アルミ製パーティション
T B	トイレブース
S L W	スライディングウォール
R D	ルーフトレイン
B D	バルコニードレイン
C B	コンクリートブロック

内部仕上表

室 名		床	巾 木	壁	天 井	天 高	室名札	カーテンBOX	備 考（ユニット家具等）	特記 ※無明用木製台座： 撤去・新設（23ヶ所）		
玄 関	改修前	踏込：磁器質タイル100角貼 大引き下地、ヒノキ線甲板t36張 OF	既存のまま 仕上撤去	木製H100 OF	下地調整 既存のまま	腰壁：PBt12.5張下地、スギ板t12張 OF(H900) 上壁：ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6	木下地、化粧PBt9.5張	既存のまま	2450~4184	-	-	《下地調整》下駄箱：職員用、子供用、父兄用 《既存のまま》二段手摺
	改修後	耐水合板t21捨張、スギ板t15張替 OSCL	OSCL塗替	OSCL塗替	既存のまま	腰壁：OSCL塗替 上壁：既存のまま	既存のまま	既存のまま	2450~4184	-	-	《OSCL塗替》下駄箱：職員用、子供用、父兄用
廊 下（1）	改修前	大引き下地、ヒノキ線甲板t36張 OF	仕上撤去	木製H100 OF	下地調整 既存のまま	腰壁：PBt12.5張下地、スギ板t12張 OF(H900) 上壁：ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6	木下地、化粧PBt9.5張	既存のまま	3450~4184	-	-	《既存のまま》木製二段手摺L1800×10 《下地調整》手洗い流し木部 《一時撤去》ロールブラインド×15
	改修後	耐水合板t21捨張、スギ板t15張替 OSCL	OSCL塗替	OSCL塗替	既存のまま	腰壁：OSCL塗替 上壁：既存のまま	既存のまま	既存のまま	3450~4184	-	-	《OSCL塗替》手洗い流し木部 《再取付》ロールブラインド×15
廊 下（2）	改修前	大引き下地、ヒノキ線甲板t36張 OF	仕上撤去	木製H100 OF	下地調整 既存のまま	腰壁：PBt12.5張下地、スギ板t12張 OF(H900) 上壁：ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6	木下地、化粧PBt9.5張	既存のまま	2450	-	-	-
	改修後	耐水合板t21捨張、スギ板t15張替 OSCL	OSCL塗替	OSCL塗替	既存のまま	腰壁：OSCL塗替 上壁：既存のまま	既存のまま	既存のまま	2450	-	-	-
職 員 室	改修前	乾式二重床、ヒノキ線甲板t18 OF	仕上撤去	木製H100 OF	下地調整 既存のまま	腰壁：スギ板t12張 OF(H900) 上壁：ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6	木下地、化粧PBt9.5張	既存のまま	2450~3450	既存のまま	下地調整	-
	改修後	スギ線甲板t18張替 OSCL	OSCL塗替	OSCL塗替	既存のまま	腰壁：OSCL塗替 上壁：既存のまま	既存のまま	既存のまま	2450~3450	既存のまま	OS塗替	-
特 別 指 導 室	改修前	乾式二重床+床暖房用下地、(床暖房)スギ板t15張 OF	下地共撤去	木製H100 OF	下地調整 既存のまま	腰壁：スギ板t12張 OF(H900) 上壁：ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6	木下地、化粧PBt9.5張	既存のまま	2450~3450	既存のまま	下地調整	《既存のまま》鏡、掲示板、木製二段手摺、助木、SUS製フック、天井吊り透光カーテン 《下地調整》収納棚、おもちゃ入れ
	改修後	床暖房部：乾式二重床+耐水合板t12捨張+（床暖房t12）、スギ板t15張替 OSCL その他：乾式二重床+耐水合板t12+t12捨張、スギ板t15張替 OSCL	OSCL塗替	OSCL塗替	既存のまま	腰壁：OSCL塗替 上壁：既存のまま	既存のまま	既存のまま	2450~3450	既存のまま	OS塗替	《OSCL塗替》収納棚、おもちゃ入れ
指 導 室（1～3）	改修前	乾式二重床+床暖房用下地、(床暖房)スギ板t15張 OF	下地共撤去	木製H100 OF	下地調整 既存のまま	腰壁：スギ板t12張 OF(H900) 上壁：ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6	木下地、化粧PBt9.5張	既存のまま	2450~3450	既存のまま	下地調整	《既存のまま》掲示板 《下地調整》収納棚1、2
	改修後	床暖房部：乾式二重床+耐水合板t12捨張+（床暖房t12）、スギ板t15張替 OSCL その他：乾式二重床+耐水合板t12+t12捨張、スギ板t15張替 OSCL	OSCL塗替	OSCL塗替	既存のまま	腰壁：OSCL塗替 上壁：既存のまま	既存のまま	既存のまま	2450~3450	既存のまま	OS塗替	《OSCL塗替》収納棚1、2
ホ ー ル	改修前	乾式二重床、ヒノキ線甲板t18張 OF	仕上撤去	木製H100 OF	下地調整 既存のまま	腰壁：スギ板t12張 OF(H900) 上壁：ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6	木下地、化粧PBt9.5張	既存のまま	2450~4184	既存のまま	下地調整	《下地調整》木製ベンチ、ロールブラインド×6
	改修後	スギ線甲板t18張替 OSCL	OSCL塗替	OSCL塗替	既存のまま	腰壁：OSCL塗替 上壁：既存のまま	既存のまま	既存のまま	2450~4184	既存のまま	OS塗替	《OSCL塗替》木製ベンチ



株式会社 片瀨設計事務所  
一級建築士事務所 埼玉県知事登録(8)第631号

一級建築士 No 107472  
片瀨重幸

工事名 市立みずほ学園大規模改修工事

No A-09

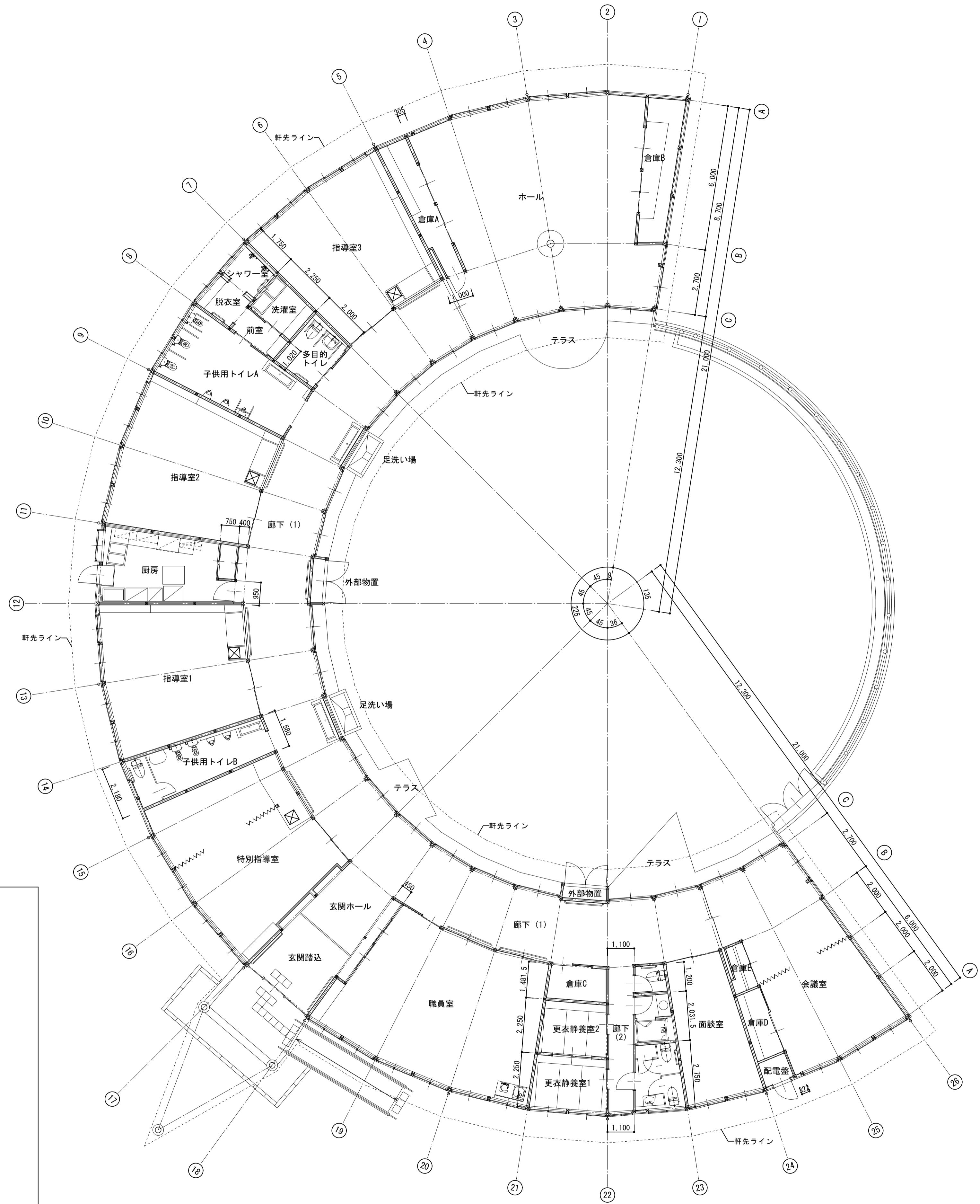
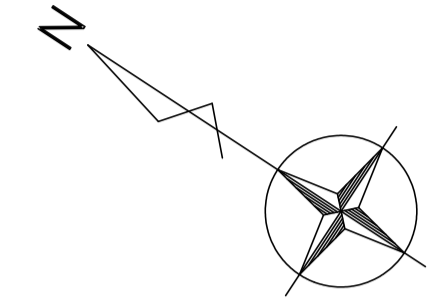
図面名 仕上表1

縮尺 A1:1/-  
A3:1/-

日付 2018.11.30

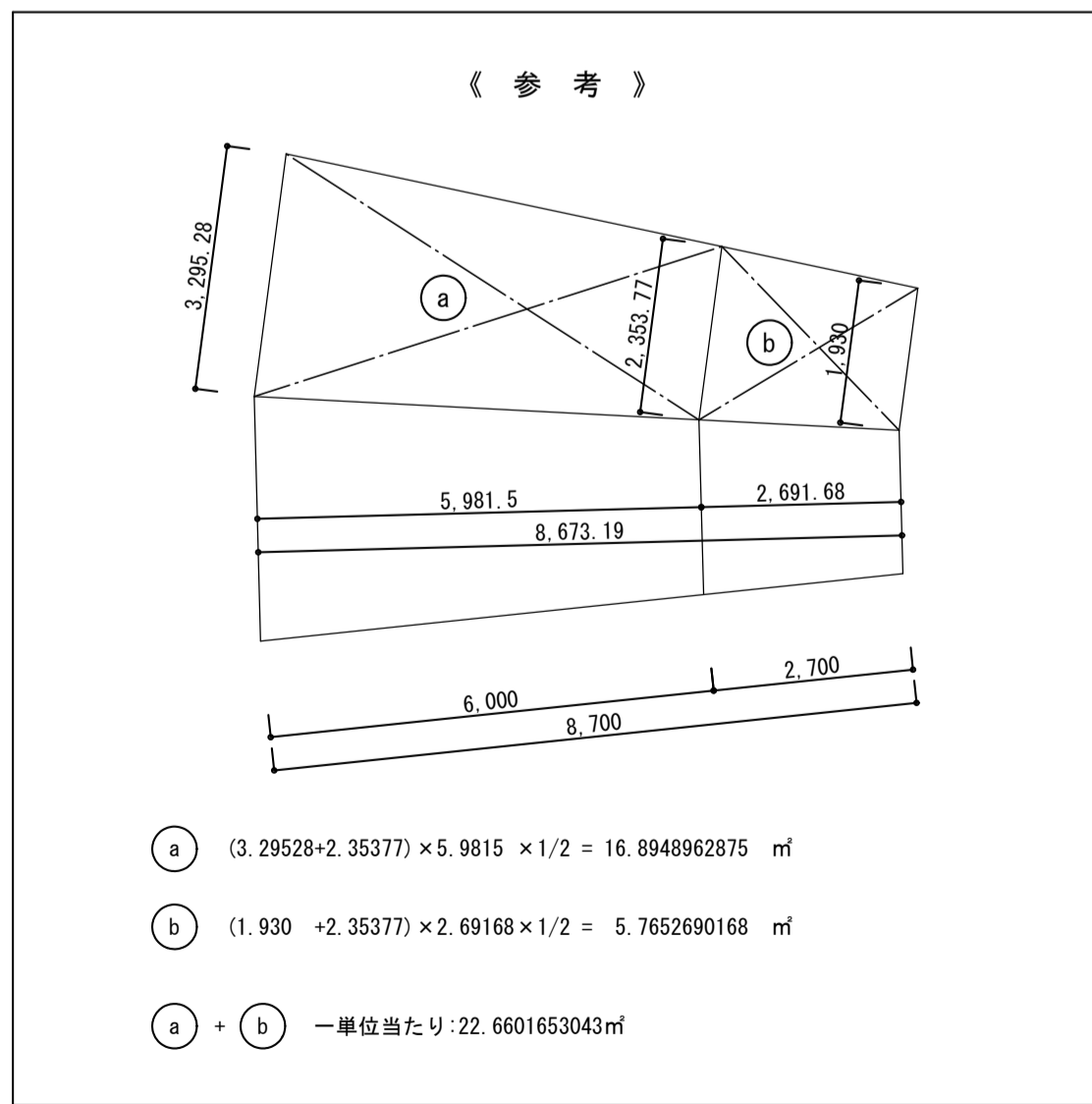
内部仕上表										
室名		床	巾木	壁	天井	天高	室名札	カーテンBOX	備考(ユニット家具等)	
(改修前)会議室 (改修後)指導室4	改修前	乾式二重床、ヒノキ縁甲板t18張 OF 下地共撤去	木製H100 OF 下地調整	腰壁：スギ板t12張 OF(H900) 上壁：ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6 下地調整 既存のまま	木下地、化粧PBt9.5張 仕上撤去	2450~4166	既存のまま	下地調整	(一時撤去)ロールブラインド×4、カーテン×1 (撤去)カーテン×1	
	改修後	床暖房部：乾式二重床+耐水合板t12捨張+(床暖房t12)、スギ板t15張替 OSCL その他：乾式二重床+耐水合板t12+t12捨張、スギ板t15張替 OSCL	OSCL塗替	腰壁：OSCL塗替 上壁：既存のまま 新設壁部：木製H100 OS	化粧PBt9.5張	3226~4166	既存のまま	OS塗替	(再取付)ロールブラインド×4、カーテン×1 (新設)カーテンW710×H1200×1、カーテンW2400×H1200×1	
(改修後)第二面接室	改修前									
	改修後	乾式二重床+耐水合板t12+t12捨張、スギ板t15張替 OSCL	OSCL塗替 新設壁部：木製H100 OS	腰壁：OSCL塗替 上壁：既存のまま 新設壁部：木軸壁、PBt12.5張 EP	化粧PBt9.5張	2450~3226	-	OS塗替	-	
(改修後)倉庫F	改修前									
	改修後	乾式二重床+耐水合板t12+t12捨張、スギ板t15張替 OSCL	OSCL塗替 新設壁部：木製H100 OS	腰壁：OSCL塗替 上壁：既存のまま 新設壁部：木軸壁、PBt12.5張 EP	化粧PBt9.5張	2450~3226	-	OS塗替	-	
(改修前)談話室 (改修後)第一面接室	改修前	乾式二重床、スギ縁甲板t18張替 OSCL 仕上撤去	木製H100 OF 下地調整	腰壁：スギ板t12張 OF(H900) 上壁：ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6 下地調整 下地調整	木下地、化粧PBt9.5張 既存のまま	2500~3450	既存のまま	下地調整	-	
	改修後	スギ板t18張替 OSCL	OSCL塗替	腰壁：OSCL塗替 上壁：漆喰塗替	既存のまま	2500~3450	既存のまま	OS塗替	-	
更衣静養室(1)	改修前	乾式二重床、畳敷き スギ縁甲板t18張替 OSCL	既存のまま 既存のまま	畳寄せ 既存のまま	ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6 既存のまま	2450	既存のまま	既存のまま	-	
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	化粧PBt9.5張替	2450	既存のまま	既存のまま	-	
更衣静養室(2)	改修前	乾式二重床、畳敷き スギ縁甲板t18張替 OSCL	既存のまま 既存のまま	畳寄せ 既存のまま	ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6 既存のまま	2450	既存のまま	既存のまま	-	
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	化粧PBt9.5張替	2450	既存のまま	既存のまま	-	
厨房	改修前	乾式二重床+合板t12捨張、長尺リノリウムシートt2.5張 踏込・モルタル金ゴテ	既存のまま 既存のまま	木製H100 OF 既存のまま	耐水PBt12.5張下地、陶器質タイル100角貼 既存のまま	2500	既存のまま	-	(既存のまま)受け渡しハッチ	
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	化粧PBt9.5張替	2500	既存のまま	-	-	
子供用トイレ(A) (既存のまま)	改修前	乾式二重床、長尺リノリウムシートt2.5張 既存のまま	木製H100 OF 既存のまま	腰壁：スギ板t12張 OF(H900) 上壁：ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6 既存のまま 既存のまま	木下地、化粧PBt9.5張 既存のまま	2500	既存のまま	-	-	
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	2500	既存のまま	-	-	
子供用トイレ(B) (既存のまま)	改修前	乾式二重床、長尺リノリウムシートt2.5張 既存のまま	木製H100 OF 既存のまま	腰壁：スギ板t12張 OF(H900) 上壁：ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6 既存のまま 既存のまま	木下地、化粧PBt9.5張 既存のまま	2500	既存のまま	-	(既存のまま)大人用便所及び掃除用具入れ：ブースパネル	
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	2500	既存のまま	-	-	
多目的トイレ	改修前	乾式二重床、長尺リノリウムシートt2.5張 既存のまま	木製H100 OF 下地調整	腰壁：スギ板t12張 OF(H900) 上壁：ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6 下地調整 下地調整	木下地、化粧PBt9.5張 既存のまま	2500	既存のまま	-	-	
	改修後	既存のまま	OSCL塗替	腰壁：OSCL塗替 上壁：漆喰塗替	既存のまま	2500	既存のまま	-	-	
前室 (既存のまま)	改修前	乾式二重床、長尺リノリウムシートt2.5張 既存のまま	木製H100 OF 既存のまま	腰壁：スギ板t12張 OF(H900) 上壁：ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6 既存のまま 既存のまま	木下地、化粧PBt9.5張 既存のまま	2500	既存のまま	-	(既存のまま)木製収納棚	
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	2500	既存のまま	-	-	
洗濯室 (既存のまま)	改修前	乾式二重床、長尺リノリウムシートt2.5張 既存のまま	木製H100 OF 既存のまま	腰壁：コンクリート VP、一部耐水PBt12.5 EP 上壁：耐水PBt12.5 EP 既存のまま 既存のまま	木下地、耐水PBt12.5 EP 既存のまま	2500	既存のまま	-	(既存のまま)木製収納棚、洗濯機パン×2	
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	2500	既存のまま	-	-	
脱衣室 (既存のまま)	改修前	乾式二重床、長尺リノリウムシートt2.5張 既存のまま	木製H100 OF 既存のまま	腰壁：スギ板t12張 OF(H900) 上壁：ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6 既存のまま 既存のまま	木下地、耐水PBt12.5 EP 既存のまま	2450	既存のまま	-	(既存のまま)木製脱衣棚	
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	2450	既存のまま	-	-	
シャワー室 (既存のまま)	改修前	土間コンクリート下地、モザイクタイル25角貼 既存のまま	RC及びモルタル下地、陶器質タイル100角貼 既存のまま	腰壁：RC及びモルタル下地、陶器質タイル100角貼 上壁：スギ板t12張 OF 既存のまま 既存のまま	木下地、スギ板t12張 OF 既存のまま	2450	既存のまま	-	-	
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	2450	既存のまま	-	-	
女子トイレ (既存のまま)	改修前	乾式二重床、長尺リノリウムシートt2.5張 既存のまま	木製H100 OF 既存のまま	耐水PBt12.5張 EP 既存のまま	木下地、耐水PBt12.5張 EP 既存のまま	2500	既存のまま	-	(既存のまま)トイレブース	
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	2500	既存のまま	-	-	
男子トイレ (既存のまま)	改修前	乾式二重床、長尺リノリウムシートt2.5張 既存のまま	木製H100 OF 既存のまま	耐水PBt12.5張 EP 既存のまま	木下地、耐水PBt12.5張 EP 既存のまま	2500	既存のまま	-	-	
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	2500	既存のまま	-	-	
大人用シャワー脱衣室 (既存のまま)	改修前	乾式二重床、長尺リノリウムシートt2.5張 既存のまま	木製H100 OF 既存のまま	耐水PBt12.5張 EP 既存のまま	木下地、耐水PBt12.5張 EP 既存のまま	2500	既存のまま	-	(既存のまま)シャワーユニット0812、木製洗面台、タオル掛け	
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	2500	既存のまま	-	-	
倉庫(A) (既存のまま)	改修前	乾式二重床、複合フローリングt12張 既存のまま	木製H100 OF 既存のまま	PBt12.5張 既存のまま	木下地、PBt9.5張 既存のまま	2500	-	-	(既存のまま)木製棚	
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	2500	-	-	-	
倉庫(B) (既存のまま)	改修前	乾式二重床、複合フローリングt12張 既存のまま	木製H100 OF 既存のまま	PBt12.5張 既存のまま	木下地、PBt9.5張 既存のまま	2500	-	-	(既存のまま)木製棚	
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	2500	-	-	-	
倉庫(C) (既存のまま)	改修前	乾式二重床、複合フローリングt12張 既存のまま	木製H100 OF 既存のまま	PBt12.5張 既存のまま	木下地、PBt9.5張 既存のまま	2500	-	-	(既存のまま)木製棚	
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	2500	-	-	-	
倉庫(D)	改修前	乾式二重床、複合フローリングt12張 一部仕上撤去	木製H100 OF 一部撤去	PBt12.5張 一部撤去	木下地、PBt9.5張 一部下地共撤去	2500	-	-	(一部撤去)木製棚	
	改修後	スギ板t18張 OSCL	木製H100 OSCL	木下地、PBt12.5張	木下地、PBt9.5張	2500	-	-	(一部復旧)木製棚	
倉庫(E) (既存のまま)	改修前	乾式二重床、複合フローリングt12張 既存のまま	木製H100 OF 既存のまま	PBt12.5張 既存のまま	木下地、PBt9.5張 既存のまま	2500	-	-	(既存のまま)木製棚	
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	2500	-	-	-	

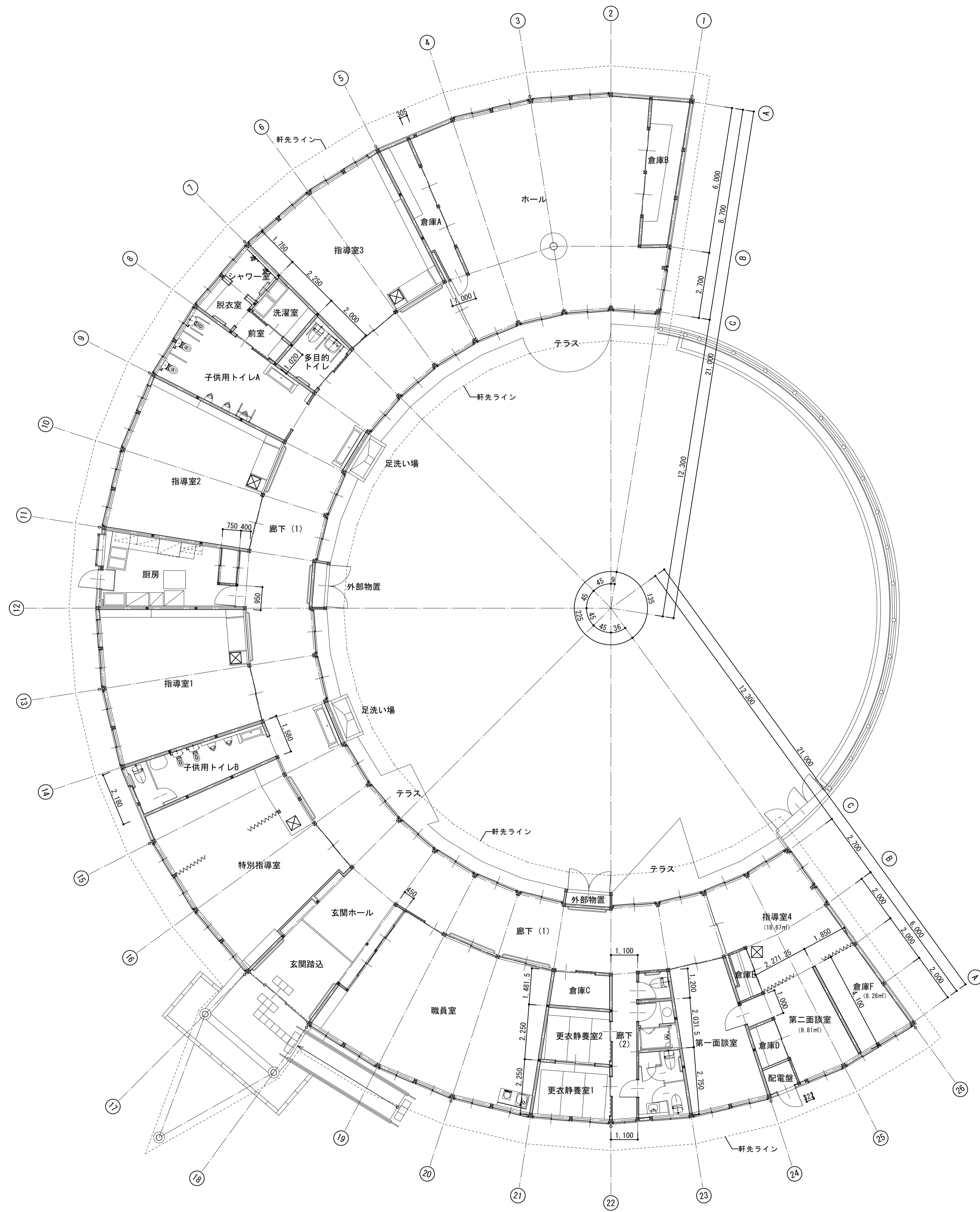
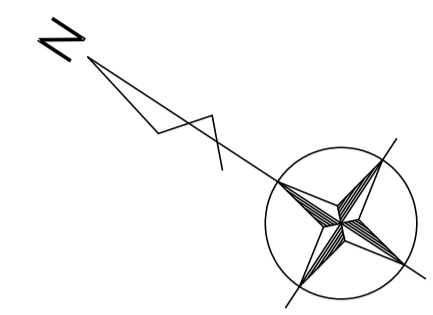




凡例:  床下点核口《撤去》

(改修前) 平面図 S=1/100

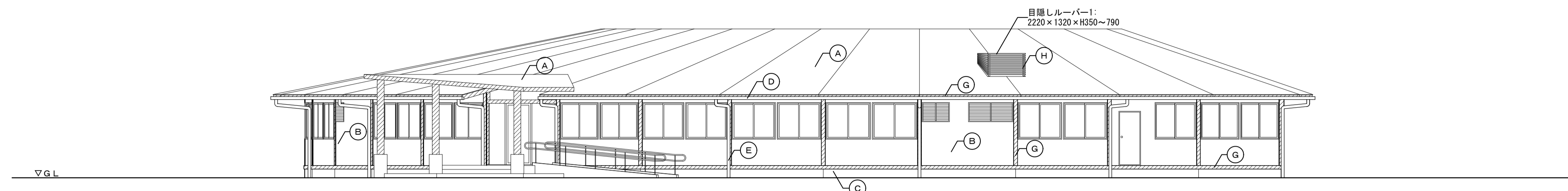




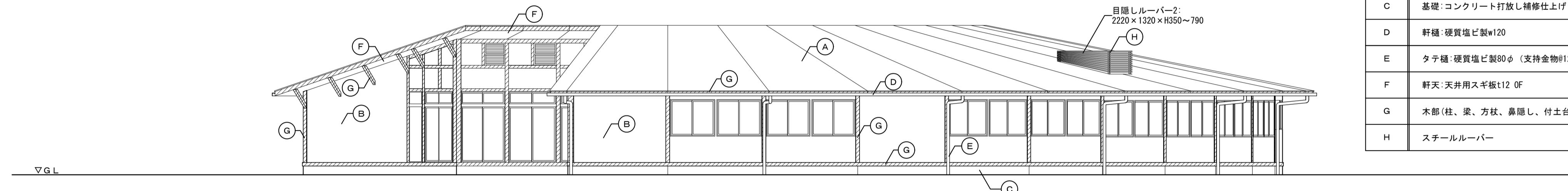
凡例:  床下点検口《新設》  
※設置位置は床暖房機器との調整による

(改修後) 平面図 S=1/100

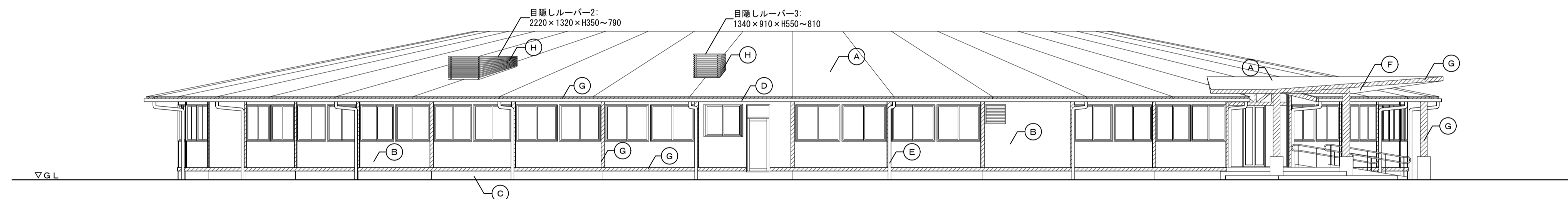




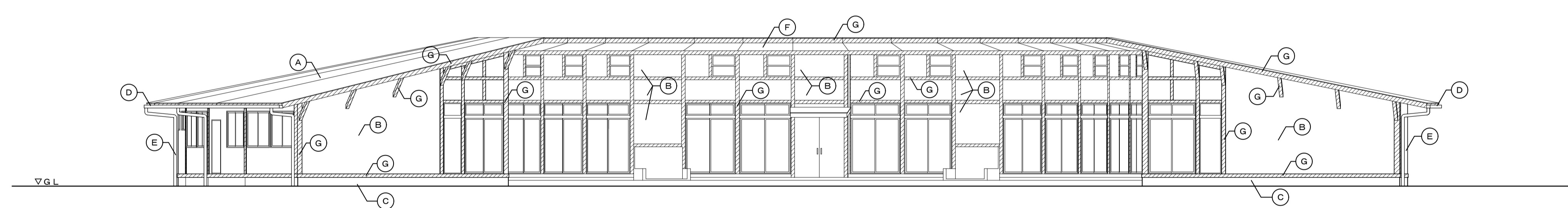
(改修前後) 西側立面図 S=1/100



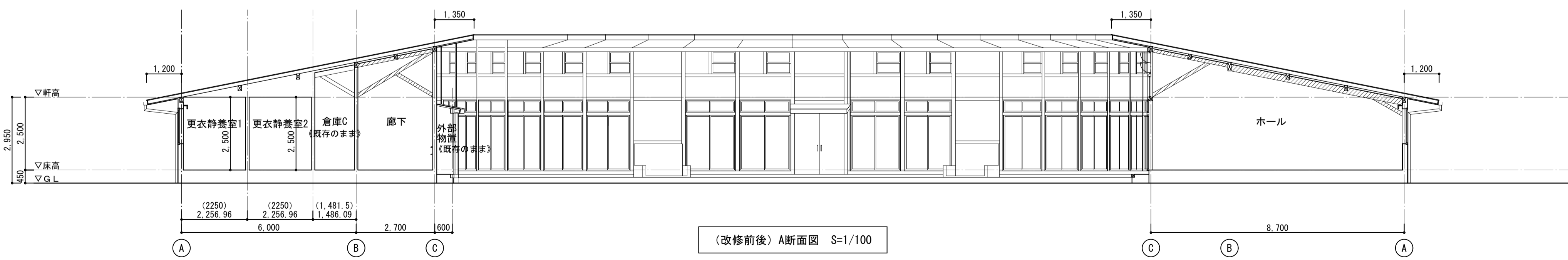
(改修前後) 東側立面図 S=1/100



(改修前後) 北側立面図 S=1/100



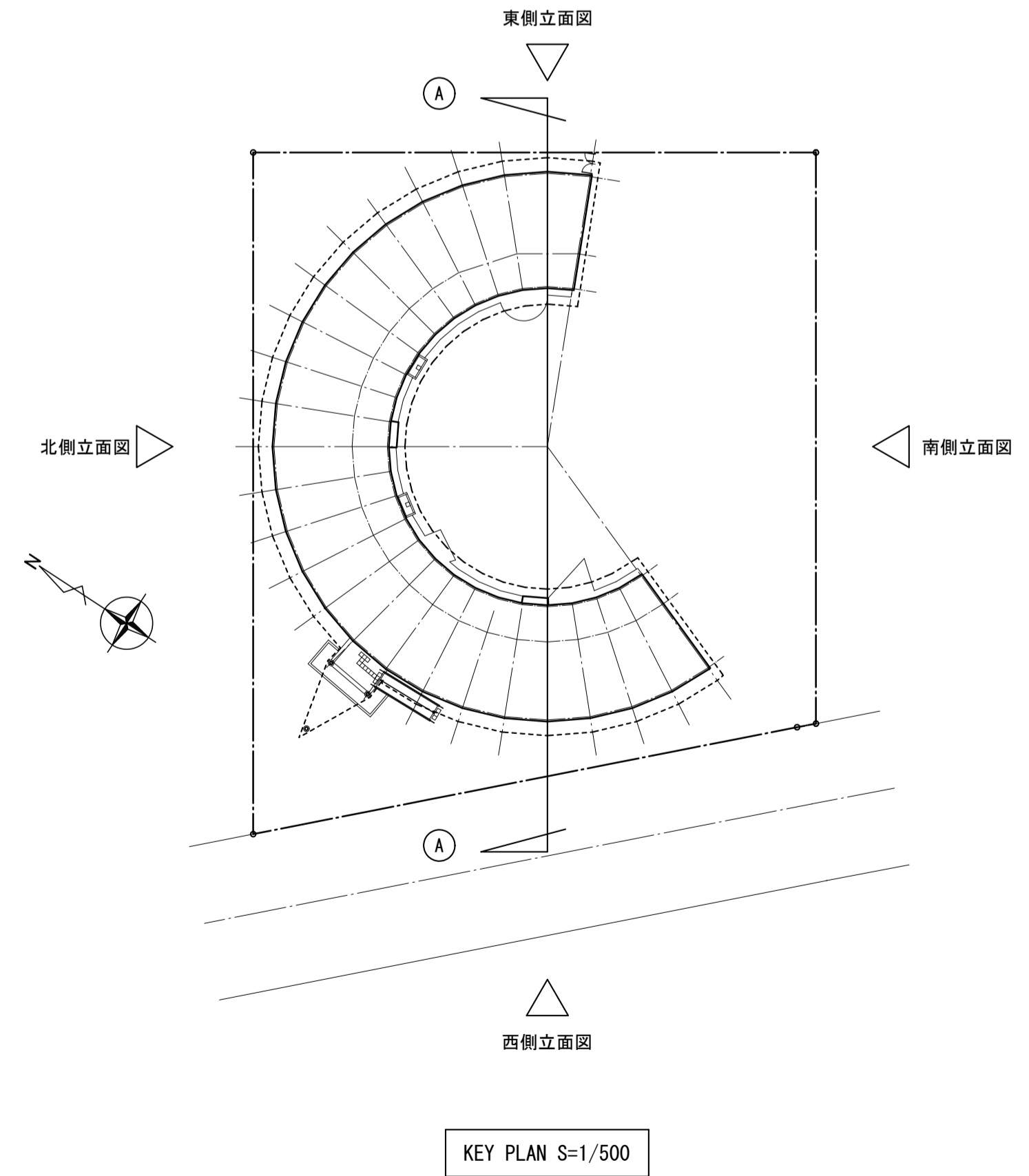
(改修前後) 南側立面図 S=1/100

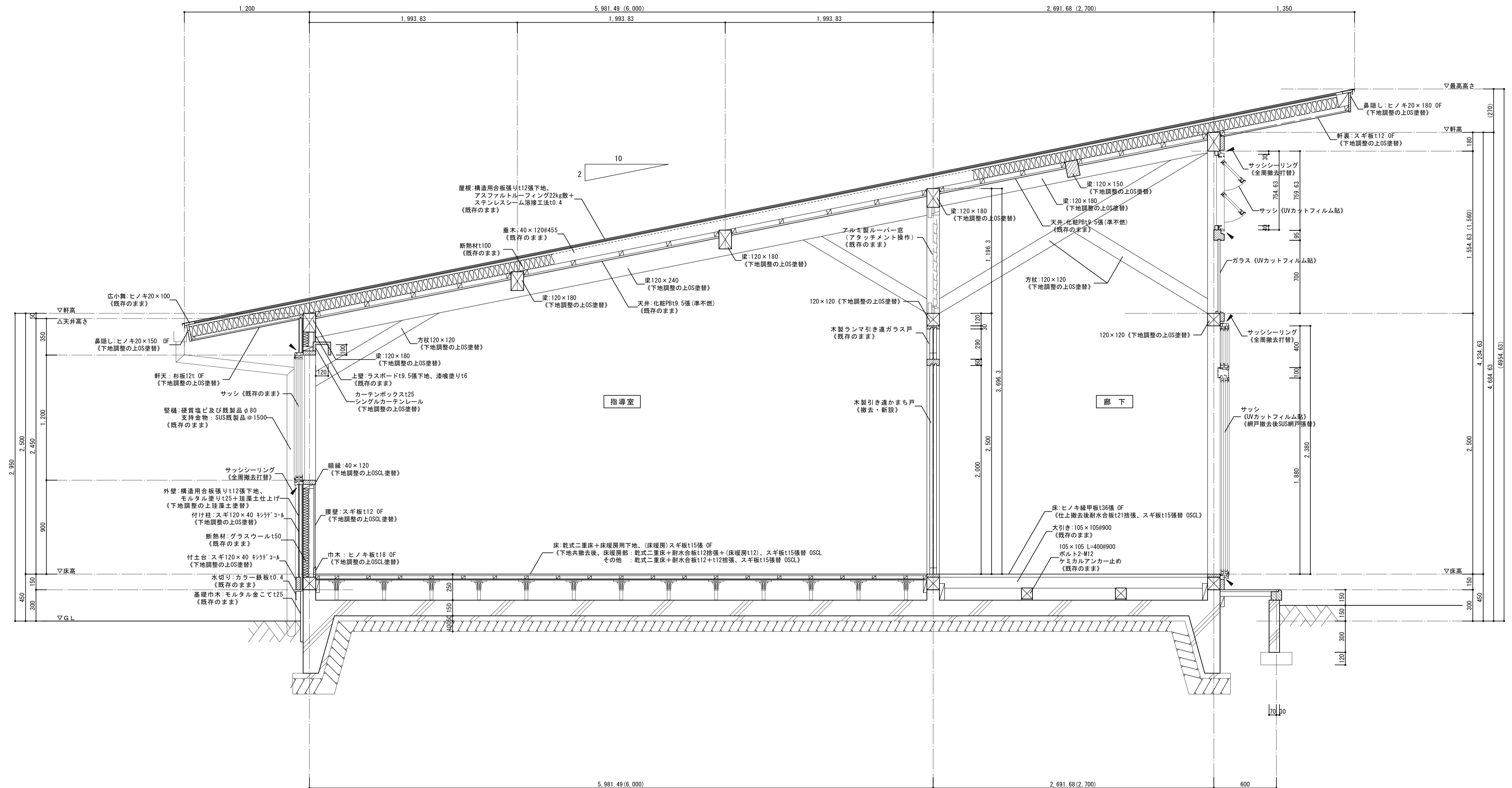


(改修前後) A断面図 S=1/100

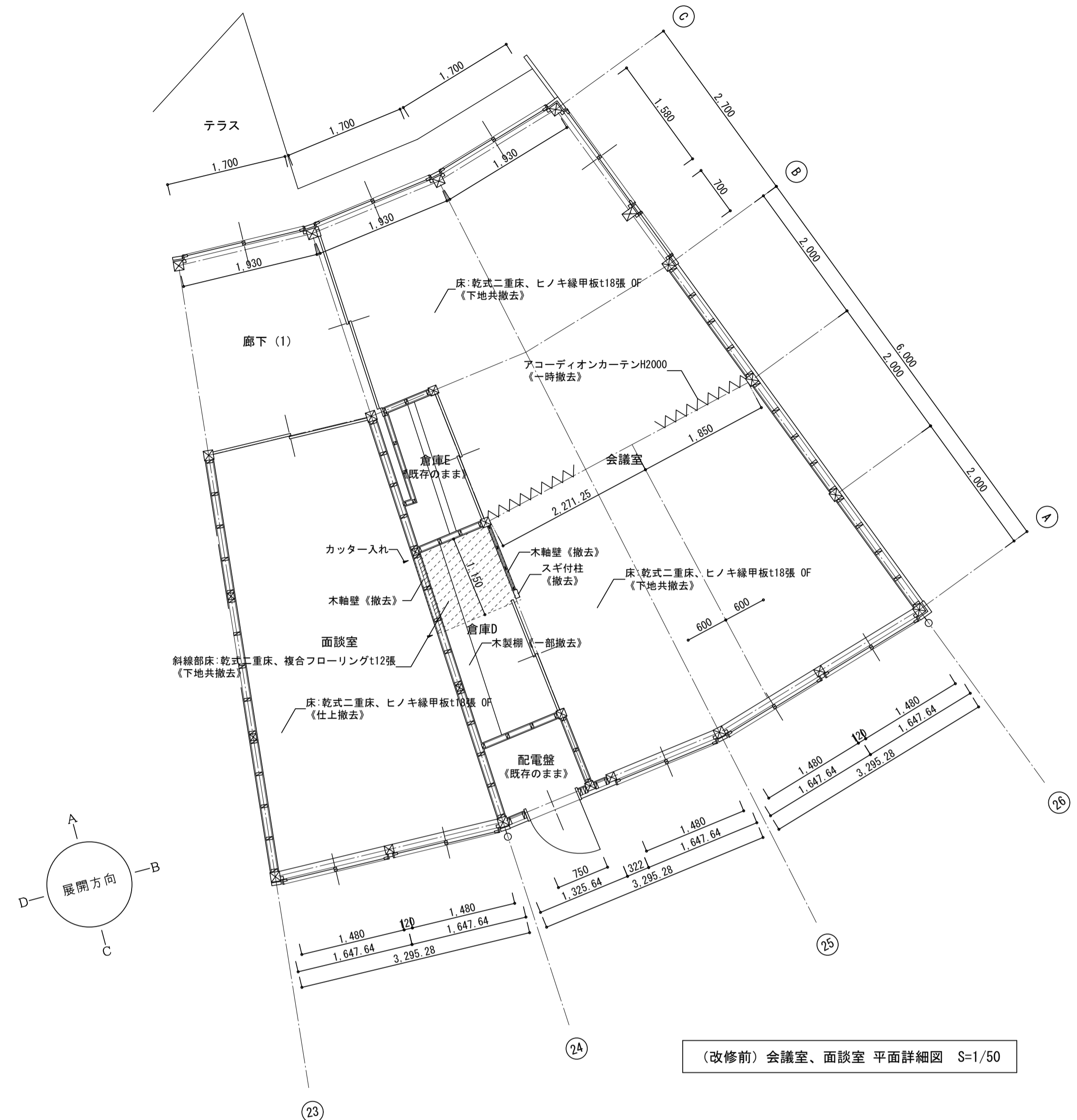
符号	改修前仕上	撤去又は処理	改修後仕上
A	屋根:構造用合板張りt12張下地、ステンレスシーム溶接工法t0.4 SUS304露出	既存のまま	既存のまま
B	外壁:構造用合板張りt12張下地、モルタル塗りt25+珪藻土仕上げ	下地調整 (高圧洗浄、シーラー処理)	珪藻土塗替
C	基礎:コンクリート打放し補修仕上げ	既存のまま	既存のまま
D	軒構:硬質塩ビ製w120	既存のまま	既存のまま
E	タテ柱:硬質塩ビ製90φ (支持金物#1200)	既存のまま	既存のまま
F	軒天:天井用スギ板t12 OF	下地調整 (RB種、外部下塗り用クリア塗布)	OS塗替
G	木部(柱、梁、方杖、鼻隠し、付土台、サッシ周り木製フレーム)	下地調整 (RB種、外部下塗り用クリア塗布)	OS塗替
H	スチールルーバー	下地調整	DP塗替

凡例: 木部塗替部分を示す



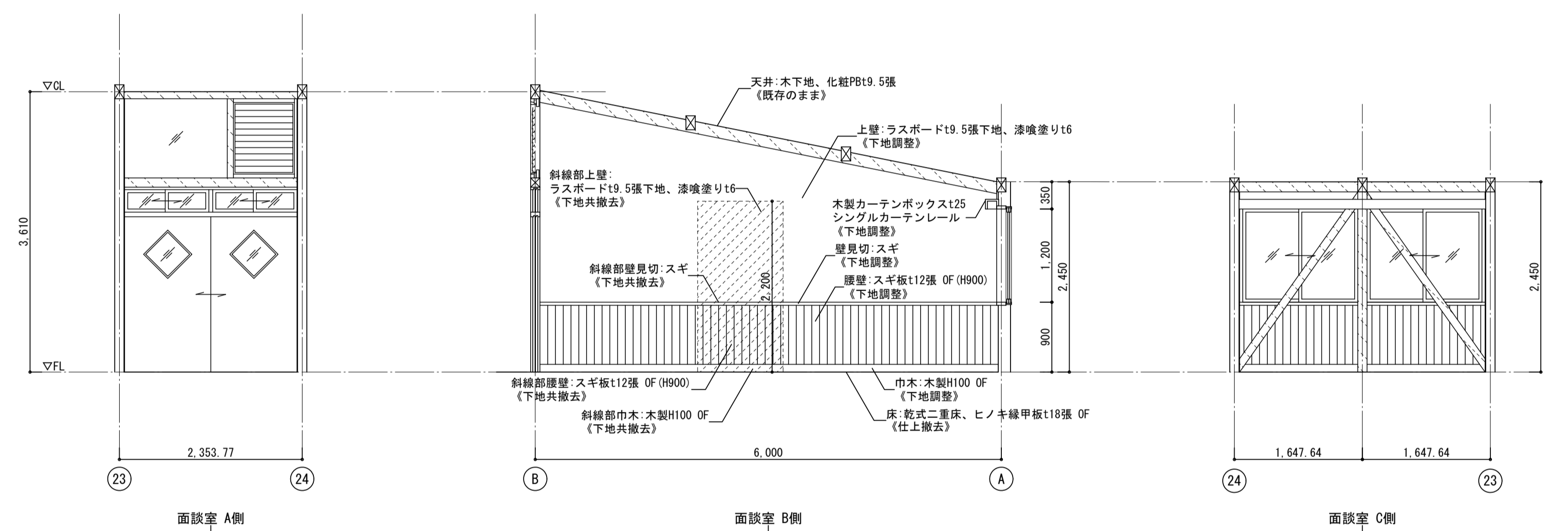


(改修前後) 矩形図 S=1/20

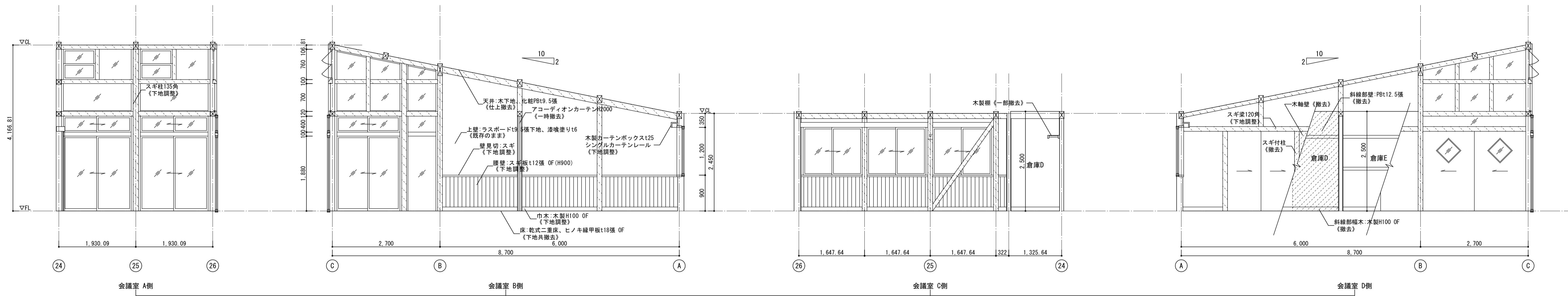


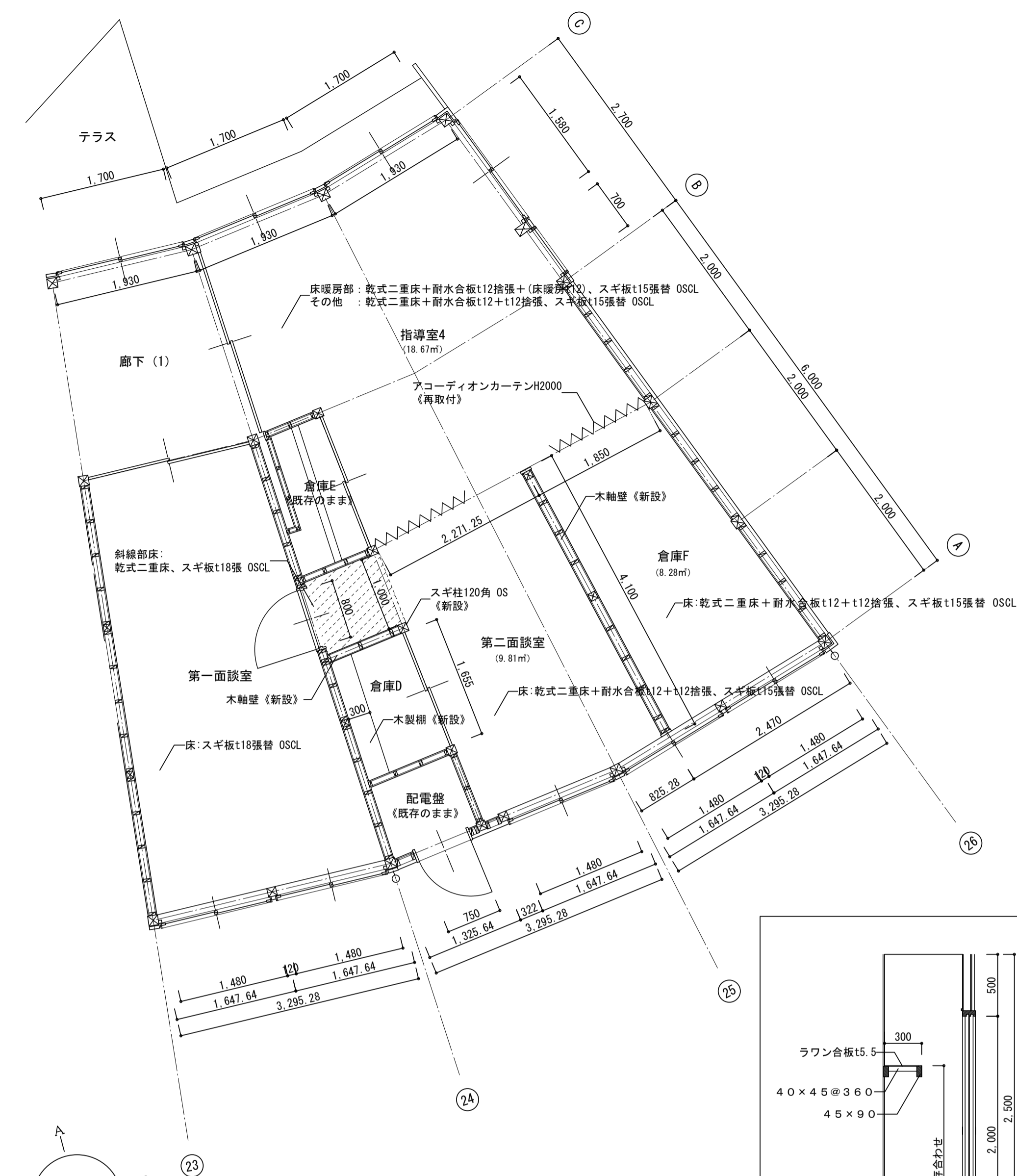
(改修前) 会議室、面談室 平面詳細図 S=1/50

仕上	会議室	面談室	倉庫 D
床	乾式二重床、ヒノキ縁甲板t18張 OF	乾式二重床、ヒノキ縁甲板t18張 OF	乾式二重床、複合フローリングt12張
巾木	木製H100 OF	木製H100 OF	木製H100 OF
壁	腰壁:スギ板t12張 OF(H900) 上壁:ラスポードt9.5張下地、漆喰塗りt6	腰壁:スギ板t12張 OF(H900) 上壁:ラスポードt9.5張下地、漆喰塗りt6	PBt12.5張
天井	木下地、化粧PBt9.5張	木下地、化粧PBt9.5張	木下地、PBt9.5張
備考	(一時撤去) ロールブラインド×4、カーテン×1 (撤去) カーテン×1		(一部撤去) 木製棚



凡例: 木部(構造体、木製フレーム等)塗替範囲  
(下地調整の上OS塗替)

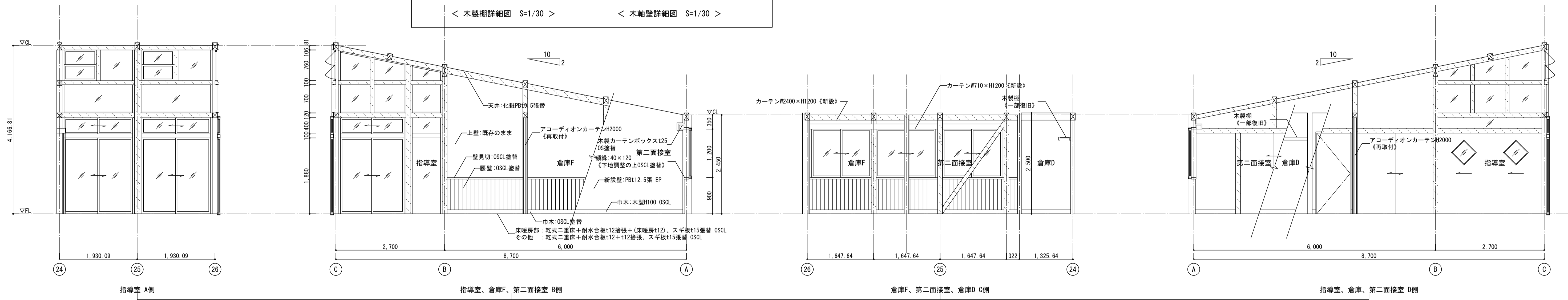
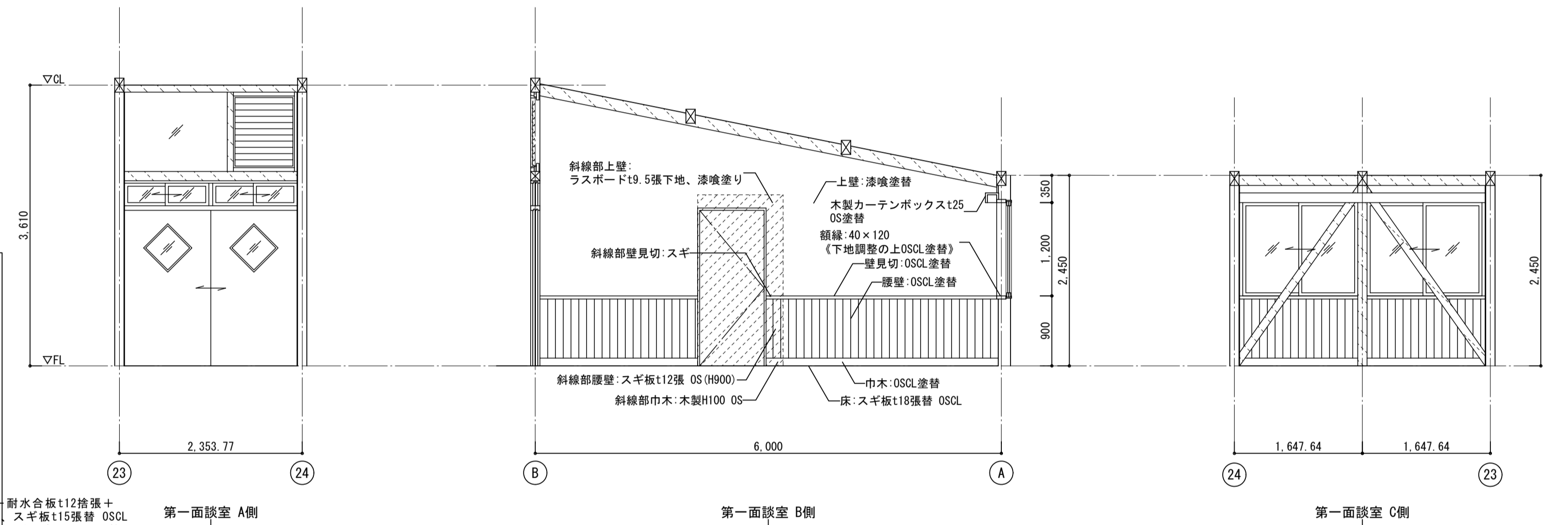
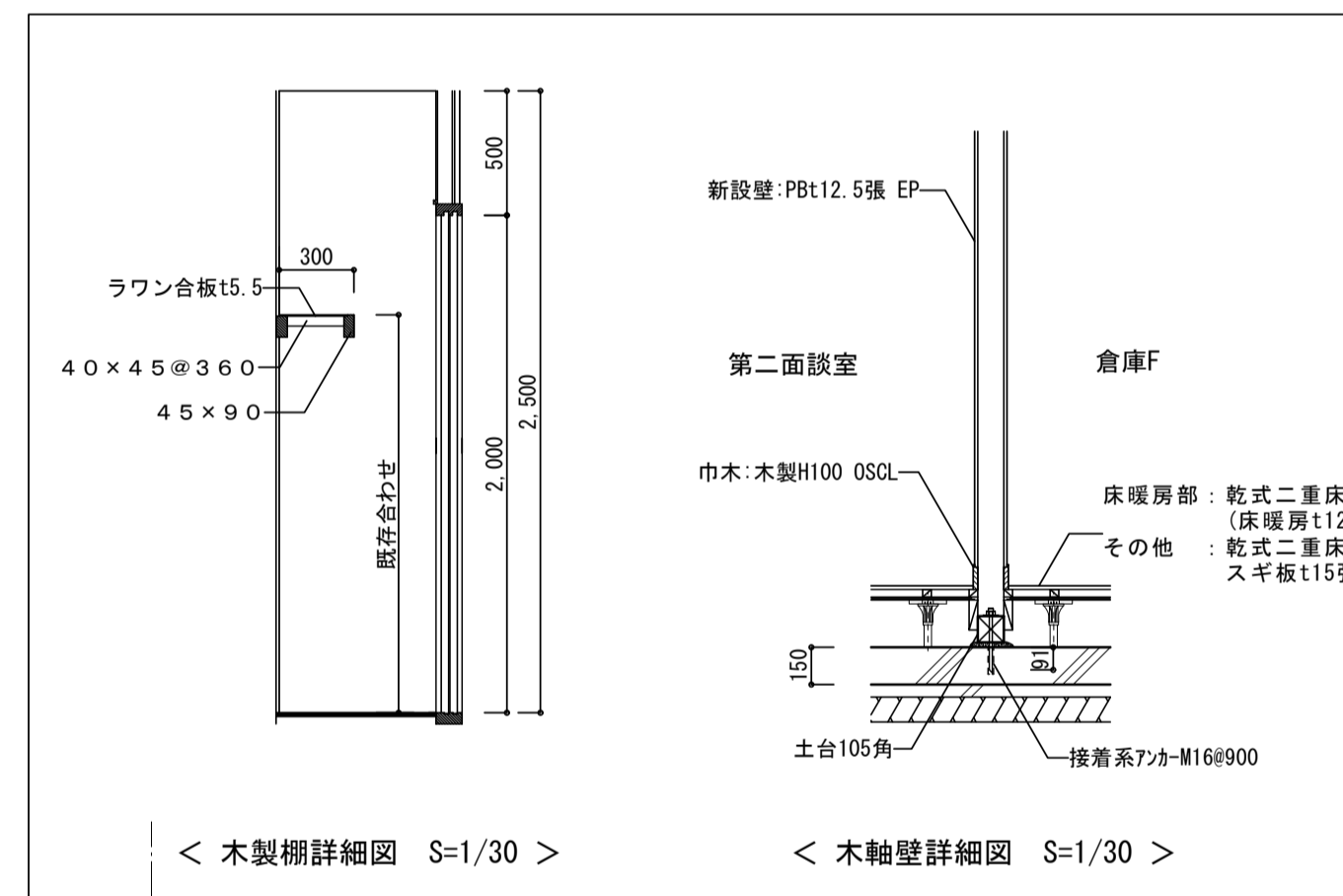


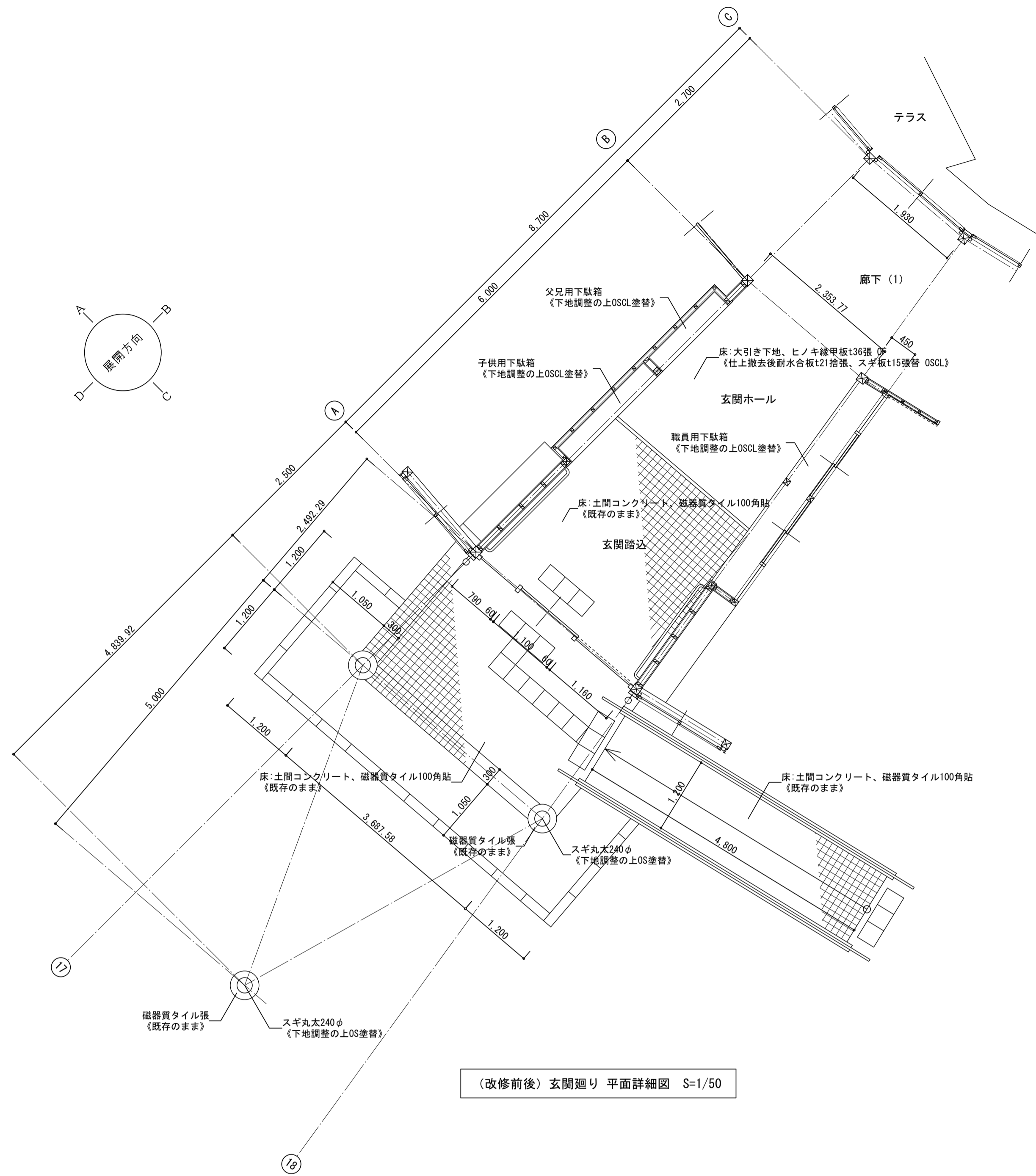


仕上	指導室4	第一面談室	倉庫D	第二面談室、倉庫F
床	床暖房部：乾式二重床+耐水合板t12捨張+(床暖房t12)、スギ板t15張替 OSCL その他：乾式二重床+耐水合板t12+t12捨張、スギ板t15張替 OSCL	スギ板t18張 OSCL	既存のまま	乾式二重床+耐水合板t12+t12捨張、スギ板t15張替 OSCL
巾木	OSCL塗替	OSCL塗替 木製H100 OSCL	一部：木製H100 OSCL	OSCL塗替 新設壁部：木製H100 OS
壁	腰壁：OSCL塗替 上壁：既存のまま	腰壁：OSCL塗替 上壁：漆喰塗替	一部：PBt12.5張	腰壁：OSCL塗替 上壁：既存のまま 新設壁部：木軸壁、PBt12.5張 EP
天井	化粧PBt9.5張替	既存のまま	木下地、PBt9.5張	化粧PBt9.5張替
備考	《再取付》ロールブラインド×4、カーテン×1 《新設》カーテンW710×H1200×1 カーテンW2400×H1200×1	-	《一部復旧》木製棚	-

凡例： 木部(構造体、木製フレーム等)塗替範囲  
《下地調整の上OS塗替》

(改修後) 指導室、面談室 平面詳細図 S=1/50

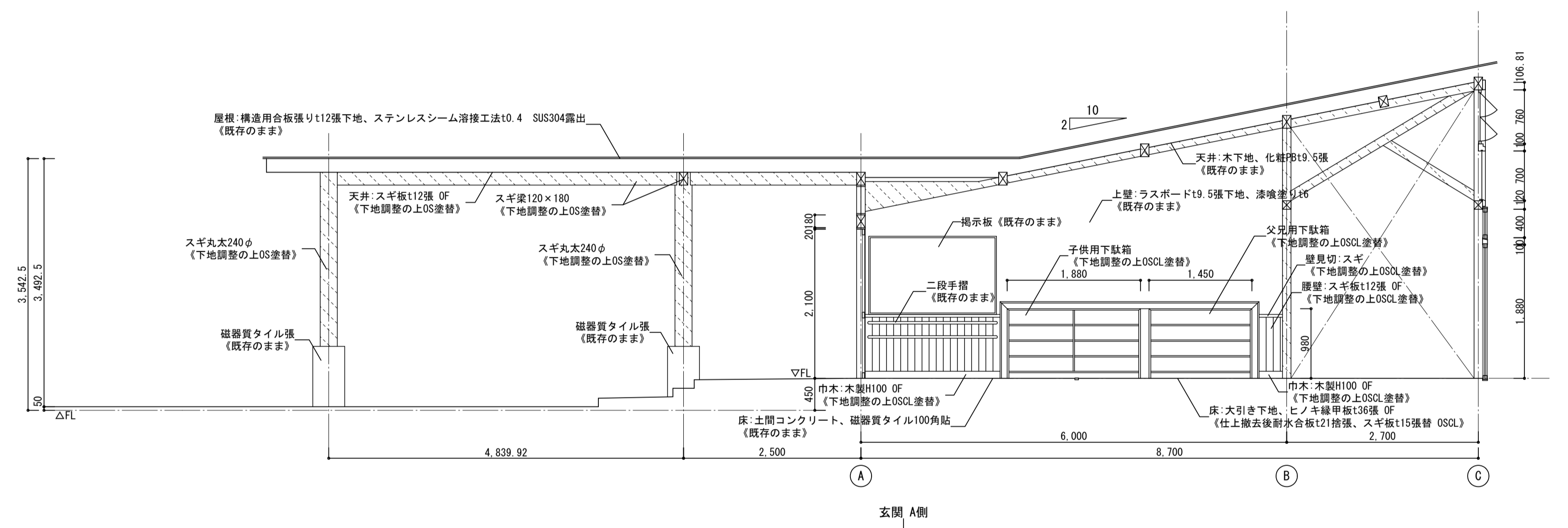




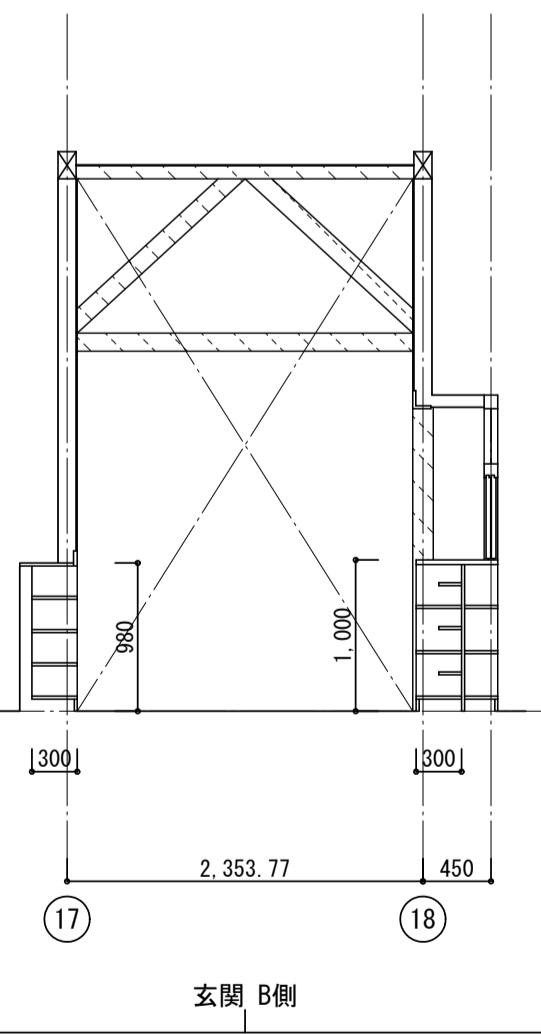
(改修前後) 玄関廻り 平面詳細図 S=1/50

凡例: 木部(構造体、木製フレーム等)塗替範囲 (下地調整の上OSL塗替)

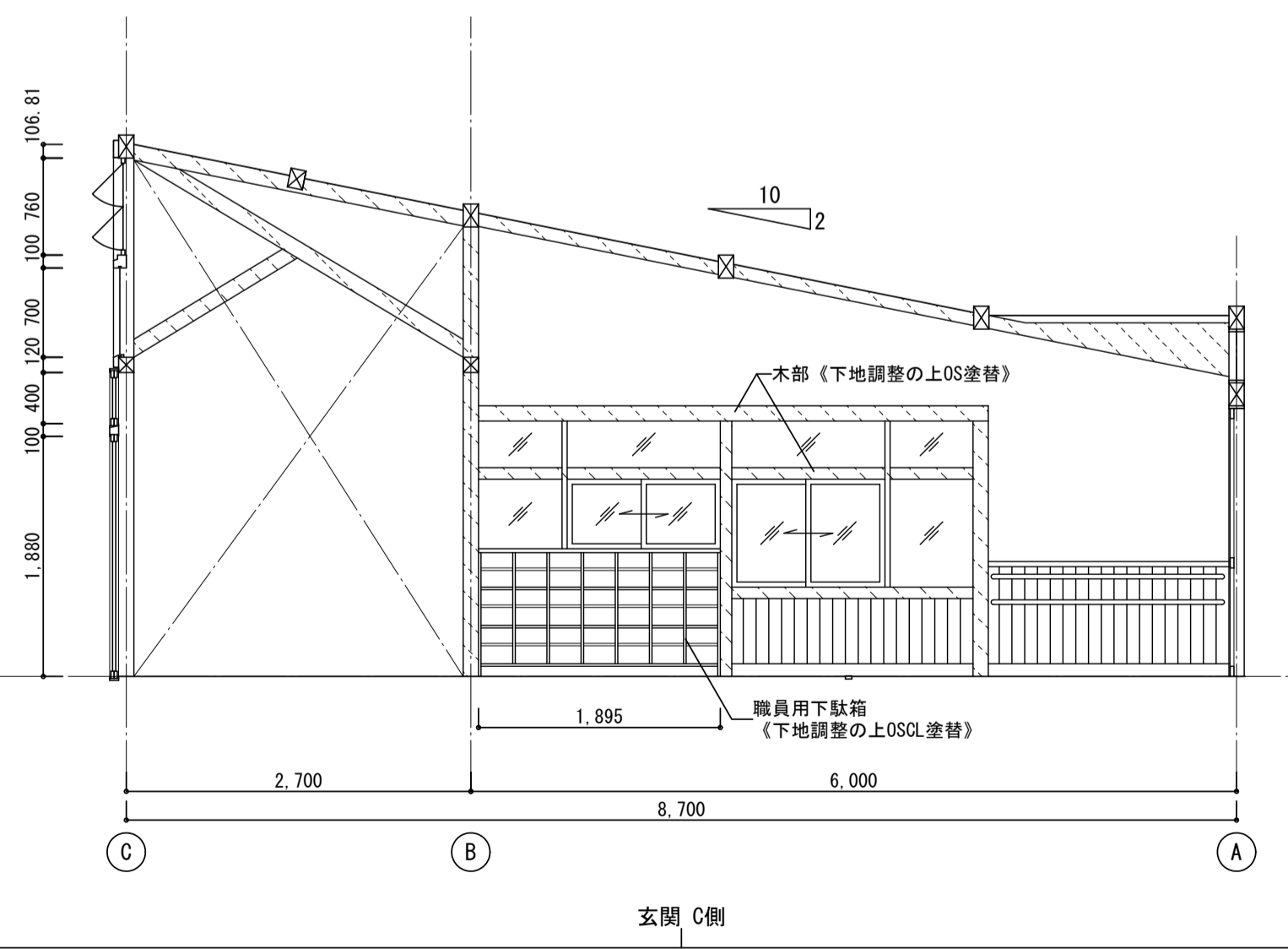
仕上	改修前/後	玄関踏込	玄関ホール
床	改修前	土間コンクリート、磁器質タイル100角貼	大引き下地、ヒノキ縁甲板t36張 OF
	改修後	既存のまま	耐水合板t21捨張、スギ板t15張替 OSL
巾木	改修前	木製H100 OF	木製H100 OF
	改修後	OSL塗替	OSL塗替
壁	改修前	腰壁: スギ板t12張 OF (H900) 上壁: ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6	腰壁: スギ板t12張 OF (H900) 上壁: ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6
	改修後	腰壁: OSL塗替 上壁: 既存のまま	腰壁: OSL塗替 上壁: 既存のまま
天井	改修前	木下地、化粧PBt9.5張	木下地、化粧PBt9.5張
	改修後	既存のまま	既存のまま
備考	改修前	《既存のまま》 掲示板、二段手摺	《下地調整》 下駄箱: 職員用、子供用、父兄用
	改修後		《OSL塗替》 下駄箱: 職員用、子供用、父兄用



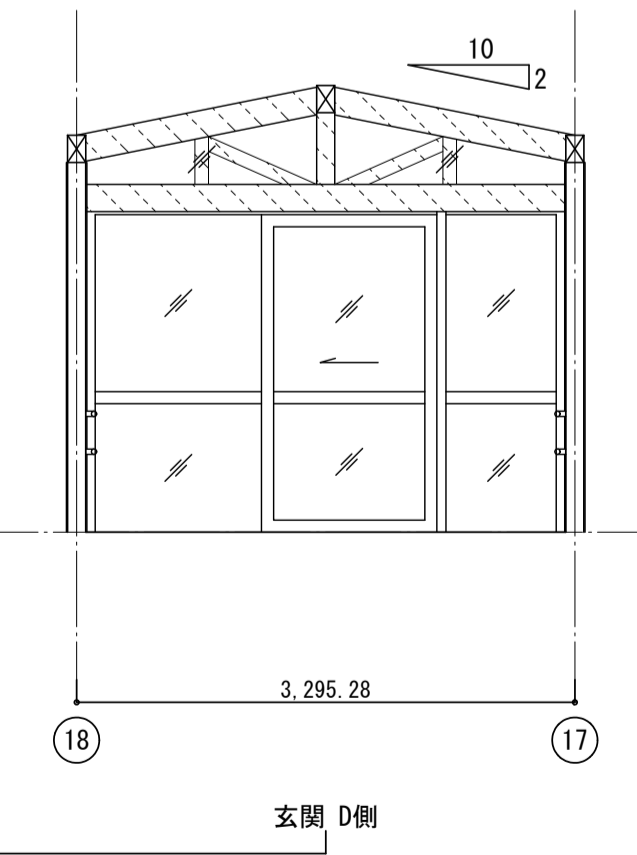
玄関 A側



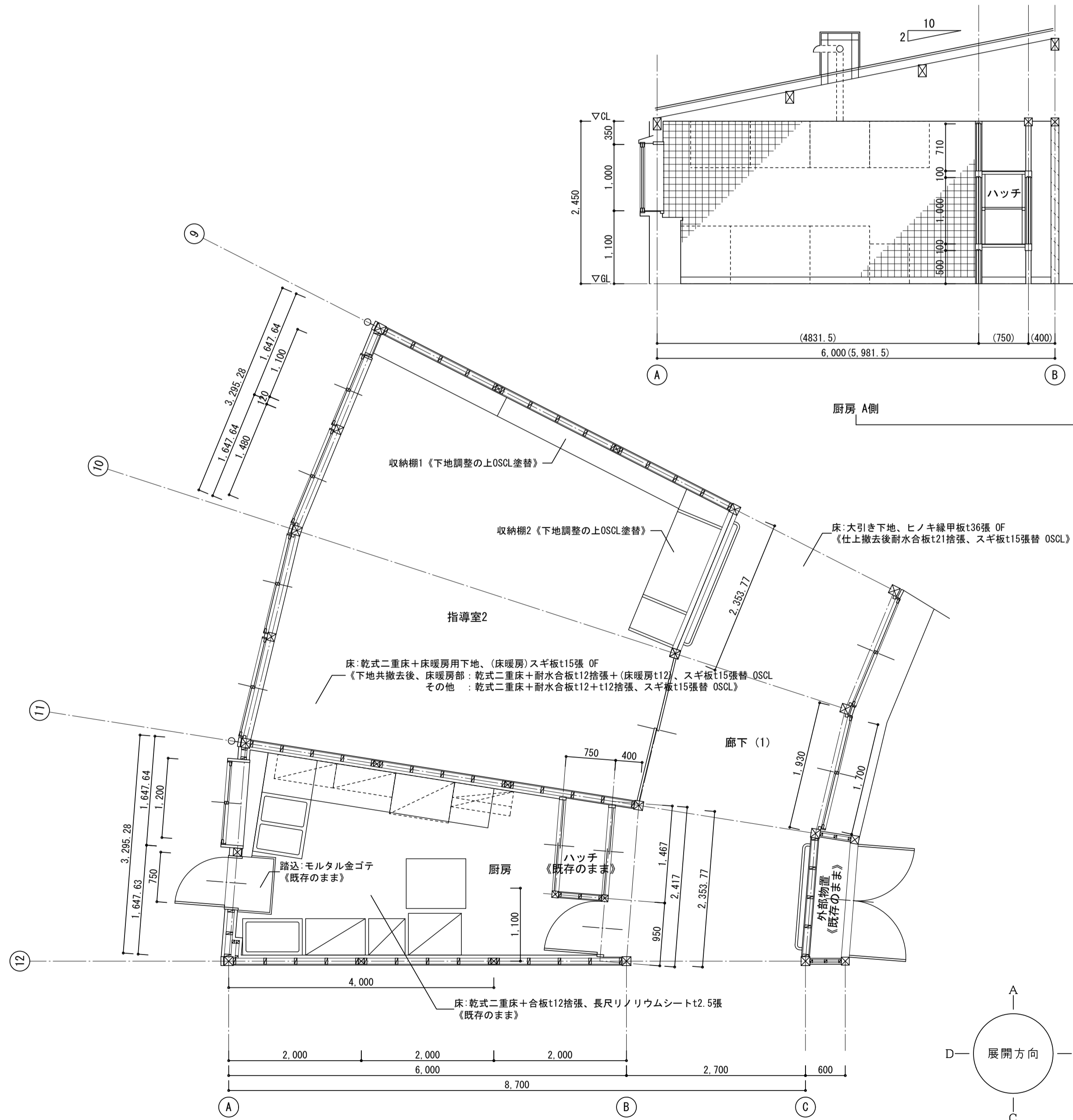
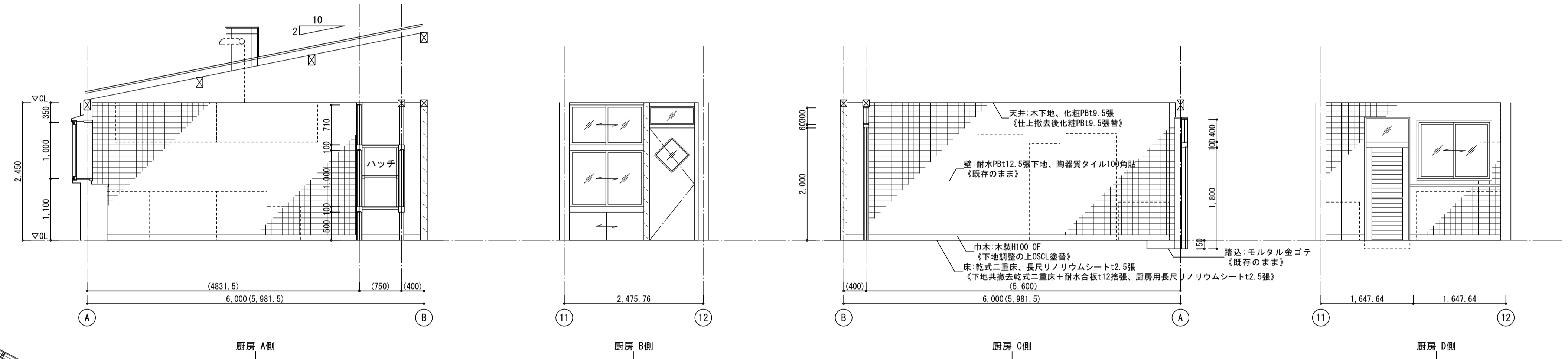
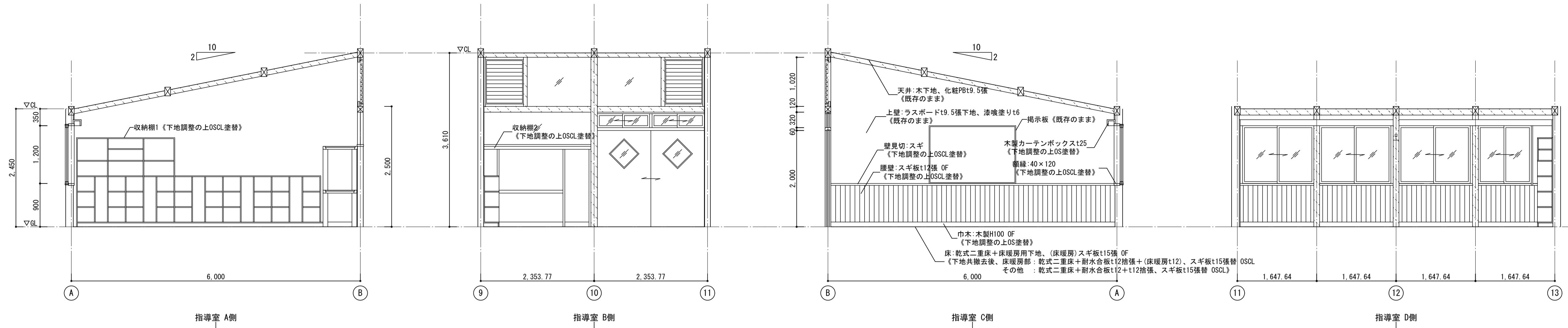
玄関 B側



玄関 C側



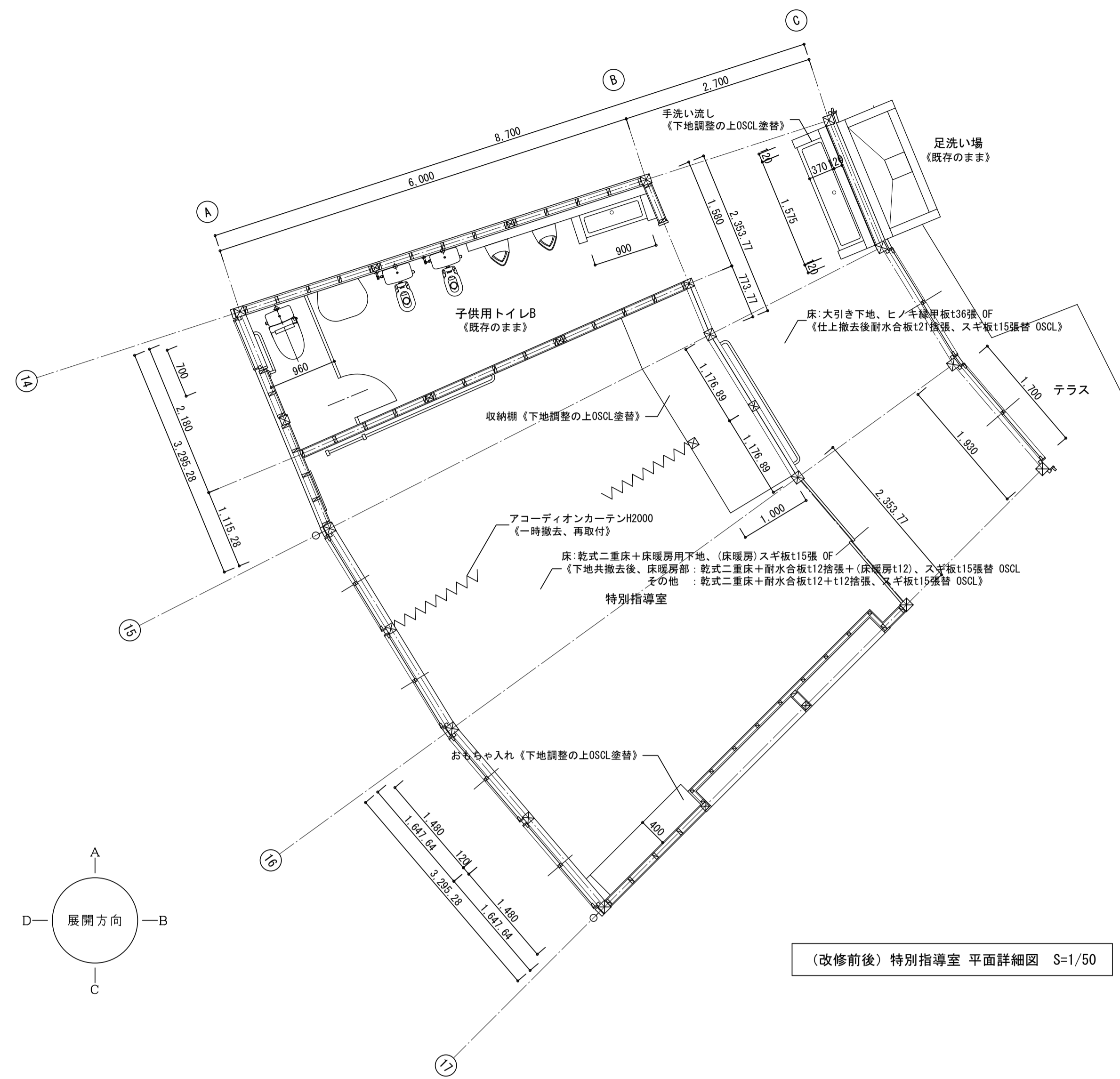
玄関 D側



仕上	改修前/後	指導室	厨房
床	改修前	乾式二重床+床暖房用下地, (床暖房)スギ板t15張 OF	乾式二重床+合板t12捨張, 長尺リノリウムシートt2.5張
	改修後	下地共撤去	既存のまま 階段: モルタル金ゴテ
巾木	改修前	木製H100 OF	木製H100 OF
	改修後	OSCL塗替	既存のまま
壁	改修前	珪藻土スギ板t12張 OF (H900) 上壁: ラスボードt9.5張下地, 漆喰塗りt6	耐水PBt12.5張下地, 陶器質タイル100角貼
	改修後	下地調整 既存のまま	既存のまま
天井	改修前	木下地, 化粧PBt9.5張	木下地, 化粧PBt9.5張
	改修後	既存のまま	化粧PBt9.5張替
備考	改修前	(既存のまま) 掲示板 (下地調整) 収納棚1, 2	(既存のまま) 受け渡しハッチ
	改修後	(OSCL塗替) 収納棚1, 2	

凡例: 木部(構造体、木製フレーム等)塗替範囲  
 《下地調整の上OS塗替》

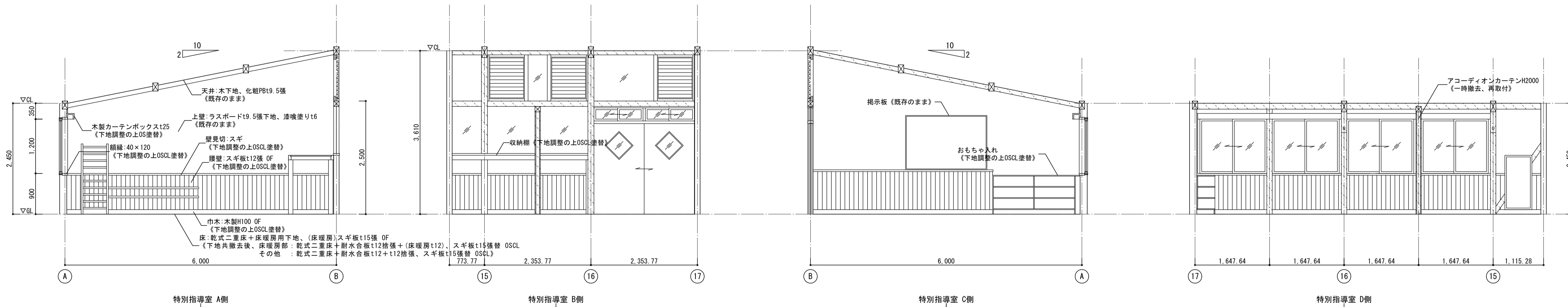
(改修前後) 厨房、指導室 平面詳細図 S=1/50

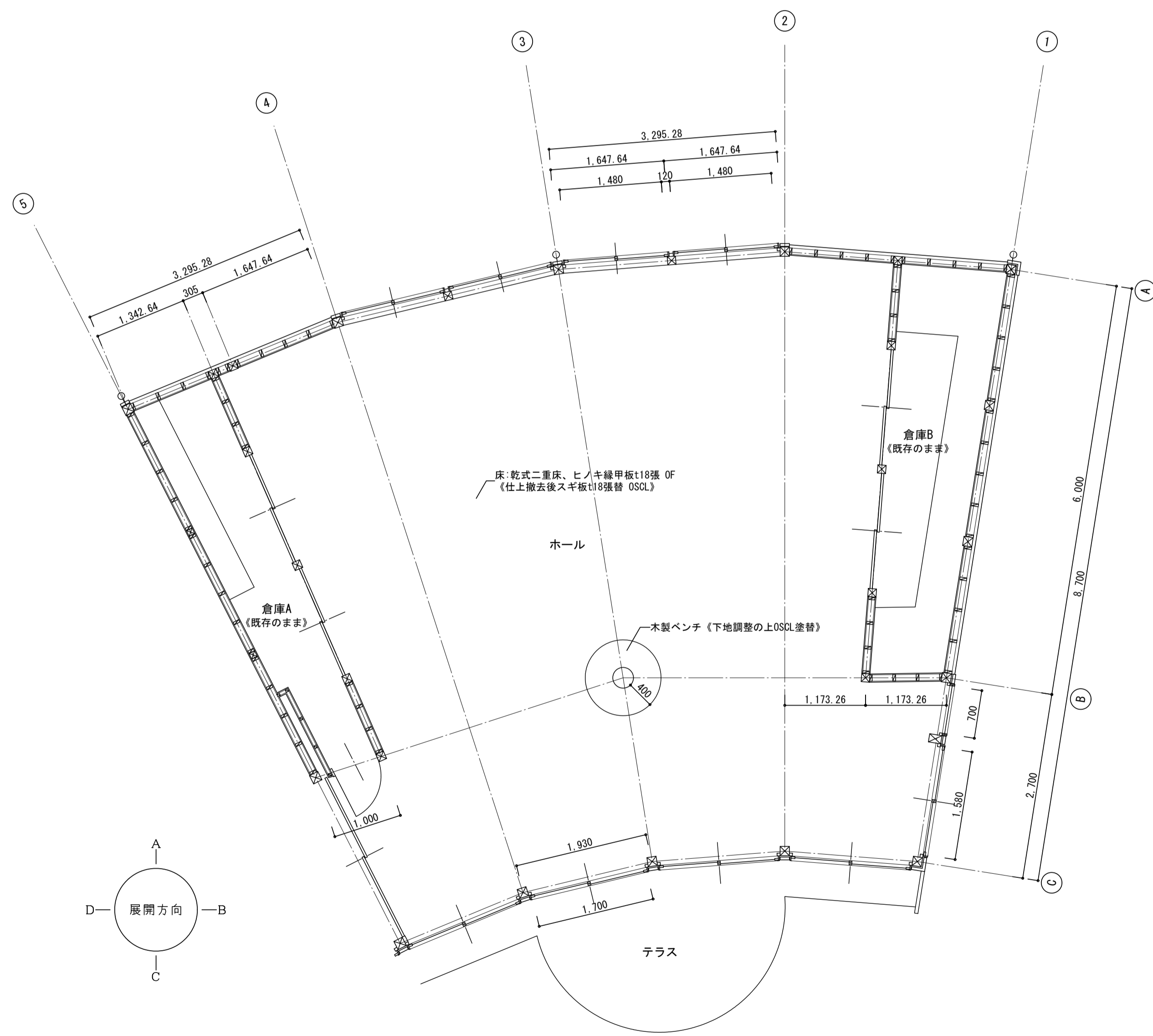
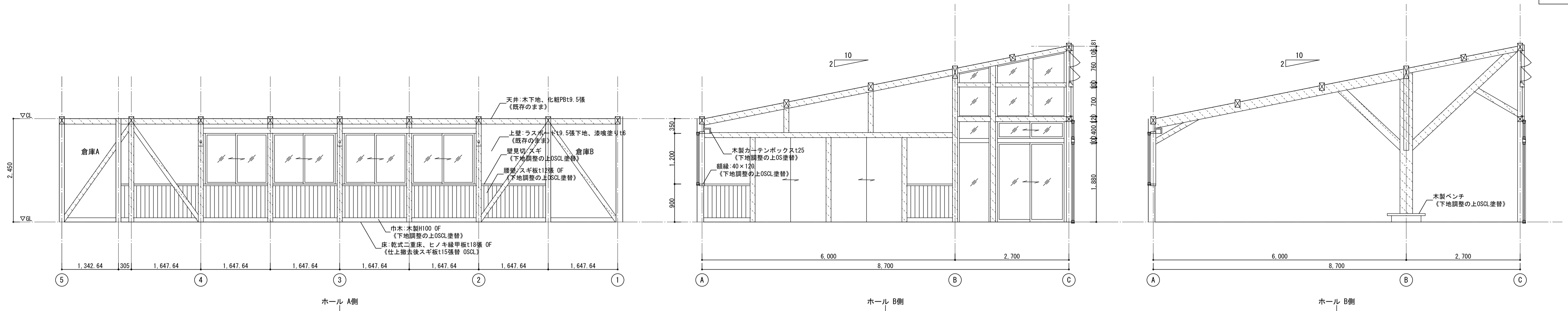


(改修前後) 特別指導室 平面詳細図 S=1/50

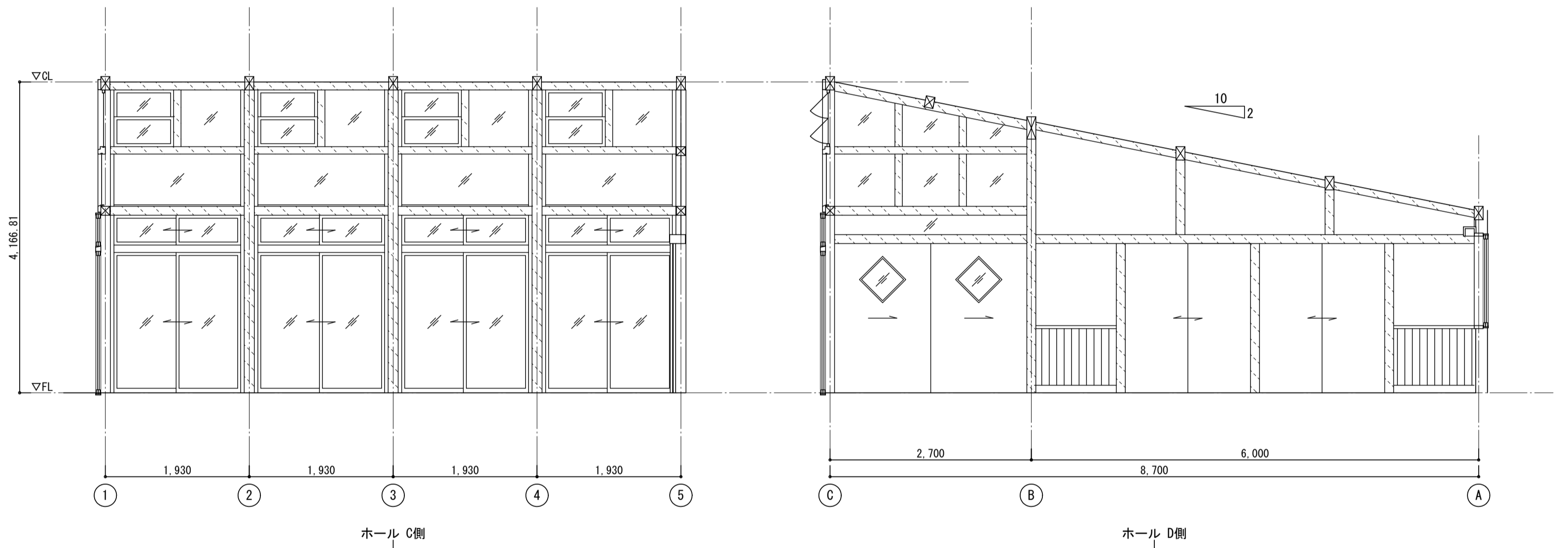
仕上	改修前/後	特別指導室
床	改修前	乾式二重床+床暖房用下地、(床暖房)スギ板t15張 OF 下地共撤去
	改修後	床暖房部：乾式二重床+耐水合板t12捨張+(床暖房t12)、スギ板t15張替 OSCL その他：乾式二重床+耐水合板t12+t12捨張、スギ板t15張替 OSCL
巾木	改修前	木製H100 OF 仕上撤去
	改修後	OSCL塗替
壁	改修前	腰壁：スギ板t12張 OF(H900) 下地調整 上壁：ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6 既存のまま
	改修後	腰壁：OSCL塗替 上壁：既存のまま
天井	改修前	木下地、化粧PBt9.5張 既存のまま
	改修後	既存のまま
備考	改修前	(既存のまま) 鏡、掲示板、木製二段手摺、助木、SUS製フック、天井吊り透光カーテン
	改修後	(下地調整) 収納棚、おもちゃ入れ OSCL塗替 収納棚、おもちゃ入れ

凡例： 木部(構造体、木製フレーム等)塗替範囲  
 (下地調整の上OS塗替)





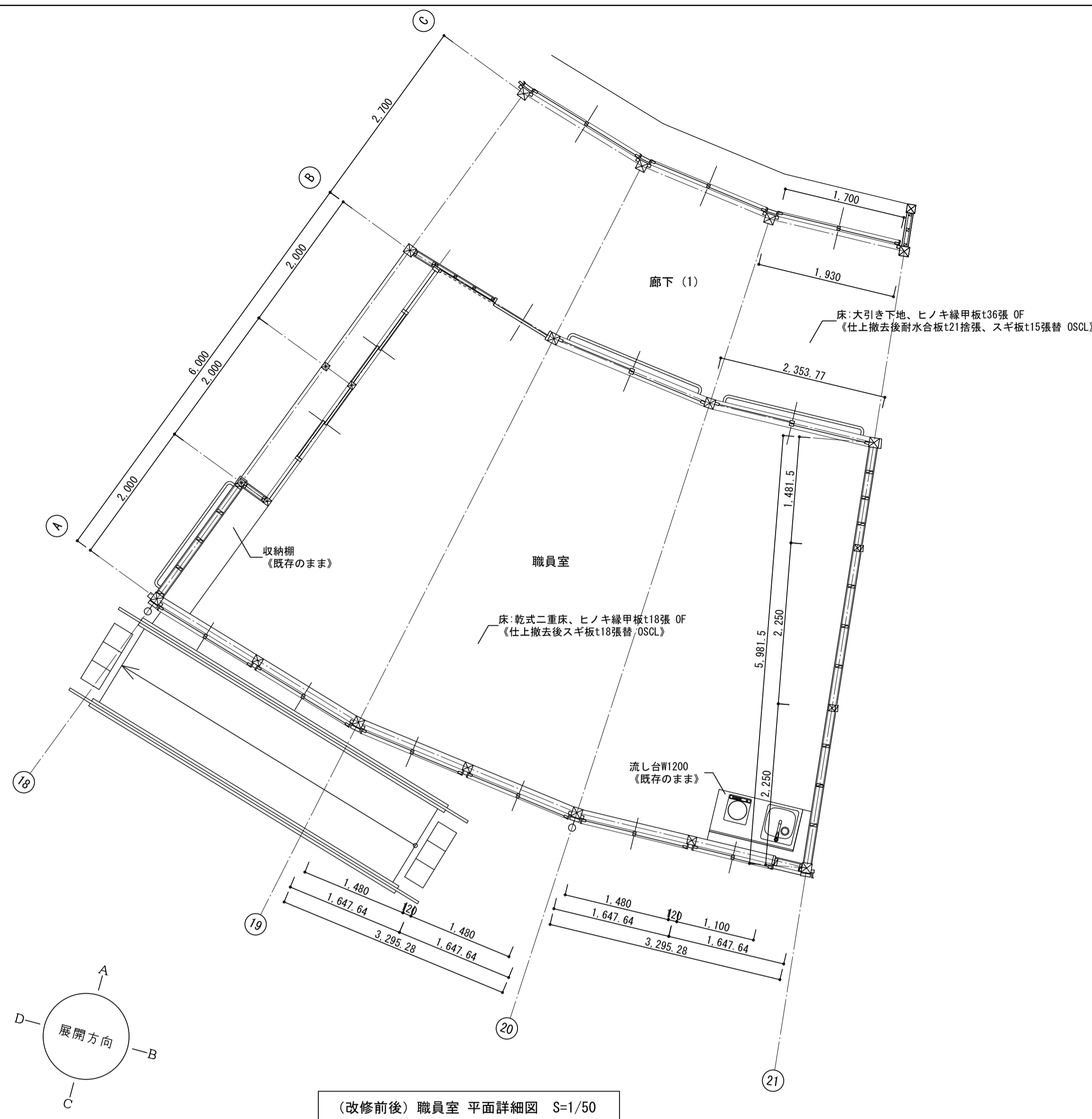
(改修前後) ホール 平面詳細図 S=1/50



凡例: 木部(構造体、木製フレーム等)塗替範囲  
 《下地調整の上OSCL塗替》

仕上	改修前/後	ホール
床	改修前	乾式二重床、ヒノキ縁甲板t18張 OF
	改修後	スギ板t18張替 OSCL
巾木	改修前	木製H100 OF
	改修後	OSCL塗替
壁	改修前	腰壁:スギ板t12張 OF(H900)
	改修前	上壁:ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6
	改修後	腰壁:OSCL塗替 上壁:既存のまま
天井	改修前	木下地、化粧PBt9.5張
	改修後	既存のまま
備考	改修前	《下地調整》木製ベンチ 《一時撤去》ロールブラインド×6
	改修後	《OSCL塗替》木製ベンチ 《再取付》ロールブラインド×6
	改修後	

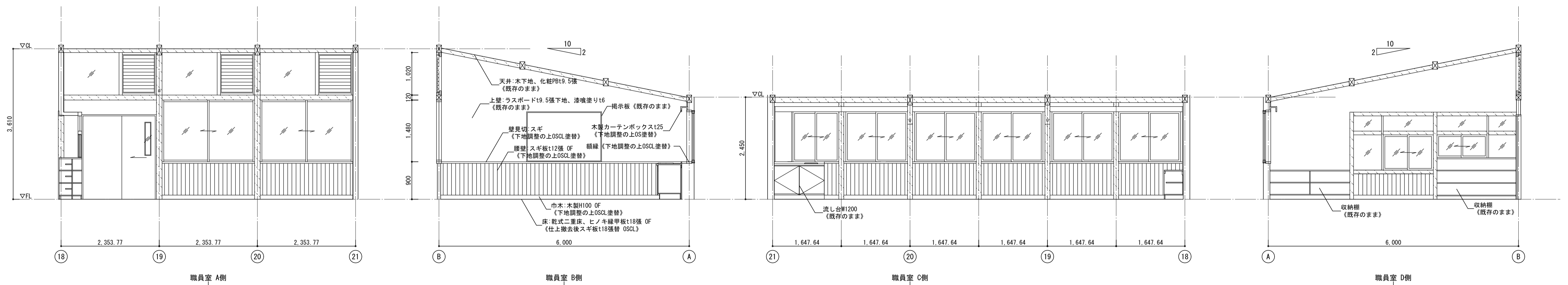


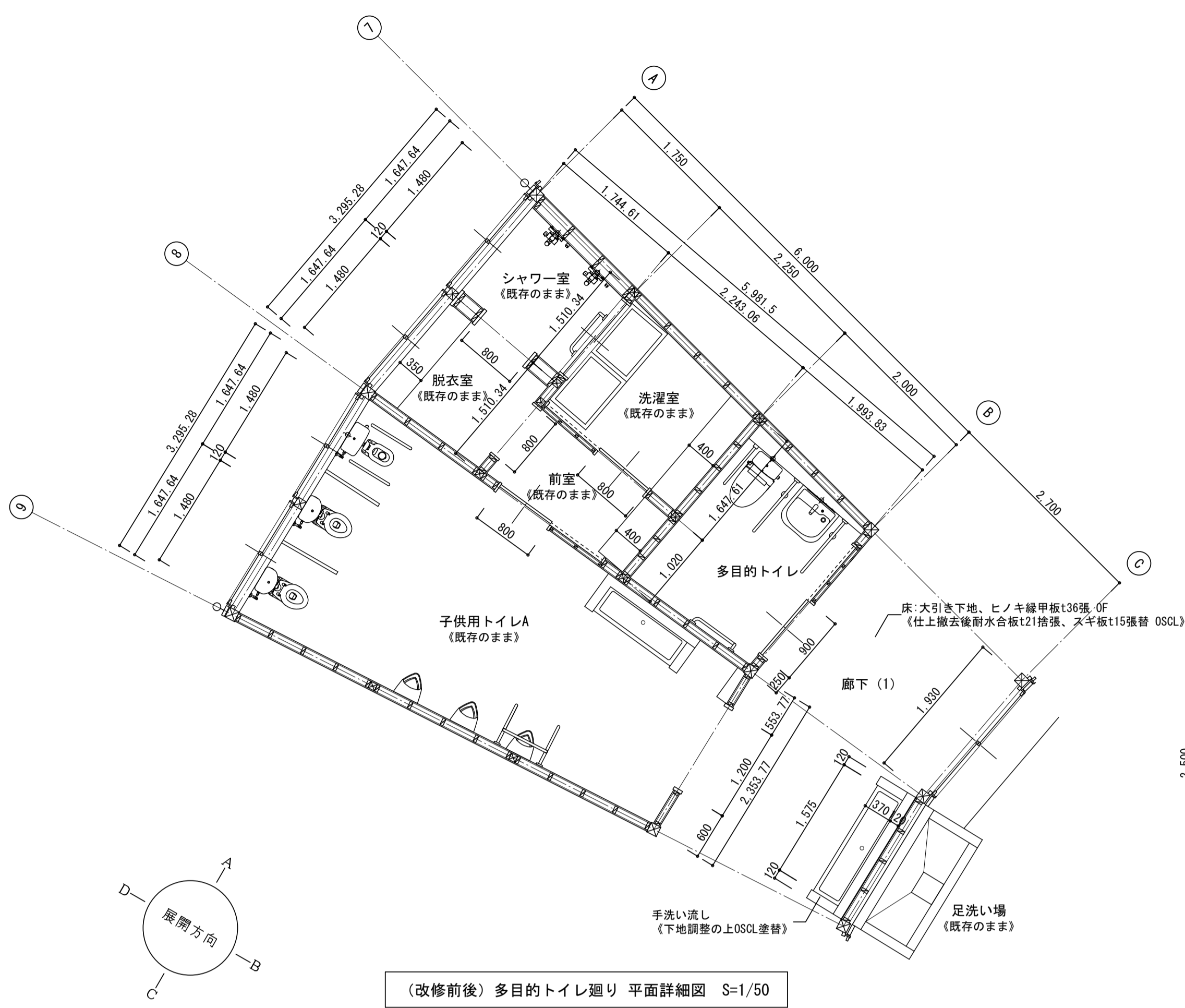


(改修前後) 職員室 平面詳細図 S=1/50

仕上	改修前/後	職員室
床	改修前	乾式二重床、ヒノキ縁甲板t18張 OF
	改修後	スギ板t18張替 OSCL
巾木	改修前	木製H100 OF
	改修後	OSCL塗替
壁	改修前	腰壁: スギ板t12張 OF (H900) 上壁: ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6
	改修後	腰壁: OSCL塗替 上壁: 既存のまま
天井	改修前	木下地、化粧PBt9.5張
	改修後	既存のまま
備考		《既存のまま》 流し台、収納棚

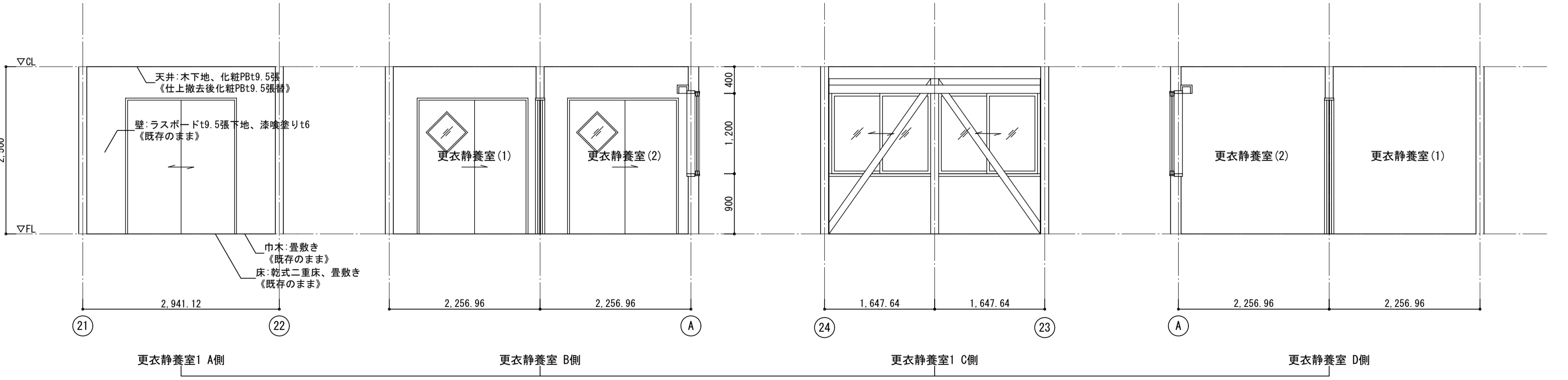
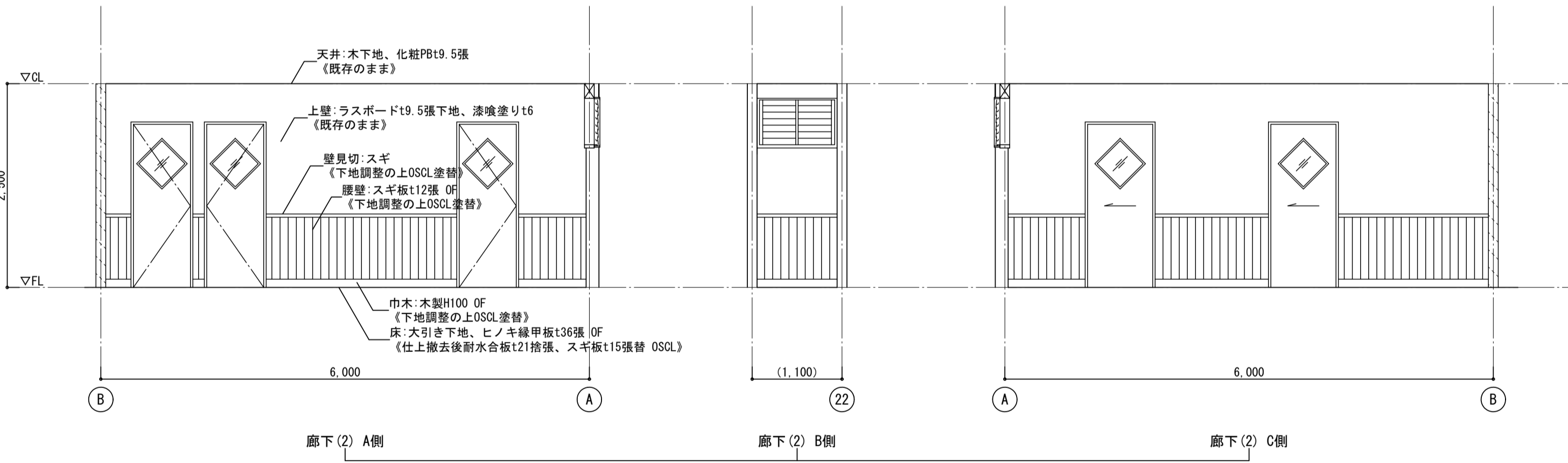
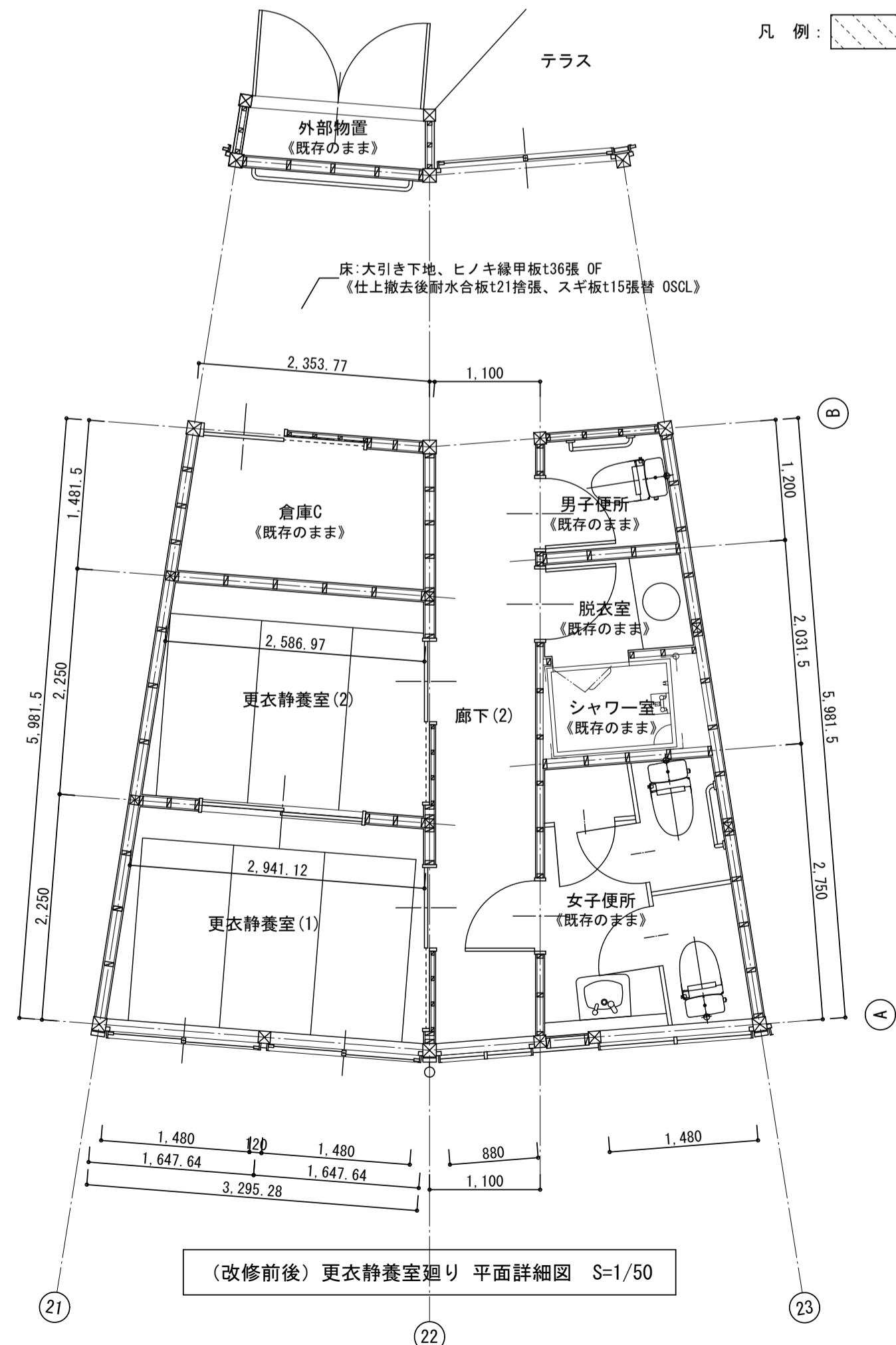
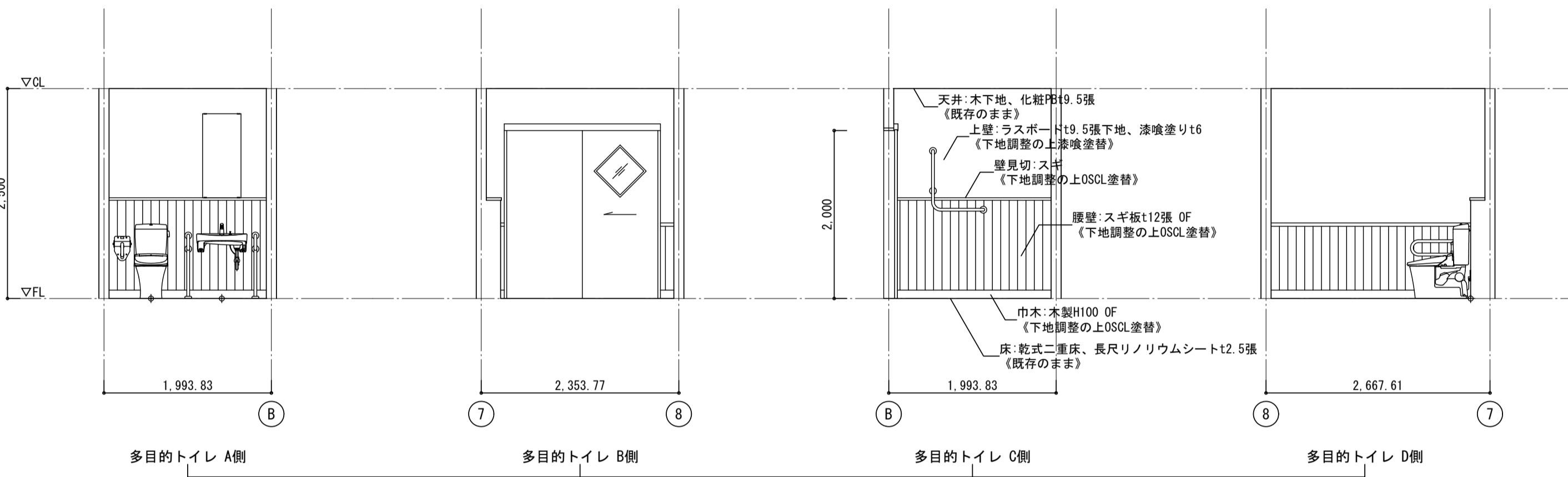
凡例: 木部(構造体、木製フレーム等)塗替範囲  
《下地調整の上OS塗替》

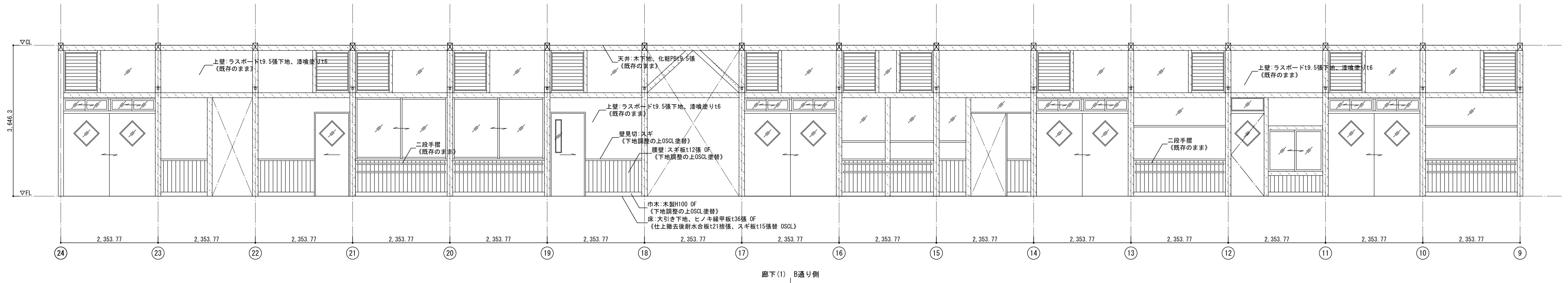




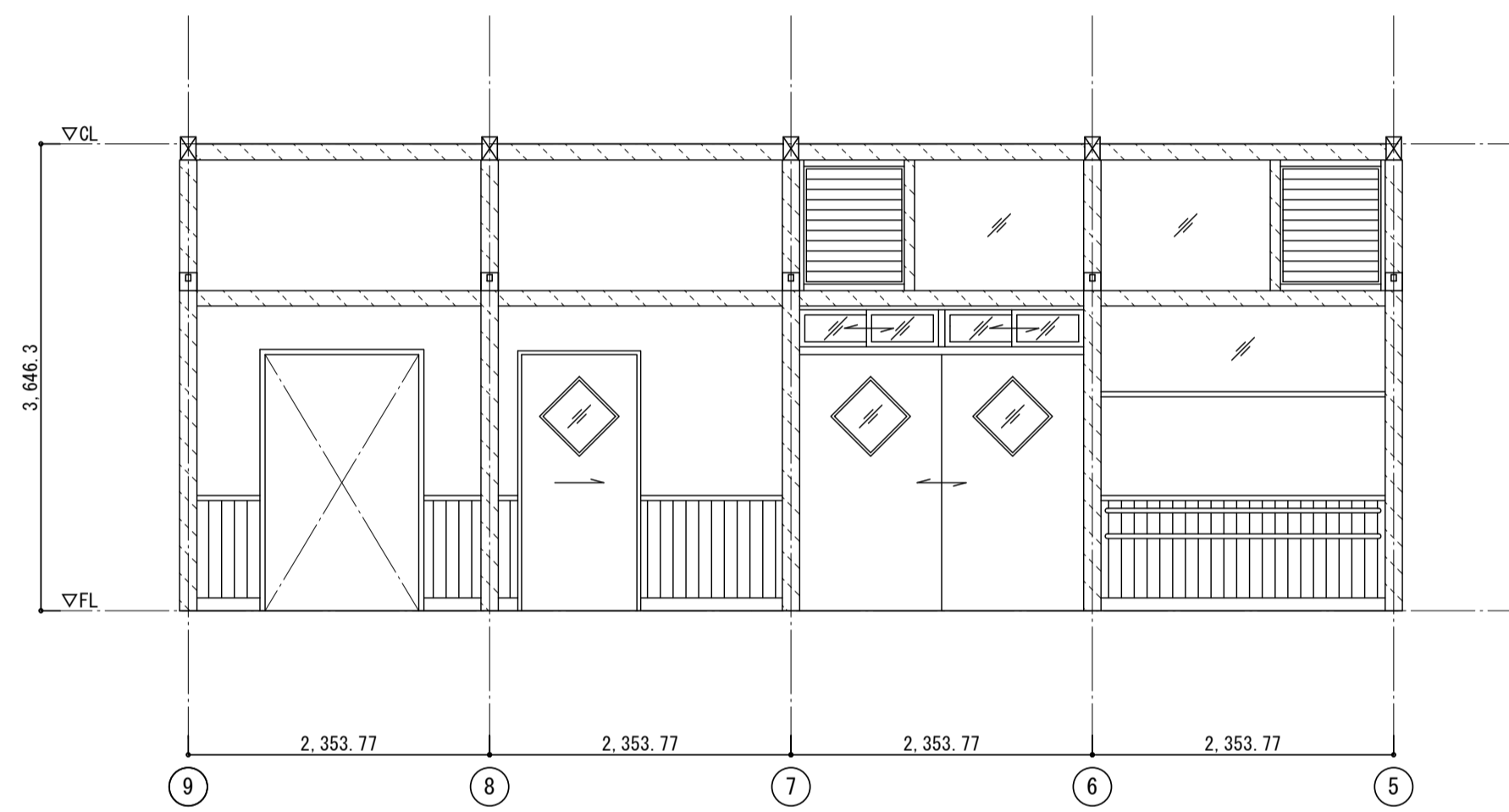
仕上	改修前/後	多目的トイレ
床	改修前 乾式二重床、長尺リノリウムシートt2.5張	既存のまま
	改修後	既存のまま
巾木	改修前 木製H100 OF	下地調整
	改修後	OSCL塗替
壁	改修前 腰壁:スギ板t12張 OF(H900) 上壁:ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6	下地調整
	改修後	腰壁:OSCL塗替 上壁:漆喰塗替 ※クラック部は補修後塗替すること
天井	改修前 木下地、化粧PBt9.5張	既存のまま
	改修後	既存のまま
備考	改修前	
	改修後	

仕上	改修前/後	更衣静養室	廊下(2)
床	改修前 乾式二重床、畳敷き ヒノキ縁甲板t36張 OF	既存のまま	大引き下地、ヒノキ縁甲板t36張 OF
	改修後	既存のまま	仕上撤去
巾木	改修前 畳寄せ	既存のまま	木製H100 OF
	改修後	既存のまま	OSCL塗替
壁	改修前 ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6	既存のまま	腰壁:スギ板t12張 OF(H900) 上壁:ラスボードt9.5張下地、漆喰塗りt6
	改修後	既存のまま	下地調整 腰壁:OSCL塗替 上壁:既存のまま
天井	改修前 木下地、化粧PBt9.5張	仕上撤去	木下地、防水PBt9.5張 EP
	改修後	化粧PBt9.5張替	既存のまま
備考	改修前		
	改修後		





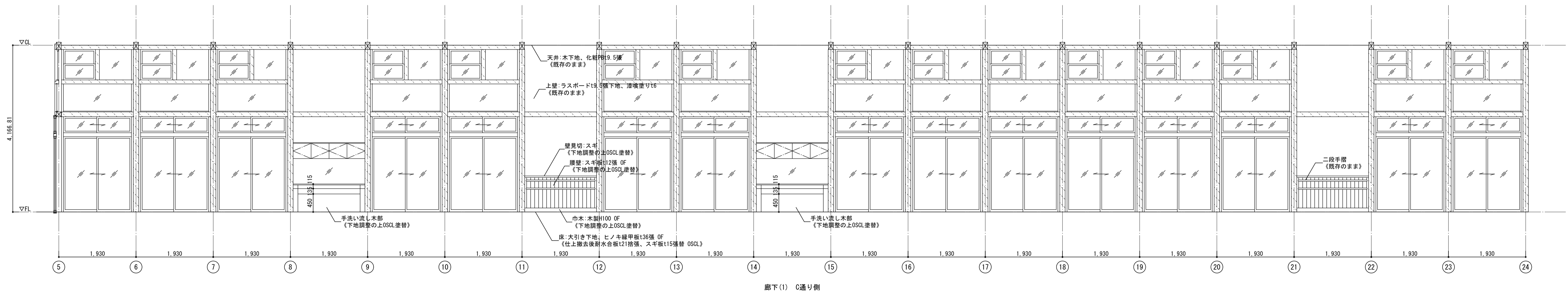
廊下(1) B通り側



廊下(1) B通り側

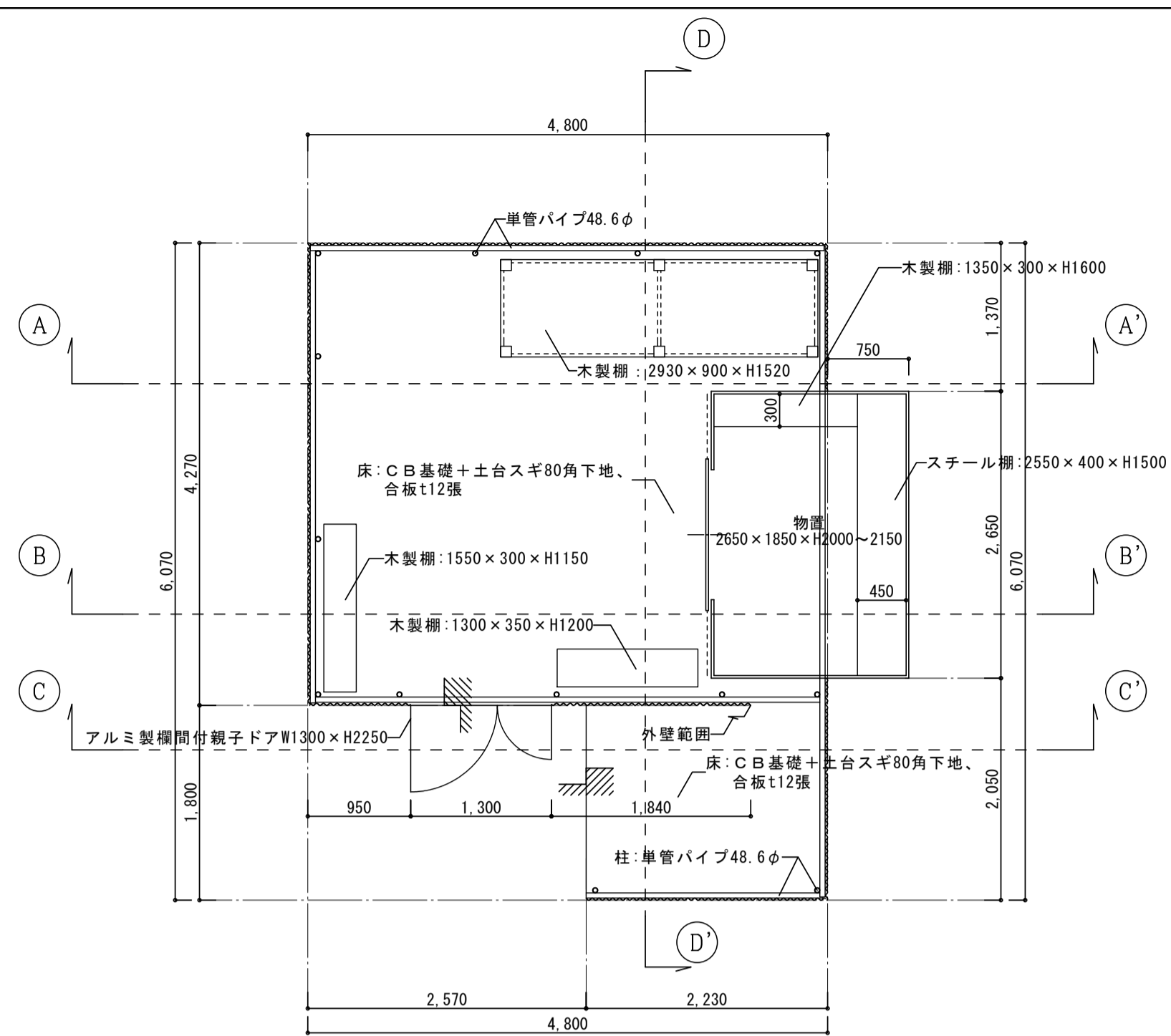
仕上	改修前/後	廊下(1)
床	改修前	大引き下地、ヒノキ縁甲板t36張 OF
	改修後	耐水合板t21捨張、スギ板t15張替 OSCL
巾木	改修前	木製H100 OF
	改修後	OSCL塗替
壁	改修前	腰壁:スギ板t12張 OF(H900) 上壁:ラスボードt19.5張下地、漆喰塗りt6
	改修後	腰壁:OSCL塗替 上壁:既存のまま
天井	改修前	木下地、防水PPF19.5張 EP
	改修後	既存のまま
備考	改修前	《既存のまま》木製二段手摺1800×10 《下地調整》手洗い流し木部
	改修後	《一時撤去》ロールブラインド×15 《OSCL塗替》手洗い流し木部 《再取付》ロールブラインド×15

凡例: 木部(構造体、木製フレーム等)塗替範囲  
《下地調整の上OSCL塗替》

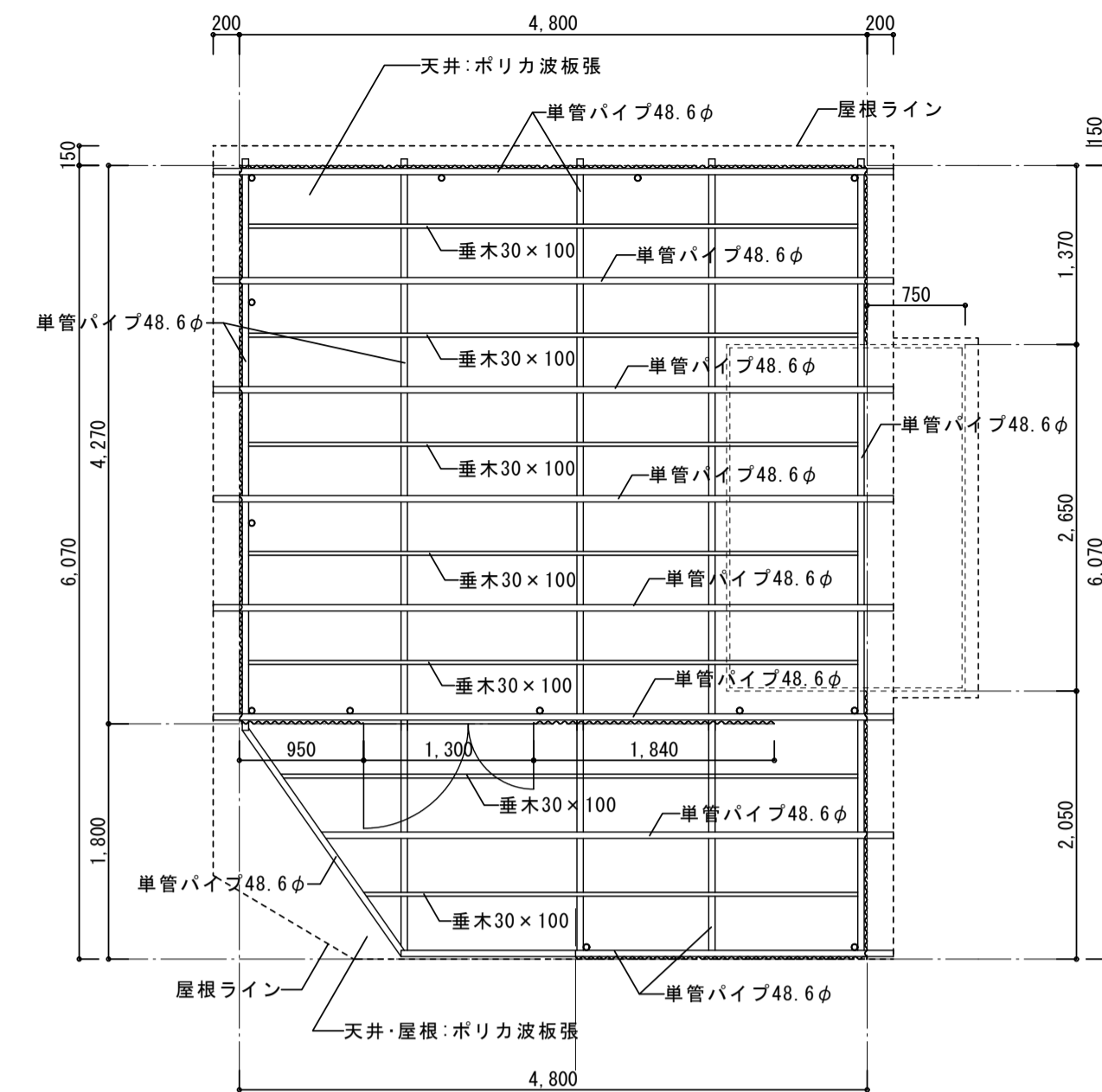


廊下(1) C通り側

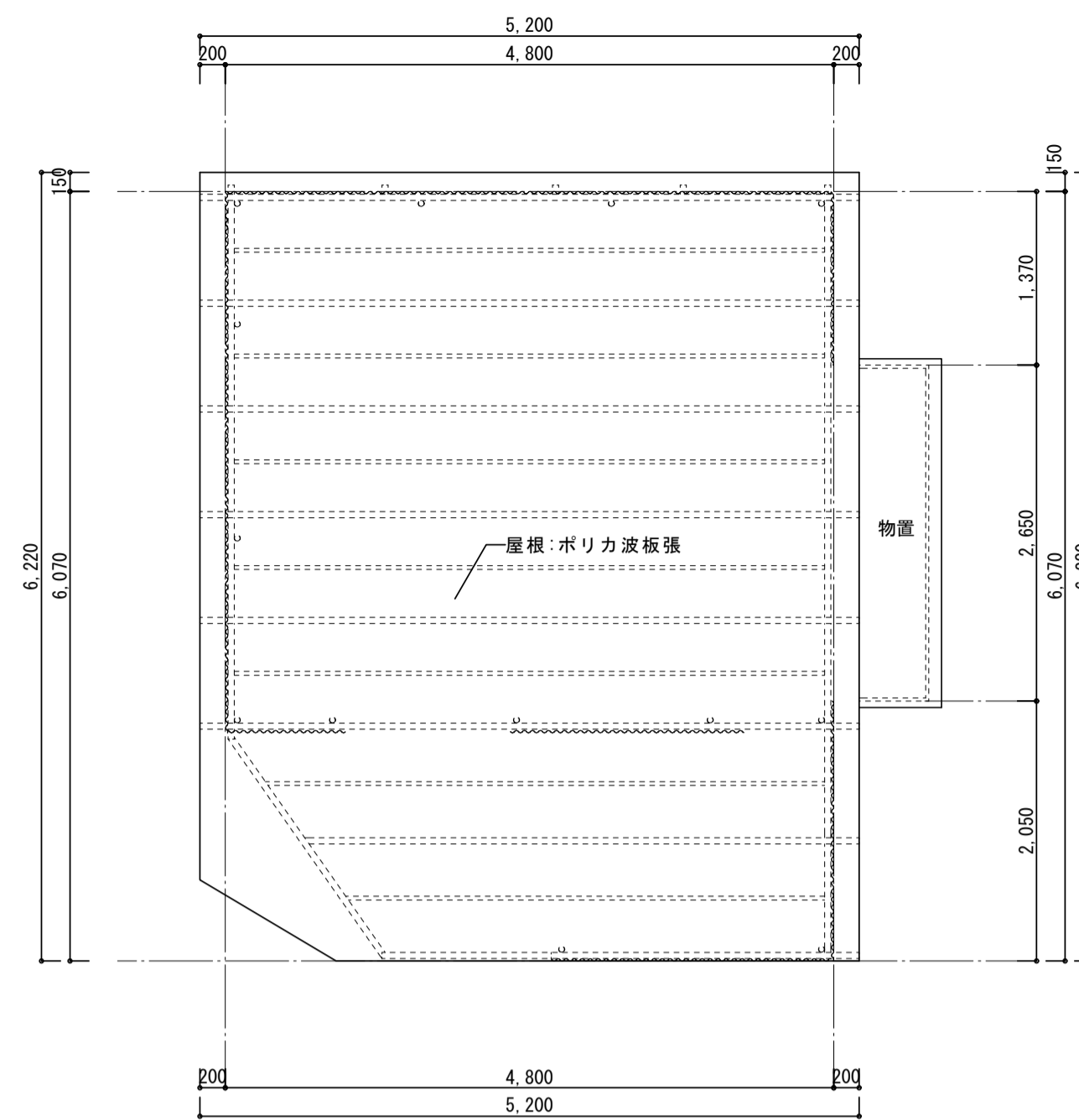




平面図 S=1/50

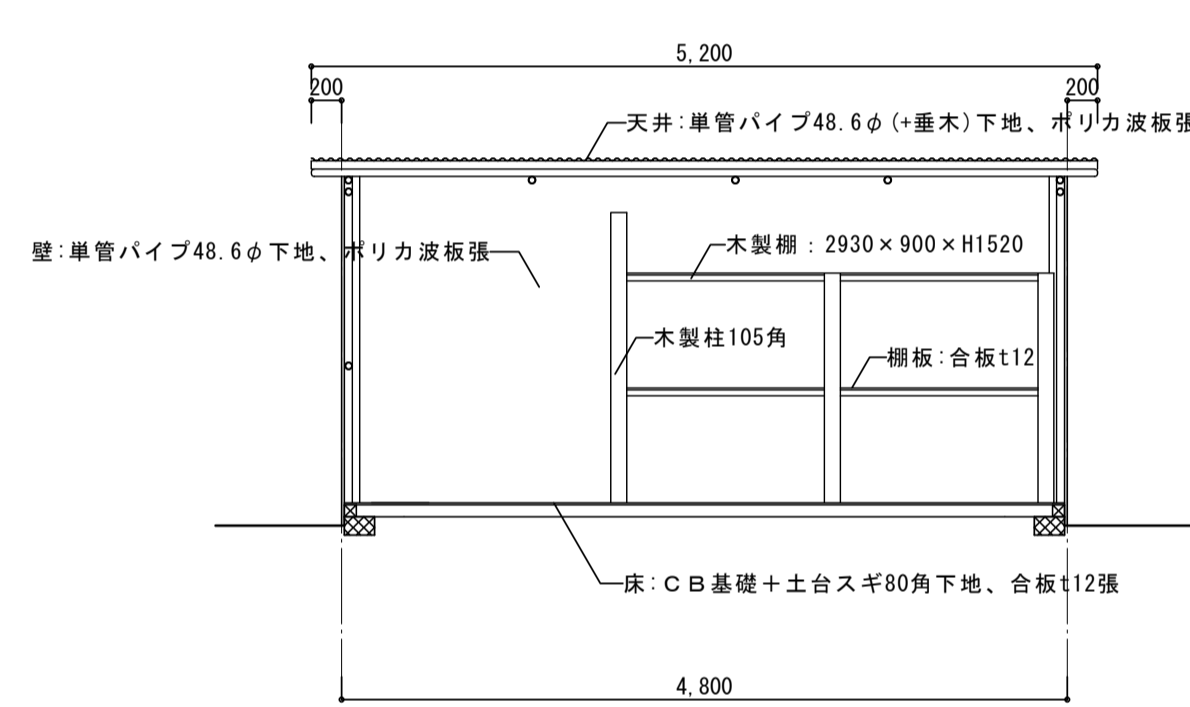


天井伏図 S=1/50

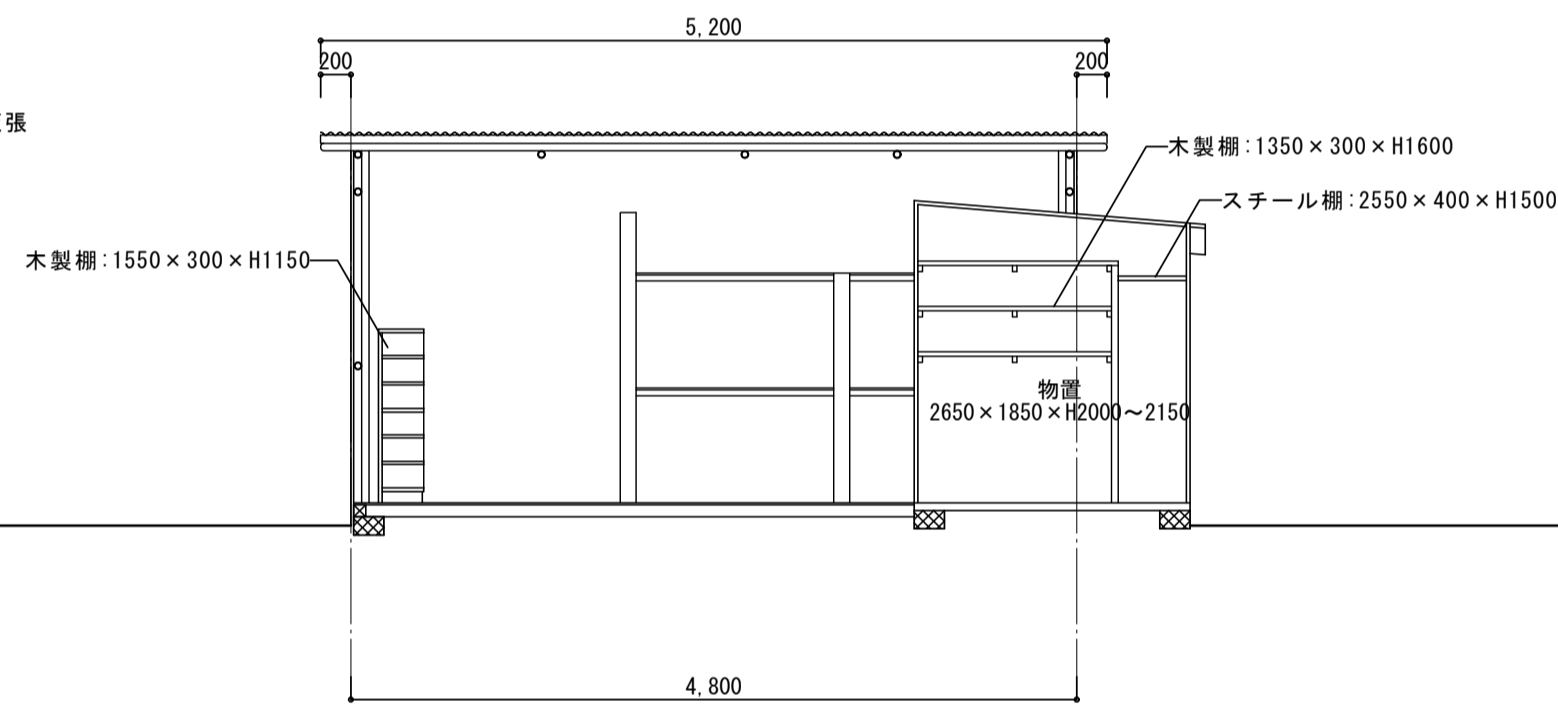


屋根伏図 S=1/50

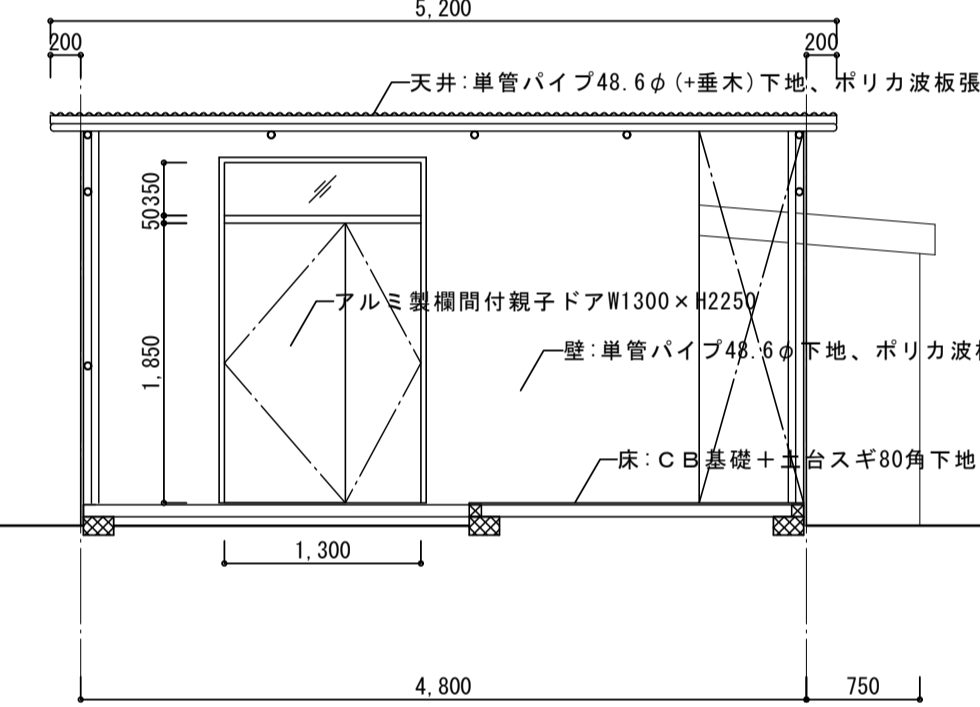
仕上	外部倉庫	全撤去
床	C B基礎+土台スギ80角下地、合板t12張	全撤去
巾木	—	—
壁(外壁)	単管パイプ48.6φ下地、ポリカ波板張	全撤去
天井(屋根)	単管パイプ48.6φ(+垂木)下地、ポリカ波板張	全撤去
備考	スチール物入:880×380×H1810 スチール物入:880×380×H880 ×2 木製棚:1550×300×H1150 木製棚:2930×900×H1520 物置:2650×1850×H2000~2150 スチール棚:2550×400×H1500 木製棚:1350×300×H1600	全撤去



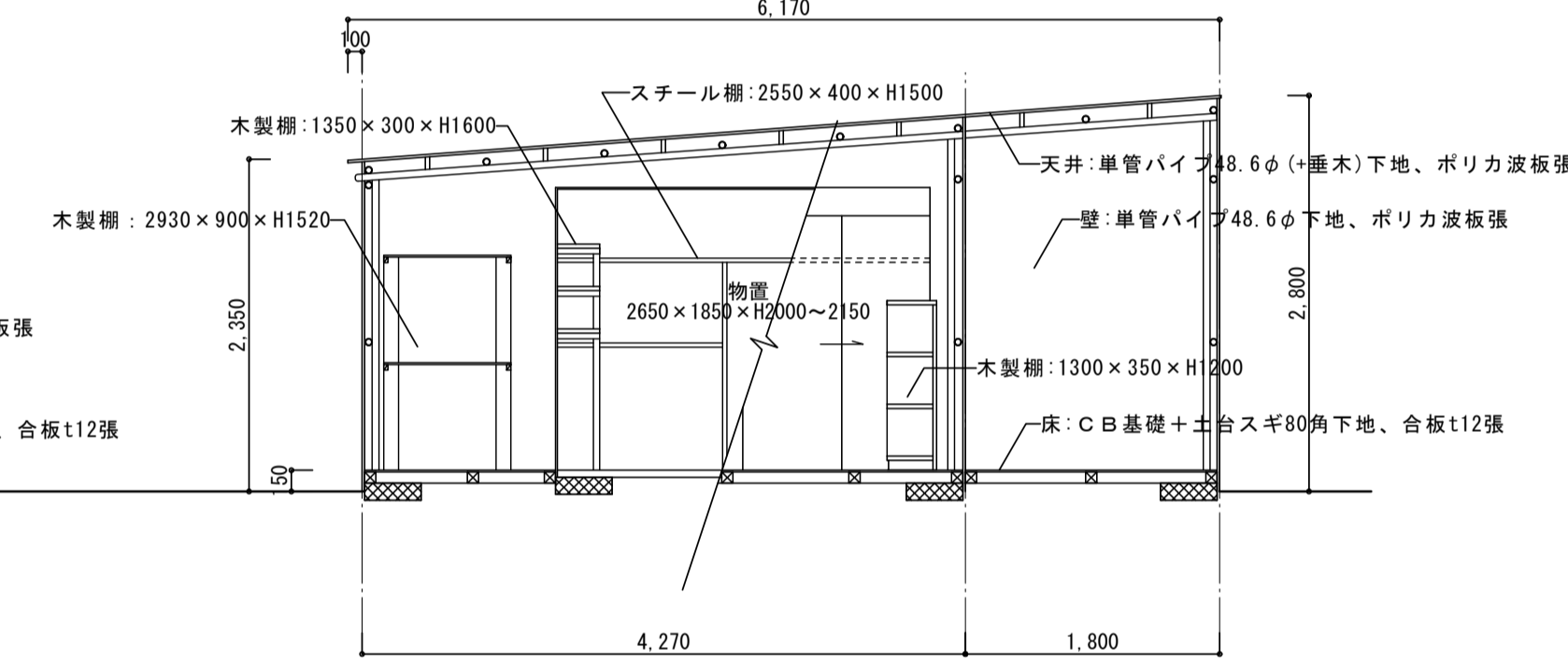
A-A' 断面図 S=1/50



B-B' 断面図 S=1/50

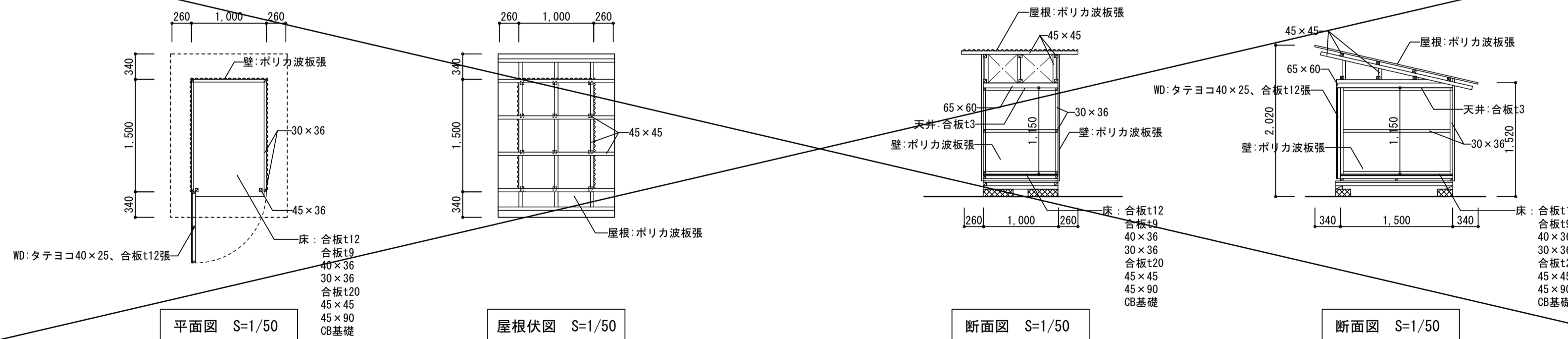


C-C' 断面図 S=1/50



D-D' 断面図 S=1/50

< 外部倉庫詳細図 >



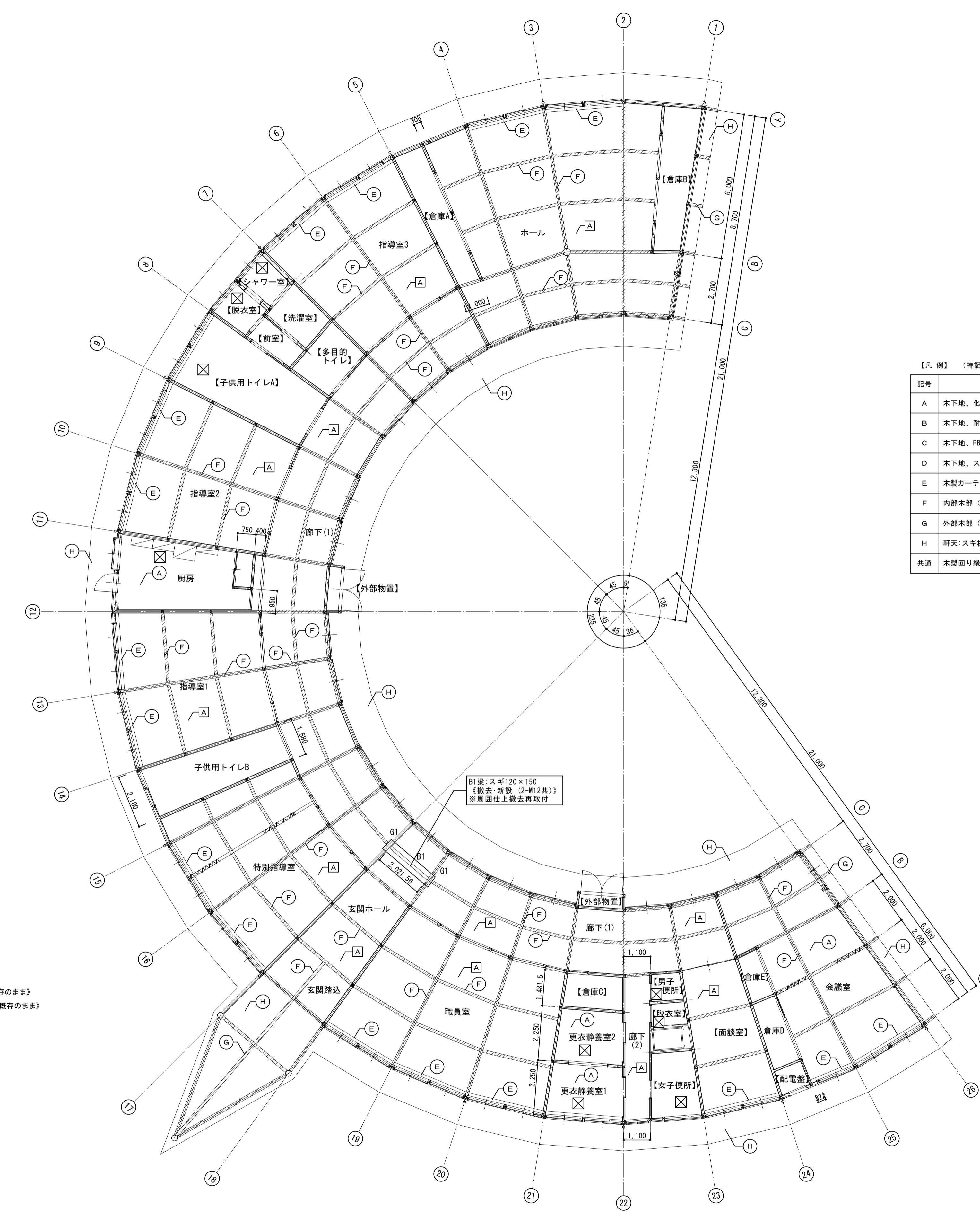
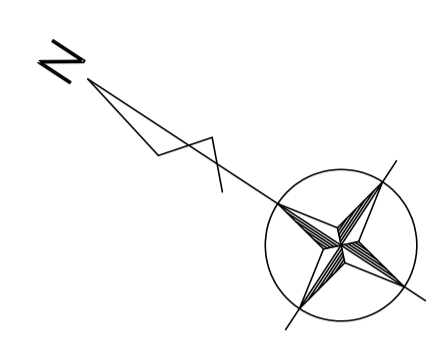
平面図 S=1/50

屋根伏図 S=1/50

断面図 S=1/50

断面図 S=1/50

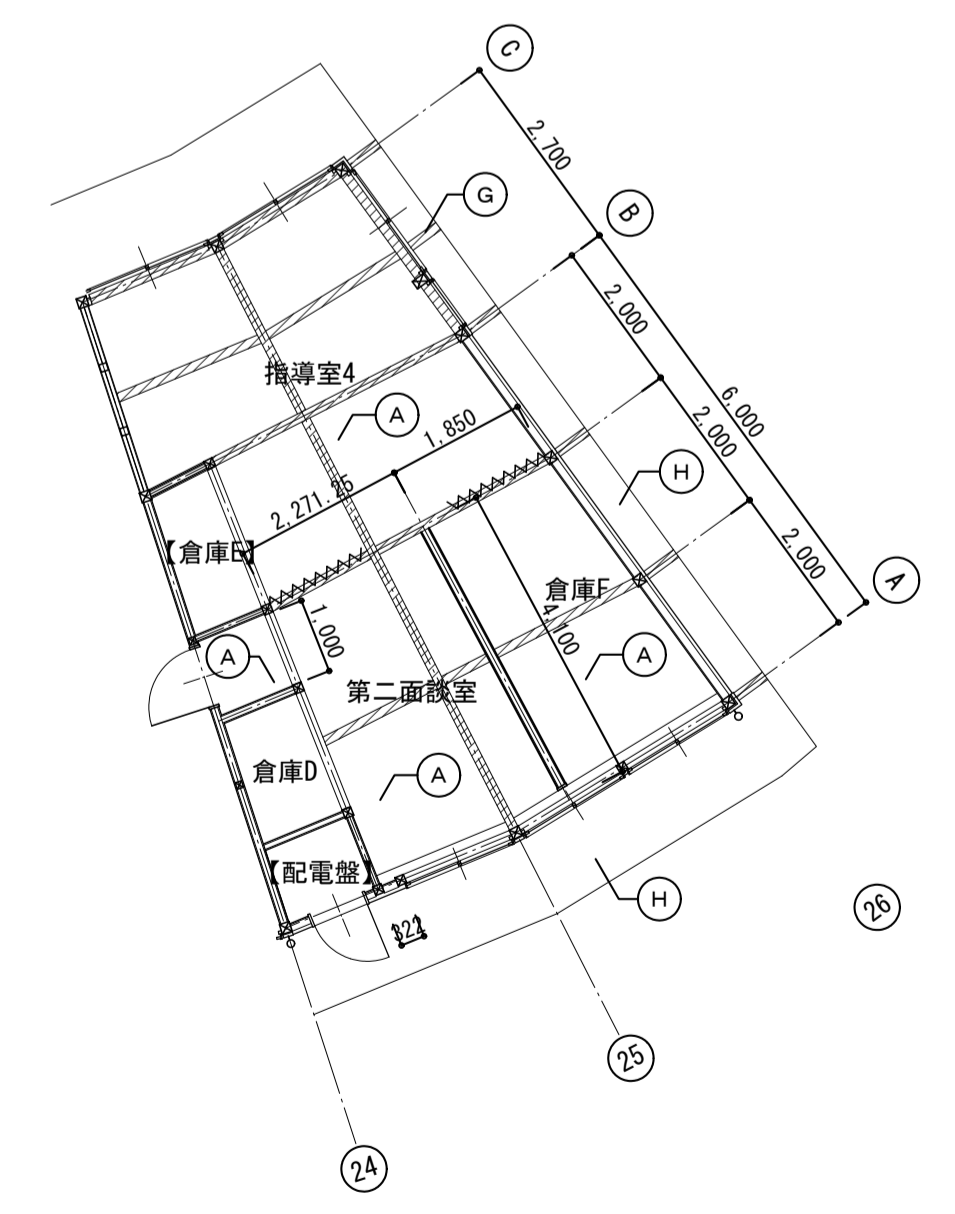
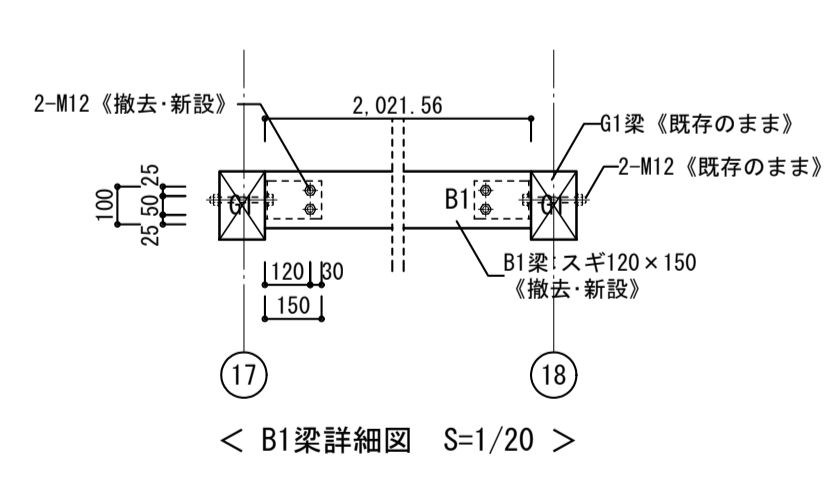
< 木製物置詳細図 >



【凡例】 (特記なき限り下記の改修方法とする)

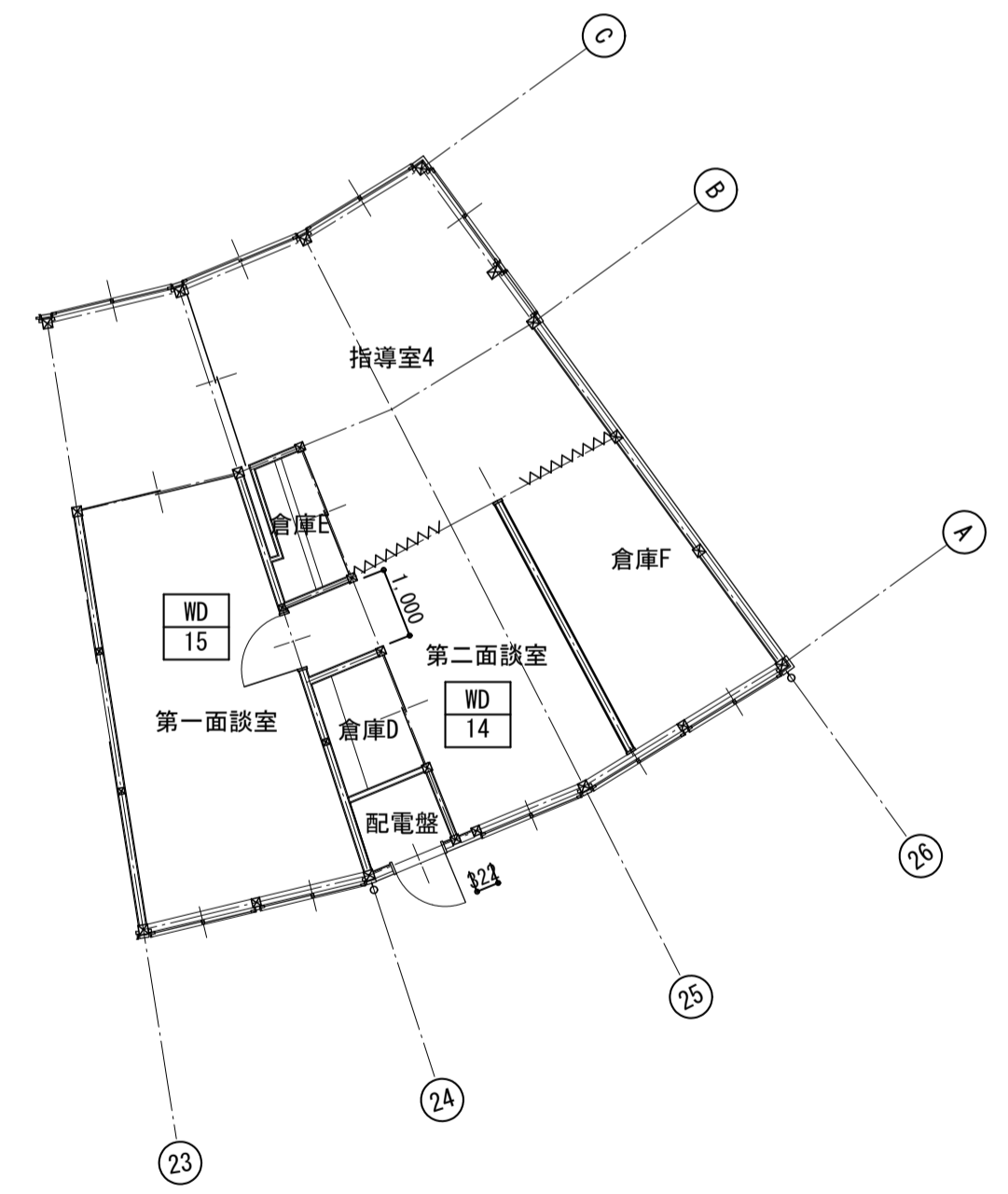
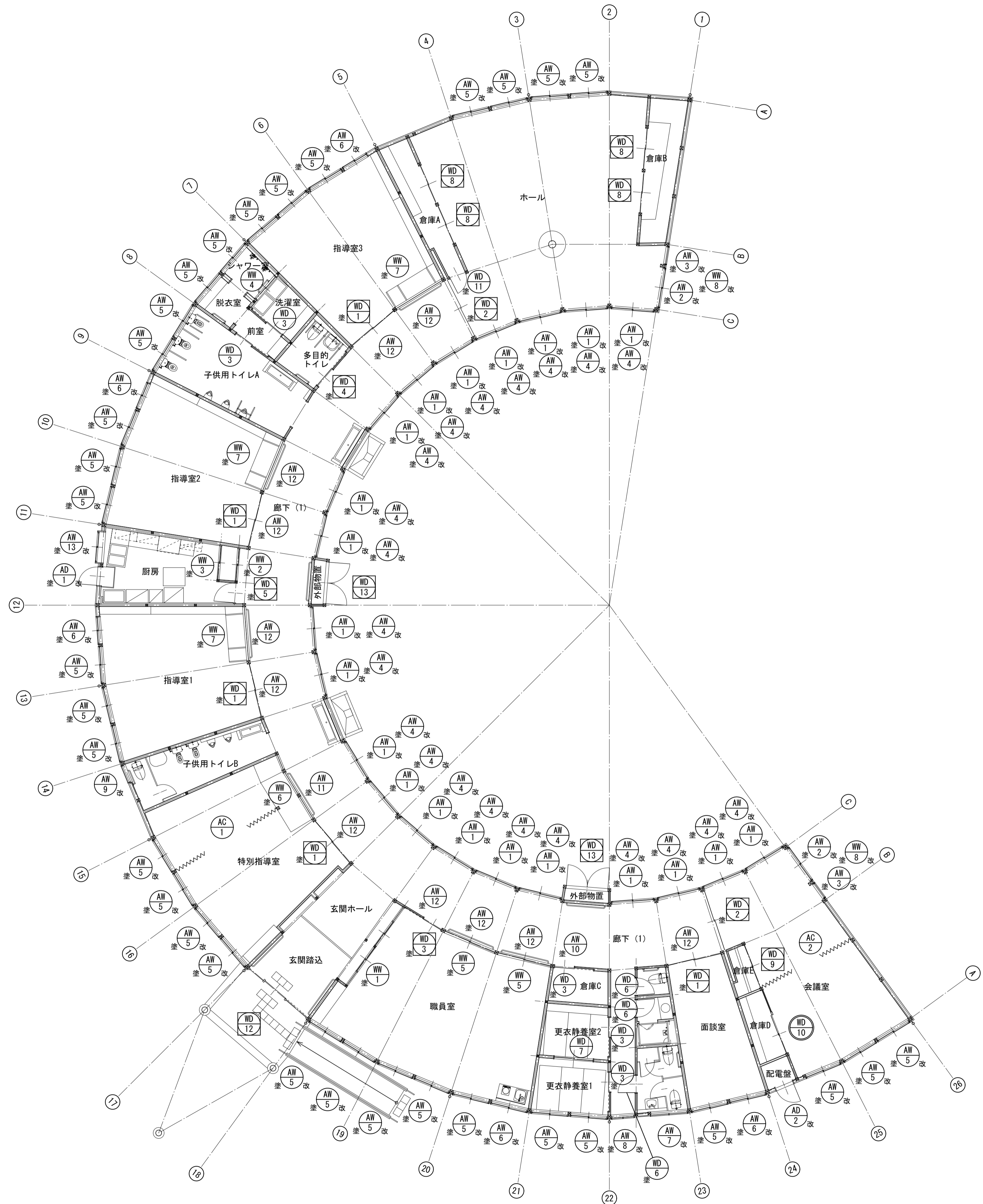
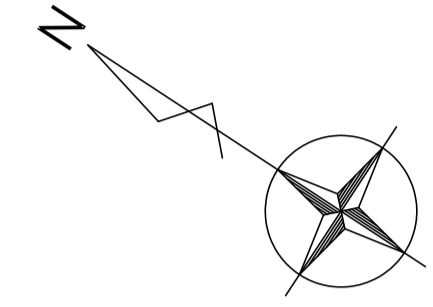
記号	改修前 仕上	処理	改修後 仕上
A	木下地、化粧PBt19.5張	既存のまま 仕上撤去	化粧PBt19.5張
B	木下地、耐水PBt12.5張 EP	既存のまま 仕上撤去	耐水PBt12.5張 EP
C	木下地、PBt19.5張	既存のまま 仕上撤去	PBt19.5張
D	木下地、スギ板t12.0F	既存のまま	既存のまま
E	木製カーテンボックスt25	下地調整	OS塗替
F	内部木部 (梁、方柱、柱)	既存のまま 下地調整	OS塗替
G	外部木部 (梁、方柱、柱)	下地調整 (RB種、外部下塗り用クリア塗布)	OS塗替
H	軒天: スギ板t12.0F	下地調整 (RB種、外部下塗り用クリア塗布)	OS塗替
共通	木製回り縁	既存のまま 下地調整	OS塗替

- 凡例:
- 仕上撤去又は塗替  
(※厨房は設備工事に関する部分のみ仕上撤去・復旧)
  - 既存のまま
  - 木部塗替部分を示す
  - 天井点検口450角新設  
(※設置位置は設備工事との打合せによる)



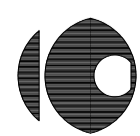
(改修前後) 天井伏図 S=1/100

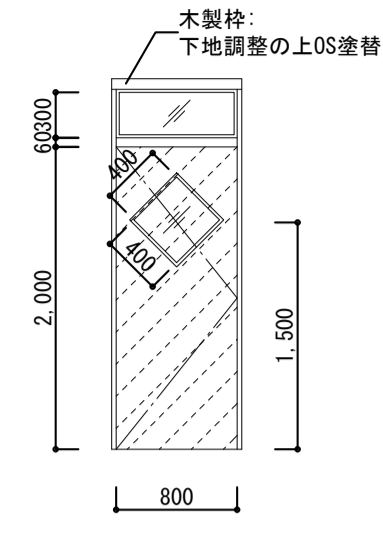
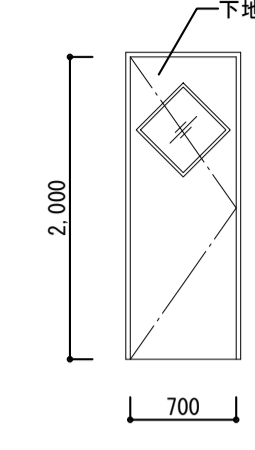
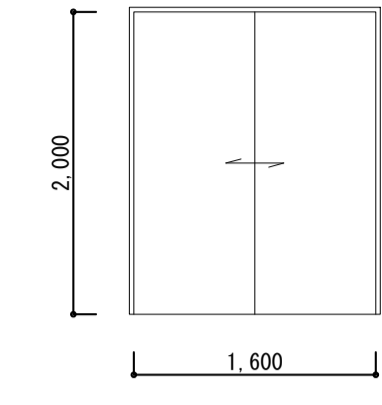
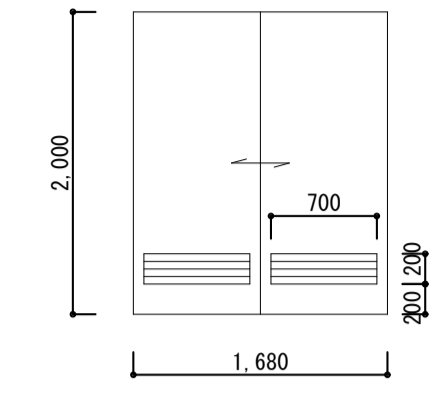
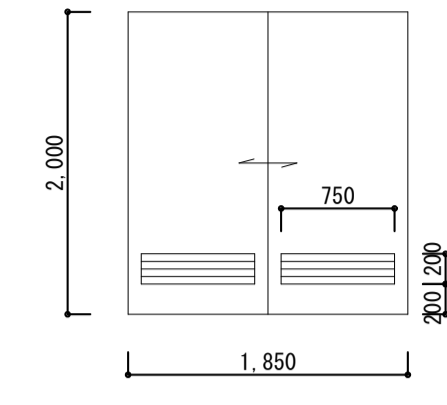
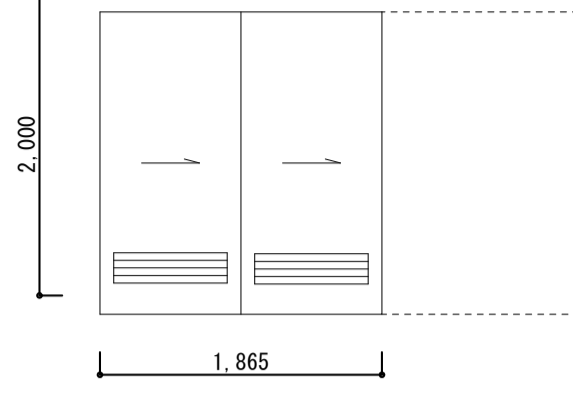
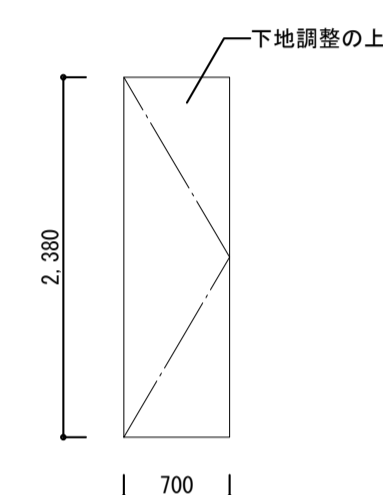
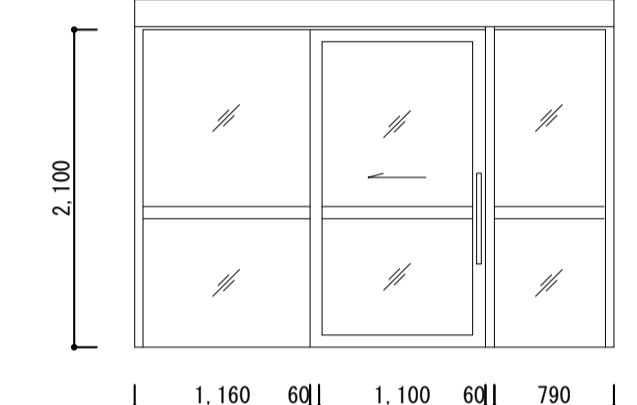
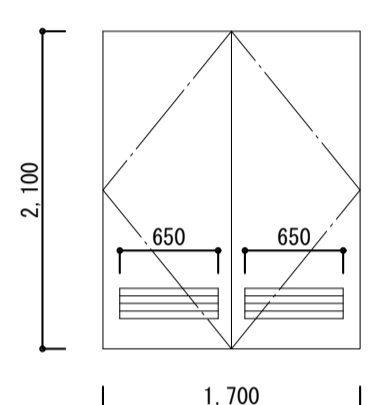
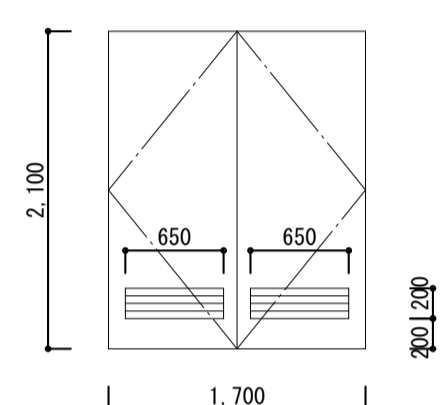
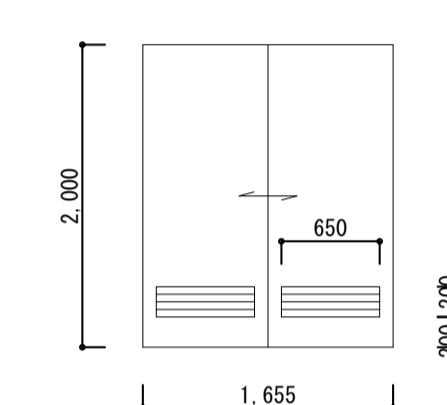
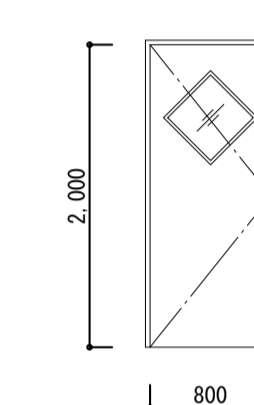
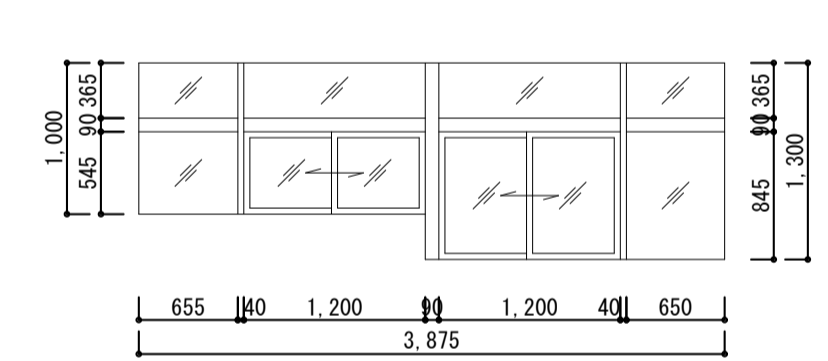
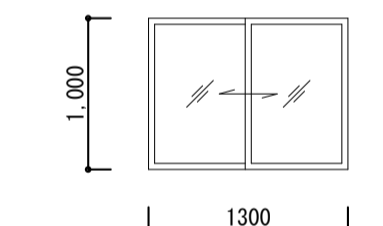
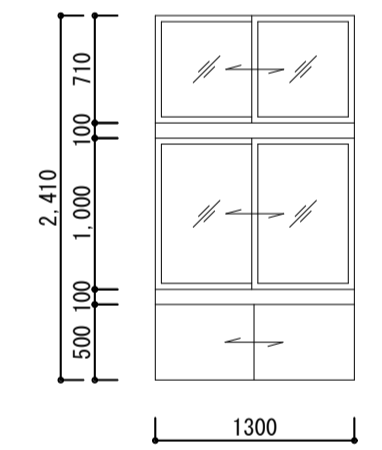
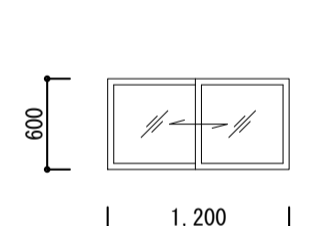
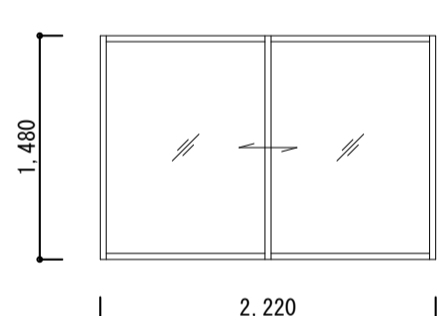
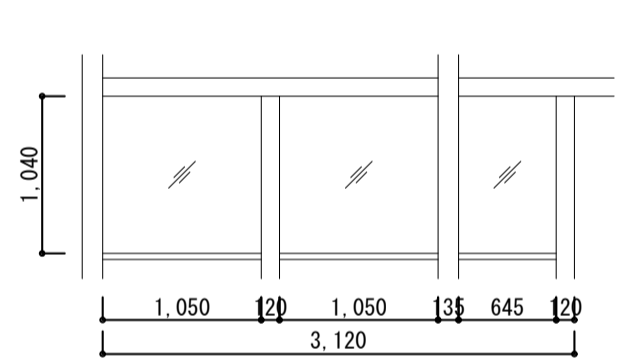
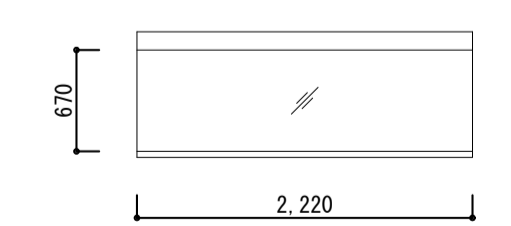
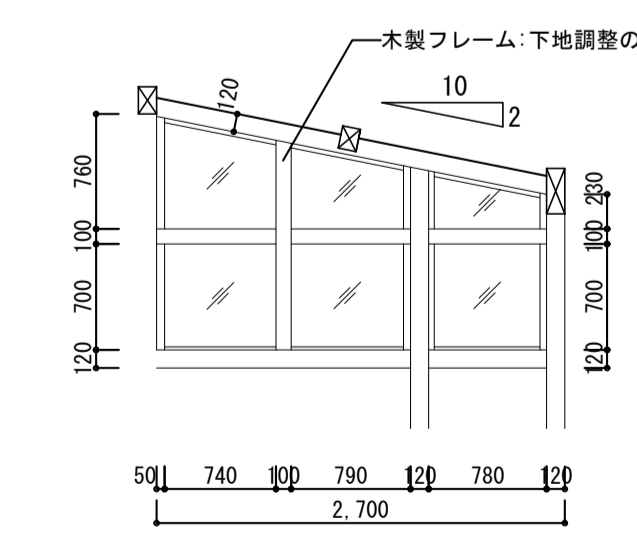
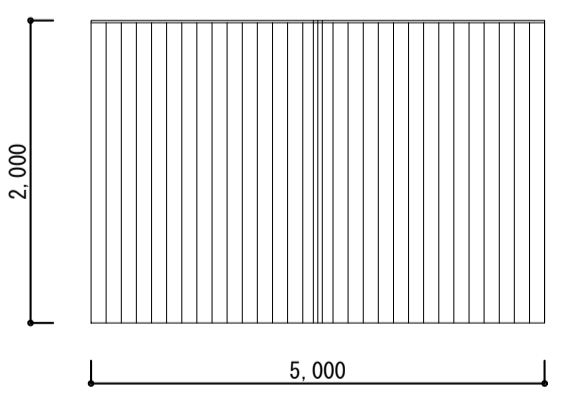
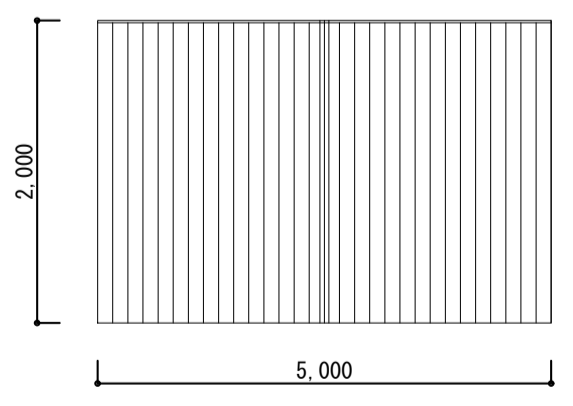
(改修前) 天井伏図 S=1/100



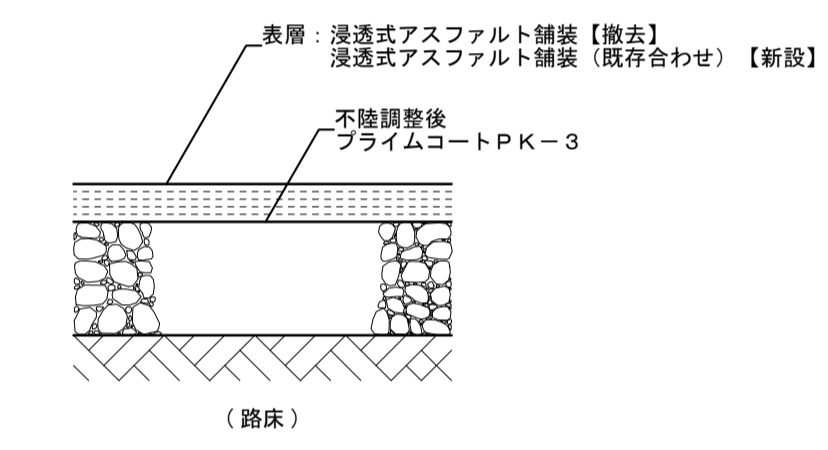
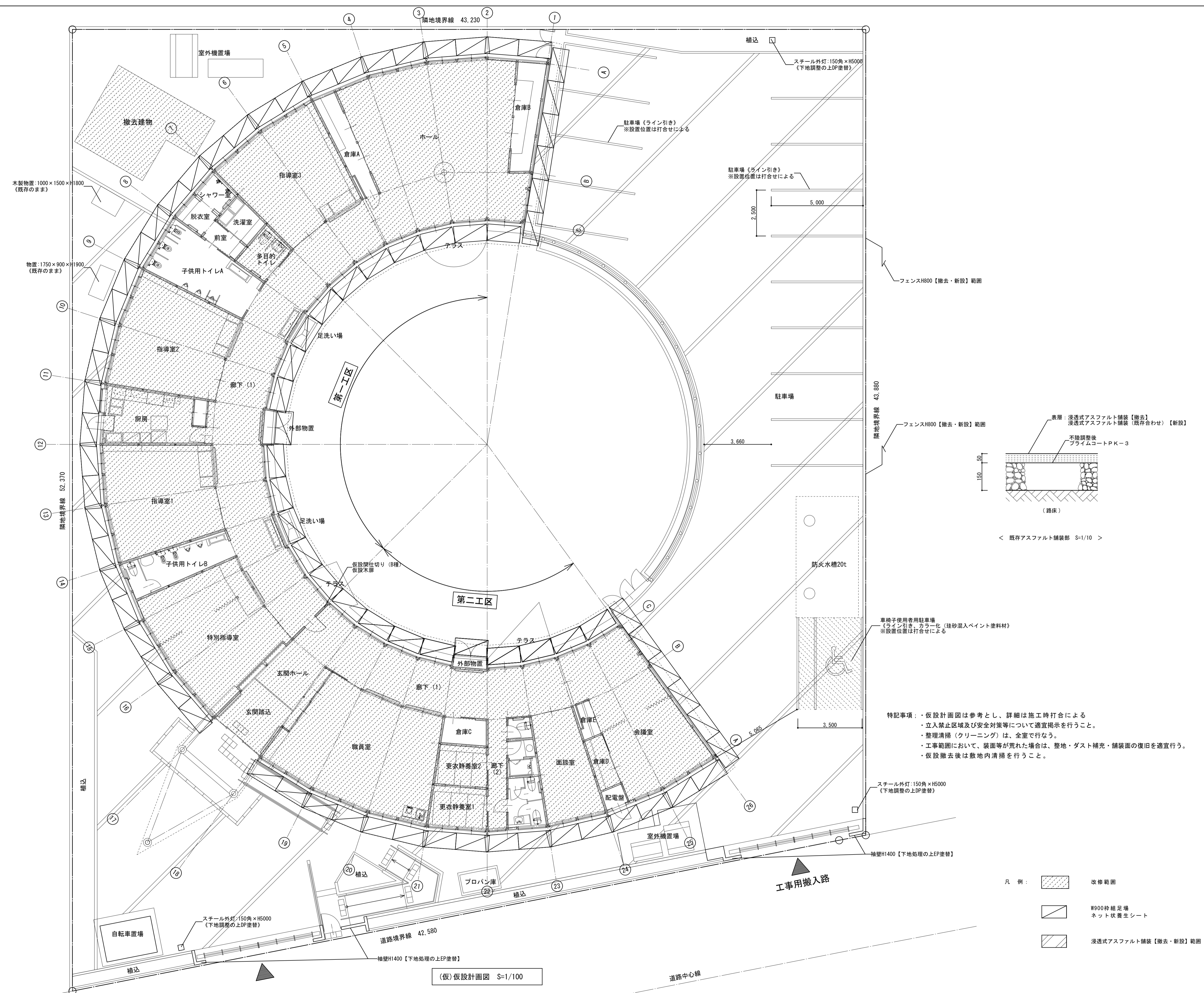
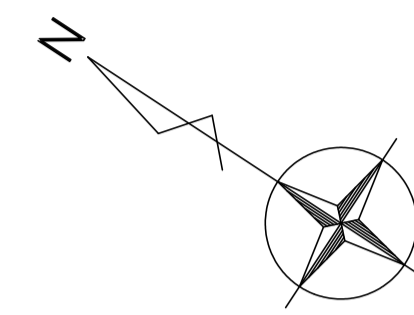
- 凡例:
- 建具(既存のまま)
  - 撤去建具
  - 改修建具  
サッシ・シーリング打替
  - 新設建具
  - 木部塗替
  - 撤去・新設建具

記号・場所・数量	AW1 改 ホール、会議室、廊下 21ヶ所	AW2 改 ホール、会議室 2ヶ所	AW3 改 ホール、会議室 2ヶ所	AW4 改 職員室、指導室、ホール、会議室等 21ヶ所	AW5 改 職員室、指導室、ホール、会議室等 26ヶ所 AW6 改 更衣静養室、脱衣室等 6ヶ所	AW7 改 職員室、指導室 5ヶ所	
写真							
型式・見込	ランマ付引違い戸	ランマ付引違い戸	ランマ付FIX窓	木製FIX+オーニング窓	引違い窓	引違い窓	
仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ、木製フレーム	アルミ	アルミ	
硝子	学校用強化ガラスt4	学校用強化ガラスt4	学校用強化ガラスt4	学校用強化ガラスt4	学校用強化ガラスt4	学校用強化ガラスt4	
金物	付属品一式	付属品一式	付属品一式	付属品一式	付属品一式	付属品一式	
改修内容	サッシシーリング打替、UVカットフィルム貼(消防法上、有窓となるもの)、内部木製額縁:下地調整の上OS塗替、ロールスクリーン一時撤去・再取付、SUS網戸張替	サッシシーリング打替、UVカットフィルム貼(会議室)、内部木製額縁:下地調整の上OS塗替、ロールスクリーン一時撤去・再取付、SUS網戸張替	サッシシーリング打替、UVカットフィルム貼(非透明フィルム貼(会議室))、内部木製額縁:下地調整の上OS塗替、ロールスクリーン一時撤去・再取付	サッシシーリング打替、UVカットフィルム貼(消防法上、有窓となるもの)、内外部木製フレーム:下地調整の上OS塗替	サッシシーリング打替、内部木製額縁:下地調整の上OS塗替(一部除く)	サッシシーリング打替、内部木製額縁:下地調整の上OS塗替	
記号・場所・数量	AW7 改 女子便所 1ヶ所	AW8 改 廊下(2) 1ヶ所	AW9 改 子供トイレB 1ヶ所	AW10 改 倉庫C 1ヶ所	AW11 改 特別指導室 1ヶ所	AW12 改 職員室、指導室、特別指導室 11ヶ所	
写真							
型式・見込	ルーバー窓	ルーバー窓	ルーバー窓	ルーバー窓	ルーバー窓	ルーバー窓	
仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	
硝子	網入り透明ガラスt6.8	網入り透明ガラスt6.8	網入り透明ガラスt6.8	網入り透明ガラスt6.8	網入り透明ガラスt6.8	網入り透明ガラスt6.8	
金物	付属品一式	付属品一式	付属品一式	付属品一式	付属品一式	付属品一式	
改修内容	サッシシーリング打替	サッシシーリング打替	サッシシーリング打替	内部木製フレーム:下地調整の上OS塗替(廊下下面のみ)	内部木製フレーム:下地調整の上OS塗替	内部木製フレーム:下地調整の上OS塗替	
記号・場所・数量	AW13 改 厨房 1ヶ所	AD1 改 厨房 1ヶ所	AD2 改 配電盤 1ヶ所				
写真							
型式・見込	引違い出窓	換気窓付き片開き戸	ガラリ付き片開き戸				
仕上	アルミ	アルミ	アルミ				
硝子	網入り透明ガラスt6.8	網入り透明ガラスt6.8	-				
金物	付属品一式	付属品一式	付属品一式				
改修内容	サッシシーリング打替、内部木製額縁:下地調整の上OS塗替	サッシシーリング打替、内部木製額縁:下地調整の上OS塗替	サッシシーリング打替				
記号・場所・数量	WD1 改 面談室、指導室 5ヶ所	WD2 改 ホール、会議室 5ヶ所	WD3 改 職員室 2ヶ所	WD3 改 更衣静養室、倉庫C 2ヶ所	WD3 改 子供トイレA、洗濯室 3ヶ所 WD4 改 多目的トイレ 2ヶ所	WD4 改 多目的トイレ 1ヶ所	
写真							
型式・見込	ランマ付引違い戸	ランマ付引違い戸	片引き戸	片引き戸	片引き戸	片引き戸	
仕上	ランマ:スギ OF シナ合板フラッシュ OF	シナ合板フラッシュ OS	シナ合板フラッシュ OS	シナ合板フラッシュ OS	シナ合板フラッシュ OS	シナ合板フラッシュ OS	
硝子	学校用強化ガラスt4	学校用強化ガラスt4、熱線反射フィルム貼(第一面談室のみ)	学校用強化ガラスt4	学校用強化ガラスt4	学校用強化ガラスt4	学校用強化ガラスt4	
金物	Vレール、戸車、引手、回転ラッチ錠、指詰め防止ゴム、付属品一式	Vレール、戸車、木製引手、回転ラッチ錠、指詰め防止ゴム、付属品一式	Vレール、戸車、引手、回転ラッチ錠、指詰め防止ゴム、付属品一式	Vレール、戸車、木製引手、回転ラッチ錠、指詰め防止ゴム、付属品一式	Vレール、戸車、引手、回転ラッチ錠、付属品一式	Vレール、戸車、引手(L600)、回転ラッチ錠、付属品一式	
改修内容	斜線部:撤去(Vレール共)、ランマ窓:下地調整の上OS塗替、木製枠:下地調整の上OS塗替	新設	斜線部:撤去(Vレール共)、木製フレーム:下地調整の上OS塗替	新設	斜線部:撤去・新設(職員室)、斜線部:下地調整の上OS塗替(更衣静養室、倉庫C)、木製枠:下地調整の上OS塗替(職員室、更衣静養室、倉庫C)、既存のまま(子供トイレA、洗濯室)	斜線部:撤去・新設(Vレール共)、木製枠:下地調整の上OS塗替	



記号・場所・数量 WD 5 厨房 1ヶ所	記号・場所・数量 WD 6 便所 1ヶ所	記号・場所・数量 WD 7 静養更衣室 3ヶ所	記号・場所・数量 WD 8 ホール 1ヶ所	記号・場所・数量 WD 9 会議室 4ヶ所	記号・場所・数量 WD 10 会議室 1ヶ所	記号・場所・数量 1ヶ所
 <p>木製枠 下地調整の上OS塗替</p>	 <p>下地調整の上OS塗替 (枠共)</p>					
型式・見込 ランマ付片開き戸	片開き戸	引違い戸	引違い戸	引違い戸	引込み戸	
仕上 シナ合板フラッシュ OS	シナ合板フラッシュ OF	シナ合板フラッシュ OF	シナ合板フラッシュ OS	シナ合板フラッシュ OS	シナ合板フラッシュ OS	
硝子 学校用強化ガラスt4	型板ガラスt4	-	-	-	-	
金物 レバーハンドル、回転ラッチ錠、付属品一式	レバーハンドル、回転ラッチ錠、付属品一式	Vレール、戸車、引手、付属品一式	Vレール、戸車、引手、回転ラッチ錠、ガラリ、付属品一式	Vレール、戸車、引手、回転ラッチ錠、ガラリ、付属品一式	Vレール、戸車、引手、回転ラッチ錠、ガラリ、付属品一式	
改修内容 斜線部:撤去・新設、木製枠:下地調整の上OS塗替	下地調整の上OS塗替 (枠共)	既存のまま	撤去・新設	撤去・新設	撤去	
記号・場所・数量 WD 11 ホール 1ヶ所	記号・場所・数量 WD 12 玄関 1ヶ所	記号・場所・数量 WD 13 外部倉庫 1ヶ所	記号・場所・数量 WD 14 (改修後) 第二面談室 2ヶ所	記号・場所・数量 WD 15 (改修後) 第二面談室 1ヶ所	記号・場所・数量 1ヶ所	
 <p>下地調整の上OS塗替</p>						
型式・見込 片開き戸	FIX窓付引き戸	両開き戸	両開き戸	引違い戸	片開き戸	
仕上 シナ合板フラッシュ OF	スギ OS	シナ合板フラッシュ OS	屋外用耐候性フィルム フラッシュ	シナ合板フラッシュ OS	シナ合板フラッシュ OS	
硝子 -	-	-	-	-	学校用強化ガラスt4	
金物 レバーハンドル、シリンダー錠、丁番	Vレール、戸車、引手(L600)、回転ラッチ錠、シリンダー錠、付属品一式	押棒、回転ラッチ錠、ガラリ、付属品一式	押棒、回転ラッチ錠、ガラリ、付属品一式	Vレール、戸車、引手、回転ラッチ錠、ガラリ、付属品一式	レバーハンドル、丁番、戸当り、ドアチェック、付属品一式	
改修内容 下地調整の上OS塗替	撤去・新設 (シーリング共)	撤去	新設	新設	新設	
記号・場所・数量 WW 1 玄関 1ヶ所	記号・場所・数量 WW 2 ハッチ 1ヶ所	記号・場所・数量 WW 3 職員室、指導室、ホール、会議室等 1ヶ所	記号・場所・数量 WW 4 洗濯室 1ヶ所	記号・場所・数量 WW 5 職員室 1ヶ所	記号・場所・数量 WW 6 特別指導室 2ヶ所	記号・場所・数量 1ヶ所
						
型式・見込 ランマ付引違い窓	引違い窓	引違い窓	引違い窓	引違い窓	FIX窓	
仕上 スギ OF	スギ OF	スギ OF	スギ OF	スギ OF	スギ OF	
硝子 学校用強化ガラスt4	学校用強化ガラスt4	学校用強化ガラスt4	学校用強化ガラスt4	学校用強化ガラスt4	学校用強化ガラスt4	
金物 付属品一式	付属品一式	付属品一式	付属品一式	付属品一式	付属品一式	
改修内容 下地調整の上OS塗替	下地調整の上OS塗替	下地調整の上OS塗替	既存のまま	下地調整の上OS塗替	下地調整の上OS塗替	
記号・場所・数量 WW 7 指導室 3ヶ所	記号・場所・数量 WW 8 指導室 3ヶ所	記号・場所・数量 AC 1 特別指導室 2ヶ所	記号・場所・数量 AC 2 会議室 1ヶ所	記号・場所・数量 1ヶ所	記号・場所・数量 1ヶ所	
	 <p>木製フレーム:下地調整の上OS塗替</p>					
型式・見込 FIX窓	FIX窓	アコーディオンカーテン	アコーディオンカーテン			
仕上 スギ OF	スギ OF	遮光用、規格品	遮光用、規格品			
硝子 学校用強化ガラスt4	学校用強化ガラスt4	-	-			
金物 付属品一式	付属品一式	付属品一式	付属品一式			
改修内容 下地調整の上OS塗替	サッシシーリング打替、UVカットフィルム貼(消防法上、有窓となるもの)、木製フレーム:下地調整の上OS塗替	一時撤去・再取付	一時撤去・再取付			





特記事項：  
 ・仮設計画図は参考とし、詳細は施工時打合せによる  
 ・立入禁止区域及び安全対策等について適宜掲示を行うこと。  
 ・整理清掃（クリーニング）は、全室で行なう。  
 ・工事範囲において、装面等が荒れた場合は、整地・ダスト補充・舗装面の復旧を適宜行う。  
 ・仮設撤去後は敷地内清掃を行うこと。

- 凡例：
- 改修範囲
  - W900枠組足場  
ネット状養生シート
  - 浸透式アスファルト舗装【撤去・新設】範囲

(仮) 仮設計画図 S=1/100

## 電気設備工事特記仕様書

### 1 工事概要

- 1.1 工事名 市立みずほ学園大規模改修工事
- 1.2 工事場所 富士見市みどり野南2丁目地内
- 1.3 工期 契約日 から 平成31年9月27日 まで  
(共通仮設費率の算定に用いる工期 契約日から平成31年9月27日まで)
- 1.4 工事科目 (○印の付いたものを適用する)

<ul style="list-style-type: none"><li>○ 電灯コンセント設備</li> <li>○ 動力設備</li> <li>・ 電熱設備</li> <li>・ 雷保護設備</li> <li>・ 受変電設備</li> <li>・ 静止型電源設備</li> <li>・ 発電設備</li> <li>・ 構内情報通信網設備</li> <li>・ 構内交換設備</li> <li>・ 情報表示設備</li> <li>○ 映像、音響設備</li> <li>○ 拡声設備 (非常放送設備)</li> <li>○ 誘導支援、呼出し設備</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ テレビ共同受信設備</li> <li>・ テレビ電波障害防除設備</li> <li>・ 監視カメラ設備</li> <li>・ 駐車場管制設備</li> <li>・ 防犯、入退室管理設備</li> <li>○ 自動火災報知設備</li> <li>・ 自動閉鎖設備</li> <li>・ ガス漏れ火災警報設備</li> <li>○ 電話配管設備</li> <li>・ 中央監視制御設備</li> <li>・ 昇降機設備</li></ul>
---	---

- 1.5 指定部分 ○ 無 ・有 ( 工期：平成 年 月 日)
- 1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)
  - 専任期間の始期

請負契約締結の日から、(○現場施工に着手するまで (現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで)の期間 ・平成 年 月 日までの期間)については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
  - 専任期間の終期

工事完成後、検査が終了し (発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
  - 専任期間の中断

自然災害の発生又は理職文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

1.7. 建物概要	
延床面積	568.75㎡
構造	木造
階数	平屋建て

### 1.8 工事概要

照明器具のLED化	
分電盤更新	
幹線ケーブル更新	

## 2 工事仕様

### 2.1 共通仕様

(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事情）、公共建築設備工事標準図（電気設備工事情）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。
なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

2.2 特記仕様 (特記事項の選択項目は、○印の付いたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない)	
項 目	特 記 事 項
① 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 <p>使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。</p> <p>「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。</p> <p>調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。</p>
② 工事用電力・水	本工事に必要な電力及び水などは、構内から使用できるものとし、その仮設にかかる費用は受注者の負担とする。
③ 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。
④ 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
⑤ 監督員事務所	本工事で ・設ける (規模 ) ⑧設けない
⑥ 保 険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。
⑦ 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
⑧ 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律について ※ 適用する (契約金額による) ・ 適用しない
⑨ 完成図書の電子納品	完成図書の電子納品ガイドライン ※ 適用する ・ 適用しない <p>完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表 (名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等)を記載すること。</p> <p>県営住宅の完成図の提出部数は、A 3 二折つり5部とする。</p>
⑩ 発生材処理	引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 (構外搬出処理費は、※本工事 ・別途) <p>(1) 引渡しを要するもの ( )</p> <p>(2) 買取処分を要するもの (銅屑・鉄屑 )</p> <p>(3) 再生資源化を図るもの (蛍光管 )</p> <p>蛍光管等は再資源化施設等に搬出し、全てリサイクルするものとする。</p> <p>(4) 特別管理産業廃棄物 ( )</p> ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

1 1 金属電線管の塗装	露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。 また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。ただし、見えかきり部の塗装については監督員の指示による。				
⑫ 鍵	壁等の鍵は、既存壁及び別途工事の壁との整合を極力図るものとする。				
1 3 地中電線路	(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。 <table> <tbody><tr> <th>敷き均し土</th><th>管 種 別</th></tr> <tr> <td>良質土</td><td>硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆銅管 (PLP)</td></tr> </tbody></table> <p>(2) 地中電線路には、ケーブル埋設標及び標識シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の標識シートは図面特記による。</p>	敷き均し土	管 種 別	良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆銅管 (PLP)
敷き均し土	管 種 別				
良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆銅管 (PLP)				
⑭ 回路の種別 行先の表示	ハンドホール、ブルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。				
⑮ 電線の接続	湿気が多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。 上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。				
⑯ 電線管の接続	屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじし工法としてもよい。				
1 7 残土処分	埋戻し後の建設残土は、監督員が指示する構内の場所に敷き均しとする。				
1 8 再生砂・再生アスコン	契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、 ・使用できる。 ※使用できない。 再生砂使用に先立ち、1購入あたり1機体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。				
⑰ 工事カルテ作成・登録	請負代金が5 0 0万円以上のときは、本工事受注時、変更時及び完成時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員に承諾を受けた後、(一財)日本建設情報総合センターに登録するとともに、登録結果を監督員に報告する。				
⑱ 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。 なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。				

⑲ 1 7 残土処分	埋戻し後の建設残土は、監督員が指示する構内の場所に敷き均しとする。
⑲ 1 8 再生砂・再生アスコン	契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、 ・使用できる。 ※使用できない。 再生砂使用に先立ち、1購入あたり1機体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。
⑲ ⑰ 工事カルテ作成・登録	請負代金が5 0 0万円以上のときは、本工事受注時、変更時及び完成時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員に承諾を受けた後、(一財)日本建設情報総合センターに登録するとともに、登録結果を監督員に報告する。
⑲ ⑱ 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。 なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び屋根	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類 <small>(※1)</small>	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類 <small>(※1)</small>	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類 <small>(※1)</small>	1.5	1.0	1.0	0.6

【備 考】(※1)：水槽類には、オイルタンク等を含む。

重要機器
・配電盤 ・発電装置(防炎機) ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置
・交換機 ⑦火災報知器受信機 ・中央監視装置 ・太陽光発電装置
上層階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
(2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量1 0 0 k gを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてX線撮影調査を実施してから、ダイヤモンドカッターを使用すること。

本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。
(1) 内部足場 ※ 樹立足場
(2) 外部足場 ※ A種(枠組足場) ・B種(単管本足場) ・C種 ・D種
※足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」について(厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

(1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。
(2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。
(3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。

(4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。 (5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 (6) 改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。 (7) 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。 (8) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。 ※以下は、高等学校および特別支援学校の改修工事(夏休み工事)に適用する。 (9) 騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については原則として夏休み期間に設定すること。	
以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。 ・同時期発注の関連工事：建築工事、機械設備工事	
2.3 工事別一般事項 (特記事項選択項目は、○印の付いたものを適用する)	
項 目	特 記 事 項
① 電灯コンセント設備	(1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は運用形とする。なお、2口コンセントは複式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 (2) 照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものである。 (3) 照度測定 電灯設備工事に際し、新設工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定を下記基準により実施すること。 ○ JIS C 7012「照度測定方法」 ・ 学校環境衛生基準 (4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 (5) 継棒 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと上りり面とが1 0mm程度以上離れる場合は継棒を使用する。ただし、ボード張りで、ボード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、継棒を必要としない。 (6) 位置ボックスの省略 ケーブルところがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略しても良い。
② 動力設備	(1) 動力制御盤及び開閉箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 (2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
3 雷保護設備	(1) 受雷部突針はL R 1とする。 (2) 水平導体又はメッシュ導体は、太さ3 8mm2以上の銅より線、t 3×25mm以上の大きさの銅帯又はt4×25mm以上の大きさのアルミ帯とする。 (3) 引下り導線は、太さ2 2mm2以上の銅より線を使用する。
4 受変電設備	高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 (端末処理 ・ 前増用 ・ 一般用 ) 交 流 3 相 3 線 式 6, 6kV 5 0Hz 定 格 電 圧 7, 2kV 定 格 電 流 A 受 電 電 圧 柱上用上昇気中 負荷開閉器(PAS) 主 進 断 装 置 変圧器設備容量 定 格 電 圧 kV 定 格 断 断 電 流 kA 動 力 用 kVA × 台 電 灯 用 kVA × 台 高 圧 進 相 コ ン デ ン サ kVar × 台 直 列 ア ク ト ル ・ 6 % ・ 1 3 % kVar × 台
5 構内情報通信網設備	ネットワーク機器を壁内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
6 静止型電源設備	・直流電源装置 ・交流無停電電源装置 ・(概要)
7 発電設備	・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 熱併給(コ-ジェネ-ション)発電装置 ・ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置 ・ (概要)
8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
⑨ 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備 (非常放送設備)	(1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 (2) 総合壁内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
1 0 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事情)による。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

2.4 取付高さ
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ(mm)	
		一 般	県営住宅
スイッチ (一般)	床上～中心	1, 3 0 0	1, 2 0 0
〃 (身体障害者用)	〃	1, 1 0 0	1, 0 0 0
〃 (人感センサー切換用)	〃	2, 0 0 0	2, 0 0 0
コネクタ、電話用7017k、直列エレクト	〃	3 0 0	4 0 0
〃 (和室)	〃	1 5 0	2 0 0
〃 (台上)	台上～中心	1 5 0	5 0 0
〃	床上～中心	5 0 0	5 0 0
防水型コンセント	〃	(上端1, 900以下)1, 500	(上端1, 900以下)1, 500
分電盤、制御盤、開閉箱	〃	9 0 0	9 0 0
呼出ボタン (身体障害者用)	〃	1, 8 0 0	1, 8 0 0
復帰ボタン ( 〃 )	〃	2, 0 0 0	2, 0 0 0
廊下表示灯 ( 〃 )	〃	2, 0 0 0	2, 0 0 0
親子盤	〃	2, 0 0 0	2, 0 0 0

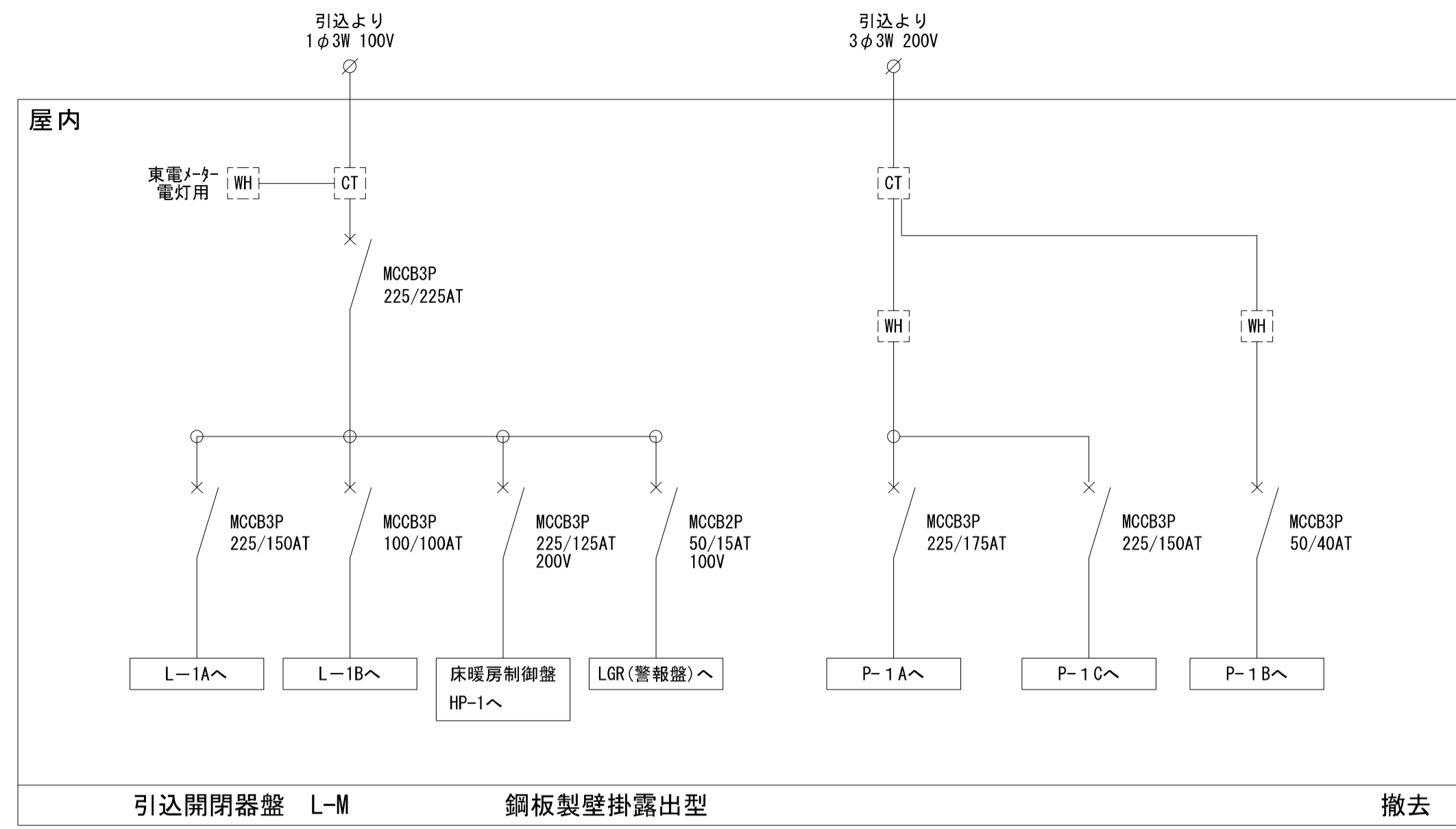
### 3 その他

- 1 他工事との取合区分
発注図又は工事区分表による。
- 2 図面上の縮尺
図面上の縮尺は、発注図の大きさを日本工業規格A 1版とした縮尺とする。
- 3 疑義
本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

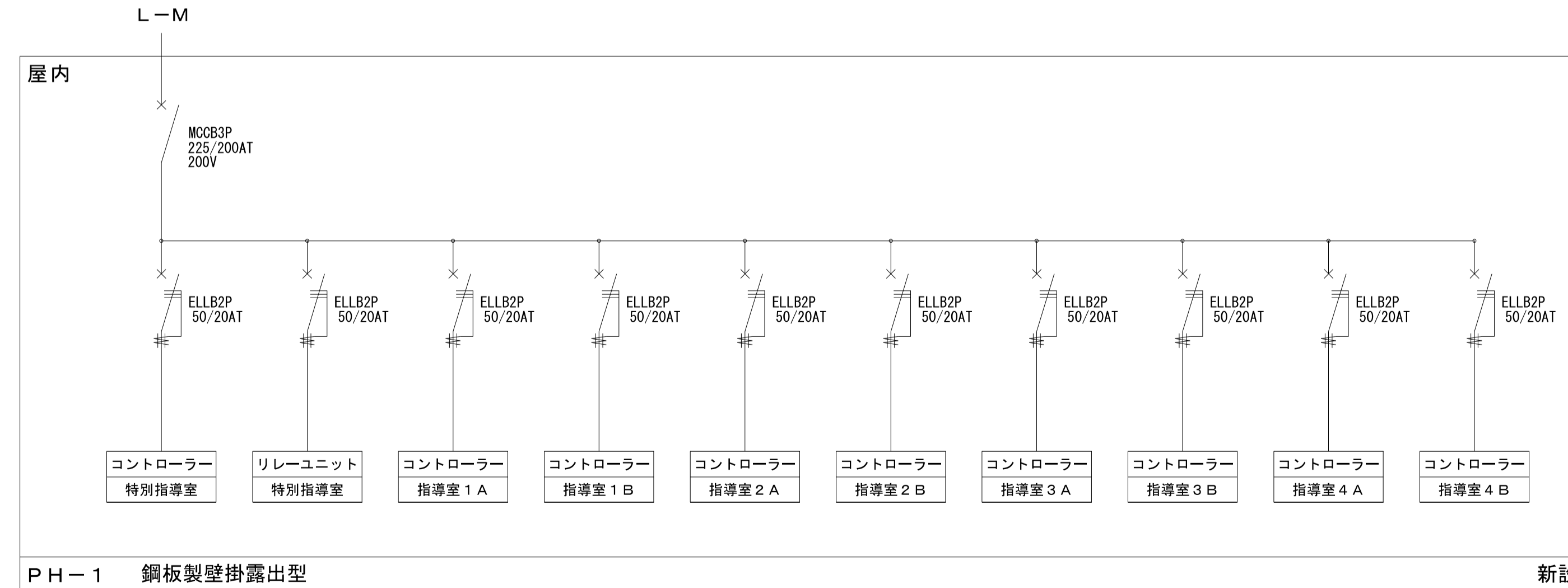
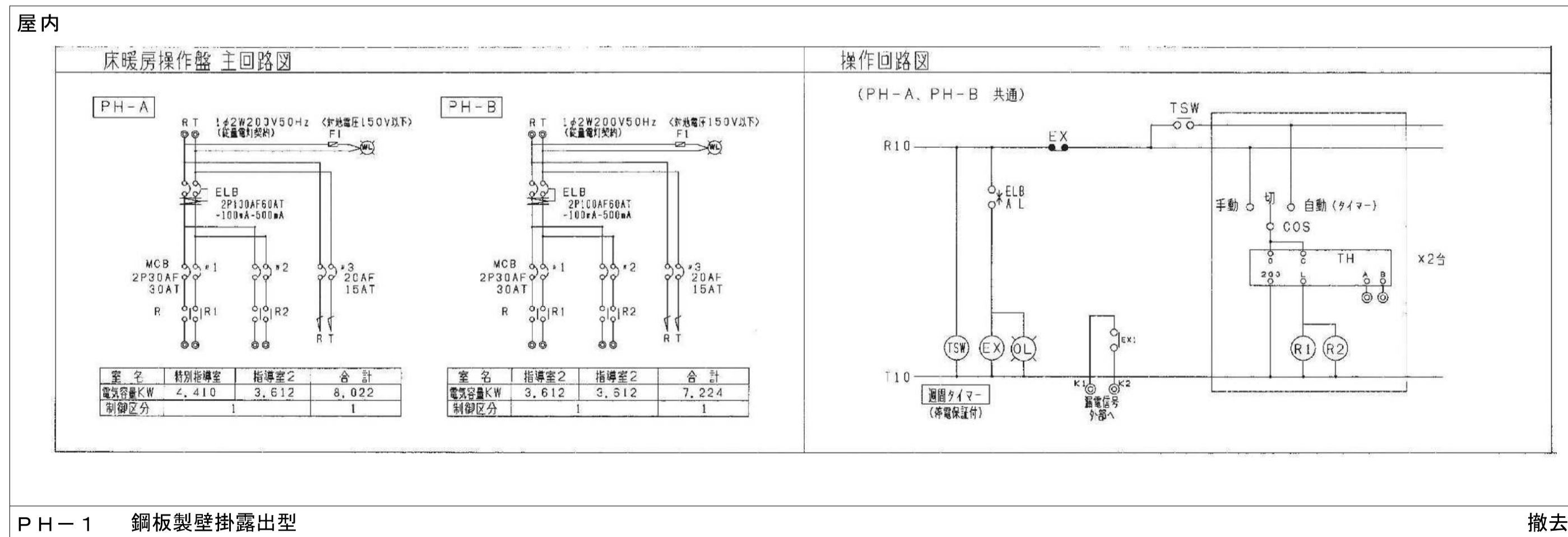
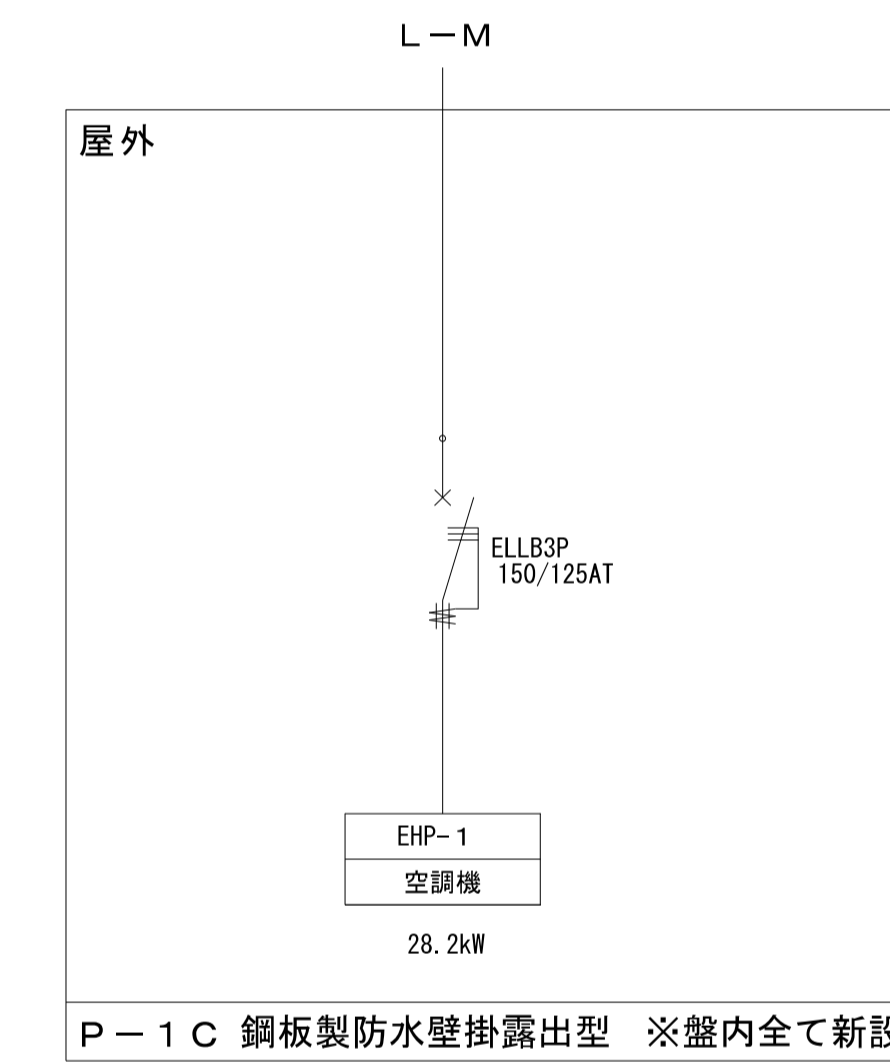
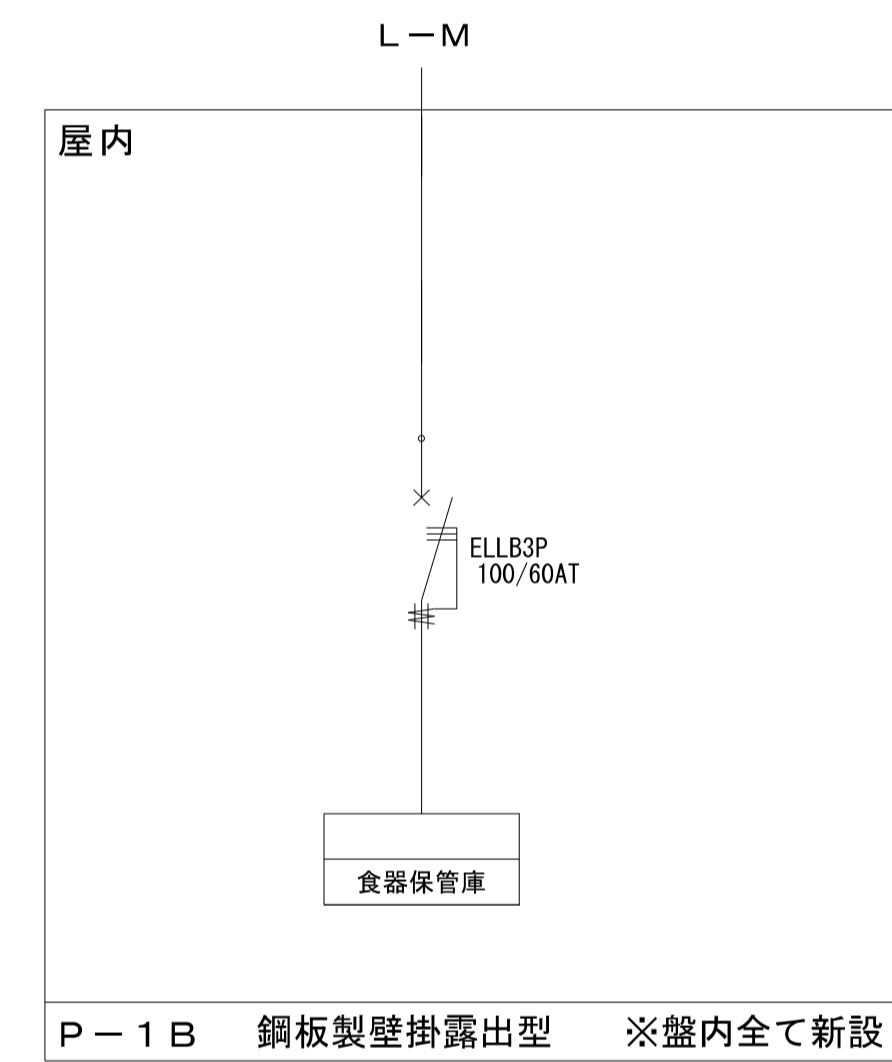
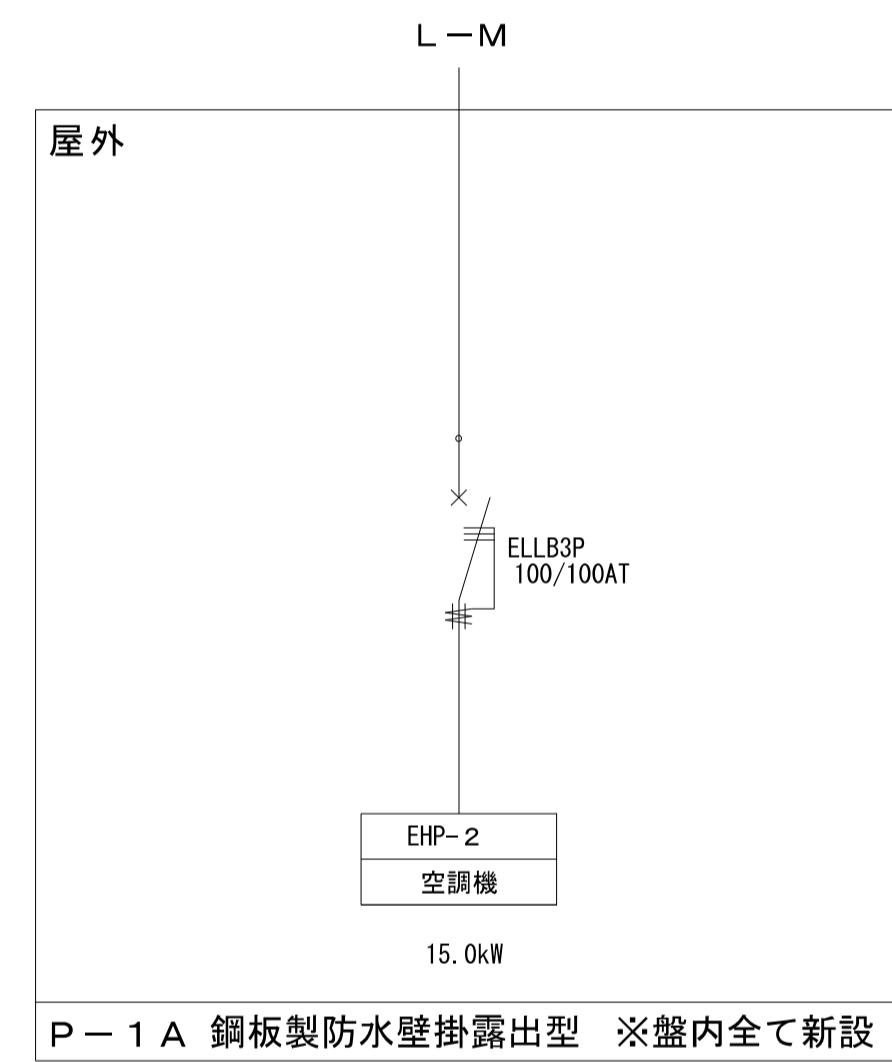
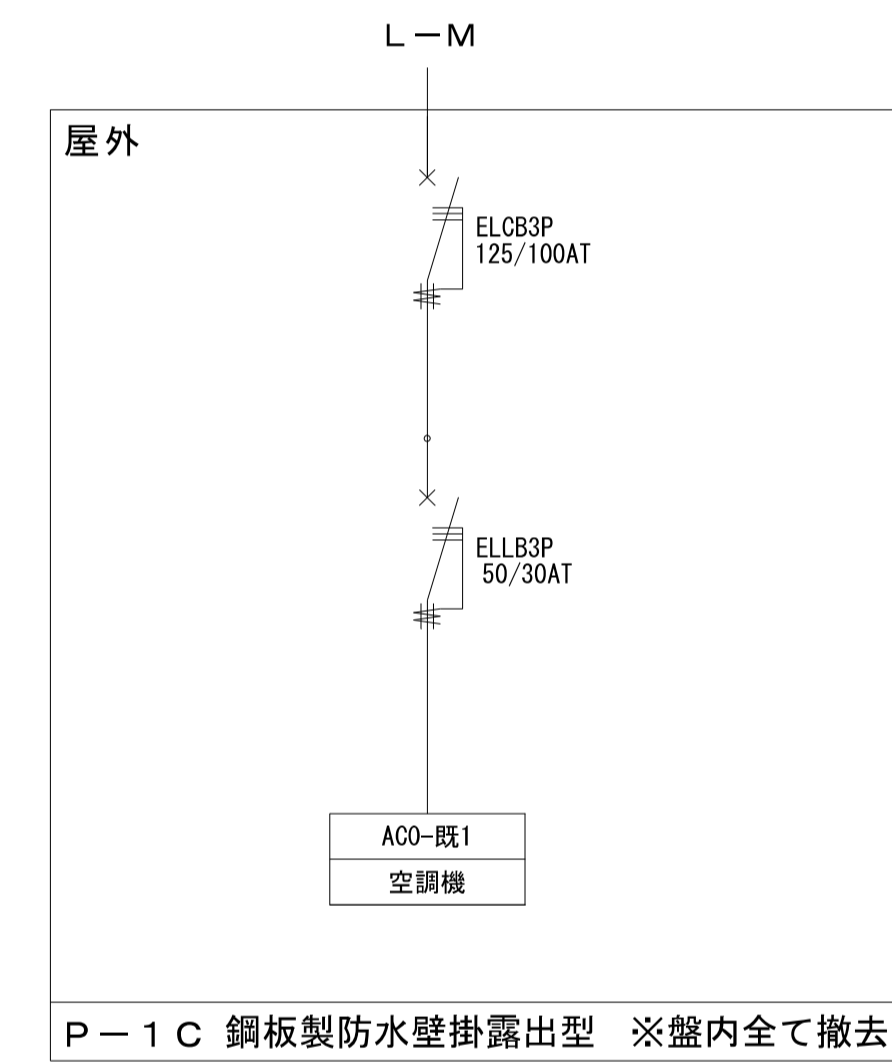
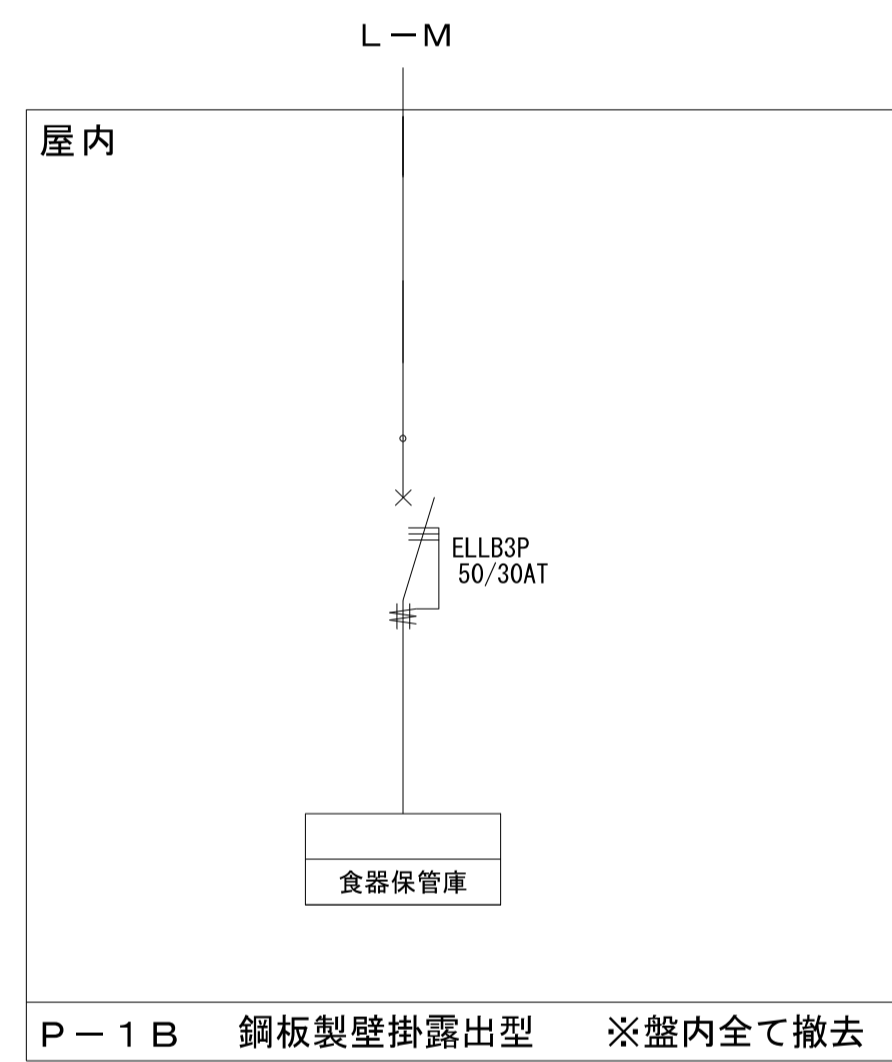
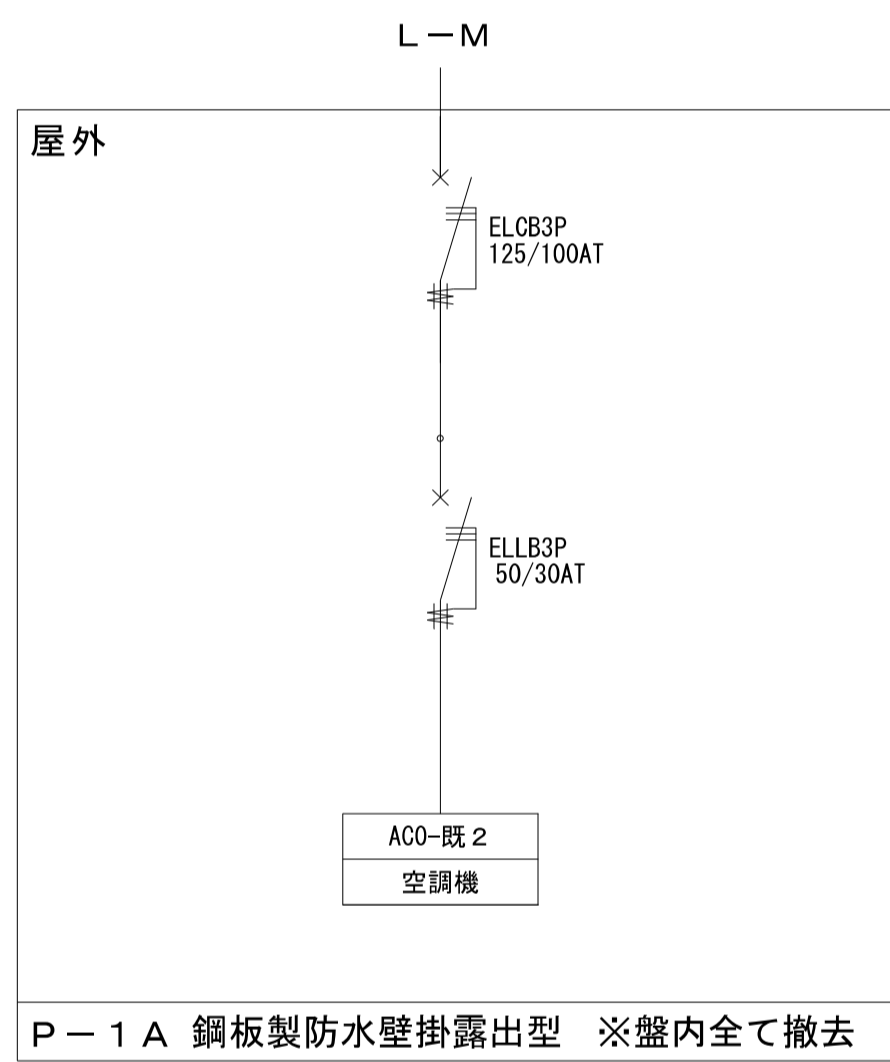
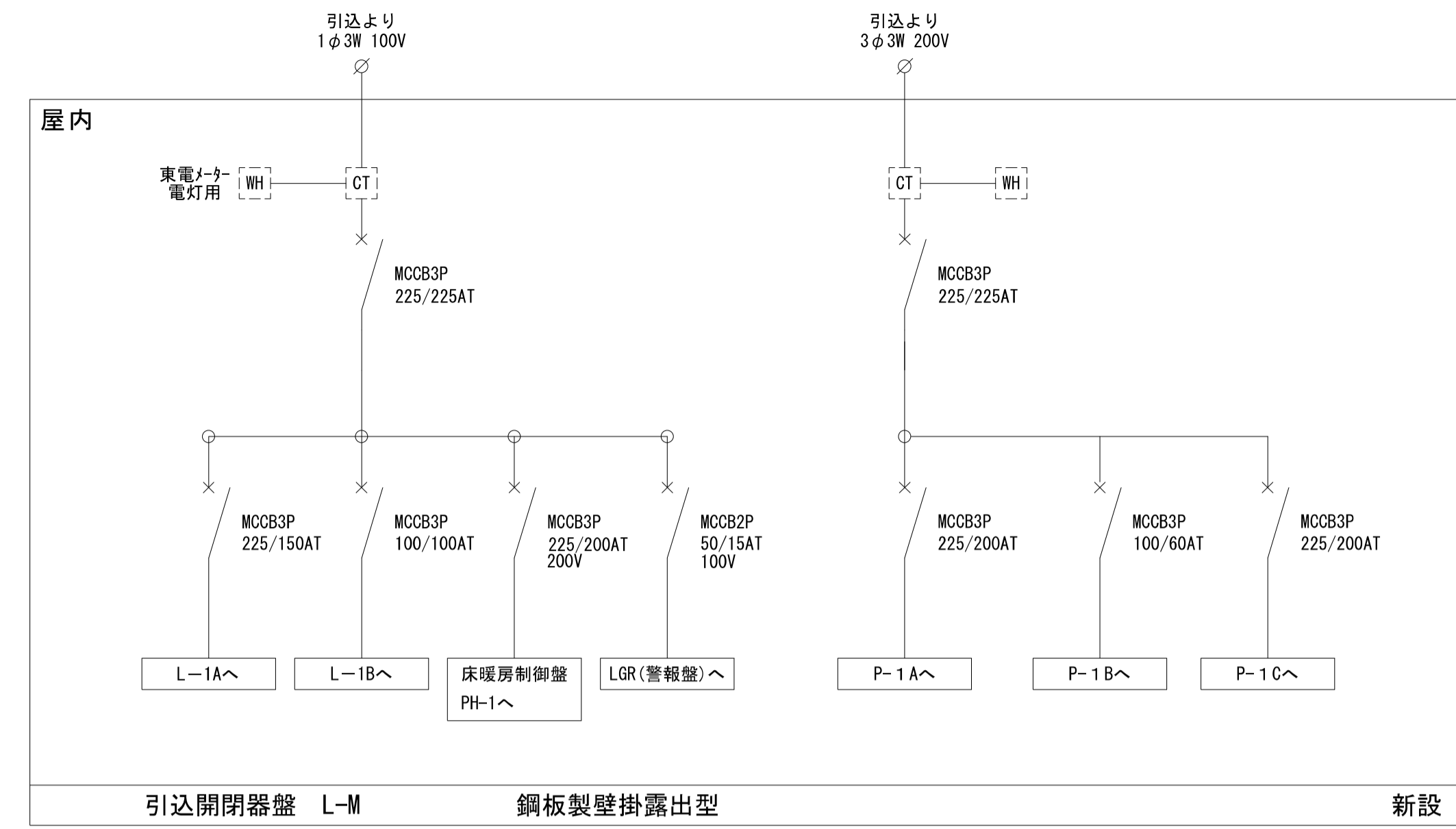
舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書	
第1条 この特記仕様書は、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水(以下「濁水」という。)の処理に関し必要な事項を定めるものである。	
第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 <ul style="list-style-type: none"><li>種類及び処理量 汚泥(油分を含む汚泥) ㎡ m3</li> <li>中間処理施設 市 地内、(株)</li> <li>処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却又は溶融含まず)</li> <li>中間処理後、最終処分場又は再資源化(処理に焼却又は溶融を含む)</li></ul>	
第3条 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。	
第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 <ol style="list-style-type: none"><li>受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。</li> <li>受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。</li> <li>受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。))により管理するものとする。</li></ol>	
第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第4条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 <ol style="list-style-type: none"><li>受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。</li></ol>	
第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 <ol style="list-style-type: none"><li>受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。</li> <li>この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</li></ol>	

官公庁等打ち合わせ相手 打ち合わせ担当者	建築： _____ 昇降機： _____		
施設管理者： _____			
電力会社： _____			
電話会社： _____			
ケーブルテレビ会社： _____			
消防本部： _____			
工事名	市立みずほ学園大規模改修工事	No	E - 01
図面名	電気設備工事特記仕様書	縮尺 A1:1/ー A3:1/ー	日付 2018.11.30

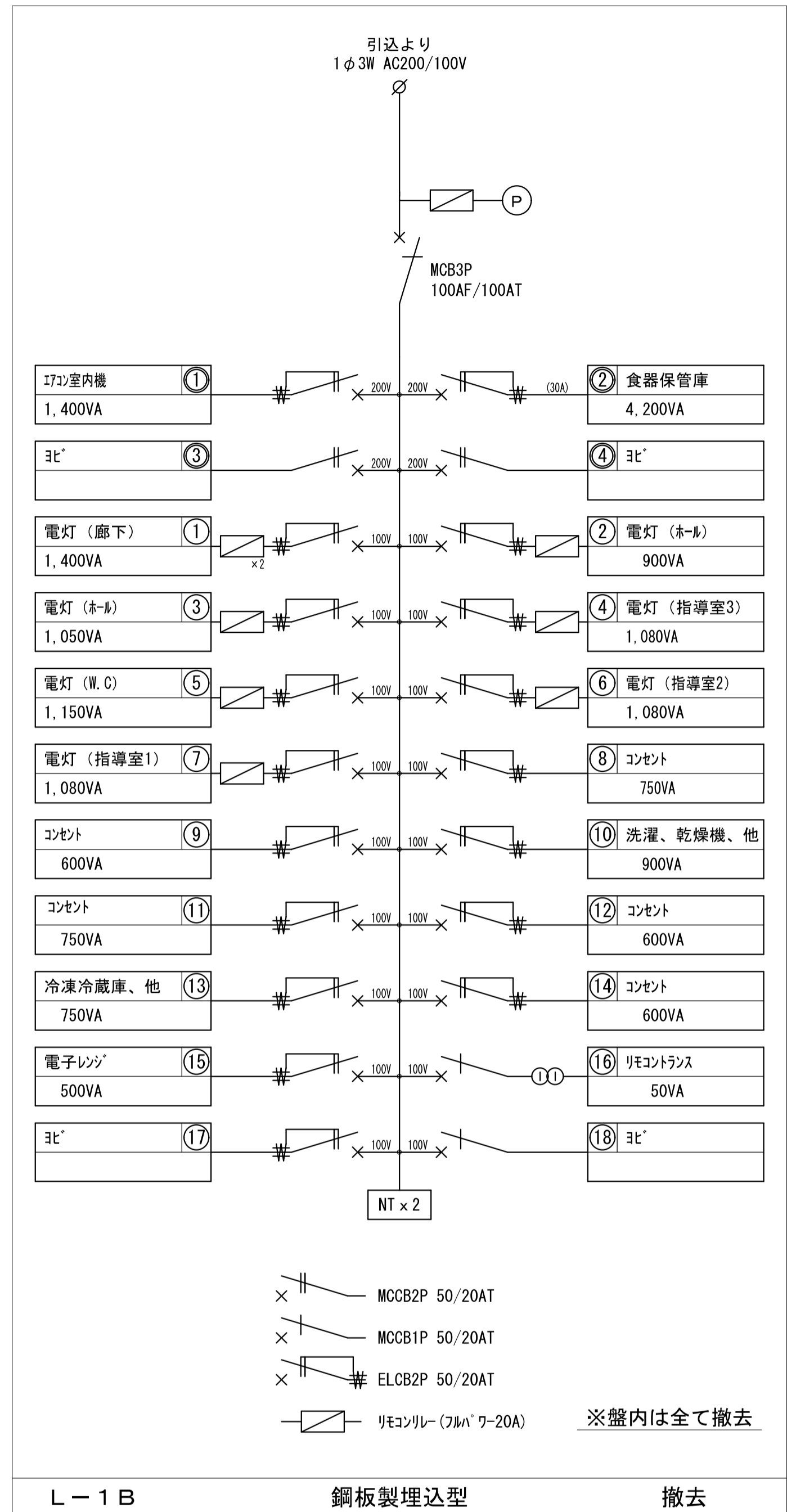
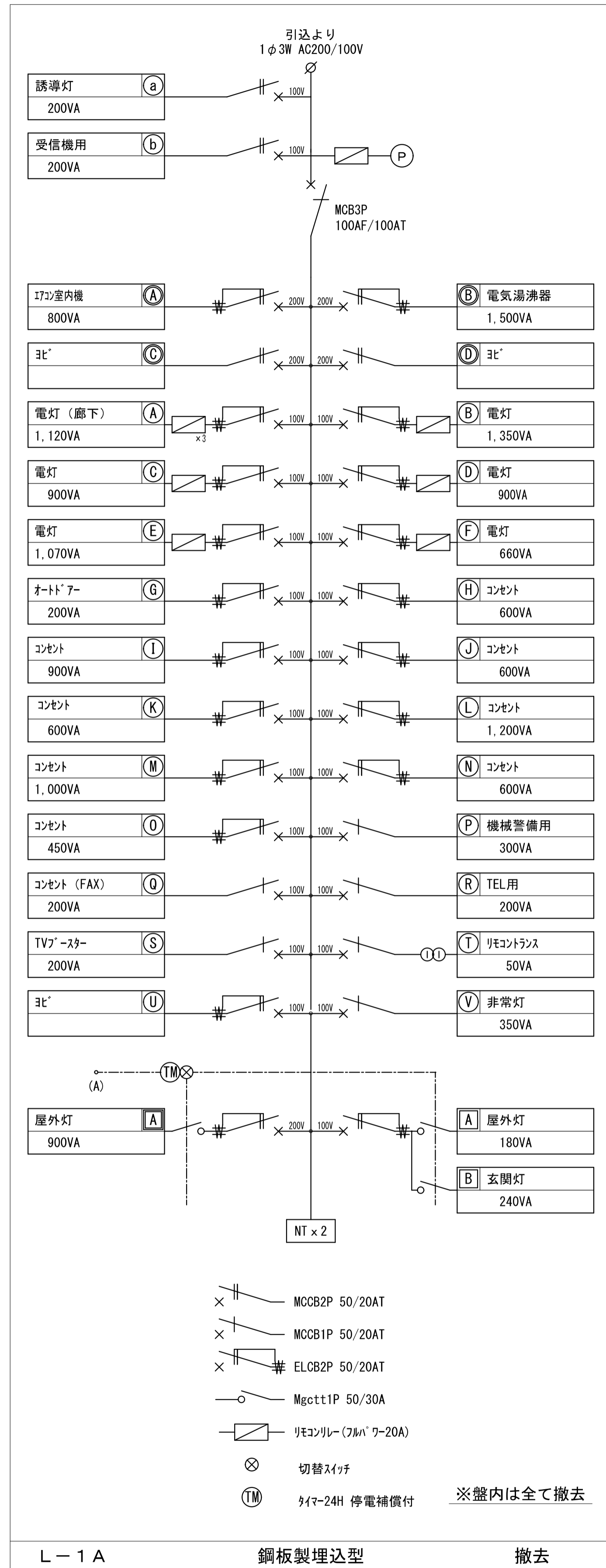
改修前



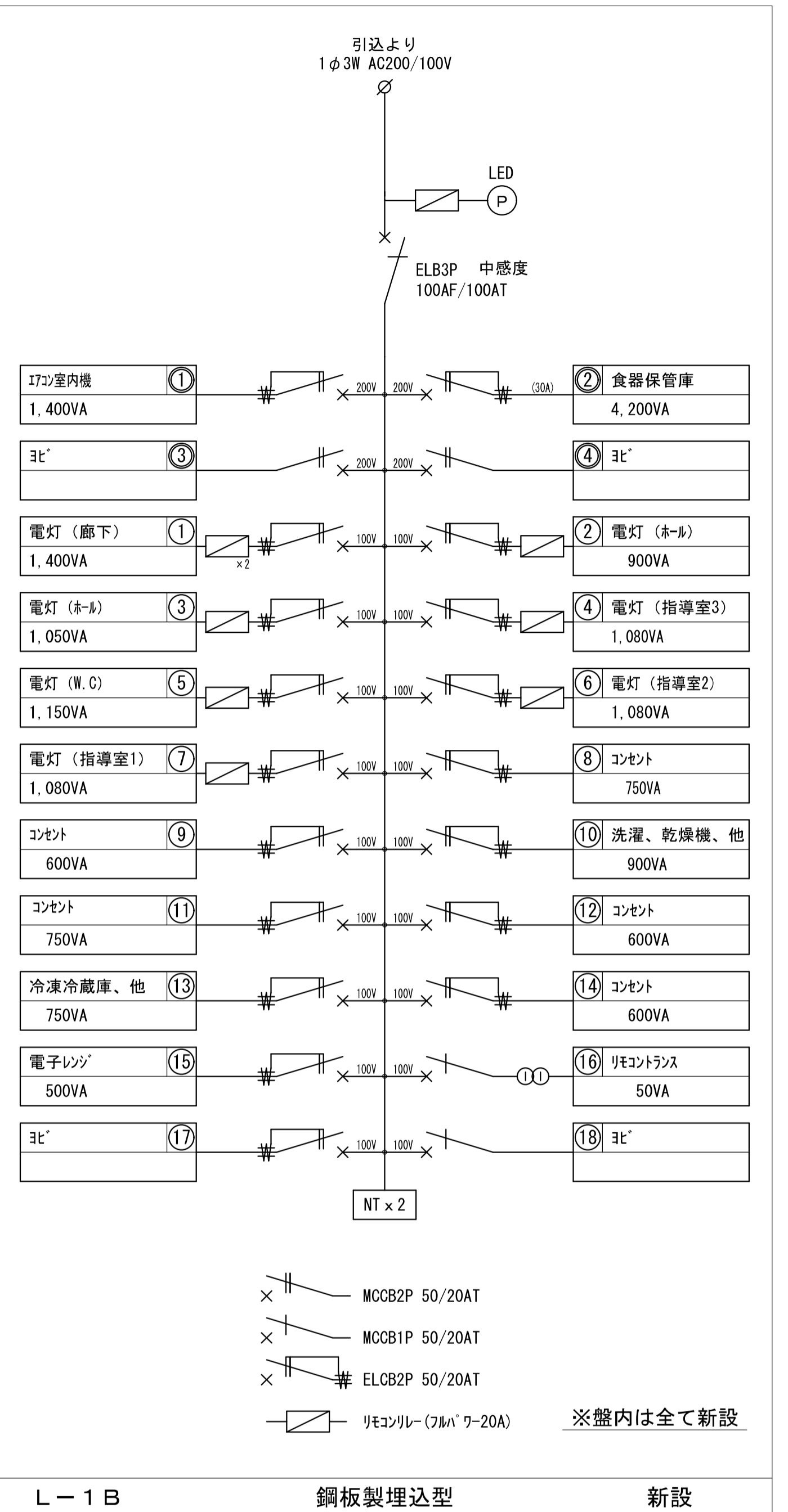
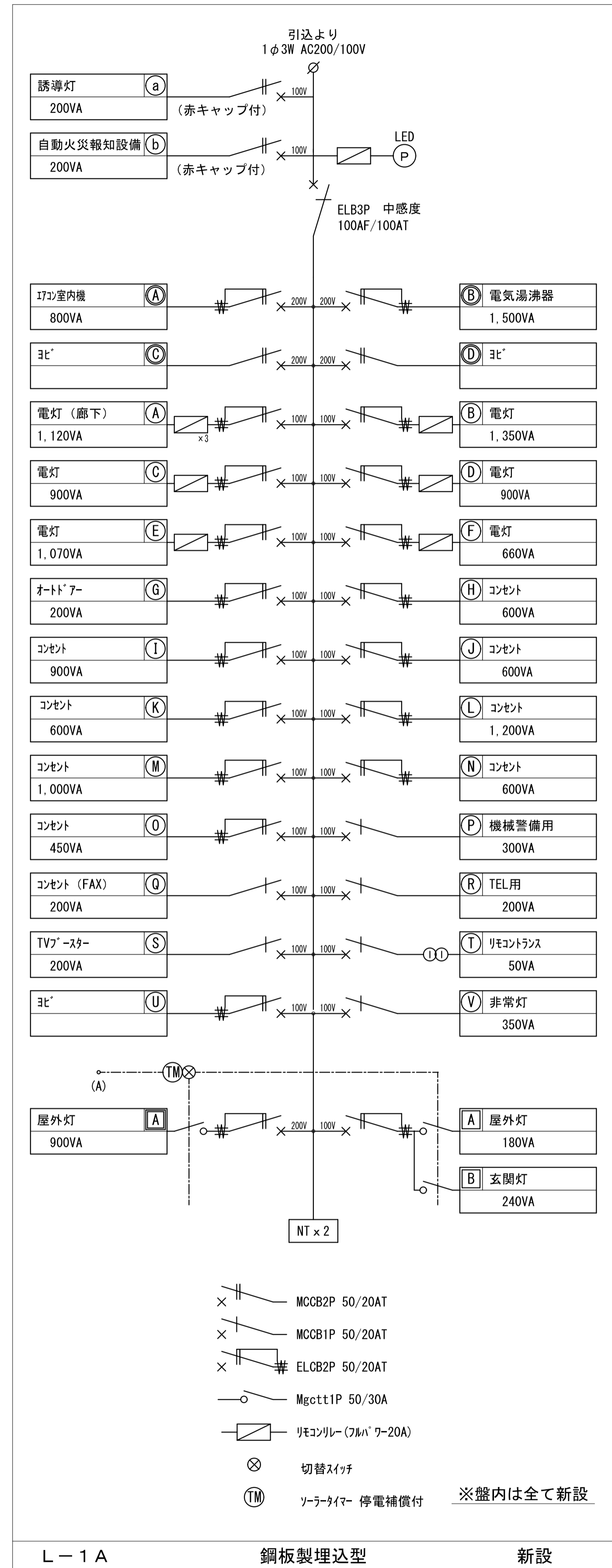
改修後



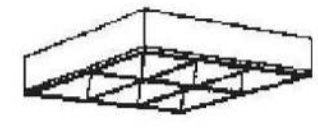
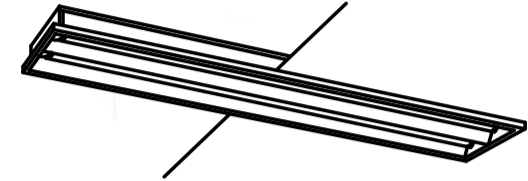

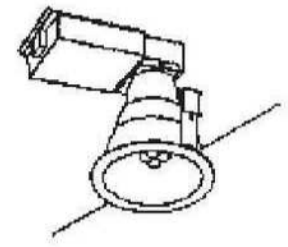





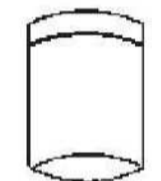
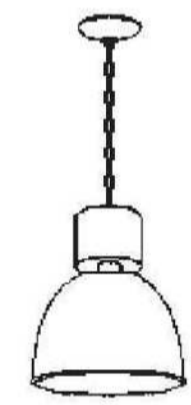
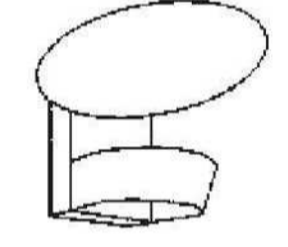
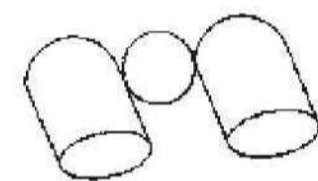
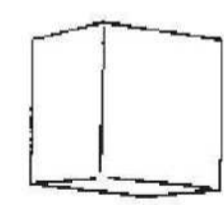

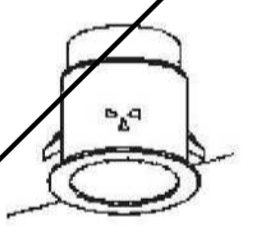
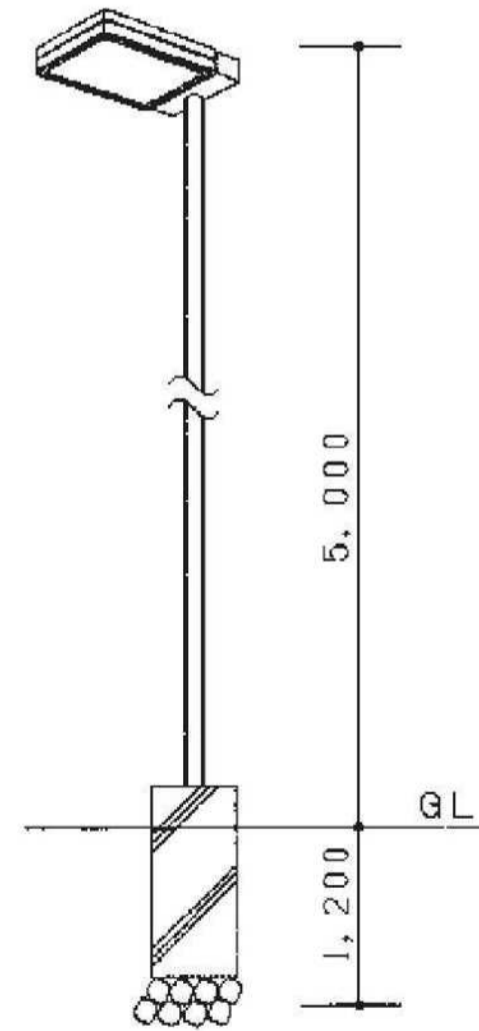

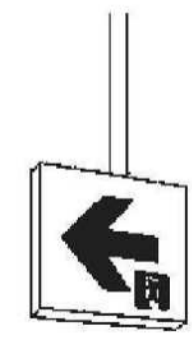
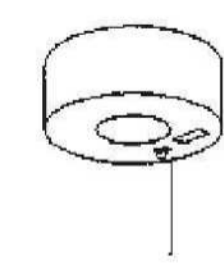
改修前



改修後

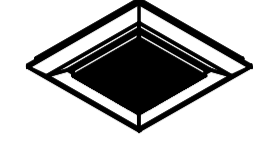
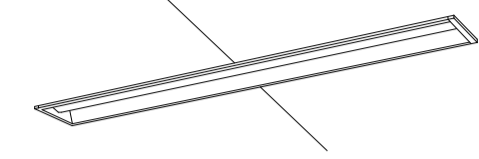
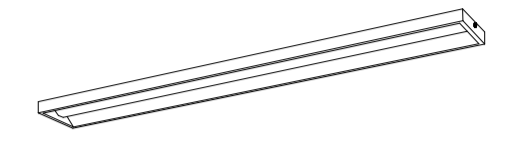
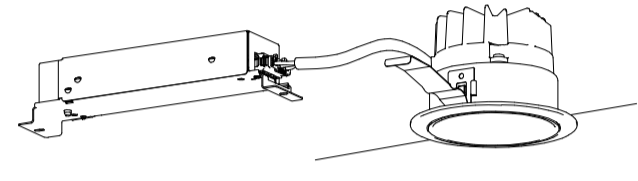

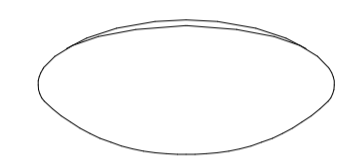
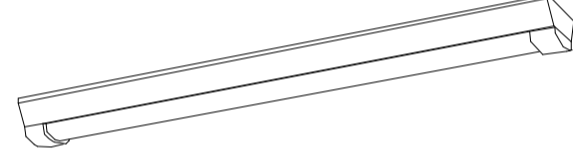


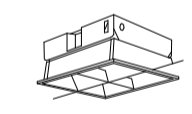
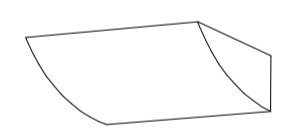
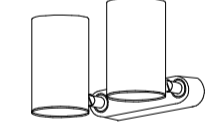
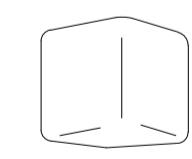

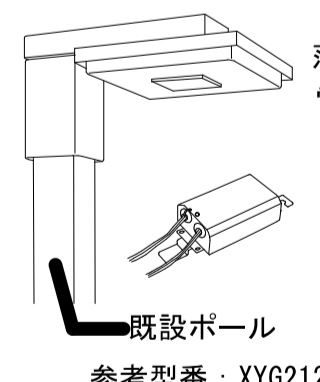
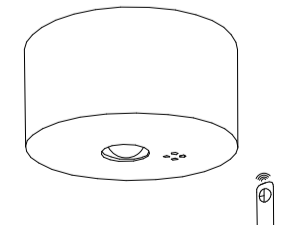


改修前

A 1	FPL36Wx4	直付型	B 1	FHF32Wx2	埋込型	C 1	FHF32Wx2	直付型	D 1	FDL27Wx1	ダウンライト
A 2	FPL36Wx3	直付型	B 2	FHF32Wx1	埋込型				D 2	FDL18Wx1	ダウンライト
			B 3	FPL28Wx2	埋込型						
											
E 1	FL40Wx1	逆富士型	F 1	FCL32Wx30W	シーリング	G 1	FHL32Wx2 (防湿)	逆富士型	H 1	FCL30Wx1 (防湿)	シーリング
E 2	FL20Wx1	逆富士型				G 2	FL20Wx2 (防湿)	逆富士型			
											
I 1	IL60Wx1 (防湿)	シーリング	J 1	FHT42Wx3	ペンダント	K 1	FHF42Wx1	ブラケット	L 1	KR60Wx2	スポットライト
											
M 1	FDL27Wx1 (防雨)	ブラケット	N 1	FL20Wx1	棚下灯	O 1	FDL27Wx1	埋込型	P 1	HQ1250Wx1	ポール灯
							(ウォールウォッシャー)			(ポールL=5,000)	
											
Q 1	冷陰極蛍光灯10型	避難口誘導灯	R 1	冷陰極蛍光灯10型	通路誘導灯	S 1	ADゲン30Wx1	非常灯直付型			
	消防法適合品 (BTT内蔵型)			消防法適合品 (BTT内蔵型)			建築基準法適合品 (BTT内蔵型)				
											

改修後

新設照明器具

A 1	LEDｽﾀｲﾄﾞ-ｽﾀｲﾄﾞ 直付型 下面開放型	B 1	LEDｽﾀｲﾄﾞ(埋込) HF32W x 1相当 高出力型	C	LEDｽﾀｲﾄﾞ(直付) HF32W x 2相当 高出力型
A 2	LEDｽﾀｲﾄﾞ-ｽﾀｲﾄﾞ 32形 x 3灯節電相当 下面開放型	B 2	LEDｽﾀｲﾄﾞ(埋込) HF32W x 2相当 高出力型		
	A1 定格光束: 6500 lm 消費電力: 41.5 W A2 定格光束: 4530 lm 消費電力: 33.0 W 点灯ユニット (カバー): ポリカーボネート (乳白) 570口、非調光	B1 高出力 定格光束: 3100 lm 消費電力: 20.6 W B2 高出力 定格光束: 6680 lm 消費電力: 43.1 W ライト部はポリカーボネート製			高出力 定格光束: 6720 lm 消費電力: 43.1 W ライト部はポリカーボネート製
					
	A1 参考型番: XL160AENLE9 同等品以上 A2 参考型番: XL472PEVLE9 同等品以上	B1高出力 公共型番: LRS6-3100LM 参考型番: XLX430PENZ LE9 同等品以上 B2高出力 公共型番: LRS3-6300LM 参考型番: XLX460UENZ LE9 同等品以上			高出力 公共型番: LSS6-6600LM 参考型番: XLX460SENZ LE9 同等品以上
D	LEDダウンライト FDL27w相当 拡散型	E 1	LEDｽﾀｲﾄﾞ(富士) FL40W x 1相当	F	LEDシーリングライト
		E 2	LEDｽﾀｲﾄﾞ(富士) FL20W x 1相当		
	定格光束: 590 lm 消費電力: 4.6 W	E1 定格光束: 3200 lm 消費電力: 20.6 W E2 定格光束: 1730 lm 消費電力: 19.2 W ライト部はポリカーボネート製			定格光束: 3600 lm 消費電力: 28.0 W カバー部はアクリル製
					
	定格出力 公共型番: LRS1-400LM-1 参考型番: XND0631WN LE9 同等品以上	E1 定格出力 公共型番: LSS9-3200LM 参考型番: XLX430AENZ LE9 同等品以上 E2 定格出力 公共型番: LSS9-1550LM-2 参考型番: XLX210AEN-LE9 同等品以上			定格出力 参考型番: LGB20519K 同等品以上
G 1	LEDｽﾀｲﾄﾞ(富士) FL40W x 2相当 防湿・防雨型	H	LEDシーリングライト FCL30Wx1相当 防湿・防雨型	I	LEDシーリングライト IL40Wx2相当 防湿・防雨型
G 2	LEDｽﾀｲﾄﾞ(富士) FL20W x 2相当 防湿・防雨型				
	G1 定格光束: 6560lm 消費電力: 43.1 W G2 定格光束: 1520lm 消費電力: 12.1 W ステンレス製		定格光束: 1058 lm 消費電力: 10.7 W カバー部はアクリル製		定格光束: 458 lm 消費電力: 8.8 W カバー部はアクリル製
					
	G1 高出力 公共型番: LSS9MP/RP-6450LM 参考型番: XLW463AENZ LE9 同等品以上 G2 定格出力 公共型番: LSS9MP/RP-1400LM-2 参考型番: XLW213AENK LE9 同等品以上		参考型番: LGW51700 LE1同等品以上		参考型番: LGW50622Z同等品以上
J	LEDスクエアベースライト FHP23形 x 3灯相当 埋込型	K	LEDブラケットライト IL100Wx1相当	L	LEDブラケットライト IL60Wx2相当 (スポット)
	定格光束: 3020 lm 消費電力: 24.0 W 埋込穴: 0275 カバー部はアクリル製 ルーバー部は亜鉛鋼板製		定格光束: 915 lm 消費電力: 13.7 W 拡散タイプ		定格光束: 895 lm 消費電力: 9.0 W
					
	参考型番: XL553LWVJLE9同等品以上	参考型番: LGB81672W LB1同等品以上		参考型番: LGB84620K LE1同等品以上	
M	LEDブラケットライト IL10Wx1相当 防雨型	N	LEDブラケットライト FL20Wx1相当 棚下灯	P	LED街路灯 水銀灯250形相当
	定格光束: 1013 lm 消費電力: 12.9 W カバー部はガラス製		定格光束: 1655 lm 消費電力: 18.3 W カバー部はプラスチック製		定格光束: 4100lm、消費電力50W パネル部はポリカーボネート製 広角タイプ 落下防止ワイヤー付、耐雷サージ: 15KV 電源別置型、天板: 鋼板 (オフブラック) グローブ: アクリル (透明) ポールアダプタ ※既設ポール再利用
					
	参考型番: NNY20256同等品以上	参考型番: LGB52203K LE1同等品以上		既設ポール 参考型番: XYG2122N LE9同等品以上	
S	LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付 蓄電池内蔵型				
					
	公共型番: K1-LSS11-3 参考型番: NNF893005J 同等品以上				









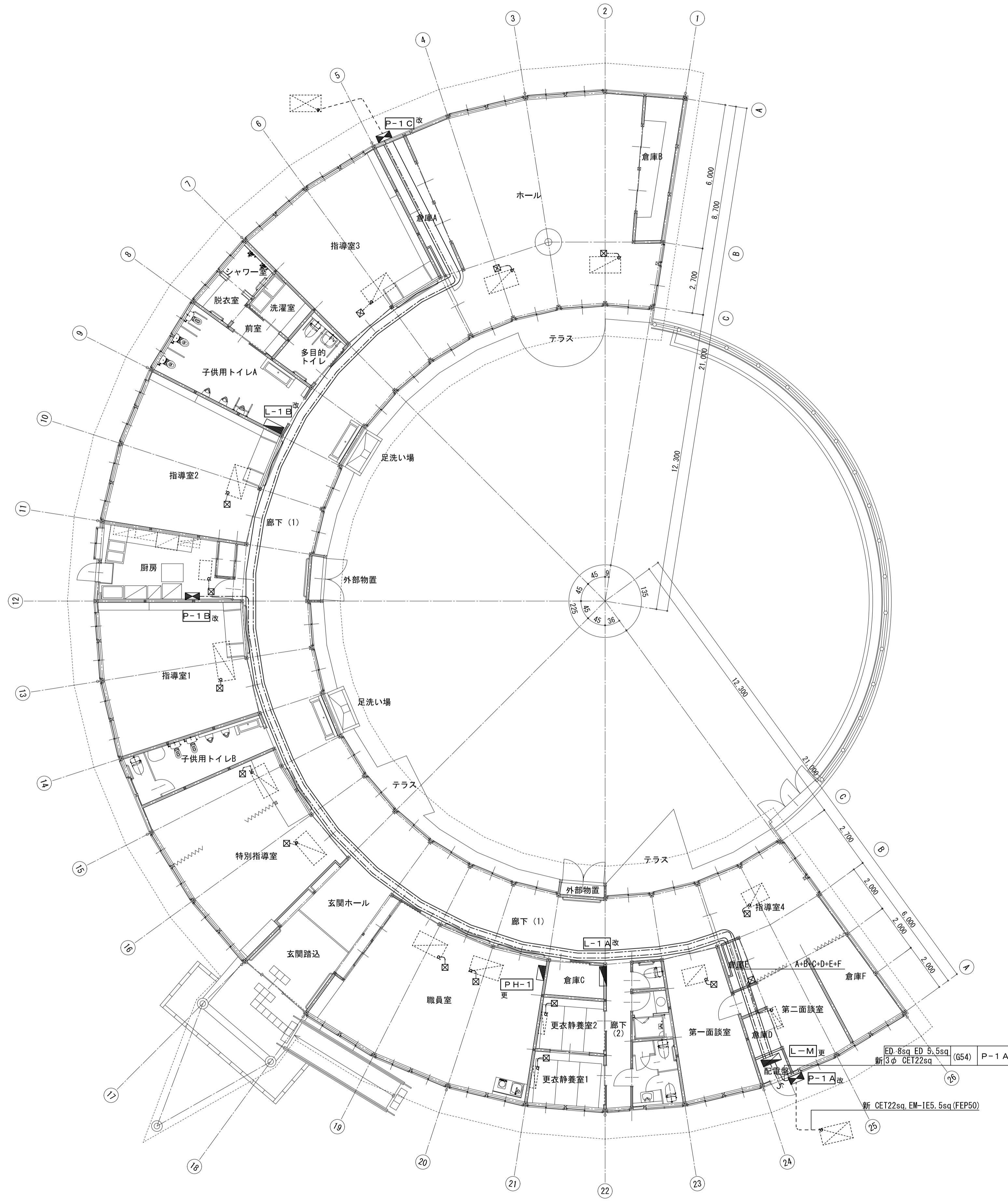
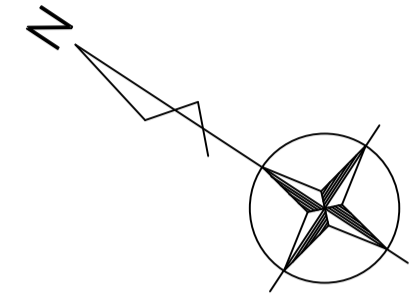












(改修後) 1階平面図 S=1/100

凡例

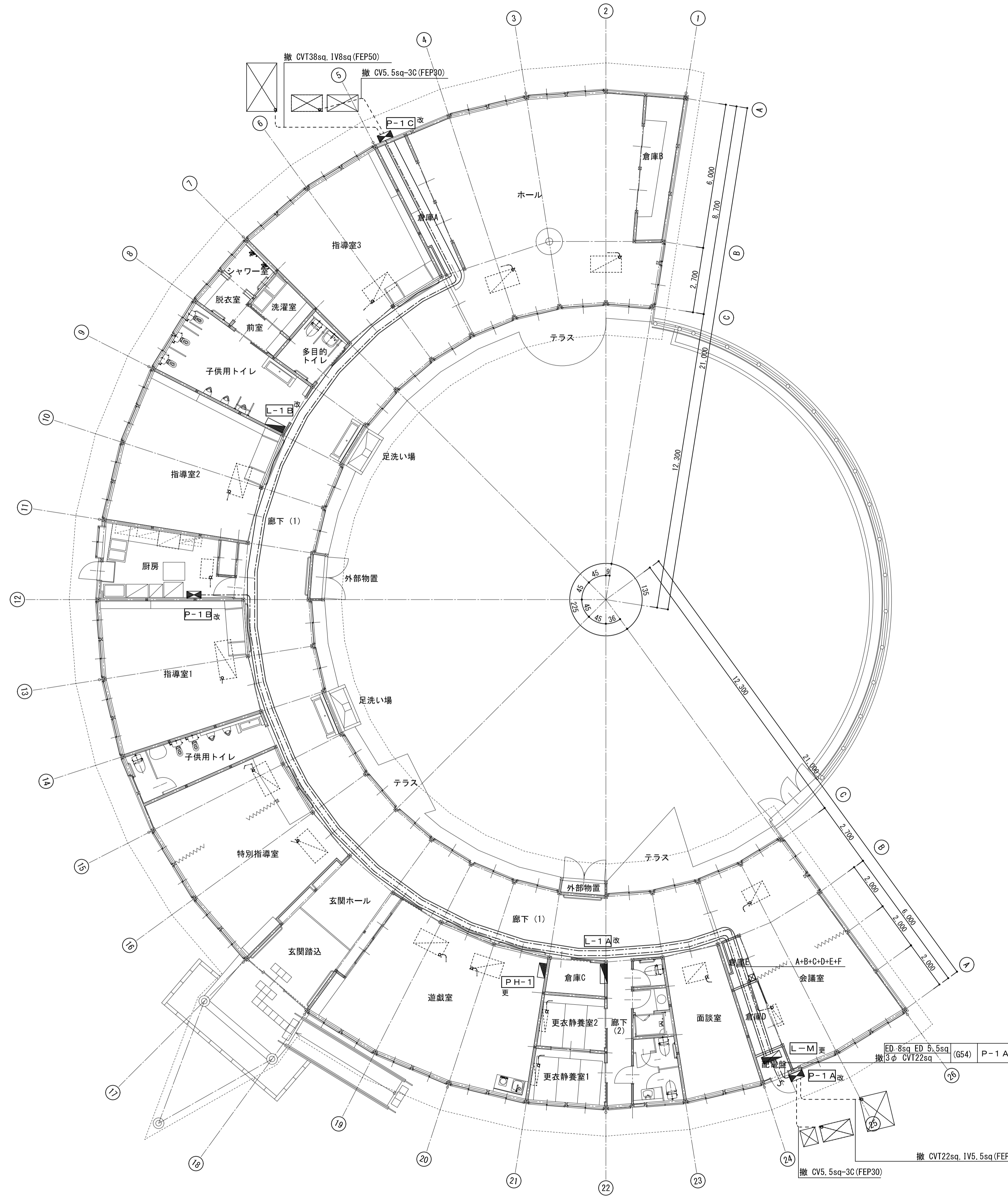
記号	名称
☒	ジャンクションボックス (MMA)
☒	分電盤
—	ケーブルラック 取外し・再設置

配線リスト

A	3φ CET60sq ED14sq 新	P-1 C
B	1φ CET38sq ED14sq EDE14sq 新	L-1 B
C	3φ CET8sq EDE5.5sq 新	P-1 B
D	1φ CET38sq ED8sq EDE5.5sq 新	PH-1
E	CVV2sq-2×2	K-1
F	1φ CET38sq ED14sq EDE14sq 新	L-1 A

図中シンボルの添字は、下記を示す。(各設備共通)

☐更	機器・器具及び盤類 更新又は取替え
☐改	機器・器具及び盤類 改造利用
☐新	機器・器具及び盤類 新設
☐無印	機器・器具及び盤類 既設機器・盤類
---	ラック配線を示す。
---	埋設配管FEP(既設配管再使用)を示す。
---	露出配管 EM-EEF2.0-3C(MMA)を示す。



凡例

記号	名称
	分電盤
	ケーブルラック 取外し・再設置

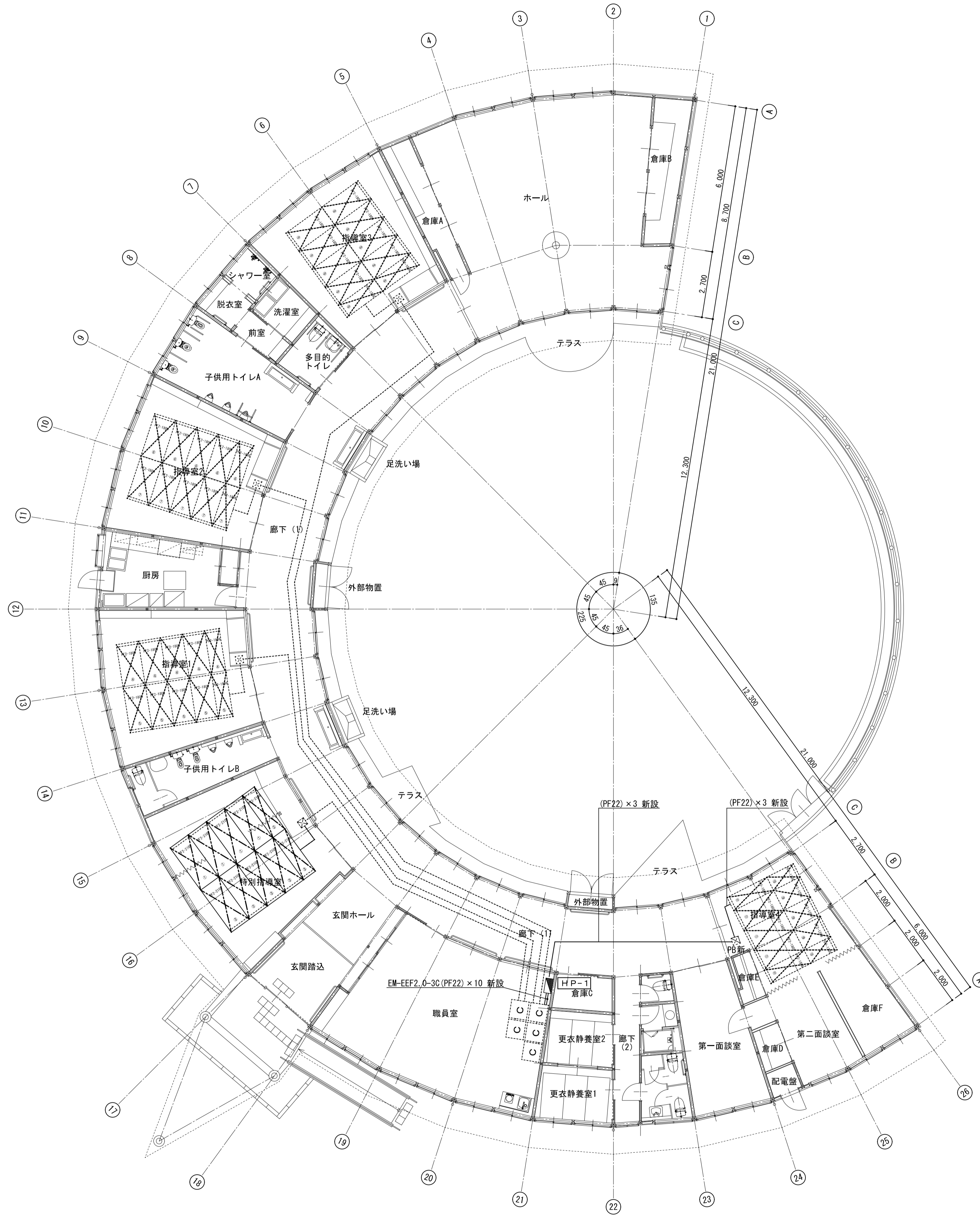
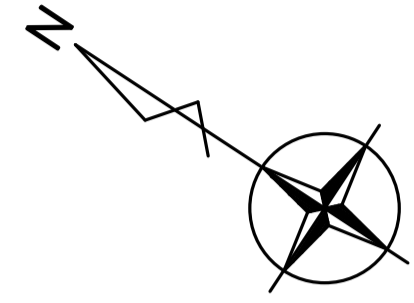
配線リスト

A	3φ CVT38sq ED14sq 撤	P-1C
B	1φ CVT38sq ED14sq EDE14sq 撤	L-1B
C	3φ CVT8sq EDE5.5sq 撤	P-1B
D	1φ CVT38sq ED8sq EDE5.5sq 撤	PH-1
E	CVV2sq-2×2	K-1
F	1φ CVT38sq ED14sq EDE14sq 撤	L-1A

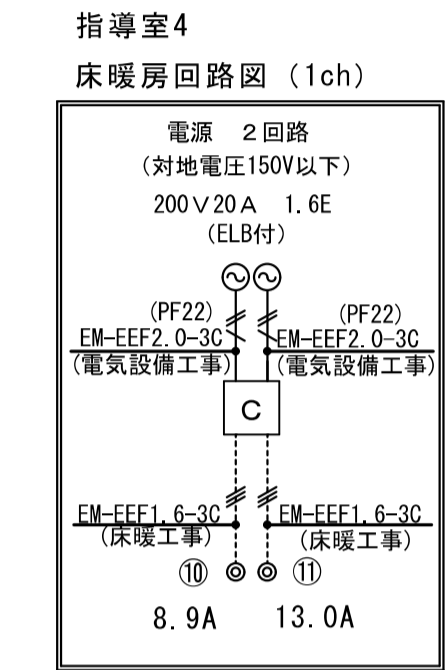
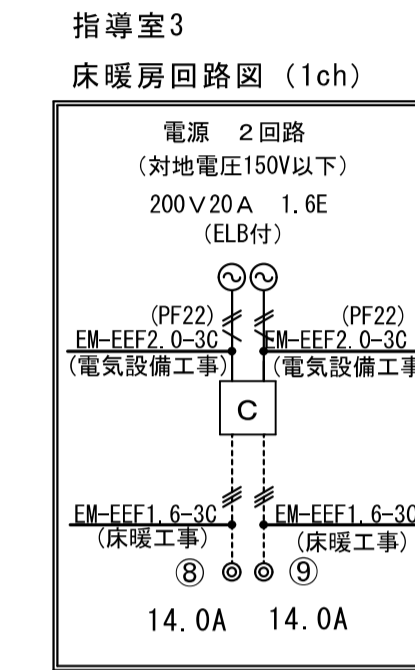
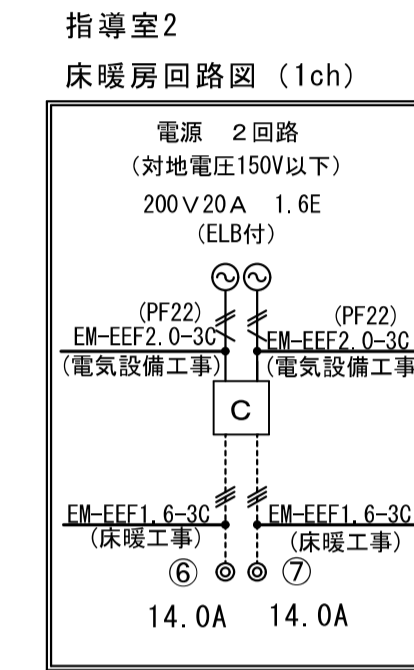
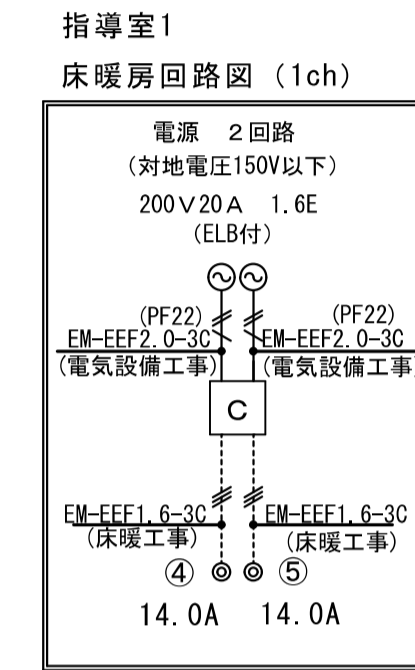
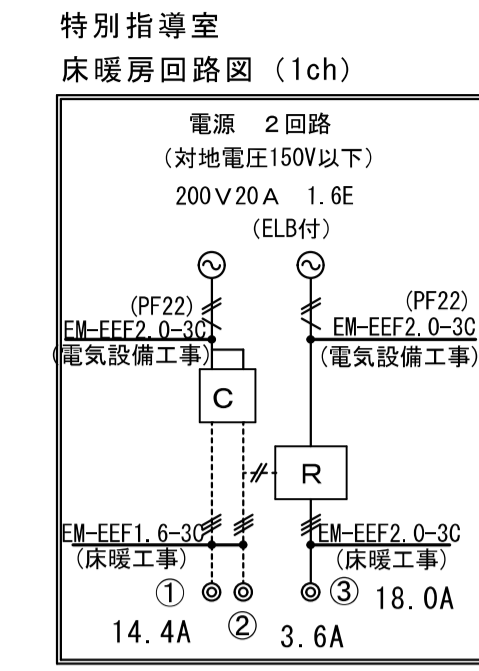
図中シンボルの添字は、下記を示す。(各設備共通)

	機器・器具及び盤類 更新又は取替え
	機器・器具及び盤類 改造利用
	機器・器具及び盤類 撤去
	機器・器具及び盤類 既設機器・盤類
	ラック配線を示す。
	埋設配管FEP(既設配管再使用)を示す。
	露出配管 EM-EEF2.0-3C(MMA)撤去を示す。

(改修前) 1階平面図 S=1/100



(改修後) 1階平面図 S=1/100



- 図中シンボルの添字は、下記を示す。(各設備共通)
- 更 機器・器具及び盤類 更新又は取替え
  - 改 機器・器具及び盤類 改造利用
  - 新 機器・器具及び盤類 新設
  - 無印 機器・器具及び盤類 既設機器・盤類
  - PB プルボックス 300×300×150 SUS製隠蔽型を示す。
  - (PF\*\*) 電線管 PFD管を示す。







新設 機器表

記号	機器名	機器仕様	電源 (50Hz)			台数	設置場所		備考
			φ	V	消費電力 kW		設置階	室名	
EHP 1	マルチパッケージエアコン	型式 : 更新用マルチパッケージエアコン室外機 冷房能力 : 67.0 kw 暖房能力 : 77.5 kw 付属品 : 防振架台、フケイフフィルター	3	200	19.9 28.2	1	屋外	-	型番 : RQYP670F
EHP 1-1	マルチパッケージエアコン	型式 : 天井吊形 冷房能力 : 11.2 kw 暖房能力 : 12.5 kw 付属品 : ワイヤードリモコン、集中管理用端子、ドレンアップ装置	1	200	0.24 0.24	1	1階	指導室1	型番 : FXYHP112MG
EHP 1-2	マルチパッケージエアコン	型式 : 天井吊形 冷房能力 : 9.0 kw 暖房能力 : 10.0 kw 付属品 : ワイヤードリモコン、集中管理用端子、ドレンアップ装置	1	200	0.22 0.22	2	1階	ホール	型番 : FXYHP90MG
EHP 1-3	マルチパッケージエアコン	型式 : 天井吊形 冷房能力 : 8.0 kw 暖房能力 : 9.0 kw 付属品 : ワイヤードリモコン、集中管理用端子、ドレンアップ装置	1	200	0.12 0.12	2	1階	指導室2 指導室3	型番 : FXYHP80MG
EHP 1-4	マルチパッケージエアコン	型式 : 天井吊形 冷房能力 : 7.1 kw 暖房能力 : 8.0 kw 付属品 : ワイヤードリモコン、集中管理用端子、ドレンアップ装置	1	200	0.12 0.12	2	1階	特別指導室	型番 : FXYHP71MG
EHP 1-5	マルチパッケージエアコン	型式 : 天井ビルトイン形 冷房能力 : 5.6 kw 暖房能力 : 6.3 kw 付属品 : ワイヤードリモコン、集中管理用端子、吹出口ユニット×2(200φ)、フレキシブルダクト1.0m(200φ)	1	200	0.12 0.11	1	1階	厨房	型番 : FXYSP56D
EHP 2	マルチパッケージエアコン	型式 : 更新用マルチパッケージエアコン室外機 冷房能力 : 40.0 kw 暖房能力 : 45.0 kw 付属品 : 防振架台、フケイフフィルター	3	200	11.9 15.0	1	屋外	-	型番 : RQYP400F
EHP 2-1	マルチパッケージエアコン	型式 : 天井吊形 冷房能力 : 8.0 kw 暖房能力 : 9.0 kw 付属品 : ワイヤードリモコン、集中管理用端子、ドレンアップ装置	1	200	0.12 0.12	2	1階	職員室	型番 : FXYHP80MG
EHP 2-2	マルチパッケージエアコン	型式 : 天井吊形 冷房能力 : 4.5 kw 暖房能力 : 5.0 kw 付属品 : ワイヤードリモコン、集中管理用端子、ドレンアップ装置	1	200	0.11 0.11	1	1階	指導室4	型番 : FXYHP45MG
EHP 2-3	マルチパッケージエアコン	型式 : 天井吊形 冷房能力 : 4.5 kw 暖房能力 : 5.0 kw 付属品 : ワイヤードリモコン、集中管理用端子、ドレンアップ装置	1	200	0.11 0.11	1	1階	第一面談室	型番 : FXYHP45MG
EHP 2-4	マルチパッケージエアコン	型式 : 壁掛形 冷房能力 : 3.6 kw 暖房能力 : 4.0 kw 付属品 : ワイヤードリモコン、集中管理用端子、ドレンアップ装置	1	200	0.02 0.02	3	1階	更衣静養室1 更衣静養室2 第二面談室	型番 : FXYAP45MD
	集中管理コントローラ	タッチパネル式、室温設定				1	1階	職員室	型番 : DCS401A1

記号	機器名	機器仕様	電源 (50Hz)			台数	設置場所		備考
			φ	V	消費電力 kW		設置階	室名	
FE 1	換気扇	型式 : 壁取付型 居室用 能力 : 電気式 300φ × 1000CMH 付属品 ~	1	100	27w	2	1階	会議室 ホール	型番 : EX-30EK3C
FE 2	換気扇	型式 : 壁取付型 居室用 能力 : 電気式 250φ × 600CMH 付属品 ~	1	100	19w	6	1階	職員室 面談室 特別指導室 指導室1 指導室2 指導室3	型番 : EX-25EK3C
FE 3	換気扇	型式 : 壁取付型 居室用 能力 : 電気式 200φ × 300CMH 付属品 ~	1	100	15.5w	3	1階	倉庫A 倉庫B 子供トイレB	型番 : VD-20EK3C
FE 4	換気扇	型式 : 天井埋込型 ダクトタイプ 能力 : 410CMH × 100Pa 150φ 付属品 ~	1	100	74w	2	1階	女子便所 子供トイレA	型番 : VD-23ZBS
FE 5	換気扇	型式 : 天井埋込型 ダクトタイプ 能力 : 150CMH × 100Pa 150φ 付属品 ~	1	100	25w	2	1階	更衣静養室1 更衣静養室2	型番 : VD-18ZX5-C
FE 6	換気扇	型式 : 天井埋込型 ダクトタイプ 能力 : 130CMH × 100Pa 150φ 付属品 ~	1	100	25w	2	1階	車椅子用便所 倉庫C	型番 : VD-18ZBS
FE 8	換気扇	型式 : 天井埋込型 ダクトタイプ 能力 : 50CMH × 100Pa 100φ 付属品 ~	1	100	0.3w	5	1階	シャワー室 脱衣室 洗濯室 男子便所 脱衣室	型番 : VD-13ZCS
FE 9	ストリートシロココファン	型式 : ストリートシロココファン 300φ 能力 : 1950CMH × 80Pa ※ストリートシロココファンはキャンバス継手 #1 1/2を使用すること。 付属品 ~ SUS製パイプフット(かすり付, 指定色)	1	200	750W	1	1階	厨房	型番 : BFS-210TX
FE 10	天井扇	型式 : 低騒音型 能力 : 600CMH × 80Pa 付属品 ~ SUS製パイプフット(かすり付, 指定色)、強弱スイッチ	1	100	95w	1	1階	厨房	型番 : VD-23ZPH9
PD 1	給排気グリル	型式 : フィルター付給気グリル(消音型) 能力 :				4	1階	厨房	型番 : PZ-N256M (フィルター付)
	床暖房装置	型式 : 電気式床暖房装置・5室 付属品 : 操作盤一面他	1	200	15.246	1式	1階	特別指導室 指導室1 指導室2 指導室3 指導室4	

衛生設備 新設器具表

器具名	型番・主要付属品	消費電力	合計	職員室	多目的便所	備考
多目的トイレ用大便器 (洋風)	CFS497BMC, TCF5840AUP, EWCS802AR	-	1		1	接続金具、固定金具を含む
電気湯沸器	EWR12BNN207B0	-	1	1		付属品、配管部材を含む
電気湯沸器用混合水栓	MZ-3N3	-	1	1		-

\*型番は参考型番の為、採用メーカーの機器承諾図提出の上、監督員の承諾を受け発注のこと。

撤去 機器表

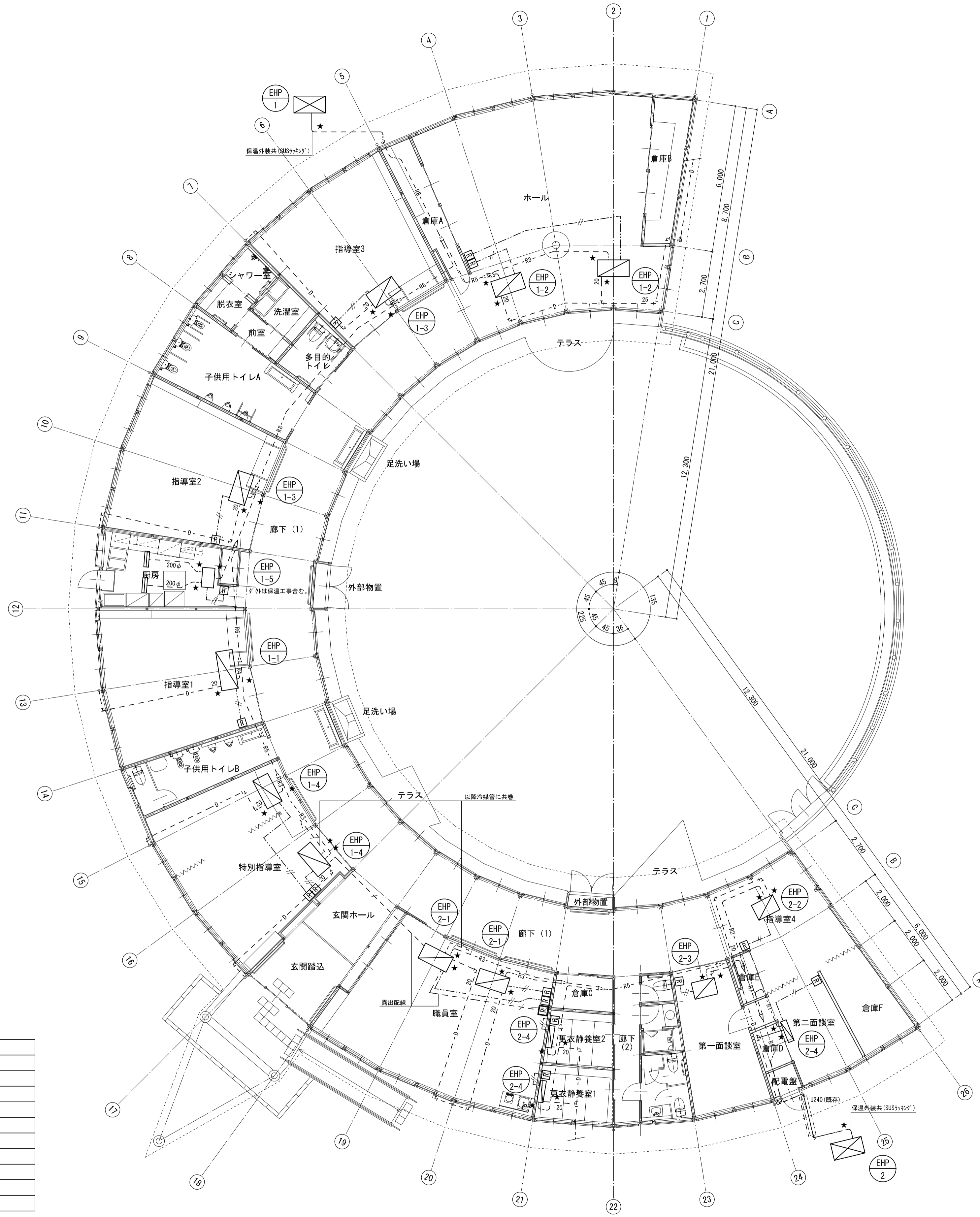
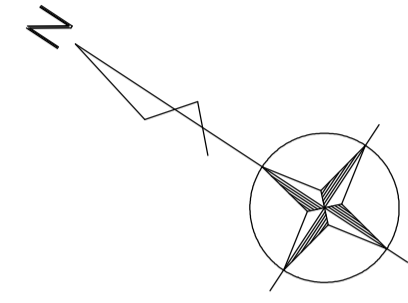
記号	機器名	機器仕様	電源 (50Hz)			台数	設置場所		備考
			φ	V	消費電力 kW		設置階	室名	
AC0 既1	ハ「クー」式 エアコン室外機	型式 : 空冷ヒートポンプマルチタイプ 氷蓄熱型 冷房能力 : 56.0 kw 暖房能力 : 56.0 kw 電動機 : 圧縮機 送風機 付属品 : 防振架台	3	200	5.5 + 5.5 + 0.2 + 0.14 + × 2	1	屋外	-	型番 : RSGYP-560K
AC1 既1	ハ「クー」式 エアコン室内機	型式 : マルチタイプ 天井吊型 (リモコン付) 冷房能力 : 11.2 kw 暖房能力 : 12.5 kw 電動機 : 送風機	1	200	0.13	1	1階	指導室1 (りす)	型番 : FXYHP-112KD (ドレンアップキット付)
AC1 既2	ハ「クー」式 エアコン室内機	型式 : マルチタイプ 天井吊型 (リモコン付) 冷房能力 : 9.0 kw 暖房能力 : 10.0 kw 電動機 : 送風機	1	200	0.13	2	1階	ホール	型番 : FXYHP-90KD (ドレンアップキット付)
AC1 既3	ハ「クー」式 エアコン室内機	型式 : マルチタイプ 天井吊型 (リモコン付) 冷房能力 : 8.0 kw 暖房能力 : 9.0 kw 電動機 : 送風機	1	200	0.062	2	1階	指導室2 (きりん) 指導室3 (ぞう)	型番 : FXYHP-80KD (ドレンアップキット付)
AC1 既4	ハ「クー」式 エアコン室内機	型式 : マルチタイプ 天井吊型 (リモコン付) 冷房能力 : 7.1 kw 暖房能力 : 8.0 kw 電動機 : 送風機	1	200	0.062	2	1階	特別指導室 (ひよこ)	型番 : FXYHP-71KD (ドレンアップキット付)
AC1 既5	ハ「クー」式 エアコン室内機	型式 : マルチタイプ 天井吊型 (リモコン付) 冷房能力 : 4.5 kw 暖房能力 : 5.0 kw 電動機 : 送風機	1	200	0.065	1	1階	厨房	型番 : FXYSP-45KD (ドレンアップキット付) 吹出口×2 フレキシブルダクト×2 化粧パネル リモコン付
AC0 既2	ハ「クー」式 エアコン室外機	型式 : 空冷ヒートポンプマルチタイプ 氷蓄熱型 冷房能力 : 35.5 kw 暖房能力 : 35.5 kw 電動機 : 圧縮機 送風機 付属品 : 防振架台	3	200	3.5 + 3.75 + 0.2 + 0.14 + 0.2	1	屋外	-	型番 : RSGYP-355K
AC2 既1	ハ「クー」式 エアコン室内機	型式 : マルチタイプ 天井吊型 (リモコン付) 冷房能力 : 8.0 kw 暖房能力 : 9.0 kw 電動機 : 送風機	1	200	0.062	2	1階	職員室	型番 : FXYHP-80KD (ドレンアップキット付)
AC2 既2	ハ「クー」式 エアコン室内機	型式 : マルチタイプ 天井吊型 (リモコン付) 冷房能力 : 5.6 kw 暖房能力 : 6.3 kw 電動機 : 送風機	1	200	0.062	1	1階	会議室	型番 : FXYHP-56KD (ドレンアップキット付)
AC2 既3	ハ「クー」式 エアコン室内機	型式 : マルチタイプ 天井吊型 (リモコン付) 冷房能力 : 4.5 kw 暖房能力 : 5.0 kw 電動機 : 送風機	1	200	0.062	1	1階	面接室	型番 : FXYHP-45KD (ドレンアップキット付)
AC2 既4	ハ「クー」式 エアコン室内機	型式 : マルチタイプ 壁掛型 (リモコン付) 冷房能力 : 3.6 kw 暖房能力 : 4.0 kw 電動機 : 送風機	1	200	0.023	3	1階	更衣静養室1 更衣静養室2 会議室	型番 : FXYAP-45KD (ドレンアップキット付)
	蓄熱リモコン					1	1階	職員室	型番 : DST-302B1
	集中管理コントローラ					1	1階	職員室	型番 : DCS-302B1

記号	機器名	機器仕様	電源 (50Hz)			台数	設置場所		備考
			φ	V	消費電力 kW		設置階	室名	
V 既1	換気扇	型式 : 壁取付型 居室用 能力 : 電気式 300φ × 1000CMH	1	100	27w	2	1階	会議室 ホール	型番 : EX-30EK3C
V 既2	換気扇	型式 : 壁取付型 居室用 能力 : 電気式 250φ × 600CMH	1	100	19w	6	1階	職員室 面談室 ひよこ りす きりん ぞう	型番 : EX-25EK3C
V 既3	換気扇	型式 : 壁取付型 居室用 能力 : 電気式 200φ × 300CMH	1	100	15.5w	3	1階	倉庫A 倉庫B 子供トイレB	型番 : VD-20EK3C
V 既4	換気扇	型式 : 天井埋込型 9'クワタイプ 能力 : 410CMH × 100Pa 150φ	1	100	74w	2	1階	女子便所 子供トイレA	型番 : VD-23ZBS
V 既5	換気扇	型式 : 天井埋込型 9'クワタイプ 能力 : 150CMH × 100Pa 150φ	1	100	25w	2	1階	更衣静養室1 更衣静養室2	型番 : VD-18ZK5-C
V 既6	換気扇	型式 : 天井埋込型 9'クワタイプ 能力 : 130CMH × 100Pa 150φ	1	100	25w	2	1階	車椅子用便所 倉庫C	型番 : VD-18ZBS
V 既8	換気扇	型式 : 天井埋込型 9'クワタイプ 能力 : 50CMH × 100Pa 100φ	1	100	0.3w	5	1階	シャワー室 脱衣室 洗濯室 男子便所 脱衣室	型番 : VD-13ZCS
V 既9	ミニロコファン	型式 : 片吸込ミニロコファン 能力 : 1155CMH × 130Pa	1	100	0.3W	1	1階	厨房	型番 : BF-21ESE
	床暖房装置	型式 : 電気式床暖房装置・4室 付属品 : 操作盤一面	1	200	15.246	1式	1階	ひよこ りす きりん ぞう	

衛生設備 撤去器具表

器具名	型番・主要付属品	消費電力	合計	職員室	厨房	多目的トイレ	備考
車椅子用便器	CS978AB, TCF9081E	-	1			1	-
電気湯沸器	EW-14N4A-SB	0.75	1	1			-
電気湯沸器用混合水栓	MZ-3N2	-	1	1			-
消毒保管機 ※	MCSK-10	-	1		1		(900×550×1960)
冷凍冷蔵庫 ※	R-26V3	-	1		1		(546×580×1725)
電気冷蔵庫 ※	NS-K221FF	-	1		1		(630×840×1890)
ガスレンジ ※	S-GRB-96	-	1		1		(900×600×800)

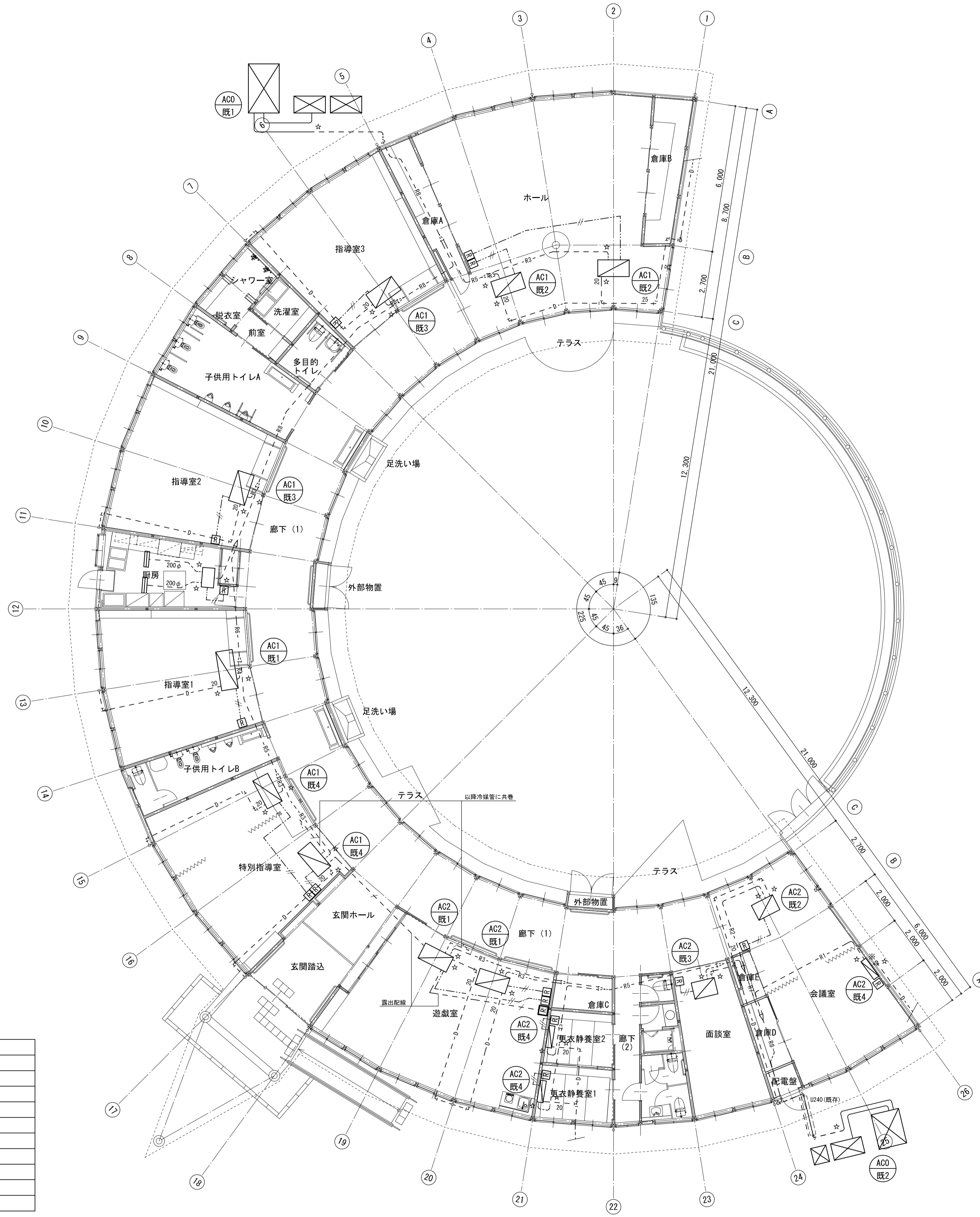
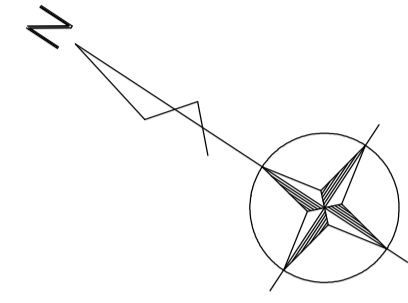
※の機器は、取外し再取付を示す。



- 実線は撤去機器
- - - 破線は既設機器 (残置)
- 配線 (EM-OEE 1.25<sup>2</sup>-20)
- 屋内露出 (カナル)
- 集中制御用制御配線 (P-0.75mm<sup>2</sup> (ツイストペアブル))
- 残置、機器に再取付
- ※ : プラグ止め
- ★ : 既設配管の接続
- : 個別リモコン 新設
- : 集中制御リモコン 新設

冷媒配管リスト			
記号	配管サイズ	備	考
R1	6.4φ + 12.7φ	内外連絡線	EM-CEES 2.0 <sup>2</sup> -3C
R2	6.4φ + 15.9φ	内外連絡線	EM-CEES 2.0 <sup>2</sup> -3C
R3	9.5φ + 15.9φ	内外連絡線	EM-CEES 2.0 <sup>2</sup> -3C
R4	9.5φ + 19.1φ	内外連絡線	EM-CEES 2.0 <sup>2</sup> -3C
R5	9.5φ + 22.2φ	内外連絡線	EM-CEES 2.0 <sup>2</sup> -3C
R6	12.7φ + 25.4φ	内外連絡線	EM-CEES 2.0 <sup>2</sup> -3C
R7	12.7φ + 28.6φ	内外連絡線	EM-CEES 2.0 <sup>2</sup> -3C
R8	15.9φ + 31.8φ	内外連絡線	EM-CEES 2.0 <sup>2</sup> -3C
-			
-			

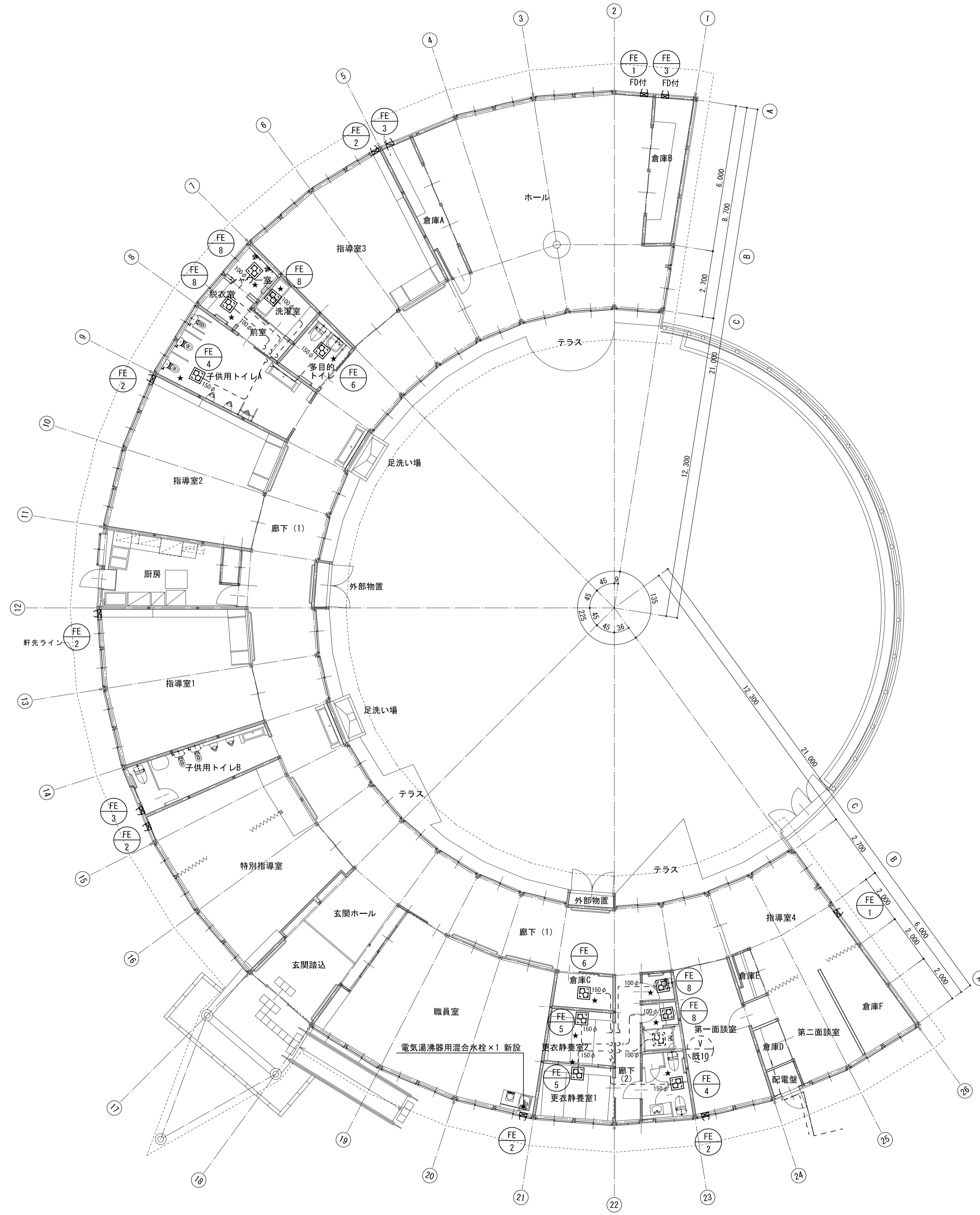
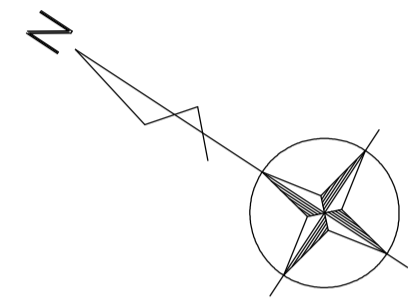
(改修後) 1階平面図 S=1/100



- 実線は撤去機器
- - - 破線は既設機器 (残置)
- リモコン配線 (隠蔽) 撤去
- - - 集中制御用配線 (隠蔽) 撤去
- 集中制御用配線 (隠蔽) 撤去 (1P-0.75mm2 (ツイスト) ケーブル) 残置、機器から取外し
- ※ : プラグ止め
- ☆ : 既設配管の切断
- ☒ : 個別リモコン 撤去
- ☒ : 集中制御リモコン 撤去

冷媒配管リスト		
記号	配管サイズ	備 考
-R1-	6.4φ + 12.7φ	-
-R2-	6.4φ + 15.9φ	-
-R3-	9.5φ + 15.9φ	-
-R4-	9.5φ + 19.1φ	-
-R5-	9.5φ + 22.2φ	-
-R6-	12.7φ + 25.4φ	-
-R7-	12.7φ + 28.6φ	-
-R8-	15.9φ + 31.8φ	-
-		
-		

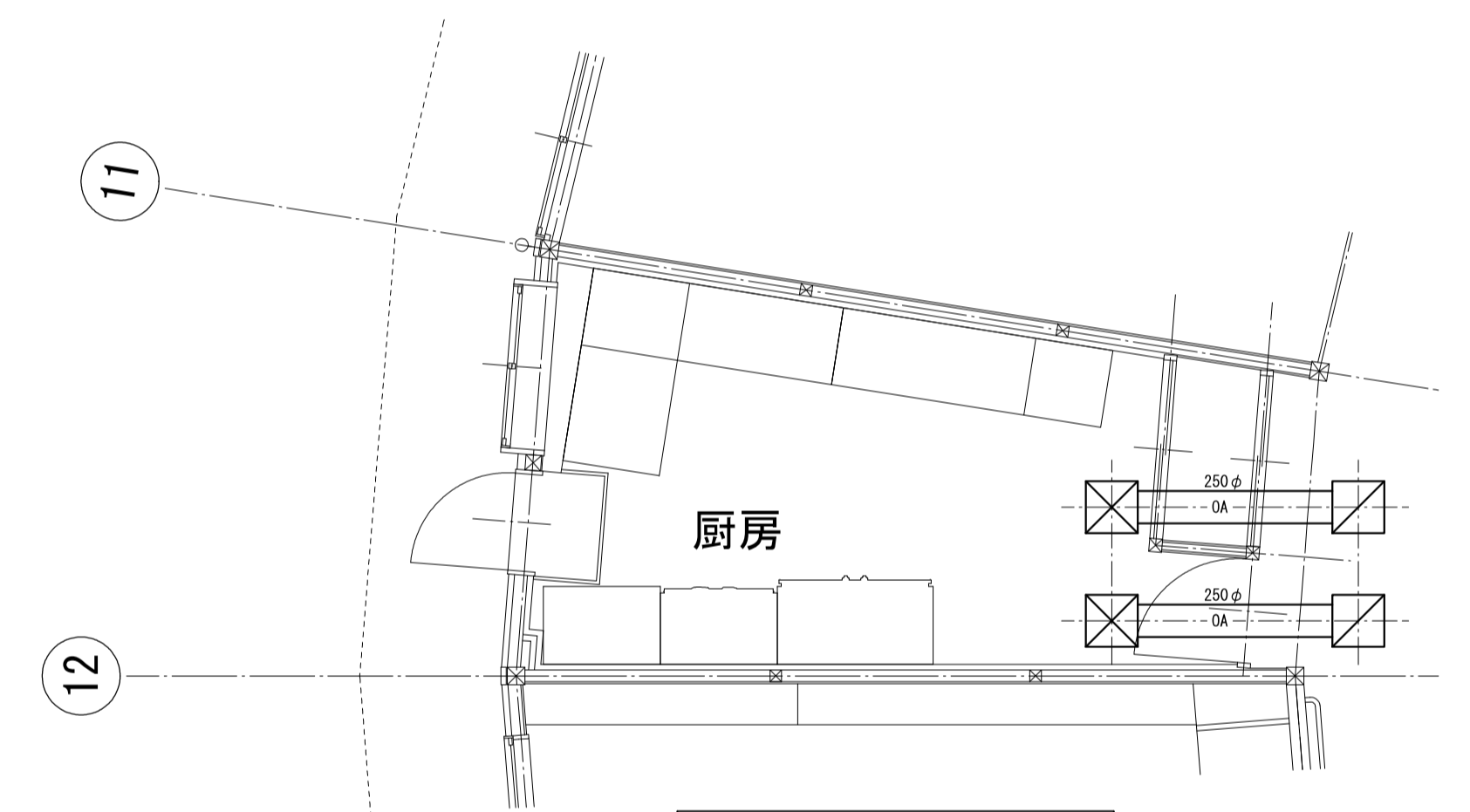
(改修前) 1階平面図 S=1/100



- 実線は新設機器
- - - 破線は既設機器 (残置)
- ※ : ダイヤモンド (レーザー探査)
- ★ : 既設配管の接続

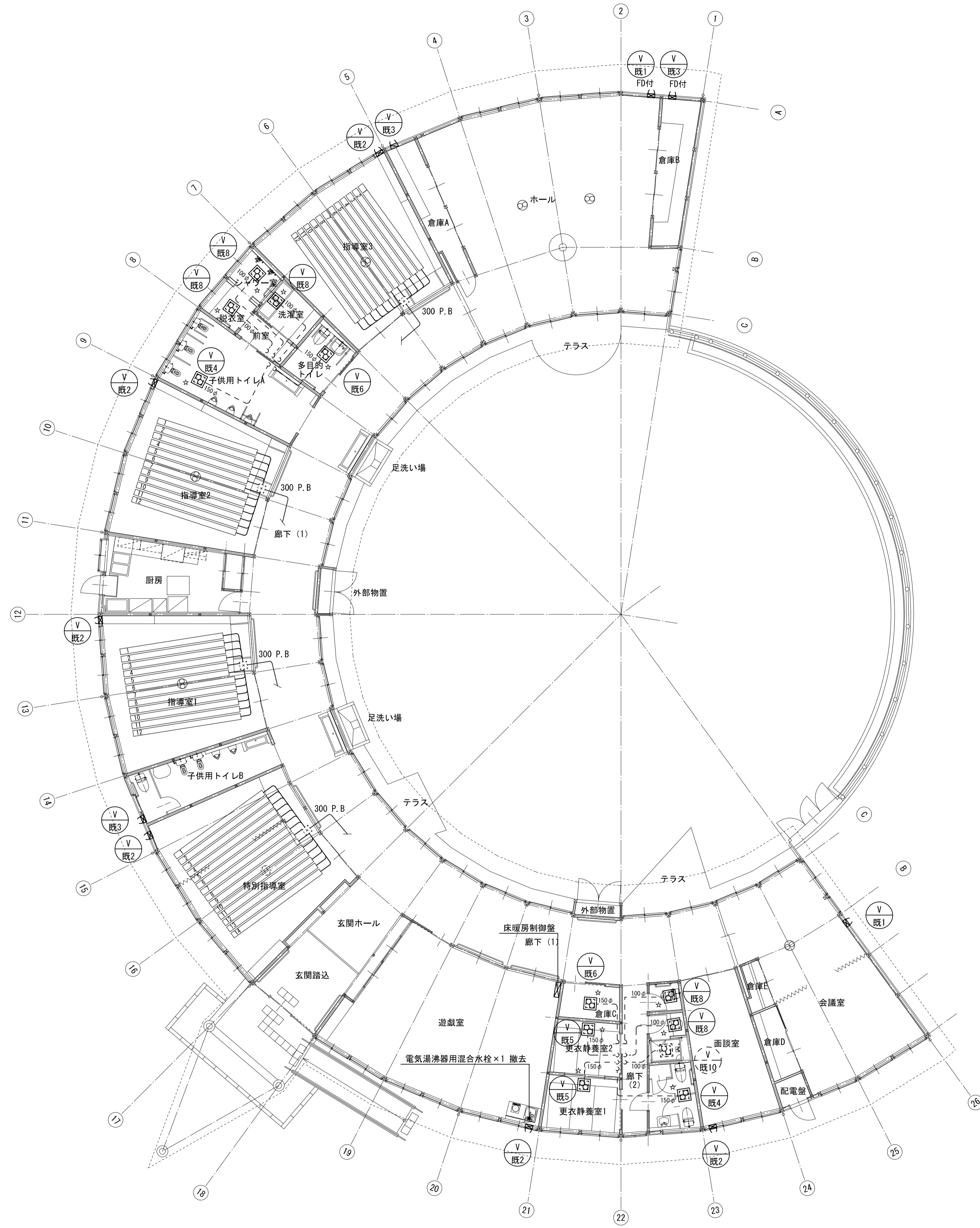
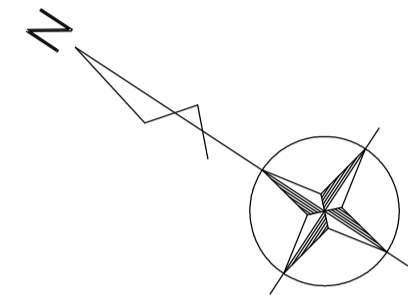
※新設床暖房工事はM-09、10による。

(改修後) 1階平面図 S=1/100



(改修後) 厨房平面図 S=1/50

※0Aは防露施工とする。



- 実線は撤去機器
- - - 破線は既設機器 (残置)
- ※ プラグ止め
- ☆ 既設配管の切筋
- ⊗ 9176取 取外し再取付

(改修前) 1階平面図 S=1/100



工事区分(置床)

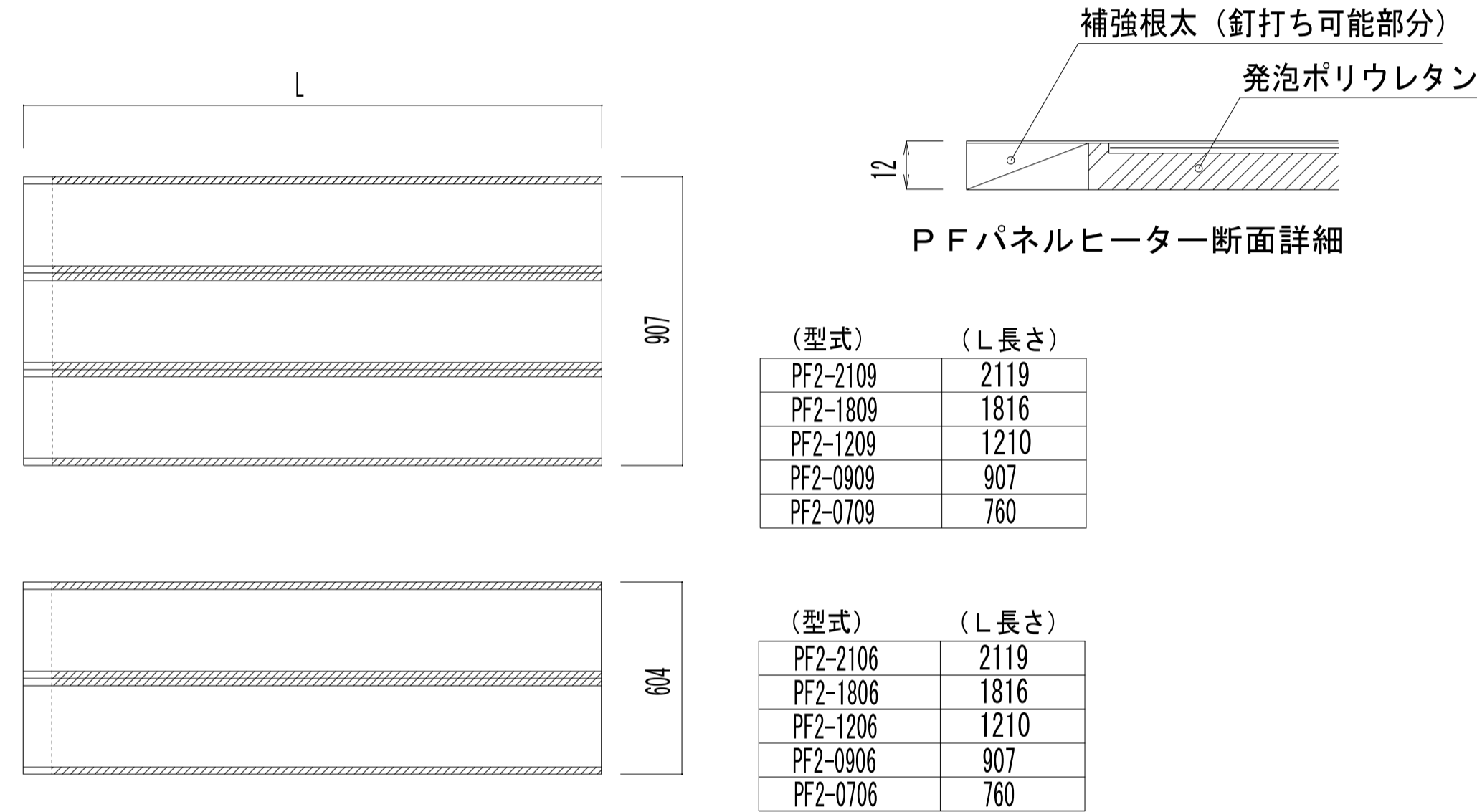
No.	工 事 項 目	床暖房	建築	電気	備 考
1	コントローラー、リレーボックス取付工事(材共) (壁開口を含む)			○	ボックスなし仕様の場合は壁開口のみ
2	床暖房パネル～コントローラー、リレー間の配管工事(16φ)			○	壁内電気配管に替えて、壁内先行配線する場合の先行配線は電気工事とする 床下電気配管に替えて、床下先行配線する場合の先行配線は電気工事とする
3	コントローラーボックス、リレーへの1次側電源工事			○	
4	床暖房パネル～コントローラー、リレー間の配線・結線工事	○			床下が電気配管にて施工の場合
5	床暖房パネル敷き込み工事	○			
6	コントローラー、リレー取付工事	○			
7	床下地面の不陸調整		○		
8	レベル調整用合板敷設工事		○		
9	床仕上げ工事		○		
10	試運転調整	○			

電気配管は各タイプ別の配線図を参照のこと

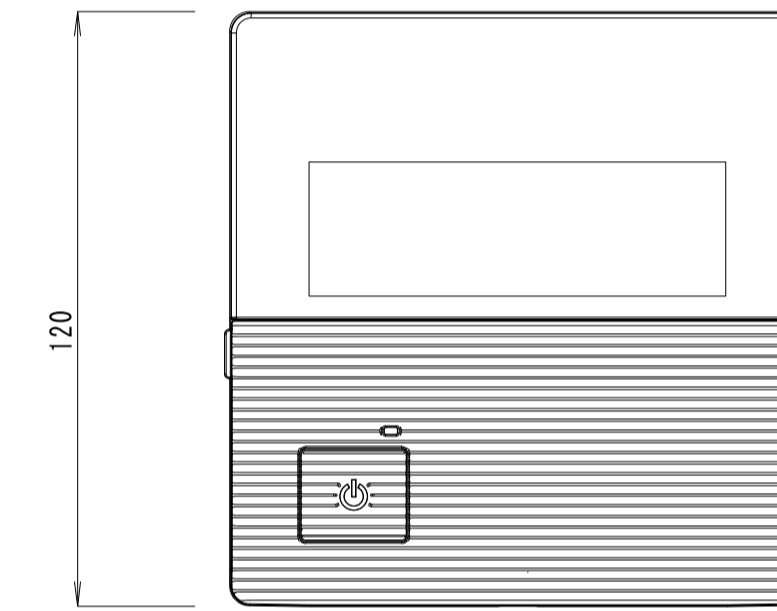
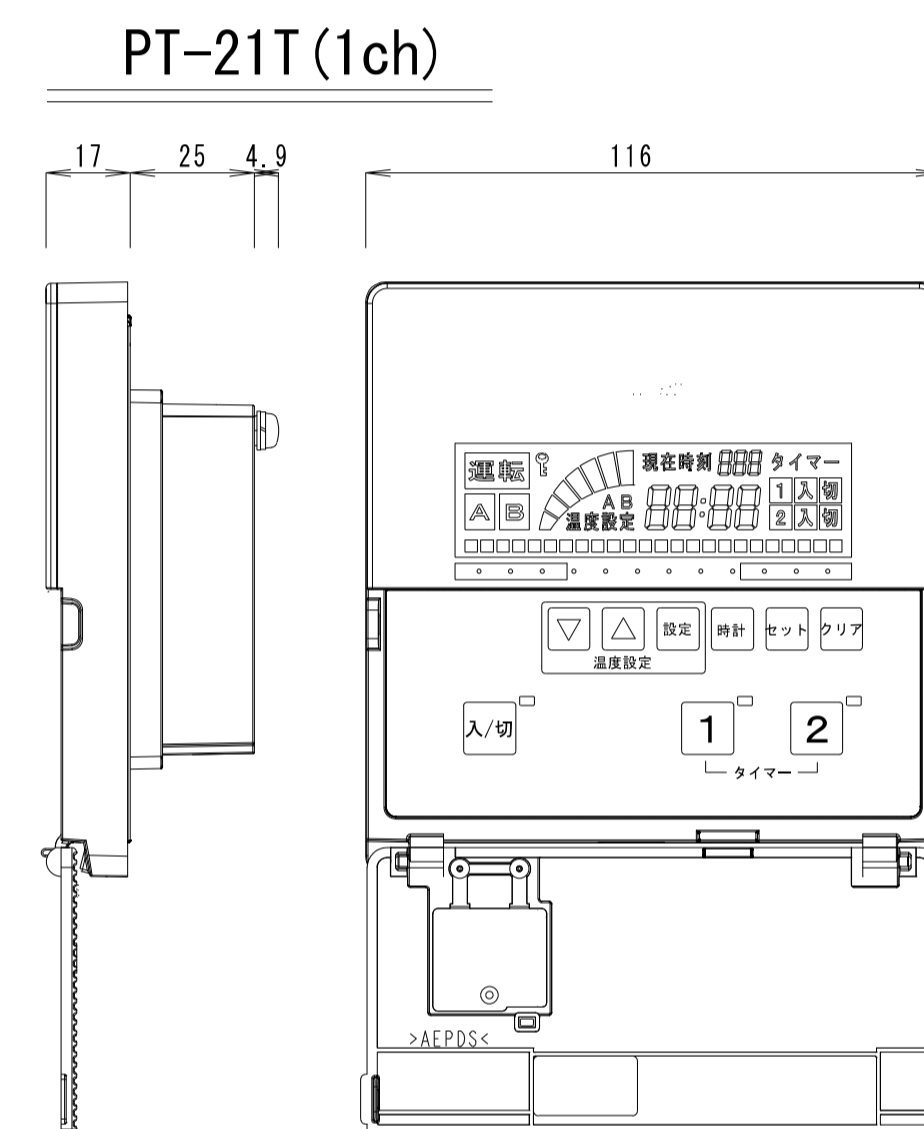
仕様概要

電気式床暖房設備仕様概要	
電熱ヒーター種別	PTC (抵抗変化特性) タイプパネルヒーター
電源電圧種別	1Φ2W200V (対地電圧150V以下)
制御方式	コントローラー機能による(タイマー制御、時間比例制御)
施工方法	乾式施工(断熱材付パネルヒーターを糊付け)
その他	自己温度過昇防止(PTC)機能ヒーターであること ヒーター機能により突入負荷と安定時負荷とで変化があること 本仕様は空調との併用で快適な環境を得られることとする

プラサーモ断熱材一体型パネルヒーター姿図



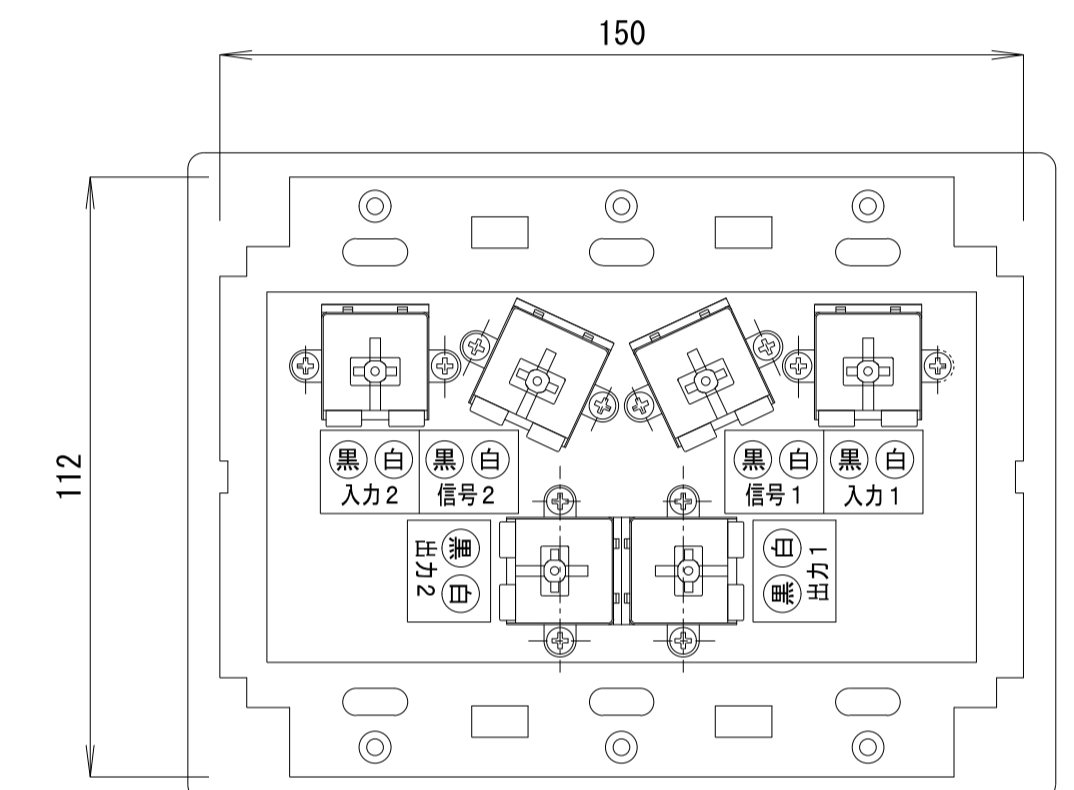
床暖房コントローラ



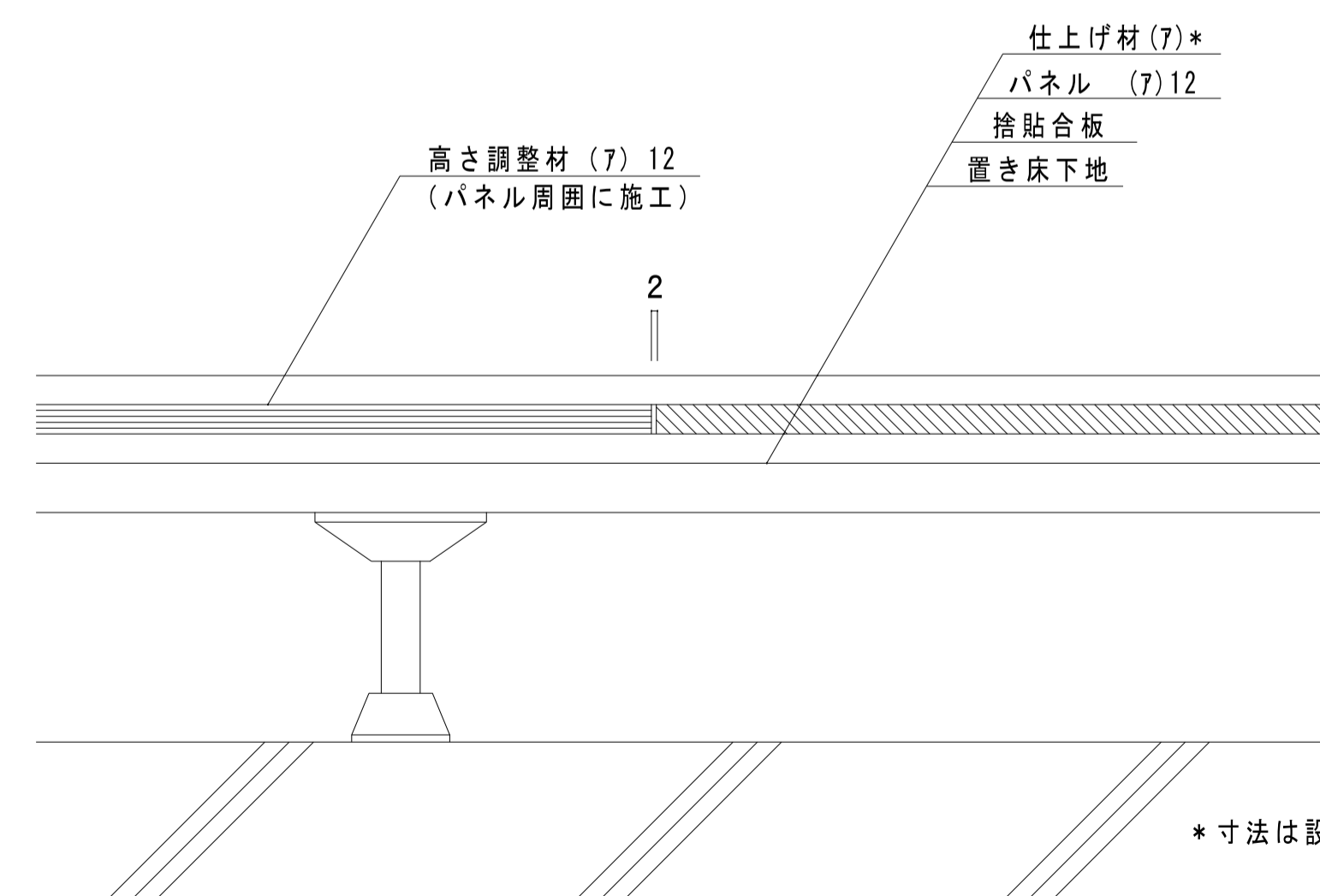
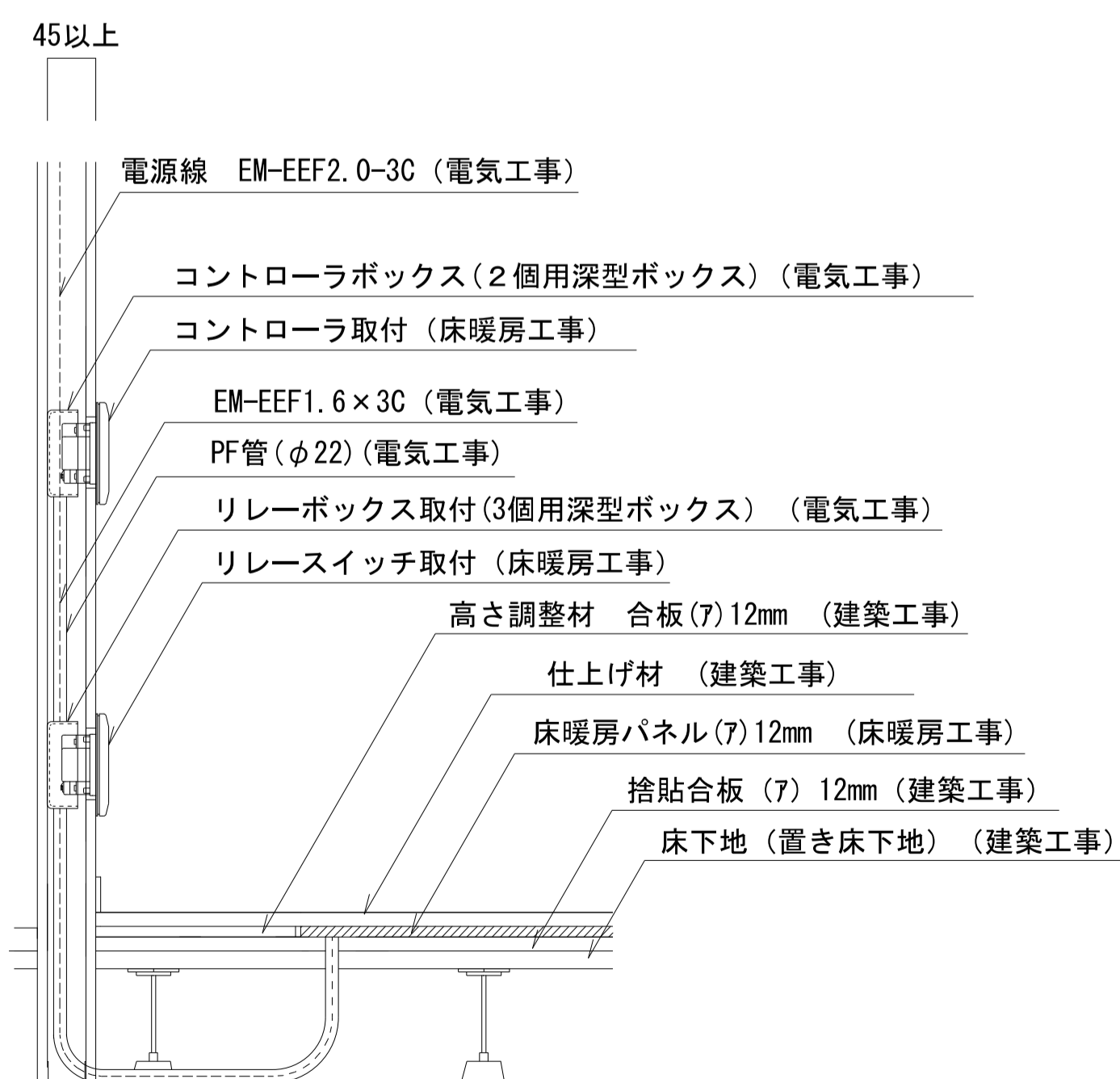
項 目	仕 様
定 格 電 源	AC100/AC200V, 50/60Hz
許 容 電 圧	AC85~220V
許 容 電 力	AC100V時2.2kW, 50Hz時2.0%以下, AC200V時2.2kW以下
絶 縁 種 別	DC500V絶縁材料にて100MΩ以上 (1次側端子とアース間)
額 定 電 圧	AC150V/15分間またはAC180V/1分間 (1次側端子とアース間/1次側端子と二次側端子間)
額 定 温 度	-10~35℃ (湿し氷結しないこと)
耐 湿 度	90%RH以下 (結露なきこと)
寸 法	120×116×42 (ワース端子除く)
重 量	約340g
ケース材質	ポリカーボネイト樹脂 (自己消火性UL94V-0)
組 立 材	スイッチボックス2箇所 (カバー付) JIS規格品
取 付 要 求	垂直面
配 線 出 力 A	有電圧リレー接点 (※接点・両側)
配 線 出 力 B	有電圧リレー接点 (※接点・両側)
表 示	液晶表示: 時計、温度設定、タイマー設定、動作ランプ表示、手動運転、タイマー運転
時 計	表示: 2.4時間表示、1分単位、精度: 月差±60秒以内 (25±2℃にて) 停電バックアップ: 2.4時間以内 (電源OFF前に2.4時間以上の通電が必要です)
タイマー動作	遅延、停止時刻を数分セット (毎日繰り返し動作可能) 共通、独立設定可能
制 理	室温検知による室温検知と室温センサーによるヒーター温度制御 (切替)
H.A. 種 子	JIS規格品 (1998) 日本電気電子部品製造規格: D48×A-2
	組み立て時の開口寸法: 110×85

床暖房リレースイッチ

UH-RS-200

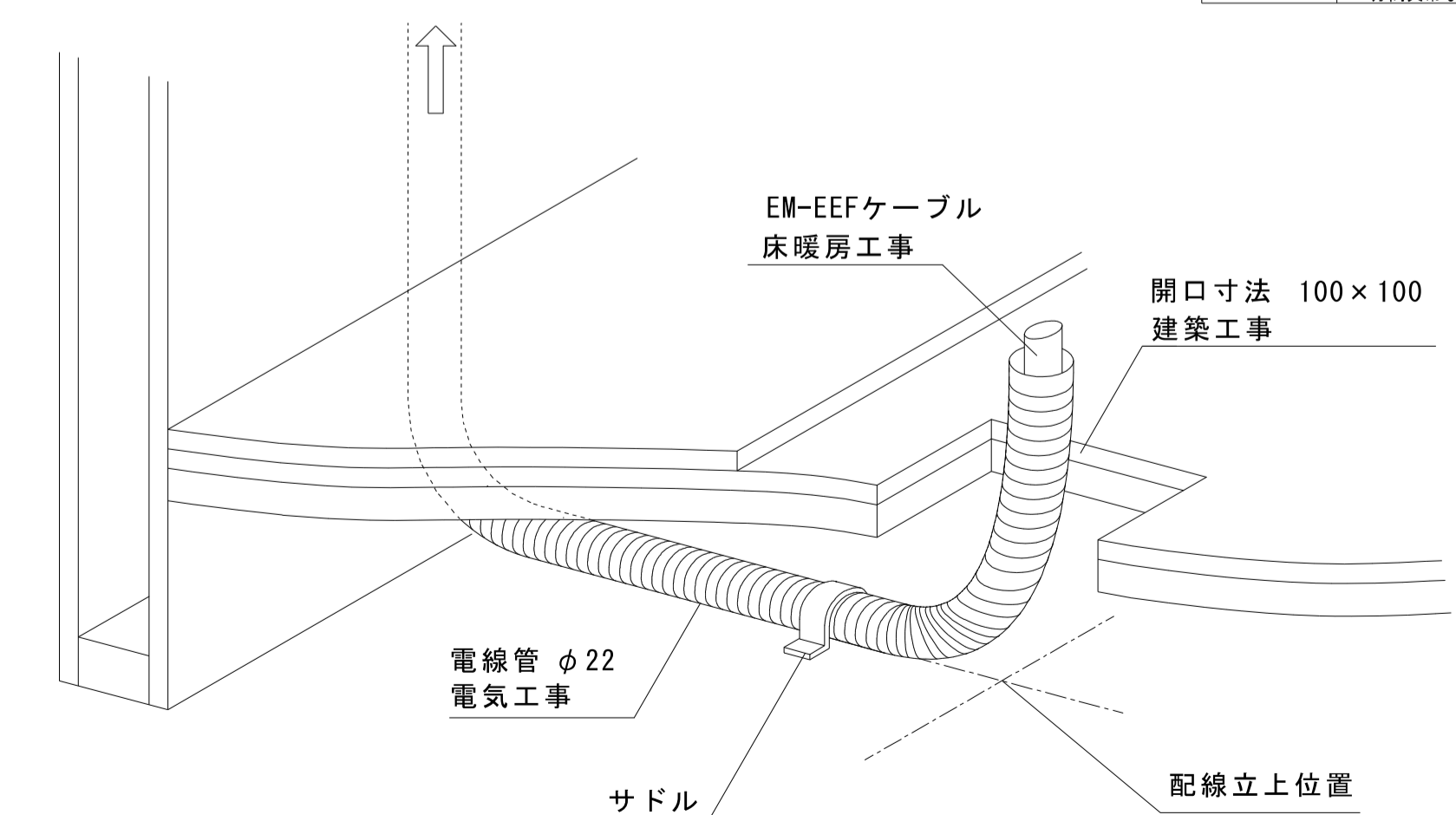


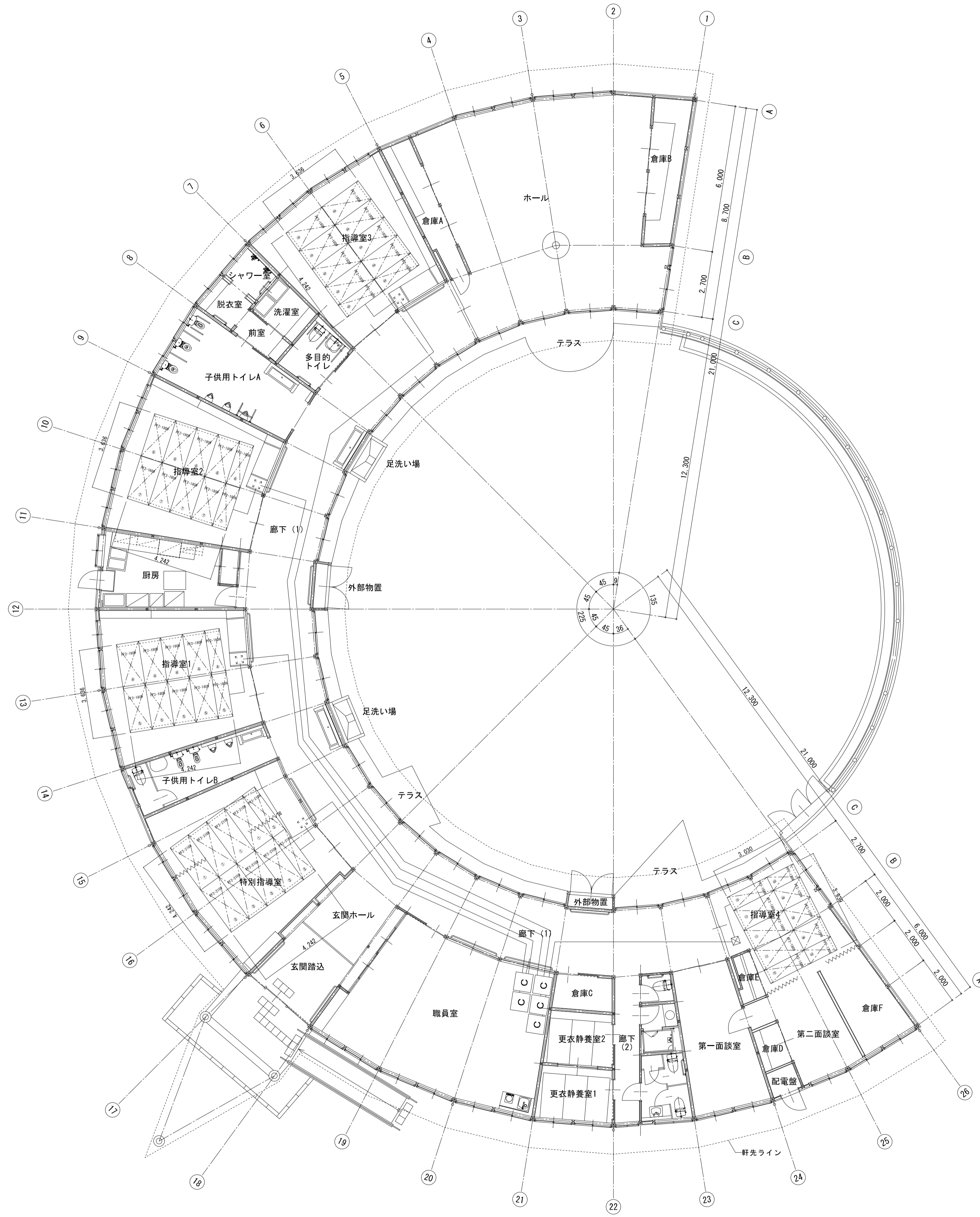
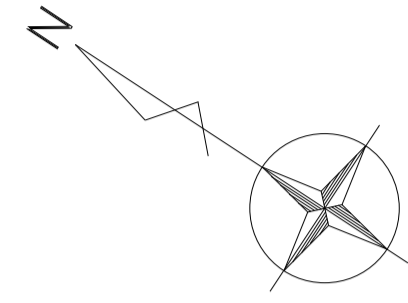
型名	UH-RS-200
定格電圧	AC200V, 50/60Hz
回路数	2回路
定格負荷	3.2kW (200V/16A)
出力定格	20A, MAX 抵抗負荷×2
制御電圧	AC200V, 50/60Hz
リレー消費電力	2.7VA
リレー型名	HE2aN-AC200V
差込端子台	ML-850-HAX, 250V, 20A
検知機能	電気式床暖房用2P10-1使用時 逆接続、絶縁抵抗劣化 異常時は「ザ」によって知らせる
絶縁抵抗	1-3対電極間: 1000MΩ以上
耐電圧	DC500V/30"にて (初燃焼) 1-3対電極間: AC1500V
	1分間異常なし



\*寸法は設計図による

各制御機器へ





(改修後) 1階平面図 S=1/100

